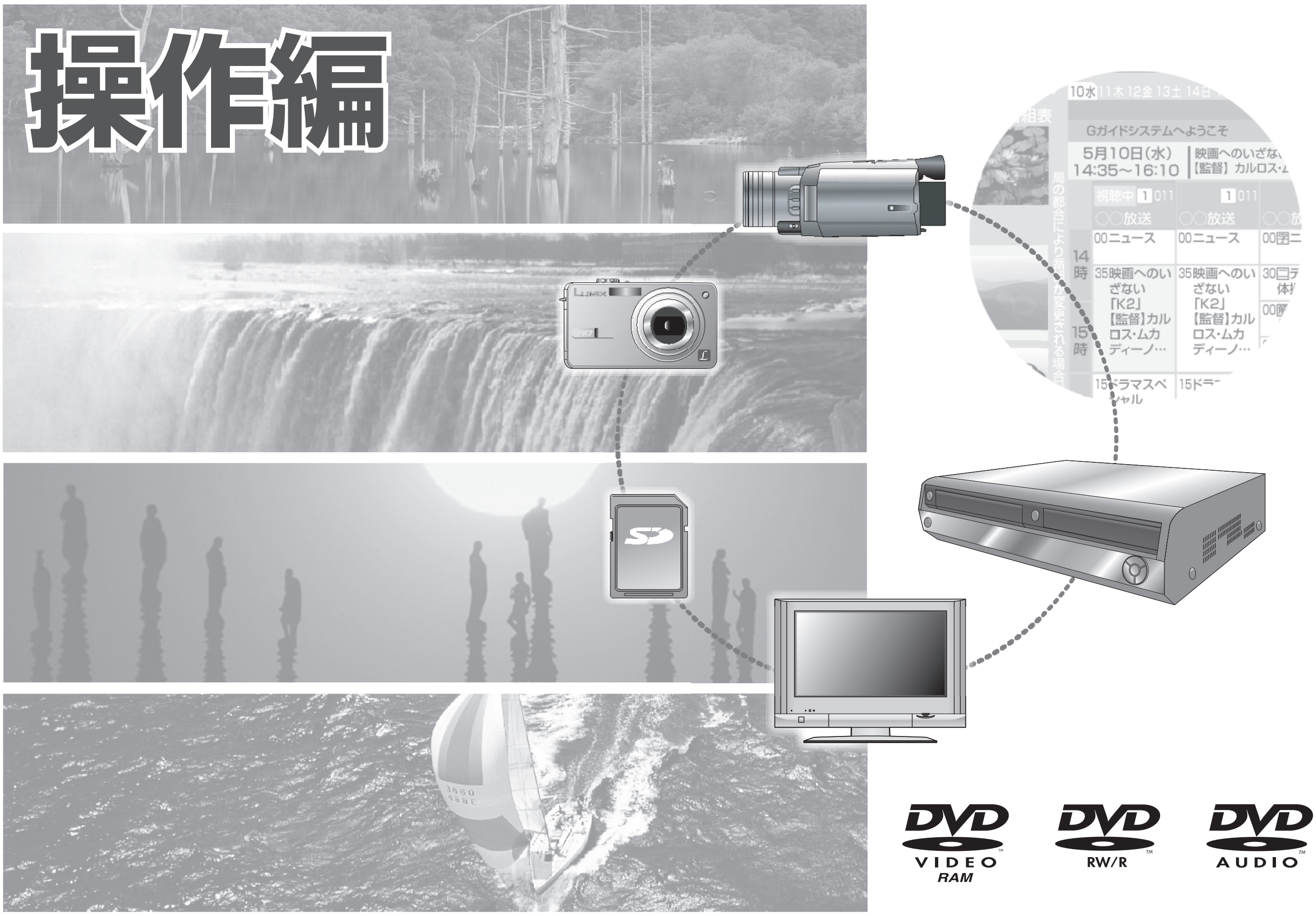
Panasonic

取扱説明書

DVDレコーダー

品番 DMR-EX250V

操作編



DVD 関連情報は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dvd/

詳しい使い方説明は、「ディーガ使い方ナビゲーション」をご覧ください。
http://panasonic.jp/support/mpi/dvd/

本機の機能向上などのサポートを受ける場合に必要ですので、必ずユーザー登録をお願いいたします。ホームページでユーザー登録ができます。
http://www.mps.panasonic.co.jp/

このたびは、パナソニックDVDレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  特に「安全上のご注意」(➜148〜149ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
  お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
  保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

RQT8536-S

ディーガ かんたん!使いこなし術

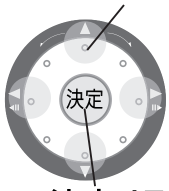
番組を HDD（ハードディスク）に録（と）りためて、お気に入りだけ DVD に残してみよう!

録画 予約する

1

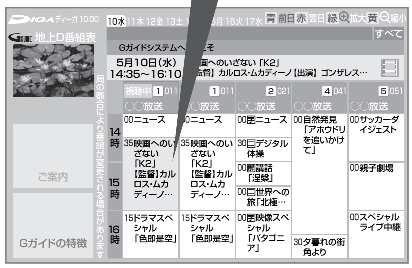
番組表を表示する

2 予約したい番組を選ぶ



選んで

決定する

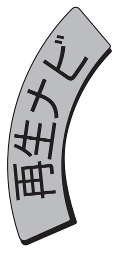


放送を変更するときは ➡ 放送/入力切換

詳しい操作方法は➔46ページ

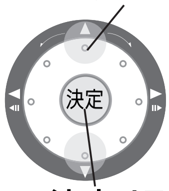
見る 再生する

1



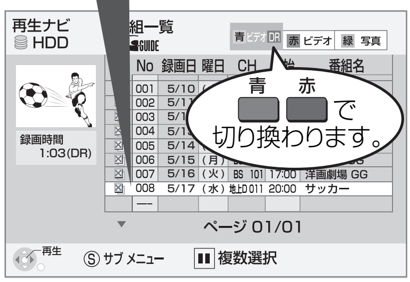
番組一覧を表示する

2 再生したい番組を選ぶ



選んで

決定する

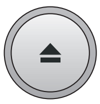


選んだ番組が再生されます

詳しい操作方法は➔57ページ

残す ダビングする

1

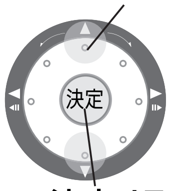


(本体の開閉ボタン)
ディスクを入れる

2

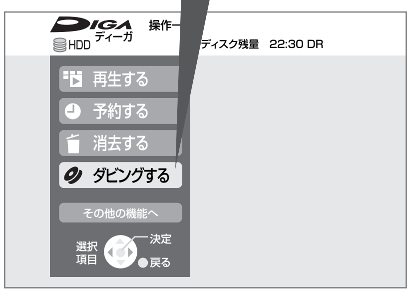
操作一覧画面
を表示する

3 「ダビングする」を選ぶ



選んで

決定する



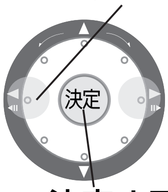
詳しい操作方法は➔90ページ

DVD またはカセットへ録画したい場合など、詳しくはそれぞれの操作ページをご覧ください。

操作ガイドも見てね!(➜18)

3 「番組予約へ」を選ぶ

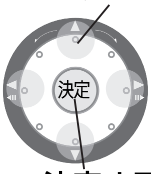
選んで



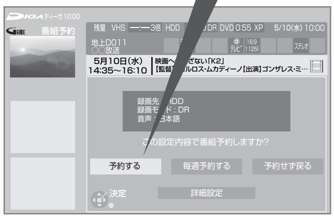
決定する

4 「予約する」を選ぶ

選んで



決定する



録画モード“DR”だと、デジタル放送をハイビジョン画質で録画できます

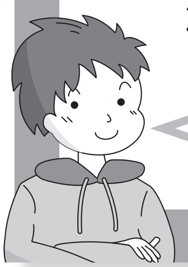
☞**予約内容を確認し、変更が必要なときは**
「詳細設定」を選ぶ (➜47“詳細設定画面”)

☞**同じ番組を毎週録画したいときは**
「毎週予約する」を選ぶ

消す

消去する

消去ナビを使うとかんたんに番組を消すことができます。

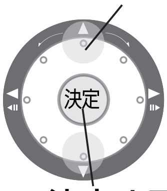


不要な番組を消去したい!

詳しい操作方法は➜73ページ

4 ダビングしたい番組を選ぶ

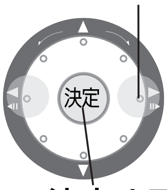
選んで



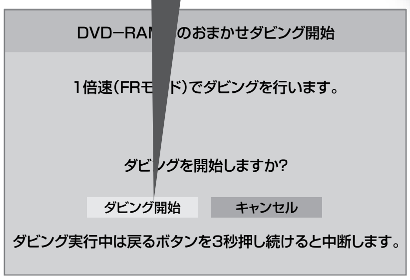
決定する

5 「ダビング開始」を選ぶ

選んで



決定する



ダビングを開始します

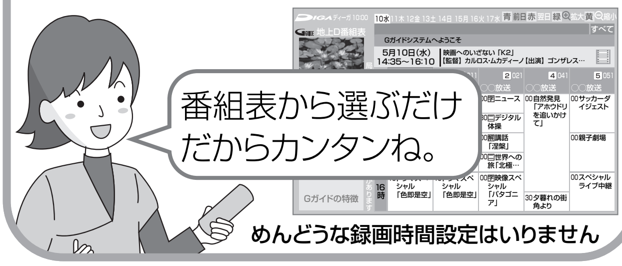
本機の特長

録画

番組表から録画予約する

➔46ページ

番組表から、録画したい番組を選んで予約ができます。

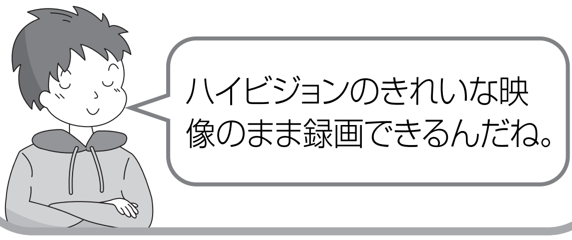


めんどうな録画時間設定はいりません

ハイビジョン画質をそのまま録画

➔37ページ

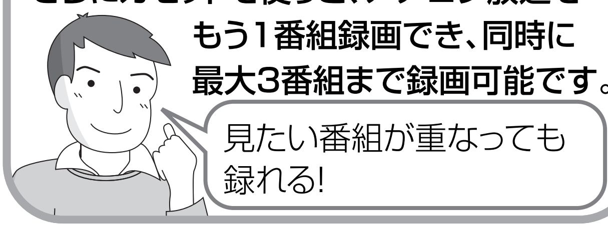
デジタル放送そのままの高画質・高音質をHDDへ録画して楽しめます。



デジアナどっちも録り

➔36ページ

デジタル放送の1番組とアナログ放送の1番組を同時に録画できます。
さらにカセットを使うと、アナログ放送をもう1番組録画でき、同時に最大3番組まで録画可能です。

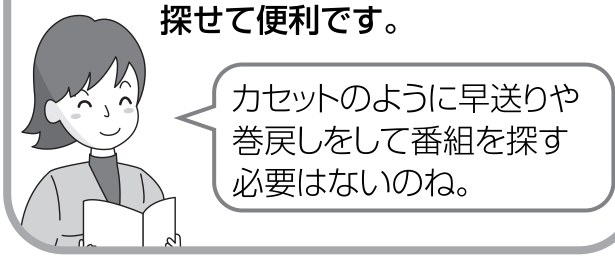


再生

見たい番組もすぐ見つかる

➔57ページ

HDDやディスクに録画すれば、再生ナビ画面で、見たい番組を探せて便利です。



デジカメで撮った写真を見る

➔63ページ

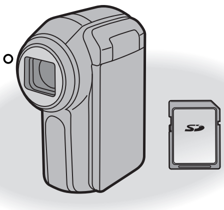
デジタルカメラなどで撮影した写真をテレビで見たり、HDDやDVD-RAMに残すことができます。

SDカードのMPEG2動画を見る

➔96ページ

SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画を見るには、まずHDDなどにダビングしてください。

●SDカードから直接再生することはできません。



編集・ダビング

お気に入りシーンだけを集める

➜72ページ

録画した番組の不要な場面を消去したり、お気に入りの場面だけを集めたプレイリストを作成したりすることができます。

好きな番組だけをDVDへダビングする

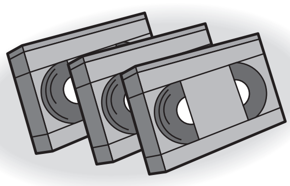
➜90ページ

おまかせダビングなら
ダビングしたい番組を選ぶだけ!

カセットを整理して大切な映像だけを残す

➜83ページ

昔に録画した複数のカセットをまとめてHDDにダビングし、整理してDVDにダビングすると、大切な映像だけを保存することができます。

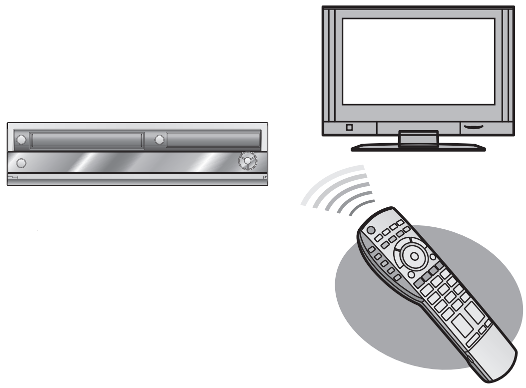


さらに

HDMIケーブルでVIERAとつなぐと…

➜19ページ

ビエラのリモコンで、本機の操作を行うこともできます。

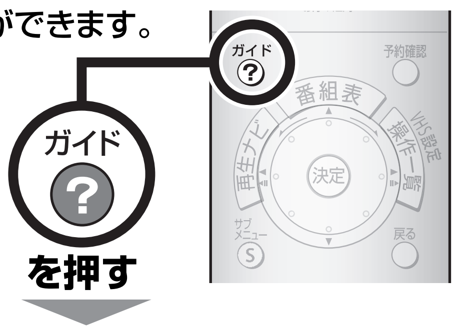


●VIERA Link（HDAVI Control）に対応した機器と接続してください。

使いかたに迷ったときは…

➜18ページ

テレビ画面で本機の操作ガイドを見ることができます。



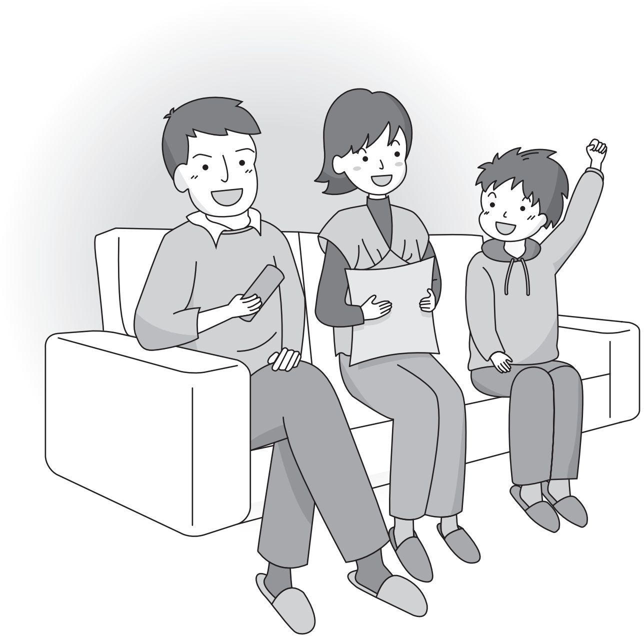
安全上のご注意
大事なお知らせ
確認
視聴
録る
見る/聞く
編集
ダビング
便利機能
必要なとき
さくいん

もくじ

まず　お知らせとご確認

大事なお知らせ

さあ　使ってみよう



視聴

録る

もし　困ったとき

必要なとき

音声ガイドについて
音声ガイドは音声で操作を案内する機能です。
音声ガイドは本書中の左記マークのある箇所で働きます。

もくじに（音声ガイドマーク）が付いている項目は音声ガイドが働きます。

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを(➜○○)、別冊の取扱説明書 準備編で参照していただくページを(➜準備編○○)で示しています。
- 内蔵ハードディスクの操作部分を「HDD」、ディスクの操作部分を「DVD」、カードの操作部分を「SD」、カセットの操作部分を「VHS」として、主に説明しています。

使えるディスク・カードについて

使用するディスクによって、さまざまな特長があります。目的に合わせてディスクをご使用ください。

デジタル放送を録画したい場合は?

内蔵HDD　CPRM対応 **DVD-RAM**　CPRM対応 **DVD-R**（VR方式）

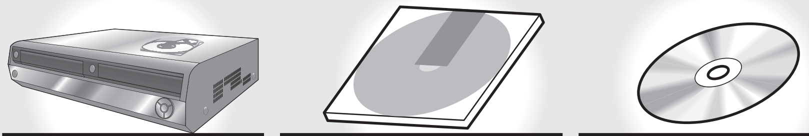
に録画できます。

CPRM対応 **DVD-R DL**（VR方式） にはHDDからのダビング時のみ使用できます。

内蔵HDD以外はハイビジョン画質のまま録画することはできません。

DVD-Rに録画するには… ディスクに録画する前に、フォーマットが必要です。（➜107）

何度でも**繰り返し録画**できるディスクはどれ?

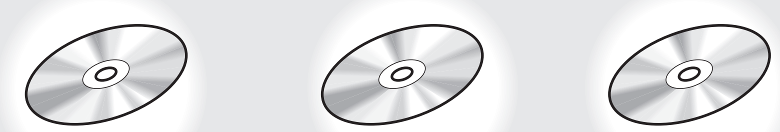


内蔵HDD　**DVD-RAM**　**DVD-RW**（DVD-Video方式）

が繰り返し録画できます。

ディスクの残量が少なくなった場合は… 不要な番組を消去してください。（➜73）

録画した番組の入ったディスクを**他の機器で再生**したい場合は?

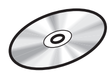


DVD-R（DVD-Video方式）　**DVD-RW**（DVD-Video方式）　**+R**

に記録することをおすすめします。

これらのディスクに記録したあと

ファイナライズを行うと… ➜ 市販のDVDビデオと同じようなディスクができあがります。



DVDプレーヤーなどの対応機器で再生することができるようになります。

●ファイナライズを行っていない場合や、その他のディスクの場合は、その機器がそれぞれのディスク（記録方式）の再生に対応している必要があります。

ファイナライズとは

記録したディスクを他のDVD機器でも再生できるように、再生専用ディスクに処理することです。録画や編集はできなくなります。**（操作方法は➜108）**

フォーマットとは

記録前や他機器で使用したディスクを本機で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。**（操作方法は➜107）**

記録方式について

本機では以下の記録方式で記録します。録画や再生の目的に合わせてディスクをご使用ください。

デジタル放送を録画したい場合はこちら

VR(ビデオレコーディング)方式

テレビ放送などを記録･編集するために作られた記録方式です。

特長

- デジタル放送などの「1回だけ録画可能」の番組を記録できます。(CPRM対応ディスクのみ)
- 番組の不要な部分を消したり、プレイリストの作成などの編集ができます。

制限事項

- 他のDVD機器で再生するには、そのディスクのVR方式の再生に対応している必要があります。

対応ディスク

DVD-RAM　DVD-R　DVD-R DL

に、この方式で記録できます。

他のDVD機器でも再生したい場合はこちら

DVD-Video(DVDビデオ)方式

市販されているDVDビデオと同じ記録方式です。

特長

- 本機で記録したディスクをファイナライズすると、DVDプレーヤーなどの対応機器で再生できるようになります。

制限事項

- デジタル放送などの「1回だけ録画可能」の番組を記録することはできません。
- 番組の不要な部分を消したり、プレイリストの作成などの編集はできません。

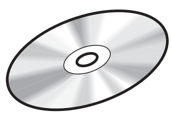
対応ディスク

DVD-R　DVD-R DL　DVD-RW

に、この方式で記録できます。

DVD-R と DVD-R DLは両方の記録方式で記録できるみたいだけど、どうすれば記録方式を分けることができるの?

本機では**フォーマット(初期化)**するかしないかで分けることができます。



未使用の DVD-R DVD-R DL

→ フォーマットすると → **VR方式**で記録します

フォーマット方法については(➔107)

→ フォーマットしないで記録すると → **DVD-Video方式**で記録します

いったん記録またはフォーマットすると、あとから記録方式を変更することはできません。

使えるディスク・カードについて（つづき）

記録・再生ができるディスク

ディスクの種類	ロゴ	記録方式	本書での表示	特長 フォーマット（初期化）が必要か?	特長 記録できるもの	特長 繰り返し記録
内蔵HDD（ハードディスク）	－	－	HDD	－	ビデオ（通常の録画番組） 写真	○
DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	VR方式	RAM	必要 ※2	ビデオ（通常の録画番組） 写真	○
DVD-R	DVD R R4.7	VR方式	-R(VR)	必要	ビデオ（通常の録画番組）	×
		DVD-Video方式	-R(V) ファイナライズ前 / DVD-V ファイナライズ後	不要	ビデオ（通常の録画番組）	×
DVD-R DL（片面2層）	DVD R R DL	VR方式	-R DL(VR)	必要	ビデオ（通常の録画番組）	×
		DVD-Video方式	-R DL(V) ファイナライズ前 / DVD-V ファイナライズ後	不要	ビデオ（通常の録画番組）	×
DVD-RW	DVD R W	DVD-Video方式	-RW(V) ファイナライズ前 / DVD-V ファイナライズ後	必要	ビデオ（通常の録画番組）	○
+R ※1	－	－	+R ファイナライズ前 / DVD-V ファイナライズ後	不要	ビデオ（通常の録画番組）	×

繰り返し記録ができないディスクでは、番組を消去してもディスク残量は増えません。詳しくは、**73ページ**“消去後のディスク、カードの残量について”をご覧ください。

- **ディスクの対応バージョンや速度については、135ページ“仕様”をご覧ください。**
- **ディスクに記録できる時間は、35ページ“録画の画質と時間について（録画モード）”をご覧ください。**

※CPRM 対応ディスクのみ

- ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。（http://panasonic.jp/support/dvd/）

※1 本機で記録された+Rと他の当社製DVDレコーダーで記録された+Rは、互いの機器で使用できない場合があります。ただし、ファイナライズされたディスクは互いの機器で再生することができます。
※2 市販のディスクには、録画用にフォーマット済みのものがあります。その場合はフォーマットの必要はありません。
※3 RAM :当社製DVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーでは再生できます。（2006年3月現在）
-R(VR) :2005年7月以降に発売された当社製DVDレコーダーでは再生できます。（2006年3月現在）
-R DL(VR):DVD-R DL（VR方式）に対応した機器で再生してください。
-R DL(V) :DVD-R DL（DVD-Video方式）に対応した機器で再生してください。

	本機でできること					互換性※3
直接録画	「1回だけ録画可能」のデジタル放送を記録	デジタル放送の画質や音声をそのまま記録	二重放送の主/副音声を両方記録	16:9映像をそのまま記録	プレイリスト作成・編集	他のDVD機器で再生
○	録画モード **DR** **ビデオDR** ○	○	○	○	×	ー
	録画モード **XP～EP、FR** **ビデオ** ○	×	○	○	○	ー
○	○ CPRM対応ディスクのみ	×	○	○	○	DVD-RAM対応機器でのみ可能（ファイナライズは不要です）
○	○ CPRM対応ディスクのみ	×	○	○	○	DVD-R（VR方式）対応機器でのみ可能（ファイナライズが必要な場合があります）
○	×	×	×	× 4:3映像で記録	×	ファイナライズが必要
×※4	○ CPRM対応ディスクのみ	×	○	○	○	DVD-R DL（VR方式）対応機器でのみ可能（ファイナライズが必要な場合があります）
×※4	×	×	×	× 4:3映像で記録	×	ファイナライズ後にDVD-R DL（DVD-Video方式）対応機器でのみ可能
○	×	×	×	× 4:3映像で記録	×	ファイナライズが必要
○	×	×	×	× 4:3映像で記録	×	ファイナライズが必要

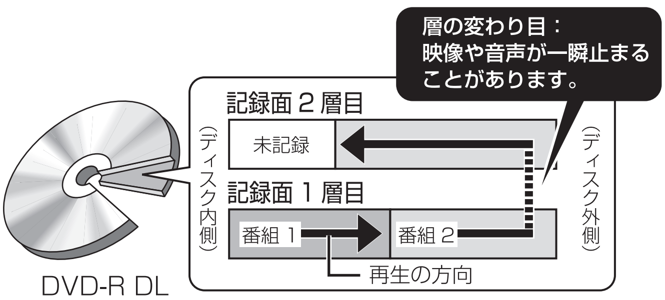
詳しくは、**37ページ**“デジタル放送の録画について”をご覧ください。

詳しくは、以下のページをご覧ください。
36ページ“アナログ放送や外部入力からの録画にかかる制限”
38ページ“音声多重放送の録画について”

※4 本機では、DVD-R DL（片面2層）ディスクに直接録画したり、カセットから直接ダビングすることはできません。
一度HDDに録画、またはカセットからHDDへダビングしたあと、HDDからDVD-R DL（片面2層）ディスクへダビングして記録してください。

DVD-R DL(片面2層)ディスクを再生するとき

DVD-R DL（片面 2 層）ディスクは、右図のように記録面が片面に2層あります。1層目に収まりきらなかった番組は、引き続き2層目に記録され、2つの層にまたがって記録されます。**(➜右図「番組2」)**このような番組を再生する場合、層の切り換えは本機が自動的に行いますので、通常の番組と同じく全編を通して再生できますが、層の変わり目で、映像や音声が一瞬止まることがあります。



使えるディスク・カードについて（つづき）

再生のみできるディスク

ディスクの種類（本書での表示）	ロゴ	特長
DVDビデオ DVD-V	DVD VIDEO	**映画や音楽など、高画質の市販ソフト** ●本機では右記のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。 「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」が表示されたもの 例) 2 ALL 1 2 4 • 番号は国により違います。
DVDオーディオ DVD-A	DVD AUDIO	**高音質の音楽用市販ソフト** ●マルチチャンネルDVDオーディオには、制作者の意図によりダウンミックス(➜138)が禁止されているものがあります。
DVD-RW (VR方式) -RW(VR)	DVD RW	**他のDVDレコーダーのVR方式で録画されたDVD-RW**※1 ●CPRM対応ディスクに録画された「1回だけ録画可能」な番組の再生もできます。 ●フォーマット(➜107)すると、本機ではDVD-Video方式で録画できます。 ●録画した機器でファイナライズ(➜138)を行わないと再生できないものがあります。
CD CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	●**音楽や音声が記録された市販ソフト**(CD-DA形式で記録したCD-RやCD-RWを含む※1) ●**MP3 圧縮形式(➜右ページ)で音楽が記録されたCD-RやCD-RW**※1 ●**写真(JPEGやTIFF)が記録されたCD-RやCD-RW**※1
ビデオCD VCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	**音楽や映像が記録された市販ソフト**(ビデオCD形式で記録したCD-RやCD-RW を含む※1)
+R DL(片面2層) DVD-V	–	**他のDVDレコーダーで録画された+R DL(片面2層)** ●録画した機器でファイナライズ(➜138)を行ったディスクのみ再生できます。
+RW DVD-V	–	**他のDVDレコーダーで録画された+RW**※1 ●録画した機器でファイナライズ(➜138)を行わないと再生できないものがあります。

※1 記録状態によって再生できない場合があります。
●ソフト制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
●CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。

本機で使えないディスク

●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM(12 cm)
●3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズ(➜138)されていないDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL(DVD-Video方式)、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R
●PAL方式で記録されたディスク(DVDオーディオの音声は再生できます)
●リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオ
●ブルーレイディスク
●DVD-ROM ●+R(8 cm) ●CD-ROM ●CDV ●CD-G ●Photo-CD
●CVD ●SVCD ●SACD ●MV-Disc ●PD など

本機で使えるカード

カードの種類 本書での表示	特 長
SDメモリーカード **miniSD™カード**※2 **マルチメディアカード** SD	●デジタルカメラなどで撮影した写真の再生(➜63)やダビング(➜101)ができます。 ●写真のプリント枚数の設定(DPOF設定)ができます。(➜81) ●当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画をHDDやDVD-RAM、DVD-R(VR方式)、DVD-R DL(VR方式)にダビングできます。(➜96) ●MPEG2動画をSDカードから直接再生することはできません。

※2 miniSD™カードは、必ず専用のminiSD™アダプターを装着してご使用ください。

使用可能なSDメモリーカードについて

本機では以下の容量(8 MB〜2 GBまで)のSDメモリーカードが使用できます。

8 MB、 16 MB、 32 MB、 64 MB、
128 MB、 256 MB、 512 MB、 1 GB、 2 GBまで

●使用可能領域は、表示容量より少なくなります。
●**最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
http://panasonic.jp/support/dvd/
●SDメモリーカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。(➜107)
●本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカードに対応しています。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

本機で再生できる MP3 や写真(JPEG/TIFF)について

MP3	再生可能ディスク	CD
	ファイル形式	MP3 ●ファイル名の拡張子に「mp3」、「MP3」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
	フォルダ数※3(グループ数)	ディスク上にルートを含む最大 99 フォルダ
	ファイル数※3(トラック数)	ディスク上の最大 999 ファイル
	ビットレート	32 kbps 〜 320 kbps まで
	サンプリング周波数	16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/ 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz
	ID3 タグ	対応していません

写真 JPEG/※4 TIFF	再生可能ディスク・カード	HDD RAM SD CD
	ファイル形式	JPEG、TIFF[非圧縮RGB(点順次)方式] ●ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」、「tif」、「TIF」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
	画素数	34 × 34 〜 6144 × 4096 (サブサンプリングは、4 : 2 : 2または4 : 2 : 0)
	フォルダ数※3	CD ディスク上にルートを含む最大 99 フォルダ HDD RAM SD 上位フォルダを含む最大 300 フォルダ
	ファイル数※3	CD ディスク上の最大 999 ファイル HDD RAM SD 最大 3000 ファイル
	Motion JPEG	対応していません

※3 最大フォルダ数やファイル数を超えると、すべてのフォルダあるいは一部のフォルダやファイルが表示されなくなる場合があります。
※4 表示する動作に時間がかかることがあります。

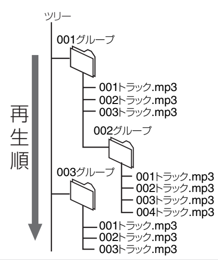
CD
●ISO9660 level 1とlevel 2(拡張フォーマットは除く)、Jolietのフォーマットが使用できます。
●マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いとディスクの読み込みや再生開始に時間がかかることがあります。
●ファイル数(トラック数)やフォルダ数(グループ数)が多い場合、動作に時間がかかったり、対応できないことがあります。
●表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。それ以外の漢字コードは正しく表示されません。
●本機画面とパソコン画面では表示が異なることがあります。
●ディスクの作りかた(書き込みソフト)によっては、再生順が変わることがあります。
●パケットライト方式には対応していません。
●記録状態によっては再生できないものがあります。

HDD RAM SD
●DCF準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)したフォーマットが使用できます。
DCF:Design rule for Camera File system [電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]

CD MP3について

●MP3に静止画など大きなデータが含まれていると、再生できない場合があります。
●再生したい順番を指定する場合は、右図のようにけた数をそろえた数字を付けたフォルダ構成にしてください。

MP3のフォルダ構成



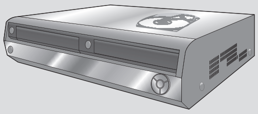
RAM CD SD
●写真(JPEG/TIFF)のフォルダ構成については(➜139)

HDD(ハードディスク)の取り扱い

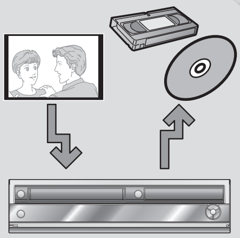
HDDは記録密度が高く、長時間記録や高速頭出しができる反面、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。
取り扱いにお気をつけください。

HDDは振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な破損や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。
また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。



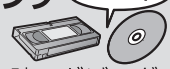
HDDは一時的な保管場所です



HDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やDVDディスクあるいはカセット(テープ)にダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

- ハイビジョン画質で録画したデジタル放送の番組を、そのままの画質や音質でダビングすることはできません。

HDDに異常を感じた場合はすぐにダビング(バックアップ)を…



HDD内に不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにDVDディスクあるいはカセット(テープ)にダビングし、修理をご依頼ください。

- HDDが故障した場合は、記録内容(データ)の修復はできません。

本機から HDD の動作音が聞こえます。故障かな？

故障ではありません。
本機では、HDDの品質維持のため、自動的に内部点検を行っています。以下の状態のときに、本機から音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

- HDDが休止状態になるとき
- 電源切/入時
- 番組表(Gガイド)データを受信中
- 昼の12時ごろに時刻の誤差を自動修正中
- 午前4時ごろに、本機全体を自動的に再起動しているとき

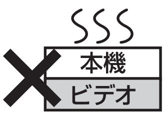
HDDは自動的に休止状態になります。

通電中、HDDは高速で回転しています。省電力のため、ディスクトレイにディスクが入っていない状態で約30分以上操作しないとHDDの回転を止め、休止します。HDDを休止状態にするために、お使いにならないときは、ディスクトレイからディスクを取り出しておくことをおすすめします。

- 起動に時間がかかるため、休止状態からの録画や再生はすぐに始まりません。**(初期設定「クイックスタート」(➜114)が「入」になっていても同様です)**

重要なお願い

設置するとき
- 背面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがない
- 水平で、振動や衝撃が起こらない場所に設置する
- ビデオなどの熱源となるものの上に置かない



- 温度変化が起こりやすい場所に設置しない
- 「露付き」が起こりにくい場所に設置する(➜16)

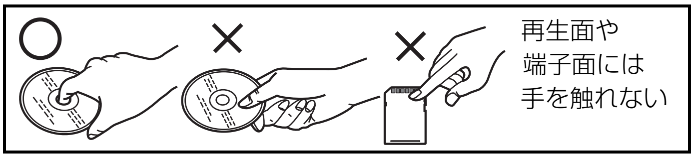
たばこの煙など
たばこの煙、くん煙殺虫剤(煙をたくタイプの殺虫剤)などが機器内部に入ると故障の原因になります。

移動するとき
① 電源を切る(表示窓から「BYE」が消えるまで待つ)
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ HDDの回転が完全に止まってから(2分程度待ってから)、振動や衝撃を与えないように動かす
(電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています)

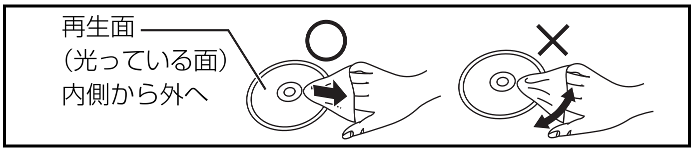
ディスク・カードの取り扱い

使用上のお願い

持ちかた



汚れたときや、露が付いたときは
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

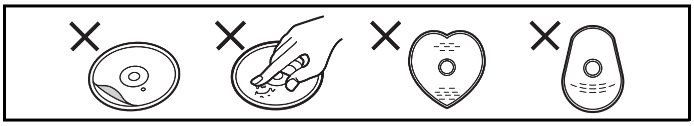


カートリッジ付きDVD-RAMの取り扱いについて
ディスクを損傷から保護し、性能を維持するため、シャッターを無理に開けないでください。

取り扱い上のお願い

ディスク、カードの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ディスクにシールやラベルをはらない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
- ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。
  ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
- ディスクを落としたり、重ねたり、物を載せたり、衝撃を与えたりしない。
- 以下のディスクを使わない。
  ・シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
  ・そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  ・ハート型など、特殊な形のディスク



- 次のような場所に置かない。
  ・直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
  ・湿気やほこりの多いところ
  ・温度差の激しいところ（結露が発生します）
  ・静電気や電磁波の発生するところ
- 使用後はケースまたはカートリッジに収める。

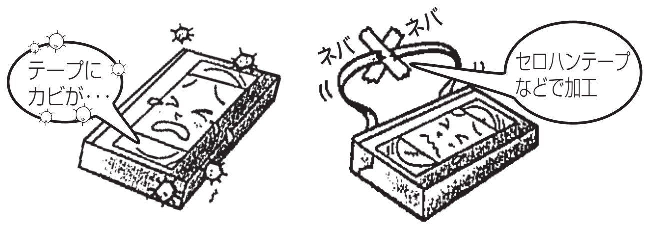
カセットについて

使用上のお願い

品質のよいカセットを使う

お使いになる前に、必ずカセット（テープ）の品質を確かめる

- 品質の悪いカセット（テープ）を使うと、きれいに録画・再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品を汚したり傷が付くなどして、故障の原因になります。
- 品質の悪いカセット（テープ）の例
  ・水などの液体やほこり、カビなどが付いている
  ・テープが波打ったりクシャクシャになっている
  ・テープをセロハンテープでつなぐなど、加工してある
  ・テープがたるんでいる



- このようなカセット（テープ）を使うと、ビデオヘッドが汚れ、再生したときに映像が乱れたり、テレビ画面全体が青色（ブルーバック）になったりします。
- このときは、乾式のビデオヘッドクリーナー（別売）**（➜準備編47）**でビデオヘッドをクリーニングしてください。
  それでも効果がないときは、販売店にご相談ください。
  ビデオヘッドクリーナーの説明書もお読みください。
- 湿式のビデオヘッドクリーナー（市販品）は使わないでください。（故障の原因になります）

取り扱い上のお願い

落としたり、激しい振動を与えたりしない

お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない

- このようなカセットを使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う

- 新しいものはテープどうしがはり付いていることがありますので、ほぐしてからお使いになることをおすすめします。

使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく

- このあとカセットを取り出し、ケースに入れ、立てて保管してください。

次のようなところに置いたり保管したりしない

・ほこりの多いところ
・高温になるところ（推奨温度：15 ℃～25 ℃）
・温度差が激しいところ
・湿度の高いところ（推奨湿度：40 %～60 %）
・湯気や油煙の出るところ
・冷暖房機器に近いところ
・自動車のダッシュボードの中

強い磁気を持ったもの（スピーカーなど）を近づけない

- 強い磁気の影響を受けると、映像や音声にノイズが入ったり、ひどいときには大切な録画内容が消えてしまったりすることがあります。

使用上のお願い

本機は、周囲(温度、湿度、ほこりなど)の影響を受けやすい、精密な部品を内蔵しています。
きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

使用するとき

ディスクトレイにディスク以外のものを置かない

カセット挿入口にカセット以外のものを入れない

揮発性の殺虫剤などがかからないようにする

●キャビネットが変形したり、塗装がはげる恐れがあります。

前面パネルについて

●本体の前面パネルは、ハーフミラーを採用しています。
このため、設置場所の明るさや光の反射の具合によっては本体表示窓の文字(テープカウンターなど)が見にくいことがあります。

録画・再生中

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近づけない

●映像・音声に悪影響を与えたり、録画内容が消えたりする恐れがあります。

●特に、プラズマテレビをお使いの場合は、できるだけ本機を遠ざけてください。

大切な録画のとき

二度と録画できないような大切な録画のときは、事前に試し録画を行い、正しく録画・録音できることを確かめておく

万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。

(下記のような操作を行うと不具合が生じる可能性があります)

●本機で録画・録音・編集したディスクを他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで動作させる

●上記の動作を行ったディスクを再び本機で動作させる

●**他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで記録したディスクを本機で動作させる**

音量について

DVDの再生中に音量を上げたときは、別の入力への切り換え時などの音量に気をつける

●本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられます。
DVDの再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わったあと必ず下げておいてください。別の入力に切り換えたときなどに、突然大きな音が出ることがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

本機を廃棄/譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報(メールや購入記録、データ放送のポイントなど)が記録されています。
廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、**放送設定**「個人情報リセット」を実行し、記録された情報を消去してください。(➜113)
本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

移動・輸送するとき

落としたり、ぶつけたりしない

ディスクとカセットを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す

●引っ越しなどで輸送するときは、購入時の包装箱に入れてください。

お手入れについて

キャビネットが汚れているとき

●電源プラグをコンセントから抜き、乾いたやわらかい布でふいてください。

汚れがひどいとき

●中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取ってください。
そのあと、乾いた布で仕上げてください。

●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

●キャビネットが変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

録画/再生用レンズが汚れたとき

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー(別売)(➜準備編 47)でほこりなどの除去をおすすめします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をお読みください。

●クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

「露付き」について

「露付き」とは

●冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。
このような現象を「露付き」といいます。

●本機やカセットに「露付き」が起こると、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

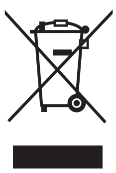
●暖かい状態のHDDが冷たい空気に触れると、HDD内部に「露付き」が発生し、ヘッドなどを傷付ける可能性があります。

●「露付き」が起こりやすいとき

・梅雨の時期
・本機やカセットを暖かいところから寒いところへ急に移動させたとき、またはその逆
・寒い部屋を急に暖房で暖めるなど、急激な冷暖房をしたとき
・本機やカセットに冷房の風が直接あたっていたとき
・湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき

●「露付き」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで(約2～3時間程度)、**電源を切ったまま放置してください。**

－このマークがある場合は－



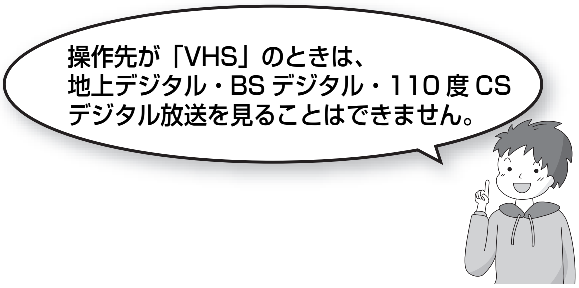
ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

受信できるテレビ放送について

B-CASカードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。

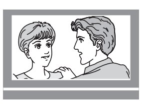
放送の種類 本書での表示	特長	本機で利用できるサービス (用語については➜138)
地上デジタル 地上デジタル	UHF帯の電波を使って行う放送で、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。 高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。(2006年3月現在) **本機では、ワンセグ放送(携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送)は受信できません。**	テレビ番組ガイド (EPG) 字幕放送 双方向サービス AAC
BSデジタル BS デジタル	放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。 ●BS日テレ、BS朝日、BS-i、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。 ●WOWOWなどの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。 ●本機では、BSアナログ放送はご覧いただけませんが、より多くのチャンネルをご覧いただけるBSデジタル放送をお楽しみいただけます。	テレビ番組ガイド (EPG) 字幕放送 双方向サービス AAC
110度CSデジタル CS デジタル	通信衛星(Communications Satellite)を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。 ●ほとんどの番組は有料です。 ●110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー! 110」への加入申し込みと契約が必要です。 「スカパー!110」には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあります。 **お問い合わせ先** 「スカパー! 110」カスタマーセンター **0570-012-110**(ナビダイヤル)(携帯電話・PHSのかたは、**045-339-0002**) 受付時間　10:00～20:00(年中無休) 「スカパー!110」公式ホームページ　**http://www.skyperfectv110.jp/**	テレビ番組ガイド (EPG) 字幕放送 双方向サービス AAC
地上アナログ 地上アナログ	従来からのVHF/UHF放送のことです。(2006年3月現在) 地上アナログ放送は、2011年7月に終了することが国の方針として決定されています。 地上アナログ放送終了後は、地上アナログ放送に関する機能は、お使いいただけません。 本機では、地上アナログ放送の電波のすきまで送られてくる文字放送(字幕)は、ご覧いただけません。	テレビ番組ガイド (EPG) ●BSデジタル放送受信の環境が必要です。(➜準備編 32)



BSアナログ放送のWOWOWはBSデジタル放送のチャンネルの一部として、「スカパー!」は「スカパー!110」として110度CSデジタル放送で、お楽しみいただけます。すでにご契約されていた場合は、再契約が必要になり、専用デコーダーなどは不要になります。(放送内容は異なりますので、再契約をされる場合は内容をご確認ください)

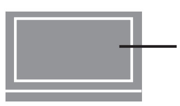
デジタル放送には、3種類の放送があります。

■テレビ放送



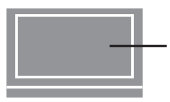
従来からのテレビ放送です。

■ラジオ放送　本機では録画できません



音楽など音声を主とした放送です。

■データ放送　本機では録画できません



お住まいの地域の生活情報やクイズなどの放送です。(天気予報やニュースなど)

ラジオ放送は、BSデジタルと110度CSデジタルの一部でのみ、実施されています。(2006年3月現在)

操作ガイドについて

本機のHDDでの基本的な操作のほか、困ったときの解決法をテレビ画面でご覧になれます。HDD/DVDの録画や再生中に見ることはできません。

☞**前の画面に戻るには**

[戻る] を押す

☞**画面を消すには**

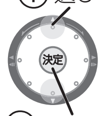
[ガイド?] を押す

1 停止中に [ガイド?] を押す

●操作先が「VHS」のときに [ガイド?] を押した場合は、操作先が自動的に「HDD」に切り換わります。

2 知りたい項目を選び、[決定] を押す

●この操作を繰り返して、知りたい情報を選んでください。



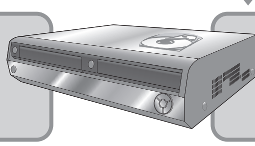
HDDに録画した番組について

本機では、録画モード“DR”で録画した番組を「ビデオDR」の番組、録画モード“XP”～“EP”、“FR”で録画した番組を「ビデオ」の番組として再生ナビ画面などでは別々に管理しています。

デジタル放送から録画 → 録画モード“DR” → 「ビデオDR」の番組

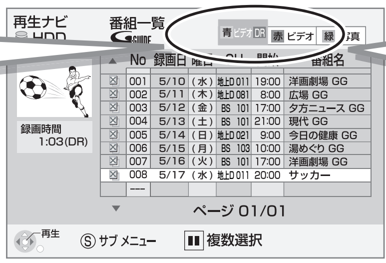
デジタル放送から録画 → 録画モード“XP”～“EP”、“FR” → 「ビデオ」の番組

アナログ放送や外部入力から録画 → 録画モード“XP”～“EP”、“FR” → 「ビデオ」の番組



録画された番組は、再生ナビ画面などでは「ビデオDR」と「ビデオ」の番組として別々に管理されます。

青 を押すと
青 ビデオDR | 赤 ビデオ | 緑 写真
「ビデオDR」の番組一覧へ



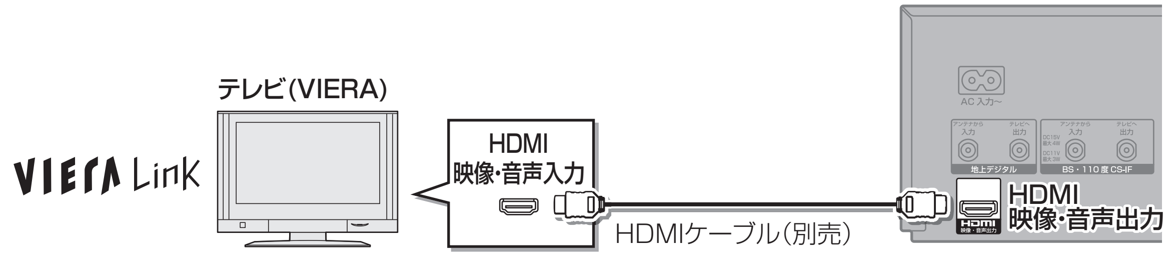
赤 を押すと
青 ビデオDR | 赤 ビデオ | 緑 写真
「ビデオ」の番組一覧へ

VIERA Link(HDAVI Control)を使う
（ビエラリンク）

VIERA Link(HDAVI Control)とは
VIERA Link(HDAVI Control)に対応した当社製テレビ(VIERA)やアンプとHDMIケーブルで接続することにより、テレビやアンプと連動操作が可能になる便利な機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

準備

① **本機とVIERA Link(HDAVI Control)に対応した当社製テレビ(VIERA)をHDMIケーブルで接続する(➜準備編 12)**
●当社製HDMIケーブルを推奨します。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
品番：RP-CDHG10(1.0 m)、RP-CDHG15(1.5 m)、RP-CDHG20(2.0 m)、RP-CDHG30(3.0 m)など



本機背面

アンプと接続する場合は
(➜準備編 16)

② **初期設定「HDMI機器制御」(➜117)を「入」にする**(お買い上げ時の設定は「入」です)
③ **接続した機器側(テレビなど)で、VIERA Link(HDAVI Control)が働くように設定する**
④ **すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を「HDMI入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する**(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)

●**初期設定**「クイックスタート」**(➜114)**を「入」にすると、本機の電源「入」時の連動操作を素早く行うことができます。

自動的にテレビの電源を入れ、入力を切り換える

●テレビの電源が待機状態のときのみ

下記ボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現われます。
●操作先が「VHS」になっているときで、HDD/DVD/SD動作中の場合は働きません。

本機電源入時	再生 ▶	予約確認	番組表	再生ナビ	Gコード	VHS設定 操作一覧	放送/入力切換 ※	サブメニュー S ※	ガイド ?
本機電源切時	再生 ▶	予約確認	番組表	再生ナビ	Gコード				

※操作先が「VHS」になっているときは、働きません。

自動的に本機の電源を切る

リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。
●VIERA Link(HDAVI Control)に対応したアンプとHDMIケーブルで接続している場合は、アンプの電源も切れます。

テレビのリモコンで本機を操作する

テレビの操作はテレビの取扱説明書をご覧ください。
●操作先が「VHS」になっているときは、下記の操作はできません。操作先を「HDD」、「DVD」または「SD」に切り換えてください。(➜22)

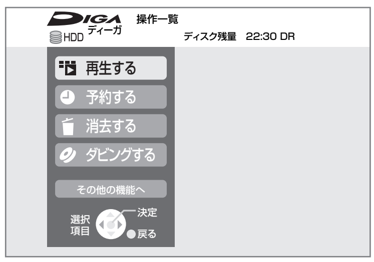
1 テレビのリモコンを使って、ディーガの「操作一覧」を表示させる

●本機の電源が「切」のときは、自動的に電源が入ります。

操作一覧画面について(➜24)

2 テレビのリモコンで操作したい項目を選び、[決定]を押す

テレビ画面



テレビのリモコンで操作できるボタンは
[▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブメニュー]と色ボタンで本機の操作ができます。
数字ボタンなどの上記以外のボタンを使って操作するときは、本機のリモコンを使用して操作してください。

再生中の番組を操作する

テレビのリモコンで早送り、停止などの操作ができます。
(再生操作パネル表示中のみ)
① 番組再生中に、[サブメニュー]を押す
② [▲][▼]で「再生操作パネル」を選び、[決定]を押す
●再生操作パネルが表示されます。
[▲]：一時停止　[▼]：停止　[◀]：早戻し　[▶]：早送り
[決定]：再生　[戻る]：操作パネルを消す

この再生操作パネルはサブメニューから表示できます。

その他の機能については、接続した機器(テレビなど)の取扱説明書をご覧ください。

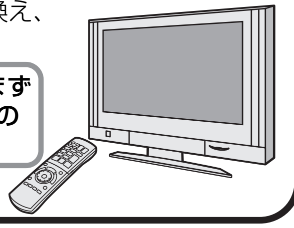
VIERA Link(HDAVI Control)を使わない場合は
初期設定「HDMI機器制御」(➜117)を「切」にする

各部のはたらき

リモコン(本書ではリモコンでの操作を中心に説明しています)

本機のリモコンでテレビの操作をする

テレビの電源の入/切やチャンネルの切り換え、音量の調節、入力切換ができます。



操作できるようにするには、まず準備編 36 ページでリモコンの設定を変更してください。

操作ガイドを表示する(➜18)

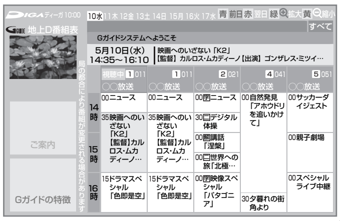
テレビ画面で本機の基本的な操作のほか、困ったときの解決法を見ることができます。

使いかたに迷ったときに見ると便利ね！

番組表（Gガイド）を表示する(➜30,46)

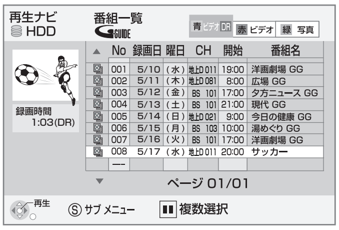
番組表から見たい番組や録画予約したい番組を選ぶことができます。

番組表から選ぶだけなのでカンタンね！



再生ナビ/ディスクメニューを表示する(➜56,57,63) HDD DVD SD

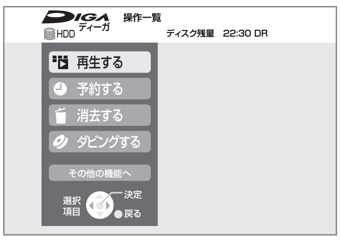
再生ナビ画面から、見たい番組や写真を探すことができます。



操作一覧を表示する(➜24) HDD DVD SD

操作一覧画面から本機の各機能の操作を行うことができます。

「その他の機能へ」を選ぶと、その他の操作一覧を表示します。



※VHSの場合は、VHS設定画面を表示します。(➜118)

サブメニューを表示する HDD DVD SD

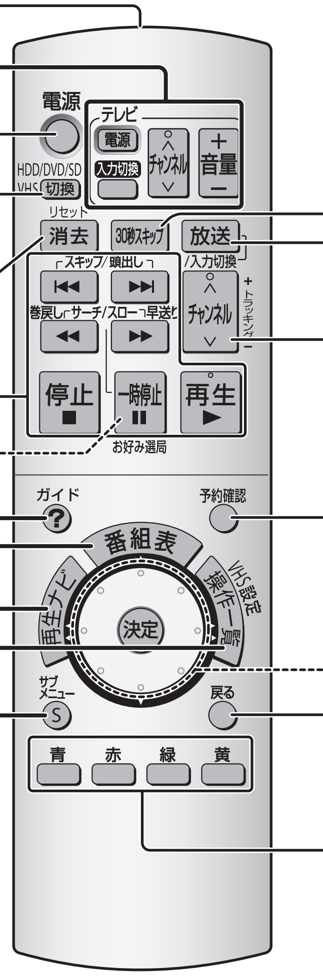
現在表示している画面での便利機能を表示します。

例えば再生ナビ画面表示中だと

- 番組消去
- 内容確認
- 番組編集
- チャプター一覧へ
- リスト表示
- 他の画像一覧へ

が表示されて編集などを行うことができます。

ふたを開けると



- リモコン送信部
- 本機の電源を切/入する
- HDD/DVD/SDカード/VHSを切り換える(➜22Ⓐ)
- HDD DVD SD 消去する(➜73)/VHS テープカウンターをリセットする(➜68)
- 録画や再生時の基本操作
- HDD DVD SD デジタル放送のお好み選局表を表示する(➜27)

市販のDVDビデオやDVDオーディオで使用するボタンについて

「リターン」は**[戻る]ボタン**、
「トップメニュー」は**[再生ナビ]ボタン**、
「メニュー」は**[サブメニュー]ボタン**
で操作します。
（詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください）

お知らせ

- **[録画●]**ボタンなどは、誤って押してしまうことを防ぐため、他のボタンよりも凹凸が少なくなっています。
- 本書では、ボタン名を**[再生▶]**などで示し、“ボタン”を省略しています。

HDD DVD 約30秒先へ飛び越す(➜59)

放送/入力を切り換える(➜26)

チャンネルを順に切り換える(➜27)/ VHS トラッキングや垂直同期を調整する(➜70)

予約一覧画面を表示する(➜54)

マルチジョグ(➜右記)

前の画面に戻る/ダビングを途中でやめる(➜90〜103)

HDD DVD SD 画面上の指示に応じて使用

HDD DVD ディスクの再生方法を設定する(➜61)

情報を表示する(➜28,59,68)

HDD DVD SD データ放送の画面を表示する(➜32)

HDD DVD SD デジタル放送の3けた番号を入力する(➜27)

入力した数値などを取り消す

録画モードを選ぶ(➜39)

録画する(➜39)

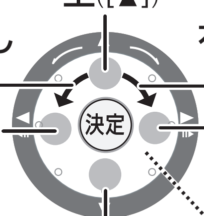
Gコード予約する(➜49)

音声を切り換える(➜71)

チャンネルや番組などを番号で選ぶ/番号を入力する

HDD DVD 時間を指定して飛び越す(➜59)

マルチジョグのはたらき

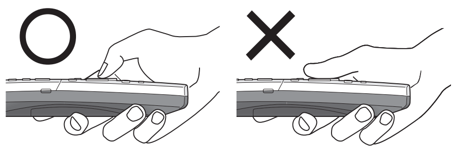


HDD DVD VHS
- コマ送り/コマ戻し：
  (一時停止中) 左右([◀❚❚] [❚❚▶])を押す
  [VHS はコマ送り([❚❚▶])のみ]
- 早送り/早戻し：
  (再生中) 右(送り)または左(戻し)に回す※
- スロー再生:
  (一時停止中) 右(送り)または左(戻し)に回す※

※1クリック回すごとに速度が速くなります。
速度を遅くすることはできません。

お願い

誤操作を避けるために、以下のことにお気をつけください。
- マルチジョグを回すときは、あまり強く押さないでください。
- (決定) を押すときは、周囲の回転部をいっしょに押さないように、指を立てて軽く押してください。(➜右図)



画面上での選択と決定について

選択方法は

上下左右([▲][▼][◀][▶])を押して、選ぶ
(左右に回して選ぶこともできます)

【例えば】

今選ばれている番組が黄色になっています。

上下左右([▲][▼][◀][▶])を押して、選びたい番組が黄色になるようにします。

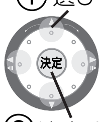
決定方法は

(決定)を押す
選ばれた項目が実行されます。

黄色になっている状態で…

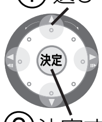
(決定) を押します

本書内で右記の記載があるときは、この操作を行ってください。



または

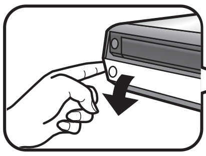
基本操作

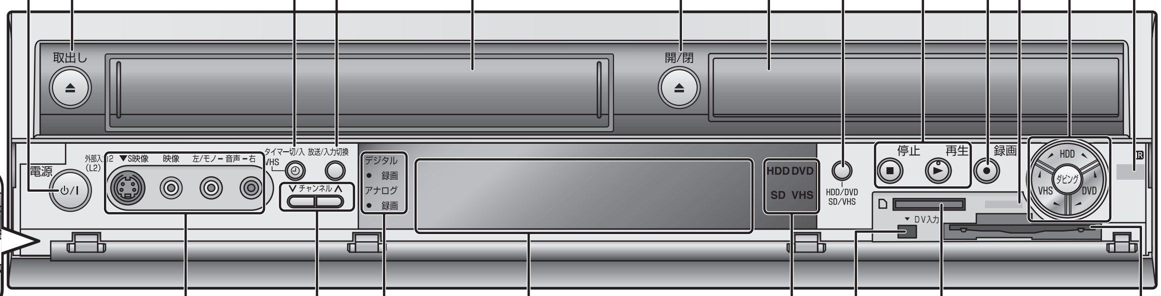


または **[▲][▼][◀][▶]で「○○○○」を選び、(決定) を押す**

各部のはたらき(つづき)

本体(本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています)





Ⓐ HDD/DVD/SDカード/VHSを切り換える

操作する対象(HDD、DVD、SDまたはVHS)に合わせて、リモコンと本機の操作モードを切り換えます。ボタンを押すごとに、本体のランプの点灯が切り換わり、ランプ点灯の約1秒後、点灯している先へ操作モードが切り換わります。(電源「切」のときは、切り換えることはできません)

本機を操作するときは、操作モードが操作する対象に合っているか確認してください。

HDDの操作をする前には

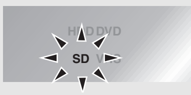
●必ず本体の[HDD] ランプを点灯させてください。

DVDの操作をする前には

●必ず本体の[DVD] ランプを点灯させてください。

SDの操作をする前には

●必ず本体の[SD] ランプを点灯させてください。



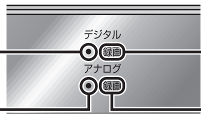
VHSの操作をする前には

●必ず本体の[VHS] ランプを点灯させてください。

1 **電源を切/入する**

節電のため、操作しない状態が続くと自動的に電源が切れます。工場出荷時は6時間に設定されています。
この時間は変更できます。(➜114)

2 **カセットを取り出す** .... (➜25)
3 **VHS予約録画時の基本操作** .... (➜53)
4 **放送/入力を切り換える** .... (➜26)
5 **ディスクトレイを開閉する** .... (➜25)
6 **再生時の基本操作** .... (➜56,65)
7 **録画する/録画終了時間を指定する** .... (➜39,42)
8 **ワンタッチダビングする** .... (➜91)
9 **チャンネルを順に切り換える** .... (➜27)
10 **放送受信/録画ランプ** .... (➜36)



Ⓑ **初期設定**「FLディマー」(➜116)が「常時 明」に設定されている場合、本機が動作状態になるとこの部分が青く点灯します。(お買い上げ時の設定は「常時 明」です)

本体表示窓

1 **SDメモリーカードが入っているとき**
2 **チャンネル** .... (➜26,39)
●13 メイン表示部に現在の受信チャンネル、およびVHSの予約録画チャンネル番号を表示。
3 **放送の種類** .... (➜26)
4 **VHSの録画モード** .... (➜35)
5 **CMカット録画時(VHSのみ)** .... (➜43)
6 **予約録画の待機中、実行中** .... (➜53)
7 **カセットが入っているとき**
●カセットが入っていないときに、録画·予約録画などの操作をすると点滅。
●ダビングするときに、ダビングができない原因になっていると点滅。
8 **ダビング時** .... (➜90～100)
9 **ディスクが入っているとき**
●ダビングするときに、ダビングができない原因になっていると点滅。
10 **電話回線使用時** .... (➜32)
11 **番組表(Gガイド)データなどの受信表示** .... (➜準備編 32)
12 **HDMI接続時** .... (➜準備編 12,16)
13 **メイン表示部**
●時刻　● 録画·再生経過時間　●HDD/ディスク、テープ残量
●VHSの予約録画開始の日付/時刻·終了時刻
●データの種類　● 番組や曲の番号(HDD/DVD再生時)
●各種メッセージ…など。
14 **HDD/DVDの録画モード** .... (➜35)
「DR」以外全点灯:FR(フレキシブルレコーディングモード)

テレビに本機の画面を出す

テレビに本機の画面が映るか確かめてください。
HDDやDVD、SD、VHSの映像や画像を見るときも、下記の操作を行ってください。

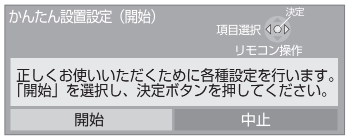
1 [入力切換]を数回押して、テレビの入力を本機との接続に合わせて切り換える(「ビデオ1」など)

- 例えば、テレビのビデオ入力1端子に接続しているときは、**「ビデオ1」**にするなど、本機を接続した入力に切り換えてください。
- **テレビ操作部**の[**入力切換**]を押してもテレビの入力が切り換わらないときは、本機のリモコンでテレビの操作ができるように設定するか、テレビに付属のリモコンで操作してください。(➔**準備編** 36)

2 [電源]を押して、本機の電源を入れる

右のような画面が出たときは

- お買い上げ後、はじめて電源を入れたときは、右のような画面が表示されます。別冊の取扱説明書 準備編をご覧になり、まず「かんたん設置設定」を行ってください。



本機HDD/DVD/SDの映像が出るか確かめる

1 [HDD/DVD/SD VHS 切換]を押して「HDD」、「DVD」または「SD」を選ぶ

- 本体のランプが点灯します。

本体前面
例) HDD を選択

2 [操作一覧]を押して、本機の画面が映っているか確かめる

例)手順**1**で「HDD」を選んだとき

- 上図のような操作一覧画面がテレビに表示されていれば、本機の画面が映っていることになります。(➔24"操作一覧画面について")
- またはDVDビデオソフトなどの再生などをしてみてください。(➔56)

本機VHSの映像が出るか確かめる

1 [HDD/DVD/SD VHS 切換]を押して「VHS」を選ぶ

- 本体のランプが点灯します。

本体前面

2 VHSの再生をしてみて(➔65)**、本機の画面が映っているか確かめる**

お知らせ

- チャンネル設定後に接続し直したときなどは、右記の操作を行って、テレビに本機の画面が映るか確かめてください。
- 右記の操作を行っても本機の画面が映らない場合は、もう一度、接続が正しくできているか確かめてください。

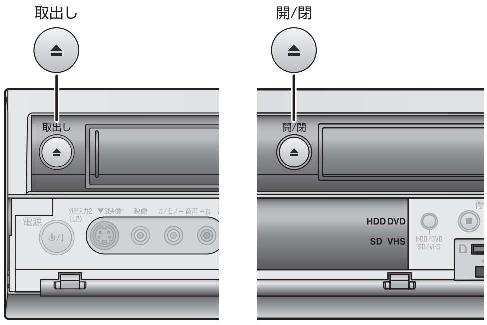
操作一覧画面を消すには

[戻る]を押す

操作一覧画面について(HDD/DVD/SDのみ)

操作一覧画面から本機の各機能の操作を行うことができます。

上下([▲][▼])を押す
または
左右に回す



前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して「HDD」、「DVD」または「SD」を選ぶ

●本体のランプが点灯します。

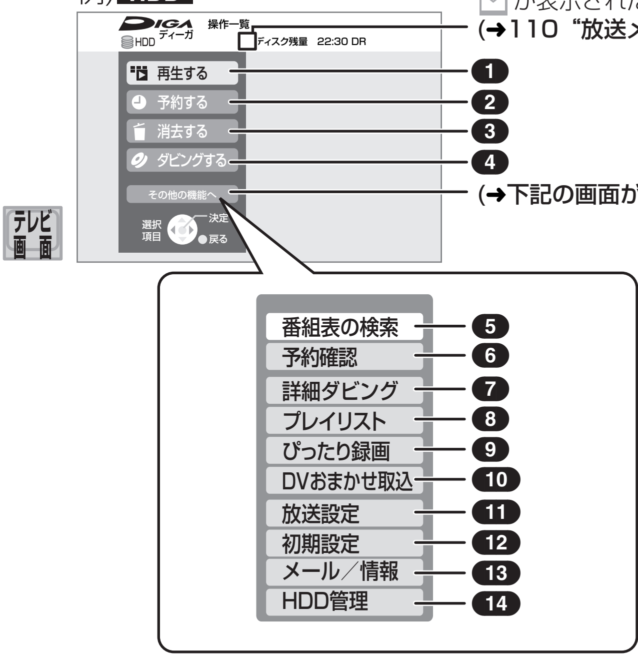
例) HDD を選択

本体前面

2 停止中に VHS設定 操作一覧 を押す

●操作一覧画面が表示されます。
●ディスクによって、選択できる項目は異なります。

例) HDD



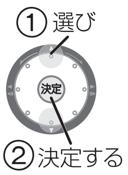
✉ が表示されたときは(➜110 "放送メール" へ)

(➜下記の画面が表示されます)

1 再生する※1(➜57"再生ナビから再生する")
2 予約する [➜46"番組表(Gガイド)を使って予約録画する"]
3 消去する(➜73"消去ナビを使って消去する")
4 ダビングする(➜90"おまかせダビング")
5 番組表の検索(➜48"検索機能を使う")
6 予約確認(➜54"予約内容を確認する・取り消す・修正する")
7 詳細ダビング
(➜94"ダビングリストを作成してダビングする",
➜96"SDカードのMPEG2動画をダビングする",
➜98"録画時間を指定してダビングする")
8 プレイリスト※2(➜77"プレイリストの作成・再生・編集")
9 ぴったり録画※2(➜42"ディスクの残量に合わせて録画する")
10 DVおまかせ取込※2
(➜104"DVおまかせ取込機能を使ってダビングする")
11 放送設定 [➜111"放送設定を変える(放送設定一覧)"]
12 初期設定 [➜114"本機の設定を変える(初期設定一覧)"]
13 メール/情報 [➜110"いろいろな情報を見る(メール/情報)"]
14 HDD管理※3
(➜106"フォーマット/ディスク名入力/ディスクプロテクト/全番組消去")

※1 DVD-V DVD-A CD VCD のときは「トップメニュー」や「メニュー」が表示されます。
※2 SD のときは「写真(JPEG) 一括取込」(➜101)が表示されます。
※3 ディスクのときは「DVD管理」、SDのときは「カード管理」が表示されます。

3 操作したい項目を選び、決定を押す



ディスク・カセット・SDカードを入れる

自動ドライブ選択機能

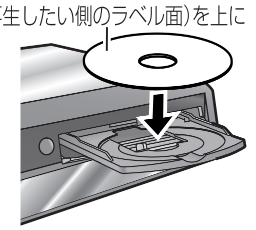
- RAM [誤消去防止(➜107 "カートリッジ付きDVD-RAMやカードの場合")を設定したディスクのみ] DVD-V DVD-A CD VCD
  停止中またはHDD、VHSに録画中、ディスクを入れると自動的に操作先が「DVD」に切り換わります。ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めると自動的に「HDD」が選ばれます。
- SD 停止中、SDカードをスロットに入れると、「SDカードの操作」画面が表示されます。そのとき項目を選び **[決定]** を押すと、操作先が「SD」に切り換わります。**(詳しくは➜63,101)** SDカードを取り出すと、自動的に「HDD」が選ばれます。
- VHS 停止中またはHDD/DVDに録画中、誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが"OFF"になっているカセット **(➜34)** を入れると、自動的に操作先が「VHS」に切り換わります。ただし、操作一覧画面などが表示されているときは、自動的に操作先が切り換わらない場合があります。

ディスクを入れる

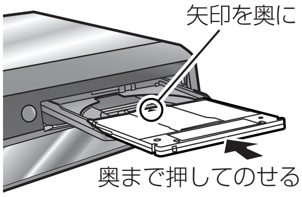
本体の [開/閉 ⏏] を押してトレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度 **[開/閉 ⏏]** を押すと、トレイが閉まります。
- 電源が切れていても取り出せます。ただし、ディスクを取り出した場合は電源「入」になります。

カートリッジなし



カートリッジあり



☞ **フォーマット確認画面が表示されたとき(➜106)**

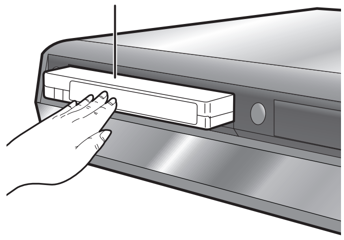
お知らせ

- 8 cm DVD-RAMや8 cm DVD-Rの場合、カートリッジからディスクを取り出し、みぞに合わせてディスクをトレイにのせてください。
- 両面ディスクの場合、両面にまたがって記録または再生することはできません。もう一方の面を使用するときは、いったんディスクを取り出し、裏返してください。
- ディスクの読み込み中に、操作先を切り換えることはできません。

カセットを入れる

テープが見える面を上にして、ゆっくり入れる

- 自動的に電源が入ります。



☞ **カセットを取り出すには**

【本体】 [取出し ⏏] **を押す**

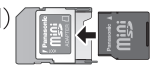
【リモコン】 「VHS」選択中、[停止 ■] を約3秒以上押す

- VHS側が録画中、予約録画の待機中または実行中、VHSとのダビング中のときなどは働きません。**(➜39,53)**

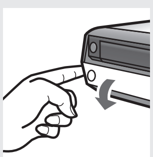
SDカードを入れる

本体表示窓の"SD"(➜22)点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。このとき、電源を切ったり、カードを取り出したりすると、本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

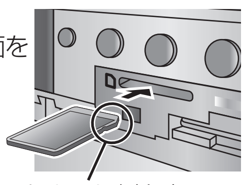
- miniSD™カードは、必ず専用のminiSD™アダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例)


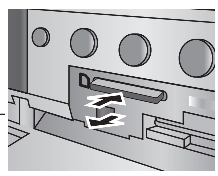
❶ 本体前面のとびらを開ける



❷ 入れかた　カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む

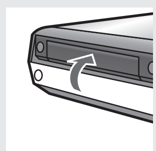


出しかた　カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す



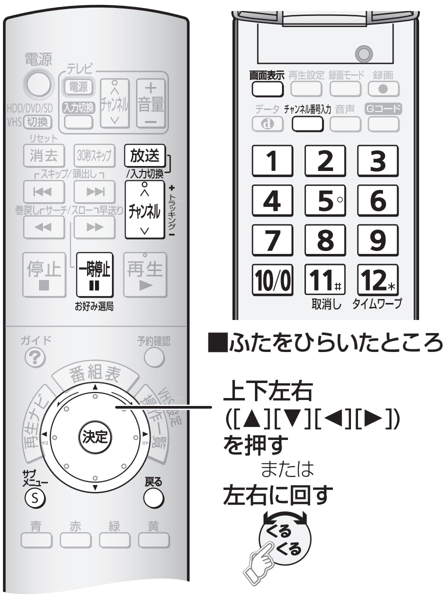
- カードを出し入れしたあとは、必ず本体前面のとびらを閉じてください。

❸ 本体前面のとびらを閉じる



テレビ放送を見る

準備
●テレビに本機の画面を出す。(➜23)



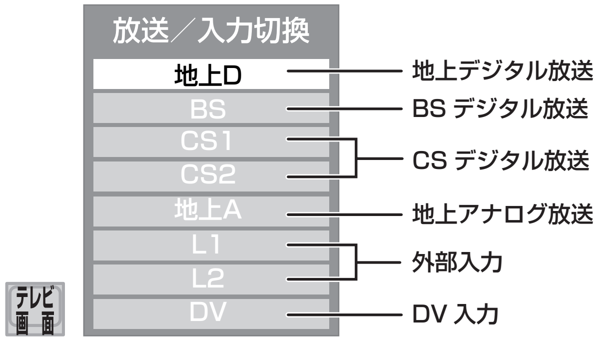
☞前の画面に戻るには
戻る を押す

☞暗証番号の入力画面が表示されたら
(➜113)

☞番組購入の画面が表示されたら
(➜32)

1 [放送/入力切換] を押して、放送を選ぶ

操作先がHDD/DVD/SDの場合は:
●押すごとに、放送が切り換わります。([▲][▼]では選べません)



●表示が消えると、選ばれた放送に切り換わります。
●「かんたん設置設定」の「地上デジタル放送チャンネルの設定」(➜準備編 24)を「いいえ」にした場合、「地上D」は選択できません。

☞録画中に放送を切り換えるには(➜40)

☞受信しない放送をとばして切り換えるには

放送設定「スキップ設定」で「スキップする」を選ぶ(➜111)
●地上デジタル放送は設定できません。

操作先がVHSの場合は:
●押すごとに、下記のように切り換わります。

地上A(アナログ) ➜ L1(外部入力) ➜ L2(外部入力) ➜ (地上A(アナログ)に戻る)

2 チャンネルを選ぶ

●右ページ"テレビ放送の選局方法"の中から、選局方法を選んで行ってください。

操作先が「VHS」のときは、
地上デジタル・BS デジタル・110 度 CS
デジタル放送を見ることはできません。

リモコンのボタンに割り当てられた放送局(2006年3月現在)
●地上アナログ放送(➜準備編 50)
●地上デジタル放送(➜準備編 52)

● BSデジタル放送

番号	チャンネル	放送局名
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHKハイビジョン
4	141	BS日テレ
5	151	BS朝日
6	161	BS-i
7	171	BSジャパン
8	181	BSフジ
9	191	WOWOW
10	200	スター·チャンネル
11	700	NHKデータ1
12	701	NHKデータ2

● CS1(スカパー!110)

番号	チャンネル	放送局名
1	001	スカパー！110メイト
2	990	生活スタイルTV
3	025	BBC JAPAN
4	991	SHOP & TV5
5	055	ep055チャンネル
6	027	
7		
8		
9	091	Act On TV
10	888	スターチャンネルHV
11		
12	092	Bloomberg

●CS2(スカパー!110)

番号	チャンネル	放送局名
1	100	スカパー！110プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	123	CS映画
4	147	ベルーナお買い物テレビ
5	250	アクティブ！スポーツ
6	160	C-TBSウェルカム
7	177	ショップチャンネル
8	258	フジテレビ739
9	194	AQステーション
10	101	宝塚プロモチャンネル
11	290	宝塚スカイ·ステージ
12	232	スター·クラシック

●放送局名やチャンネル番号は、お住まいの地域により異なる場合があります。
●放送局名やチャンネル番号は、実際の表示と異なる場合があります。

テレビ放送の選局方法

数字ボタンで選局する

(地上アナログ)(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

[1] ～ [12] (タイムワープ) を押して、チャンネルを選ぶ

☞リモコンのボタンに割り当てられた放送局(➜左ページ)

☞それぞれのボタンで選べる放送局を変更するには(➜準備編 42,44,46)

順送りで選局する

(地上アナログ)(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

[チャンネル ∧ ∨] を押す

☞ 順送りで選べる放送局を変更するには

(地上アナログ)(➜準備編 42)

(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)(➜113"選局対象")

3けたチャンネル番号を入力して選局する

(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

1 [チャンネル番号入力] を押す

- 押すごとに選局対象の放送が切り換わります。CS1とCS2は"CS"で選んでください。

2 [1] ～ [10/0] を押して、チャンネルを入力する

(➜左ページ"リモコンのボタンに割り当てられた放送局")

例) 103の場合…[1]→[10/0]→[3]

- 入力画面が表示されている間に入力してください。

お好み選局表から選局する

(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

テレビ画面に表示される放送局のリストから選局できます

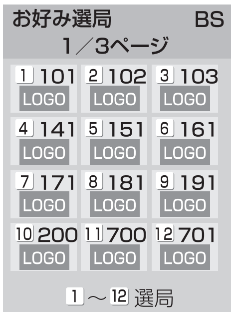
1 停止中に、[一時停止 ❚❚ (お好み選局)] を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で放送局を選び、(決定) を押す

- 「お好み選局」画面の2、3ページにも割り当てがあります。(BSデジタル放送)
[お好み選局/一時停止❚❚]を押すごとに、ページが切り換わります。

☞お好み選局表で選べる放送局を変更するには(➜29)

テレビ画面



枝番組の異なる放送を選局するには

(地上デジタル)

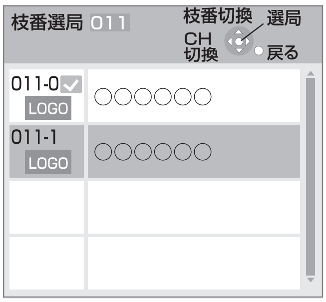
枝番号とは、地上デジタル放送の同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に3けたチャンネル番号に追加される番号のことです。(例:「011-0」、「011-1」、「011-2」)
3けたチャンネル番号を入力して選局する**(➜上記)**と下記の画面でチェックマークの入った放送局が選局されます。以下の手順で、違う枝番号の放送局を選局することができます。

1 地上デジタル放送受信中に、[サブメニュー (S)] を押す

2 [▲][▼]で「デジタル放送メニュー」を選び、(決定) を押す

3 [▲][▼]で「枝番選局」を選び、(決定) を押す

4 [▲][▼]で放送局を選び、(決定) を押す



☞3けたチャンネル番号入力時に選択される放送局を変更するには

上記手順4で、[決定]を押す前に[チャンネル番号入力]を押す

- 選んだ放送局にチェックマークが付き、選局時にその放送局が選ばれます。

地上デジタル放送について

- **3けたチャンネル番号**

デジタル技術により、1つの物理チャンネルの中に、複数のチャンネルをのせることができます。例えば、○○放送は、物理チャンネルの25chを使って、「101」～「103」の3つの放送を提供します。この「101」、「102」、「103」を3けたチャンネル番号と呼びます。この内、下位1けたが「1」の放送が、その放送局の代表チャンネルと呼ばれます。(この場合「101」)
代表チャンネル以外の選局は、**チャンネル[∧][∨]**や3けた番号入力により、選局できます。**(➜上記)**

- **リモコンのチャンネルボタン**

テレビ放送の場合、3けたチャンネル番号の上位2けた(上記の場合は「10」)は、リモコンの同じ番号のボタンに割り当てられます。(本機は基本的に自動でこの割り当てを行います)
すなわち、この場合であれば**[10/0]**を押すと、3けたチャンネル番号の「101」(その放送局の代表チャンネル)が選局されるように設定されます。この割り当てはお住まいの地域により異なります。**(➜準備編 52)**

テレビ放送を見る(つづき)

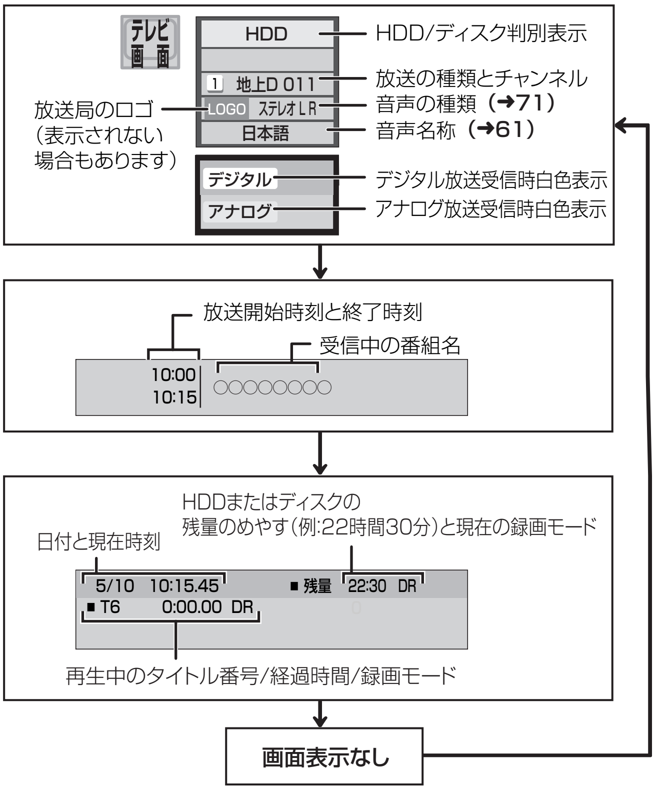
番組視聴中の便利な機能

見ている番組の情報を表示する

画面表示 を押す

●押すごとに切り換わります。

例)操作先が「HDD」で、地上デジタル放送を見ているとき



●残量表示は記録する入力信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。

●操作先が「VHS」のときは、見ている番組の番組名などを表示することはできません。

(画面表示について➔65)

音声の切り換えについては(➔71)

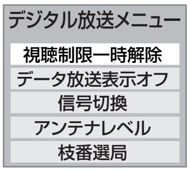
(地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)

番組視聴中に

1 [サブメニュー S] を押す

2 [▲][▼]で「デジタル放送メニュー」を選び、[決定] を押す

例）

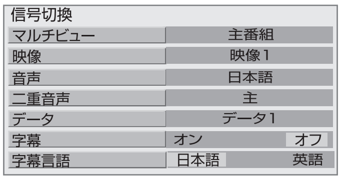


3 [▲][▼]で設定項目を選び、[決定] を押す（➜右記へ）

- ●視聴している番組により表示される項目が変わります。
- ●録画中は表示されません。

☞画面を消すには

[戻る] を押す

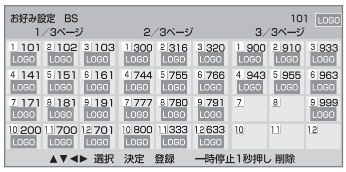
視聴制限一時解除	暗証番号(➜113)を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示オフ	データ放送の表示を終了します。
信号切換	デジタル放送の番組で、映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。  **[▲][▼]で設定する項目を選び、[◀][▶]で設定する** **マルチビュー**：マルチビュー放送の番組を選択 **映像**：映像の種類を選択 **音声**：音声の種類を選択 **二重音声**：二重放送の音声を選択 **データ**：データを選択 **字幕**：字幕の表示 / 非表示 **字幕言語**：字幕の言語を選択 ●番組により、選べる項目が変わります。 ●マルチビュー放送では、1つの放送の中に複数の映像があります。ただし、2006年3月現在、マルチビュー対応の放送は、行われておりません。 ●1つしかないときは切り換えできません。 ● HDD RAM -R(VR) 録画モード“XP”～“EP”、“FR”で録画した場合、設定した内容(「データ」を除く)のみがそのまま録画されます。再生時にはその設定内容で再生されます。
アンテナレベル	アンテナの受信レベルを表示します。
枝番選局	地上デジタル放送の枝番号を選びます。(➜27)

視聴

テレビ放送を見る（つづき）

お好み選局表で選べる放送局を変更するには

1 登録したい放送局を受信中に [一時停止 ❚❚ お好み選局] を3秒以上押して、「お好み設定」画面を表示させる



2 [▲][▼][◀][▶]で設定したい位置を選び、[決定] を押す

- ●受信中のチャンネルが、「お好み選局」の設定した位置に登録されます。
- ●すでに登録されている位置に放送局を登録すると、以前の放送局は消去されます。

☞設定したチャンネルを削除するには

削除したい放送局を選び、[お好み選局/一時停止❚❚]を1秒以上押す

番組表(Gガイド)から選んで見る

新聞のテレビ欄のような一覧表から見たい番組を選ぶことができます。
この機能を使うにはまず、**番組表(Gガイド)の受信が必要です。**

地上アナログ放送の番組表(Gガイド)を受信する場合、BSデジタル放送を受信できる衛星アンテナの接続が必要です。

準備

- 番組表(Gガイド)を受信する。(➜**準備編** 32)
- テレビに本機の画面を出す。(➜23)

■ふたをひらいたところ

上下左右
([▲][▼][◀][▶])
を押す
または
左右に回す

☞前の画面に戻るには

戻る を押す

お知らせ

- デジタル放送が正しく受信できていない場合は、アンテナ接続(➜**準備編** 6)やアンテナ設定(➜**準備編** 34)を確認してください。

番組表(Gガイド)について

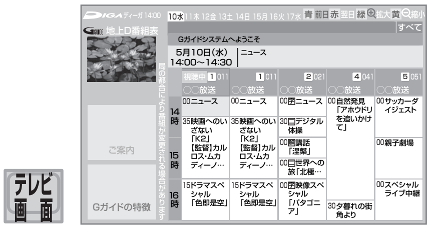
(地上アナログ)

- Gガイド地域一覧表(➜**準備編** 54)に登録されていない放送局は、放送を見ることはできても番組表(Gガイド)には表示されません。

(地上デジタル)

- 番組データが表示されていない場合は、その局を選んで、[決定]を押すと表示されます。(数分かかることもあります)
- 地上デジタル放送のGガイドのロゴと広告は、BSデジタル放送が受信可能であれば表示されます。

1 番組表 を押す



- 操作先が「VHS」のときに[番組表]を押した場合は、画面がHDD/DVD/SD側に切り換わり、HDD/DVD/SD側で受信している放送の番組表(Gガイド)が表示されます。

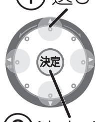
☞別の放送の番組表(Gガイド)を見たいとき

放送/入力切換 を押す

- 押すごとに、下記のように番組表(Gガイド)が切り換わります。

地上A(アナログ) → 地上D(デジタル) → BS → CS1 → CS2 → 地上A(アナログ)

2 見たい番組を選び、決定 を押す



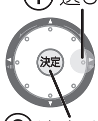
①選び
②決定する

アイコン表示については (➜136)

(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

- **[チャンネル番号入力]**を押して、3けたのチャンネル番号を入力すると、そのチャンネルを含む番組表(Gガイド)を表示させることができます。

3 「今すぐ見る」を選び、決定 を押す



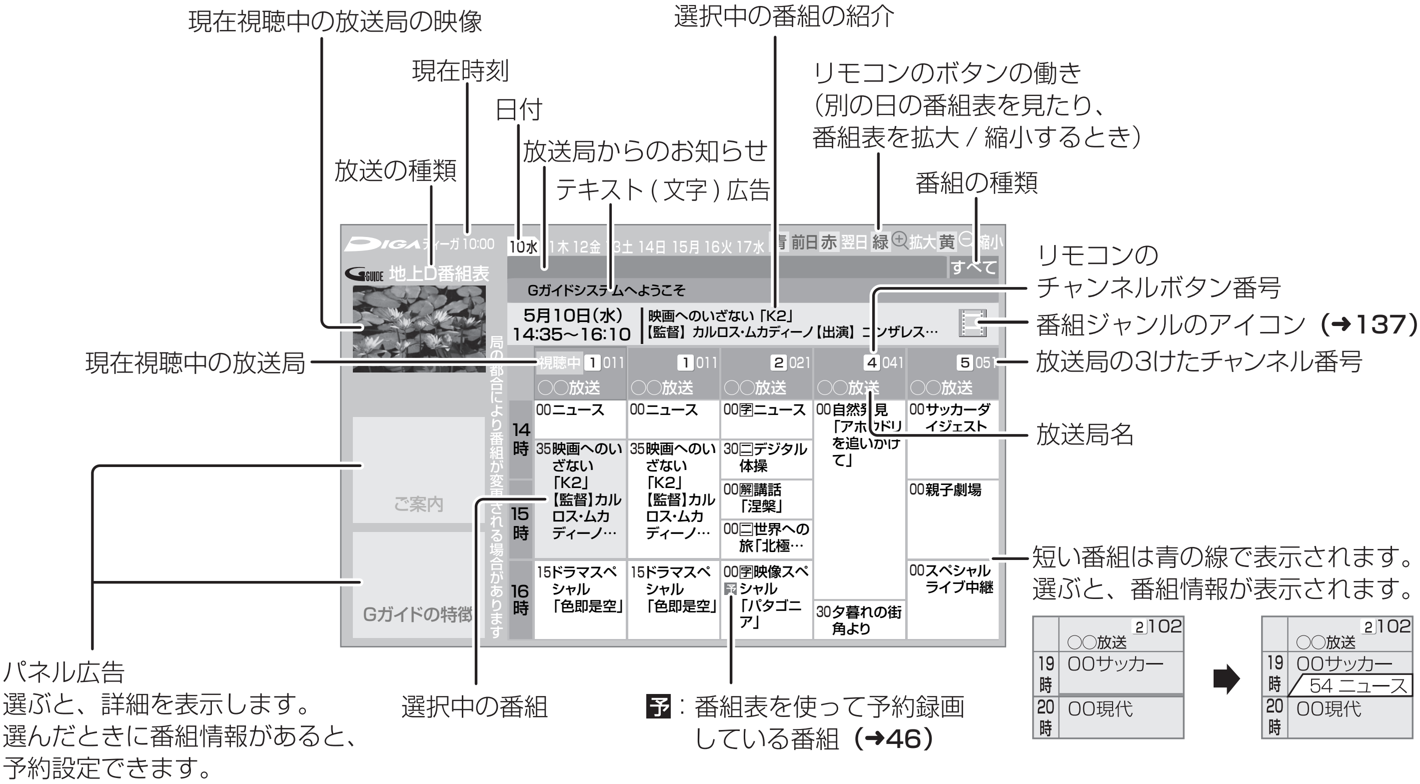
①選び
②決定する

VHS操作中に[番組表]を押したとき

[番組表]を押すと、操作先がHDD/DVD/SD側に切り換わります。
VHSの操作をしたい場合は、**[番組表]**を押して番組表(Gガイド)の表示を消したあと、**[HDD/DVD/SD/VHS切換]**を押して、「VHS」を選んでください。

本体前面

番組表(Gガイド)の見かた



- ●Gガイドのロゴと広告は表示されない場合があります。
- ●機器ごとに広告のデータ取得タイミングが異なるため、表示される内容が異なることがあります。
- ●現在視聴中の放送局は、一番左に追加表示されます。そのため、画面内に同じ放送局が2つ表示される場合があります。

番組表(Gガイド)での便利機能

別の日の番組表(Gガイド)を見るには	翌日:[赤]を押す　前日:[青]を押す
1画面に表示するチャンネル数を変更する	拡大:[緑]を押す　縮小:[黄]を押す ●押すごとに、右記のように表示チャンネル数が切り換わります。 3チャンネル表示 $\underset{\text{拡大}}{\overset{\text{縮小}}{\rightleftarrows}}$ 5チャンネル表示 $\underset{\text{拡大}}{\overset{\text{縮小}}{\rightleftarrows}}$ 7チャンネル表示 $\underset{\text{拡大}}{\overset{\text{縮小}}{\rightleftarrows}}$ 9チャンネル表示

番組表(Gガイド)表示中に

1 サブメニュー(S)**を押す**

2 [▲][▼]で項目を選ぶ

(➜右記へ)

●表示される内容は放送によって異なります。

視聴制限一時解除	(デジタル放送の番組表のみ) **[決定]を押す** ●暗証番号(➜113)を入力して視聴制限を一時解除します。
番組データ取得	(地上デジタル放送の番組表のみ) **[決定]を押す** ●選択した局の番組情報を受信します。
表示内容	番組表(Gガイド)で表示させる内容を変更します。 **[◀][▶]で表示させたい放送の種類を選び、[決定]を押す** **お好み**: リモコンの[1]〜[12＊]に設定されているチャンネルとデジタル放送のチャンネルで設定した13〜36までのチャンネル **テレビ**: テレビ放送(映像+音声)のチャンネルのみの番組表(Gガイド) **ラジオ**: ラジオ放送(音声のみ)の番組表(Gガイド) **データ**: データ放送の番組表(Gガイド) **すべて**: 受信できるすべての番組表(Gガイド)
パネル広告へ	**[決定]を押す** ●パネル広告欄に移動します。
テキスト広告へ	**[決定]を押す** ●テキスト広告欄に移動します。
番組表へ	(パネル広告、テキスト広告選択中のみ) **[決定]を押す** ●元の番組表(Gガイド)の表示に戻します。
放送切換	別の放送の番組表(Gガイド)を表示させます。 **[◀][▶]で表示させたい放送を選び、[決定]を押す**

データ放送/有料番組(ペイ・パー・ビュー)を見る

データ放送は

(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

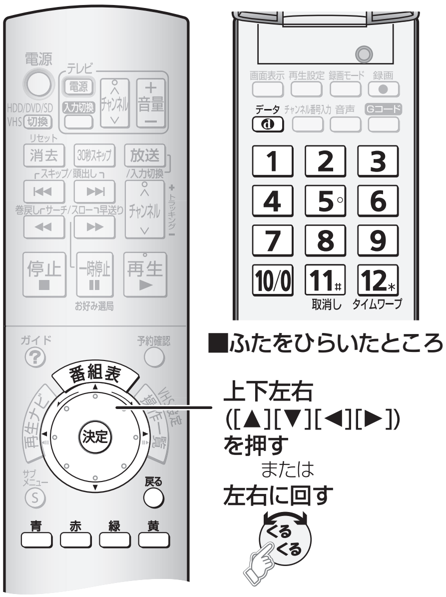
データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。
●本機では、データ放送を録画することはできません。データ放送が含まれるテレビ番組の場合、録画が始まるとデータ画面が消えます。

有料番組は

(BS デジタル)(CS デジタル)

衛星デジタル放送には、無料と有料のものがあります。
●有料番組を見るには、放送会社との契約と電話回線の接続が必要です。
●ペイ・パー・ビュー(番組単位で購入)を視聴・録画するには、右記の購入操作が必要です。

準備
●電話回線を接続する。(➜準備編 21)
(データ放送の場合、サービスの種類によっては電話回線を使う場合があります)
●テレビに本機の画面を出す。(➜23)



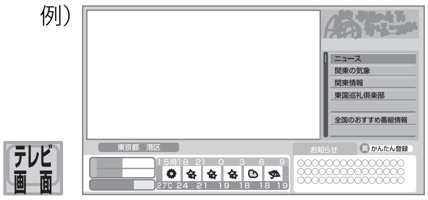
☞前の画面に戻るには
戻る を押す

データ放送を見る

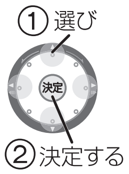
1 データ放送のある番組を選局し、データ(d)を押す

●情報が多いときは、表示が出るまでに時間がかかる場合があります。

例)



2 見たい項目選び、(決定)を押す



●番組により、[青]、[赤]、[緑]、[黄]や数字ボタンを使った選択画面が表示されますので、その指示に従ってください。
●お好みページへの登録の案内が出たときは、画面の指示に従ってください。

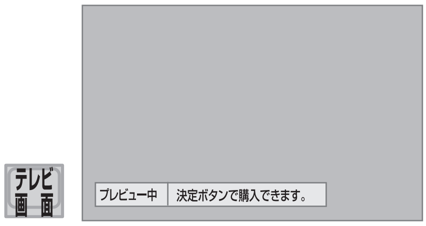
☞お好みページを使うには(➜110)

☞データ画面を消すには
データ(d)を押す
●データ画面が消えない場合は、「データ放送表示オフ」を行ってください。(➜29)

有料番組を見る

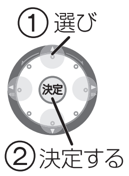
1 ペイ・パー・ビューの番組を選局し、(決定)を押す

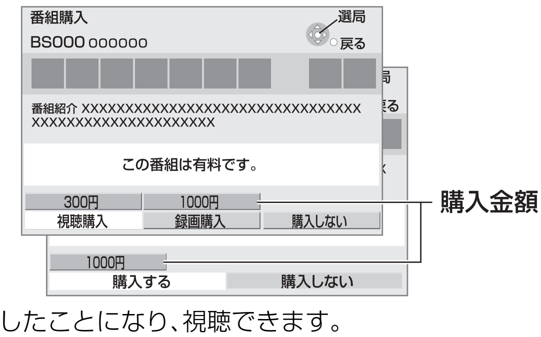
●番組によってはプレビュー(有料番組の購入前に、わずかな時間だけ視聴できるサービス)画面が表示されます。



2 項目を選び、(決定)を押す

●番組により、選べる項目が変わります。





購入する　:番組を購入したことになり、視聴できます。
「録画禁止」の信号のある番組は録画できません。
購入しない:番組を購入しません。
視聴購入　:料金を払うと視聴できますが、「録画禁止」の信号のある番組は録画できません。
録画購入　:料金を払うと視聴と録画ができます。

☞購入した有料番組の確認/送信結果を確認するには(➜110)

データ放送/有料番組の確認をする

データ放送や有料番組の確認は、番組表(Gガイド)から確認することができます。

1 [番組表] を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で番組を選び、[決定] を押す

●アイコンが表示されない番組もあります。

データ放送では
+d ラジオ　+d テレビ　d テレビ　d ラジオ
有料放送では
有料
が表示されます。
(➜136)

データ放送画面での文字入力

データ放送を表示中、画面に説明された操作をしたときに、下記のような文字入力画面(キーボード表示)が表示される場合があります。

例)入力モードが「かな」のとき

[▲][▼][◀][▶] で入力する文字を選び、[決定] を押す

☞画面上のキーボードの表示位置を移動させたいときは

[緑](キーボード移動)を押す

●押すごとに移動します。

☞文字の種類を選ぶには

[赤](文字切換)を押す

●押すごとに右記のように切り換わります。
●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。
●英数のみが入力できる項目のときは、「英数」に固定されます。

かな → カナ → 英数 →(かなへ戻る)

☞文字を確定するには

[黄](決定)を押す

☞ひらがなを漢字変換するには

[青](変換)を押して[▲][▼]で変換候補を選び、[決定] を押す

☞記号を入力するには

① “きごう”と入力する

② [青](変換)を押す

●画面上のキーボードが消え、記号を表示します。
●他の記号に変換したいときは、[▼]を押し、候補の中から選び、[**決定**]を押します。

お知らせ

●電話回線での通信中は、本体表示窓に“TEL”が点灯します。このときは、電源ボタン以外が動作しなくなることがありますが、故障ではありません。また、同じ回線に接続された電話機などが使えません。“TEL”が消えるまでしばらくお待ちください。
●電話回線の使用時には、回線接続料がかかります。

有料番組について

●「録画禁止」の番組は、著作権が保護されているため、本機へ録画することはできません。
●購入した番組の視聴中にも、他のチャンネルに切り換えることができます。ただし、購入操作が終了していると、実際には番組を視聴しなくても料金が請求されます。
● 一度視聴購入をした番組は、録画購入できません。

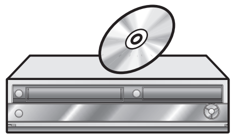
録画について

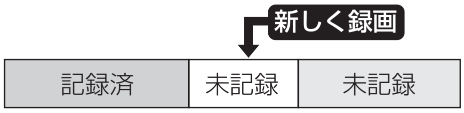
録画するディスクについて

HDD やディスクに録画すると…

録画部分を気にする必要はありません

ディスクに残量があるかぎり、自動的に未記録の部分に記録を行います。





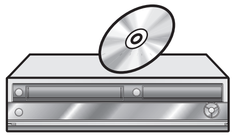
自動的に録画してくれます。

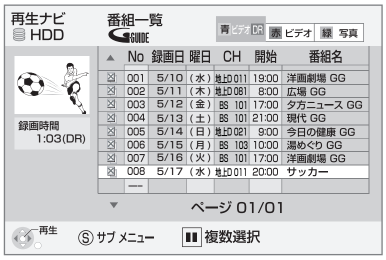
- 録画前に、早送りや巻戻しで記録するところを探す必要はありません。
- 残量がない場合は、番組を消去してください。(➜73)

見たい番組もすぐに見つけられます

再生ナビ画面から、見たい番組を選んで再生できます。

[再生ナビ] を押してください。(➜57)





一覧表からすぐに見つけられます。

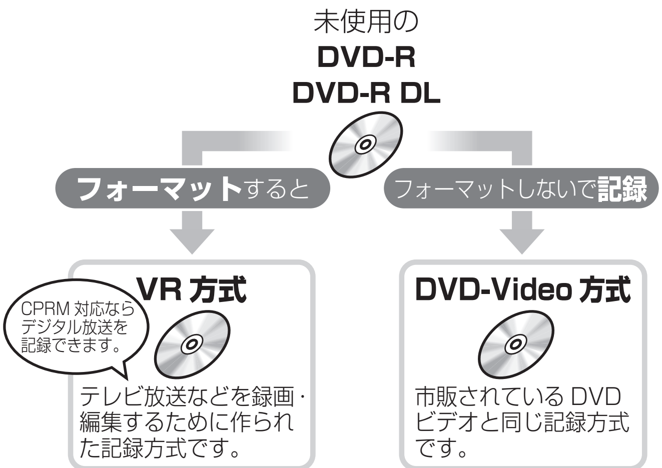
- 早送りや巻戻しで再生したい番組を探す必要はありません。
- **[再生 ▶] を押して再生すると、最後に録画した番組から再生されます。(➜56)**

- **1 枚のディスクに記録できる番組数**

HDD 「ビデオDR」(録画モード“DR”で録画):**最大500番組**
「ビデオ」(録画モード“XP”～“EP”、“FR”で録画):**最大500番組**
(長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます)
RAM **-R(VR)** **-R(V)** **-R DL(VR)** **-R DL(V)** **-RW(V)** **最大99番組**
+R **最大49番組**

DVD-R、DVD-R DLの記録方式とフォーマットについて

- VR方式で記録したい場合は、記録前にフォーマットを行ってください。(➜107)
- 本機では、DVD-R、DVD-R DLをフォーマットせずに使用した場合、DVD-Video方式で記録します。



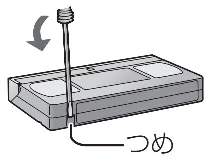
いったん記録またはフォーマットすると、あとから記録方式を変更することはできません。(記録方式について➜9)

録画するカセットについて

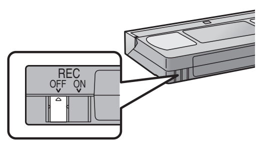
VHS、S-VHS、D-VHS マークの付いたカセットが使えます。

録画済みの番組を誤って消さないために

- 誤消去防止用の「つめ」を折ってください。
- 再び録画できるようにするには、折ったところにセロハンテープを二重にはってください。(「つめ」の代わりになります)



- 誤消去防止つまみタイプのカセットは、つまみをスライドさせて“OFF”にしてください。
“ON”に戻すと、再び録画できます。
カセットの説明書もよくご覧ください。



録画の画質と時間について(録画モード)

HDD、DVDに録画するとき

DR(ダイレクトレコーディング)

デジタル放送をデジタル信号のままHDDに録画します。
- ハイビジョン画質やサラウンド音声などがそのままの状態で記録されます。(データ放送は録画されません)
- 複数の映像や音声を含む番組を録画した場合、再生時に映像や音声を切り換えることができます。

XP(高画質録画)～EP(長時間録画)

録画モードを高画質にするほど、録画番組の画質は向上しますが、ディスクの容量を多く使い、記録できる時間は少なくなります。
- デジタル放送の番組を録画モード“XP”～“EP”でHDDに録画したい場合は、**初期設定**「デジタル放送録画モードDR固定」(**➜115**)を「切」にしてください。

FR(フレキシブルレコーディング)

ディスクの残量に合わせて、XP～EP(8H)の間で画質を自動調整します。HDD録画時に選ぶと、4.7 GBのディスクにぴったりダビングができるように調整します。
- ぴったり録画(**➜42**)や予約録画、ダビング時にのみ設定できます。
- ディスクの残量によっては、予約した番組を最後まで録画できない場合があります。
- 予約録画時に、デジタル放送の番組を録画モード“FR”でHDDに録画したい場合は、**初期設定**「デジタル放送録画モードDR固定」(**➜115**)を「切」にしてください。

XP ～ EP がすべて表示されます。

ディスク / 録画モード			内蔵HDD (250 GB)	DVD-RAM 片面(4.7 GB)	DVD-RAM 両面※1(9.4 GB)	DVD-R/DVD-RW/+R (4.7 GB)	DVD-R DL (片面2層)※2 (8.5 GB)
DR※3	BSデジタル	HD放送※4 (<24 Mbps)	約22時間30分				
		SD放送※4 (<12 Mbps)	約45時間				
	地上デジタル	HD放送※4 (<17 Mbps)	約31時間45分				
XP(高画質)			約55時間	約1時間	約2時間	約1時間	約1時間45分
SP(標準)			約111時間	約2時間	約4時間	約2時間	約3時間35分
LP(長時間)			約222時間	約4時間	約8時間	約4時間	約7時間10分
EP(長時間)			約443時間 (約333時間※5)	約8時間 (約6時間※5)	約16時間 (約12時間※5)	約8時間 (約6時間※5)	約14時間20分 (約10時間45分※5)

※1 両面の連続録画・再生はできません。
※2 DVD-R DLに直接録画することはできません。表はダビングでの記録時間です。
※3 録画時間は放送(転送レート)により異なります。転送レートは、現在運用されている数値を基準にしています。規格上は24 Mbpsです。
※4 (**➜138“デジタルハイビジョン”**)
※5 **初期設定**「EP時の記録時間」(**➜115**)を「EP(6H)」モードに設定した場合。
- EPモードの音質は「EP(6H)モード」の方が高音質です。
- RAM EP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーでも再生できないことがあります。他の機器で再生する可能性のあるときは、EP(6H)モードで録画してください。

上記の表の数値はめやすです。記録する内容によっては変化することがあります。
本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式:VBR)を採用しているため、残量表示と実際に録画できる時間が異なることがあります。(HDD と -R DL(VR) -R DL(V) では、特にその差が著しくなります)残量に余裕がある状態で録画してください。

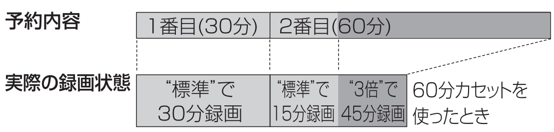
VHS に録画するとき

標準:カセットに表示されている時間の録画ができます。
3倍:標準に対して3倍の録画ができます。
5倍:標準に対して5倍の録画ができます。

5倍モードについて
- 録画を始めたあとの約8秒間、本体表示窓の“5倍”が点滅します。
- 本機で5倍モードで録画したカセットは、他のビデオでは再生できません。
  カセットのラベルに「5倍」と記入するなどして、区別されることをおすすめします。
- 他のビデオで再生したり、保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。

標準3倍(ぴったり録画)

予約録画時にのみ設定できます。
“標3”(標準3倍)を選ぶと、標準モードで予約録画を始め、途中でテープ残量が足りなくなってくると、自動的に3倍モードに切り換えて番組の最後まで録画します。



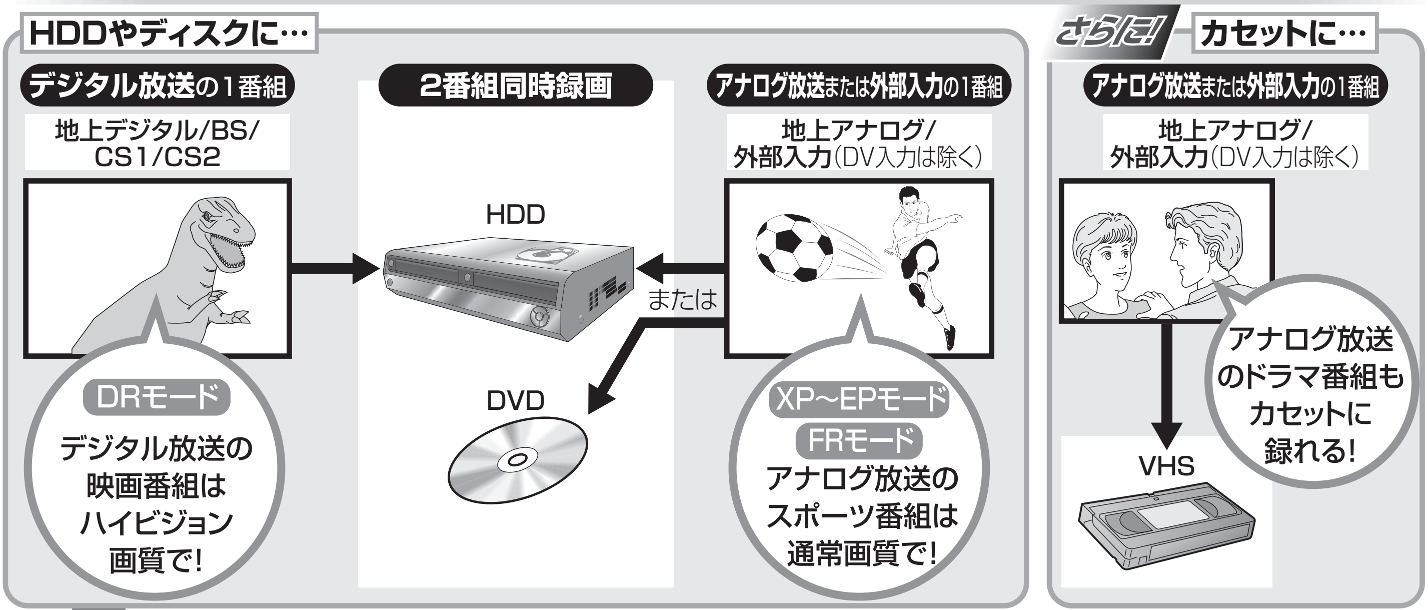
- テープ残量よりも長い番組の予約録画中に、1番組ごとに働きます。
- 番組の最初から3倍モードで録画してもテープが足りないときは、番組の最後まで録画できません。
- 5倍モードでは働きません。
- 以下のときは正しく働かないことがあります。
  - **VHS設定**「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
  - 品質の悪いカセットを使ったとき

録画について（つづき）

HDD/DVDのデジタル・アナログどっちも録り

本機では、HDD/DVDにデジタル放送の番組とアナログ放送の番組を同時に録画することができます。
さらに、VHSへもアナログ放送の番組を同時に録画でき、同一時間帯の録画が最大で3番組まで可能です。

同一放送時間帯で



デジタル・アナログどっちも録りをするには…

デジタル放送は必ず、録画モード"DR"でHDDに録画してください。

アナログ放送はHDDまたはDVDに録画することができます。

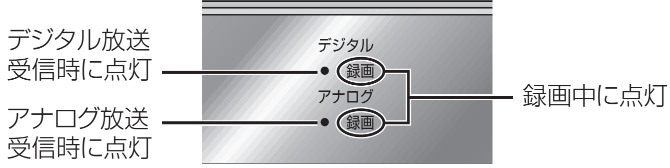
- DVDに2番組を同時に録画することはできません。
- アナログ放送の2番組、またはデジタル放送の2番組を同時に録画することはできません。
- DV入力から録画中は、2番組同時に録画することはできません。
- 本機の外部入力に接続したホームターミナルやセットトップボックスなどからデジタル放送の番組を録画する場合、「アナログ録画」として録画されます。

操作方法については(➜41)

お知らせ

- 高速ダビング中には、HDD/DVDに2番組同時録画できません。
- HDD/DVDで2番組を同時に録画しているときには、追っかけ再生、同時録画再生はできません。
- デジタル放送を録画モード"XP"～"EP"、"FR"で録画する場合
  - ・HDD/DVDにアナログ放送や外部入力から録画はできません。
  - ・HDD/DVD/SD側で、放送の切り換えはできません。
  - ・右図の「アナログ放送受信時に点灯」部分がオレンジ色に点灯します。

■ **本体表示部の見かた**（VHSの放送受信·録画には関係ありません）



- 録画の一時停止中は、「録画」ランプが点滅します。

アナログ放送や外部入力※1からの録画にかかる制限

※1 DV入力を含む

本機では、HDDまたはディスクにワイド放送や二重放送の番組を録画するとき、使用するディスクや設定によって、以下のような制限がかかります。

ワイド放送などの16:9映像を録画する場合

初期設定「高速ダビング用録画」(➜115)が「入」のときに録画すると
4:3映像※2で記録されます。

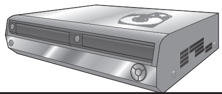
- **HDD RAM -R(VR)** に録画する場合
  初期設定「高速ダビング用録画」を「切」にすると、**16:9の映像で記録**することができます。
- **-R(V) -RW(V) +R** に録画する場合
  初期設定「高速ダビング用録画」の設定にかかわらず、**4:3の映像で記録**※2します。

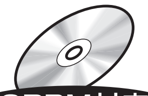
※2 **初期設定**「TVアスペクト」（➜117）を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

二重音声放送を録画する場合

設定やディスクによって記録できる音声は異なります。
（詳しくは➜38"音声多重放送の録画について"）

デジタル放送の録画について





HDD / CPRM対応 **DVD-RAM** / CPRM対応 **DVD-R**（VR方式）※1 **に録画することができます。**

●8 cmのDVD-RAMには記録できません。　DVD-R DL(VR方式)には直接録画できません。

不正なダビングを防止し、著作権を保護するため、デジタル放送には「1回だけ録画可能」※2のコピー制御信号が加えられています。
※2「デジタル1COPY」や「一世代のみコピー可」などとも呼ばれています。　（2004年4月から）

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人　地上デジタル放送推進協会　http://www.d-pa.org/
社団法人　BSデジタル放送推進協会　http://www.bpa.or.jp/

CPRMとは
1 回だけ録画が許可された番組を記録することができる著作権保護技術。ディスクのジャケットなどでご確認ください。

HDD、ディスクへの録画時には、次のことにお気をつけください

下図のように録画された番組は、録画制限のない番組でも録画制限のある番組として扱われます。そのため、ダビング時、移動するなどの制限がかかります。

●番組分割 (➜75) などの編集を行っても、録画制限のある番組として扱われます。

録画制限のある番組	録画制限のない番組

続けて１つの番組として録画すると…

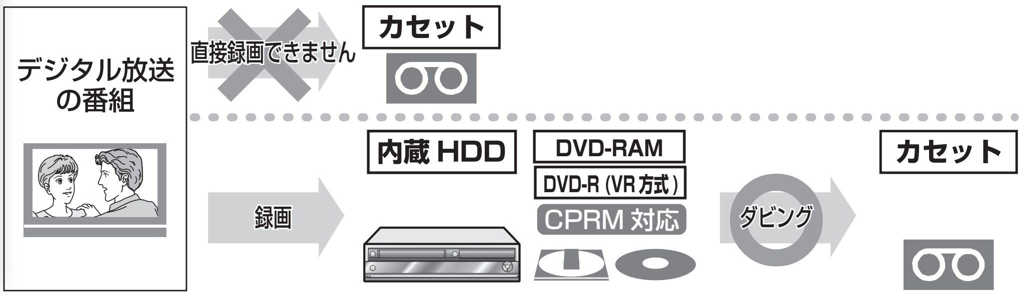
録画制限のある番組

録画したディスクを他の機器で再生するには

本機で録画した「1 回だけ録画可能」の番組を他の機器で再生する場合、その機器が CPRM に対応している必要があります。またそれぞれのディスクの再生に対応している必要もあります。

カセットへ録画するときは

本機では、デジタル放送の番組をカセットに直接録画することはできません。本機の外部入力 (L1 または L2) に BS デジタルチューナー内蔵機器などを接続して、デジタル放送の番組を録画することはできます。(➜104)
本機だけでカセットにデジタル放送の番組を録画したい場合は、まず HDD またはディスクに録画したあと、HDD またはディスクからカセットへのダビングを行ってください。



データ放送とラジオ放送を録画することはできません。

本機では、デジタル放送のハイビジョン番組やサラウンド番組を、高画質･高音質そのままでHDDに録画することができます。
デジタル放送をハイビジョン画質のままで録画するには録画モード“DR”でHDDに録画してください。

録画モードによる違い

	録画モード“DR”で録画した場合（HDD）	録画モード“XP”～“EP”、“FR”で録画した場合（HDD・DVD）
ハイビジョン画質の映像は?	そのままの画質で記録	通常の画質に変換されて記録
サラウンドの番組の音声は?	そのままの音声で記録	ステレオ音声で記録
複数の音声が含まれている番組は?	複数の音声をすべて記録	音声は1つだけ記録※3
複数の映像が含まれている番組は?	複数の映像をすべて記録	映像は1つだけ記録※3
字幕情報が含まれている番組は?	再生時、字幕表示の入/切ができる	再生時、字幕表示の入/切はできない※3

※3 記録したい映像や音声、字幕表示の入/切などの内容を、「信号切換」(➜29)または、「信号設定」(➜47)で選んでください。
●CATVデジタルセットトップボックスなどを本機の外部入力に接続した場合、ハイビジョン画質での録画はできません。アナログ放送と同等の画質での録画となります。

音声多重放送の録画について

海外ドラマやスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ番組や複数の音声を含んだ番組があります。
HDDまたはディスクに、このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定やディスクにより記録される音声が異なります。
以下の内容を参考にして正しく記録してください。

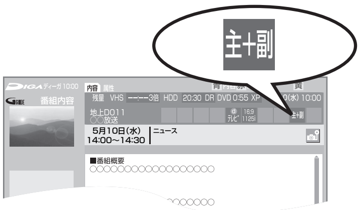
従来からの音声多重放送

二重放送 (主音声と副音声)

従来からあるアナログ放送の音声多重放送は、それぞれの音声がモノラル音声になっています。

音声
- 主音声 モノラル こんにちは
- 副音声 モノラル Hello

● デジタル放送の二重放送の番組は番組表の番組内容画面で以下のアイコンが表示されます。



デジタル放送の音声多重放送

マルチ音声放送 (複数の音声)

デジタル放送の音声多重放送の中には、従来からの二重放送に加え、それぞれの音声がステレオ音声で放送されているものもあります。

- 音声 L R ステレオ こんにちは
- 音声 L R ステレオ Hello

● デジタル放送のマルチ音声放送の番組は番組表の番組内容画面で以下のアイコンが表示されます。

放送される番組によっては、音声の種類などは上記の限りではありません。

Q	デジタル放送のマルチ音声放送		デジタル放送の二重音声放送	アナログ放送や外部入力からの二重音声放送		
どのディスクに録画しますか?	HDD	RAM※ -R(VR)※	HDD RAM※ -R(VR)※	HDD RAM -R(VR)		-R(V) -RW(V) +R
録画モードは?	"DR"で録画	"XP"～"EP"、"FR"で録画 (HDDからも)	録画モードにかかわらず	録画モードにかかわらず		録画モードにかかわらず
初期設定「高速ダビング用録画」(➜115)の設定は?	「入」「切」にかかわらず	「入」「切」にかかわらず	「入」「切」にかかわらず	「切」	「入」(お買い上げ時)	「入」「切」にかかわらず
記録される音声はこうなります。	複数の音声をすべて記録します。	どれか1つだけ音声を記録します。	主音声・副音声を両方記録します。	主音声・副音声を両方記録します。	主音声か副音声どちらか一方のみ記録します。	主音声か副音声どちらか一方のみ記録します。

(最初の行のQ: どのような音声の番組を録画しますか?)

※CPRM対応

[録画 ●]を押して録画する場合
視聴している音声が記録されます。録画する前に「信号切換」の「音声」で記録したい音声を選んで録画してください。(➜ 29)

番組表を使って録画する場合
番組予約の「信号設定」の「音声」で記録したい音声を選んでください。(➜ 47)

外部入力から録画する場合
外部機器側で「主音声」と「副音声」の両方を出力するように設定してください。
● 録画後、-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R にダビングする予定のときは「主音声」か「副音声」のどちらかを出力するように設定してください。

本機チューナーで録画する場合
録画前に、**初期設定**「二重放送音声記録」(➜116)で選んでください。
外部入力から録画する場合
外部機器側で、記録したい音声を出力するように設定してください。
(外部機器側で音声を選べない場合➜105)

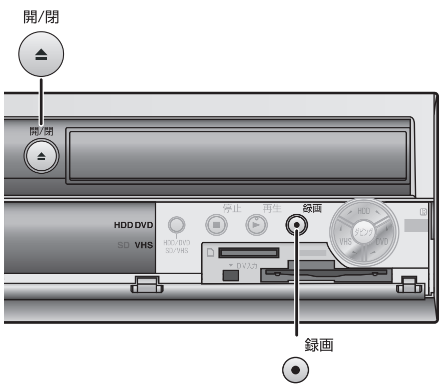
録画する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R VHS

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜23)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜25)
- VHSに録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜25)

■ふたをひらいたところ

上下左右
([▲][▼][◀][▶])
を押す
または
左右に回す



○○(お知らせ)○○

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R
- 録画中に同じ放送のチャンネルや録画モードを変えることはできません。(例:地上デジタル放送を録画しているときは、地上デジタル放送の他のチャンネルに変えることはできません)
- 番組表(Gガイド)(➜46)に放送内容がある場合は、録画終了後に、自動的に番組名が付きます。
- 録画中に予約録画の開始時刻になった場合は、予約録画が実行され、録画は停止します。ただし、デジタル放送(録画モード"DR")とアナログ放送の録画が重なった場合は、両方録画できます。(➜36)

VHS
- 録画中にチャンネルや録画モードを変えることはできません。(録画の一時停止中は変えることができます)
- 録画の一時停止を5分以上続けると、テープとヘッド保護のため停止します。

HDDに録画した番組について(➜18)
本機では、録画モード"DR"で録画した場合は「ビデオDR」として、録画モード"XP"～"EP"、"FR"で録画した場合は「ビデオ」として、再生ナビ画面などでは別々に管理しています。

地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル放送の番組をVHSに直接録画することはできません。
VHSに地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル放送の番組を録画したい場合は、まずHDDまたはDVDに録画したあと、HDDまたはDVDからVHSへのダビングを行ってください。

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、録画先を選ぶ

- 本体のランプが点灯します。

フォーマット確認画面が表示されたとき(➜106)

本体前面
例) HDD を選択

2 放送/入力切換 を押して、録画したい放送を選ぶ

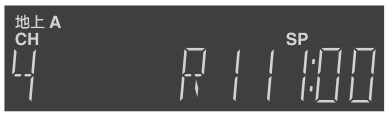
(詳しくは➜26)

- 外部入力(CATVセットトップボックスなど)から録画する場合は、「L1」、「L2」、または「DV」(HDD/DVDのみ)を選んでください。(➜手順4へ)

3 チャンネル または 1 ～ 12 (タイムワープ)(ふた内部)などを押して、録画したいチャンネルを選ぶ(詳しくは➜27)

例) HDD

本体表示窓



4 録画モード (ふた内部)を押して、録画モード(➜35)を選ぶ

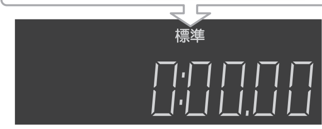
「HDD」、「DVD」選択時

HDDにデジタル放送を録画する場合
押すごとに DR※ → XP → SP → LP → EP

上記以外の場合
押すごとに XP → SP → LP → EP

「VHS」選択時
押すごとに 標準 → 3倍 → 5倍

(R:Remain=残り)
残量(55時間)



テープ残量を確認するには(➜68)

※"DR"モードは、デジタル放送をHDDに録画するときのみ選べます。ただし、外部入力をとおしてデジタル放送を録画するときは選べません。
お買い上げ時は"DR"しか選べません。初期設定「デジタル放送録画モードDR固定」(➜115)を「切」に設定すると、"XP"～"EP"、"FR"を選べます。

- "XP"で録画する場合は、記録する音声の設定を変更できます。**(➜116"記録音声モードの設定(XP時)")**
- 「DVD」選択時に表示される残量は、本機におけるものです。他の機器では表示が異なることがあります。

5 録画 (ふた内部)を押して、録画を始める

例) HDD

- 本体表示窓に録画経過時間が表示されます。

録画する（つづき）

録画中のいろいろな操作

録画を一時停止する・やめる

例）HDDとVHSで録画中に、HDDの録画（地上アナログ放送）を一時停止またはやめる場合

1 操作先を切り換えて録画・再生していた場合は：

HDD/DVD/SD VHS［切換］を押して、録画中の操作先を選ぶ

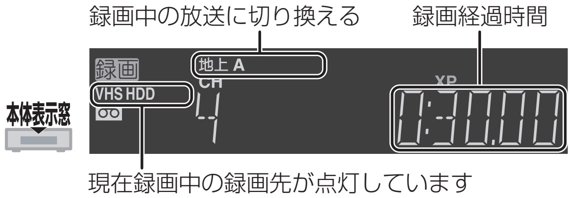
●本体のランプが点灯します。

2 録画中の放送と異なる放送を見ていた場合は：

［放送/入力切換］を押して、録画中の放送を選ぶ

●本体表示窓で録画経過時間の表示が動いている放送が、現在録画中の放送です。

●画面に映っている映像が、録画を一時停止したい、またはやめたい映像であるか確認してください。



3 録画を一時停止するには：

［一時停止 ❚❚ お好み選局］を押す

●本体表示窓の録画経過時間が止まります。

●もう一度押すと録画を再開します。［録画●］を押しても再開できます。（番組は分割されません）

●録画モード“DR”で録画中に一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になります。

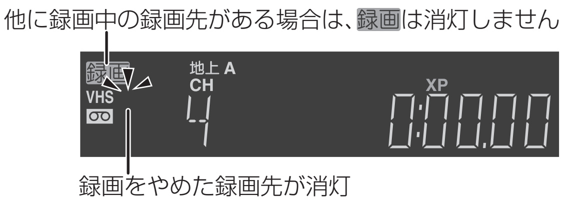
録画をやめるには：

［停止■］を押す

●本体表示窓で録画をやめた録画先が消灯したことを確認してください。

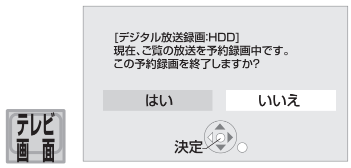
●録画開始した位置から停止した位置までを1番組として記録します。

● -R(V) -RW(V) +R ［停止■］を押してから他の操作ができるようになるまでに、約30秒かかります。



☞右の画面が表示されたときは（HDD/DVDのみ）

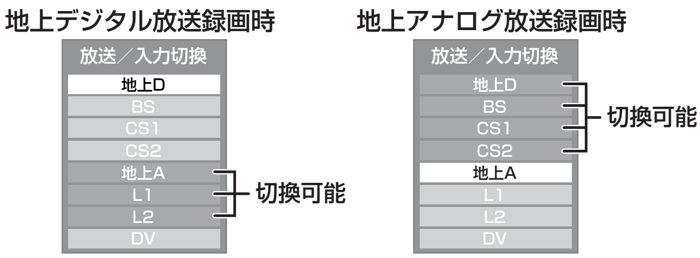
［◀］で「はい」を選び、［決定］を押す



☞予約録画をやめるには（➜53）

録画中に放送を切り換える（HDD/DVDのみ）

［放送/入力切換］を押す



●デジタル放送を録画モード“XP”～“EP”、“FR”で録画中は、放送の切り換えはできません。

デジタル・アナログどっちも録りをする

39ページの手順1～5で別の放送の番組を録画する

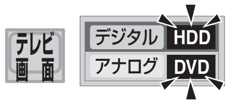
●デジタル放送はHDDに録画モード"DR"で録画してください。

☞**HDD/DVDのデジタル・アナログどっちも録りについて**(➜36)

どっちも録りの状態（HDD/DVD のみ）

例）HDDにデジタル放送を録画、DVD-RAMにアナログ放送を録画

本体前面



録画中に操作先を切り換えて再生する

HDD/DVD/SD VHS［切換］を押して他の操作先に切り換え、再生操作を行う

録画中にテレビ側でチャンネルを切り換えて別番組を見る

1 テレビ操作部の［入力切換］を数回押して、テレビが受信しているチャンネルに切り換える

2 テレビ操作部の［チャンネル］を数回押して、見たいチャンネルを選ぶ

●録画に影響はありません。

●予約録画中もこの手順でテレビ番組を見ることができます。

ディスク取り出し時に「他のDVD機器で再生」画面が表示されたら

-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R（未ファイナライズのディスクのみ）

停止中に、本体の［開/閉▲］を押して記録済みのディスクを取り出そうとすると、下記画面が表示され、ファイナライズを行うか、行わずにディスクを取り出すかを選ぶことができます。ファイナライズを行うと、再生専用ディスクとなり、他のDVD機器で再生できるようになります。ただし、あとから記録や編集をすることはできなくなります。

☞**ファイナライズを行う場合**

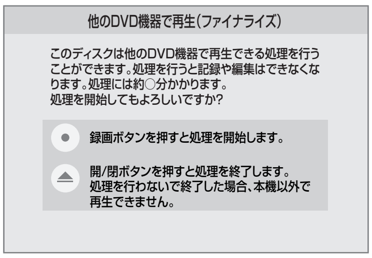
［録画●］を押す

●ファイナライズが実行されます。

☞**ファイナライズを行わない場合**

本体の［開/閉▲］を押す

●ディスクトレイが開きます。



●ファイナライズ後のディスクのトップメニュー画面の背景色や再生方法を設定したい場合は、ファイナライズを実行する前に、DVD管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更してください。(➜108)

録画する（つづき）

録画の便利な機能

録画の終了時間を指定する
終了時間予約録画

指定した時刻になると、自動的に録画をやめます。

1 操作先を切り換えて録画・再生していた場合は：
[HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して、録画中の操作先を選ぶ

2 録画中の放送と異なる放送を見ていた場合は：
[放送/入力切換]を押して、録画中の放送を選ぶ

- 本体表示窓で録画経過時間の表示が動いている放送が、現在録画中の放送です。
- 画面に映っている映像が、録画の終了時間を指定したい映像であるか確認してください。

3 本体の[録画●]を押す

- 押すごとに本体表示窓の録画終了時間が変わります。
  録画経過時間 → 30分後 → 1時間後 → 1時間30分後
  ↑―― 4時間後 ←― 3時間後 ←― 2時間後 ←┘
- 本体表示窓は下図のように変わります。

例）HDD/DVD側

○○ お知らせ ○○
- リモコンの［**録画●**］では働きません。
- ぴったり録画時(➔**下記**)や予約録画中(➔**46～55**)は働きません。
- 録画終了時には、自動的に電源は切れません。ただしHDD/DVD側の場合は、VHS側が予約録画の待機中になっていると、録画終了時、本機を操作していなければ自動的に電源も切れます。

☞解除するには

本体の［録画●］を数回押し、"録画経過時間"を選ぶ
（終了時間予約録画は解除されますが、録画は続けられます）

ディスクの残量に合わせて録画する
ぴったり録画

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

設定した時間に合わせて自動的に最適な画質［➔**35**"FR(フレキシブルレコーディング)"］で録画できます。

39ページ手順1～3のあと、

1 停止中に、[操作一覧]を押す

- 操作一覧画面が表示されます。

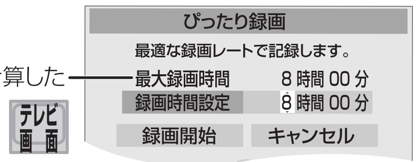
2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「ぴったり録画」を選び、[決定]を押す

4 [◀][▶]で"時間"または"分"を選び、[▲][▼]で録画したい時間を設定する

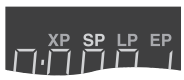
- [1]～[10/0]も使えます。
- 8時間を超えて設定することはできません。

最大録画時間
EP(8H)モードで計算した残量時間です。



5 [◀][▶]で「録画時間設定」に戻り、[▼][◀]で「録画開始」を選んで、[決定]を押す

- 録画が始まります。
- 本体表示窓の録画モードがすべて点灯します。



☞ぴったり録画の画面を消すには

［戻る］を押す

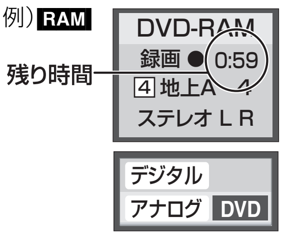
☞録画の残り時間を確認するには

① （操作先を切り換えて録画・再生していた場合）
［HDD/DVD/SD/VHS切換］を押して、録画先を選ぶ

② （録画中の放送と異なる放送を見ていた場合）
［放送/入力切換］を押して、録画中の放送を選ぶ

③ ［画面表示］(ふた内部)を押す

例）RAM



CMを飛ばして録画する CMカット録画 （VHSのみ）	**VHS録画中に、[30秒スキップ]を押して、本体表示窓に“✂”を表示させる**

●CM中に押したときは、そのCMの間は飛ばすことができません。

☞解除するには

もう一度、[30秒スキップ]を押す

●“✂”が消えます。電源を切ったとき、録画の一時停止にしたときも解除されます。

☞HDD/DVDに録画する番組の不要な部分をカットするには

HDDまたはDVDに録画する場合は、CMを飛ばして録画することはできません。録画したあと、「部分消去」(➜75)で番組の不要な部分を消すことができます。
（HDD RAM -R(VR)のみ）

○○お知らせ○○

●番組がモノラル放送または二重放送（2カ国語放送など）で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。（CMの前後が少し切れた状態で録画されます）

番組	CM	番組
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重

●次のようなときは、正しく働きません。
・番組がステレオ放送のとき
・CMがモノラル放送または二重放送のとき（このようなときは、次のCMからはCMカットは働きません）
・CM以外でも、音声がモノラル放送や二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
・外部入力から録画するとき
●予約録画中は働きません。

録画しながら再生する

HDD RAM

本機では、録画を続けながら、録画中の番組や録画済みの番組を再生することができます。

録画中の番組を頭から見る
追っかけ再生

録画を続けながら、番組の先頭から再生します。
●[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、録画中の操作先（「HDD」または「DVD」）を選んでおいてください。

録画中に、[再生▶]を押す

●早送り（早戻し）中、音声は出ません。

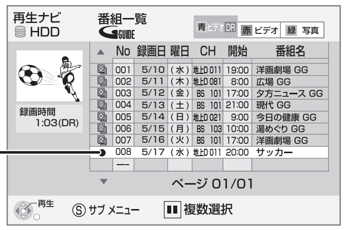
録画中に他の録画済みの番組を見る
同時録画再生

録画を続けながら、すでに録画してある別番組を再生します。

1 [HDD/DVD/SD VHS 切換]を押して、再生する操作先（「HDD」または「DVD」）を選ぶ

2 録画中に、[再生ナビ]を押す

例）HDD



録画中の番組（●が表示されます）

☞HDD「ビデオDR」一覧と「ビデオ」一覧を切り換えるには

[青]（ビデオDR）または[赤]（ビデオ）を押す

[テレビ画面]

☞再生ナビ画面の便利な機能について(➜57)

3 [▲][▼]で再生したい番組を選び、[決定]を押す

●再生ナビ画面をサムネイル表示(➜57)にしている場合は、[▲][▼][◀][▶]で番組を選びます。

☞再生ナビ画面を消すには

[再生ナビ]を押す

☞再生をやめるには

[停止■]を押す

●もう一度[再生▶]を押すと、停止した位置から再生します。

☞録画をやめるには

再生停止後、約2秒以上待って
(➜40“録画を一時停止する・やめる”へ)

☞予約録画をやめるには(➜53)

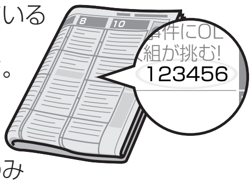
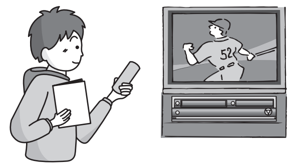
○○お知らせ○○

●デジタル放送を“XP”～“EP”、“FR”で録画しているときは、「ビデオDR」の番組は再生できません。
●HDD/DVDで2番組同時に録画しているとき(➜36)は、再生できません。

予約録画について

●本機では1カ月以内の番組を、HDD/DVDへ合わせて32番組まで、またVHSへ16番組まで予約できます。
［毎日・毎週予約（➜下記）は1番組として数えます］
●本機では、HDD/DVDに、同一時間帯のデジタル放送とアナログ放送を1番組ずつ同時に録画することができます。さらに、VHSへもアナログ放送を同時に録画でき、同一時間帯の録画が最大3番組まで可能です。（➜36）
●地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル放送の番組をVHSに直接予約録画することはできません。
VHSに地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル放送の番組を録画したい場合は、まずHDDまたはDVDに録画したあと、HDDまたはDVDからVHSへのダビングを行ってください。

予約方法には、以下の3つの方法があります。

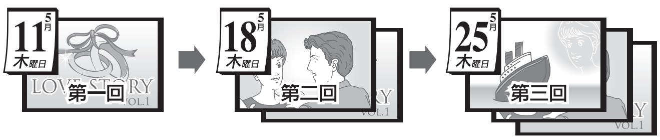
番組表（Gガイド）を使って予約（➜46）	Gコード® 入力を使って予約（➜49）	録画時間を指定して予約（➜50）
	新聞などのテレビ番組欄で、各番組に付けられている数字を入力して予約を行う方法です。地上アナログ放送のみ	予約設定を手動で行う方法です。

Irシステムを使って予約録画する（➜52）

予約録画の便利な機能

録画を毎日・毎週予約する

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。



テープの録画開始位置にお気をつけください
VHSに録画するときは、テープの停止位置によって番組が上書きされます。

前回の番組を消去し新たに録画するには
自動更新
HDD

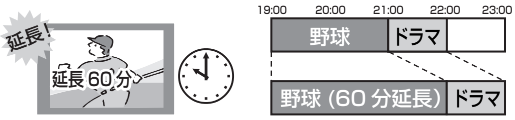
自動更新（オートリニューアル）録画を設定しておくと、前回の放送分は消去され、新たに番組を録画しますので、HDDの容量を効率よく使えます。
●番組にプロテクトを設定している場合や、HDD再生中、ダビング中は自動更新されません。（別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます）
●番組が自動更新されると、前回録画した番組から作られたプレイリスト（➜**77**）は消去されます。
●HDDの残量が少ないと、番組の最後まで更新されないことがあります。

番組追従機能

●番組表（Gガイド）から「HDD」または「DVD」へ予約した番組にのみ働きます。

野球中継などの番組延長に対応
●デジタル放送のみ

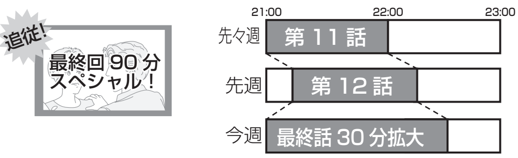
予約登録後に番組の放送時間が変わっても、番組表が更新されれば、番組追従機能が働き、録画時間を自動的に変更します。



●放送時間が変更された場合、3時間の変更まで追従します。
●野球延長などで延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。
（番組は分割されます）
●地上アナログ放送には働きません。

毎日・毎週予約したドラマなどの時間変更に対応
●毎日･毎週予約時のみ

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送予定に時間変更があった。または最終回だけ30分拡大版だった。」などの場合に対応します。



●次回以降の予約登録するときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。

●番組が以下のように変更された場合は追従できません。
・番組表データの更新によって、番組名が変更された場合
・放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の変更があった場合
このような場合は、最初の予約内容のまま登録します。

●番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。
開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
●番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

番組追従機能を無効にするには
時間指定予約で予約を行ってください。（➜50）

ディスクの残量不足に対応

リリーフ（代替）録画

●以下のような場合、**録画先が「DVD」の予約番組**は、自動的に録画先を「HDD」に変更して録画されます。
・ディスク残量が足りない場合（トレイにディスクがない場合や録画できないディスクが入っている場合も含む）
・高速ダビング中（ファイナライズを含まない）に予約録画が実行された場合
・デジタル放送を録画できないディスク（CPRM非対応のディスクやDVD-Video方式のディスクなど）を入れて、デジタル放送を予約録画した場合
●HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。
●**初期設定**「デジタル放送録画モードDR固定」（➜**115**）が「入」のとき、デジタル放送は録画モード“DR”で録画されます。

HDDに録画した番組について(➜18)
本機では、録画モード“DR”で録画した場合は「ビデオDR」として、録画モード“XP”～“EP”、“FR”で録画した場合は「ビデオ」として、再生ナビ画面などでは別々に管理しています。

予約録画Q & A

Q 予約録画待機中に録画や再生はできるの?

できます。
予約録画待機中でも、以下の録画・再生をお楽しみいただけます。
- HDD/DVD側が予約録画待機中のとき:
  HDD/DVDの録画・再生およびVHSの録画または再生
- VHS側が予約録画待機中のとき:
  HDD/DVDの録画・再生

ただし、HDD/DVD側で以下のときは、HDD/DVDの予約時刻になると予約録画が実行され、HDD/DVDの録画や再生は中断されます。
- デジタル放送録画中に、デジタル放送の予約時刻になったとき
- アナログ放送や外部入力から録画中に、アナログ放送または録画モード“DR”以外で予約したデジタル放送の予約時刻になったとき
- 「ビデオDR」の番組を再生中に、録画モード“DR”以外で予約したデジタル放送の予約時刻になったとき

Q 他の操作を実行中に予約録画が実行されなくなるのはどんな場合?

- **編集中**
- **1倍速でダビング中**
- **写真をダビング中**
- **フォーマット実行中**
- **ファイナライズ実行中**

などを実行中は、録画先によっては予約録画が働かない場合があります。その場合、各作業の実行前の画面に予約録画に関するメッセージが表示されますので、ご確認ください。

Q 電源を入れたままでも予約録画は実行されるの?

実行されます。
電源の切/入にかかわらず、予約録画は実行されます。

予約登録後、他の録画・再生などをしないときは…

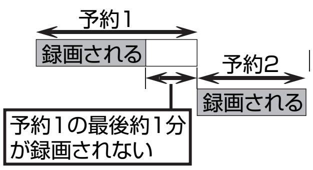
Q 電源を入れたまま予約録画が始まった場合、録画終了後、自動的に電源は切れるの?

切れません。
終了後も電源は入ったままになります。予約録画中に電源を切ることはできます。(予約録画に影響はありません)

Q 前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合、どうなるの?

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

前の予約の終わりの約1分が録画されません。
[デジタル放送(録画モード“DR”)とアナログ放送が続けて予約されている場合は、録画されます]



Q 予約時刻が重なっている番組はどうなるの?

HDD/DVD側、またはVHS側で予約時刻が重なっている番組は、開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
[HDD/DVD側で、デジタル放送(録画モード“DR”)とアナログ放送の予約が重なって予約されている場合は、両方とも録画されます]

予約録画する

HDD **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-RW(V)** **+R** **VHS**

番組表(Gガイド)はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表(Gガイド)のデータを受信する必要があります。(詳しくは➜準備編 32)

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜23)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(➜準備編 36"時刻合わせ")
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜25)(フォーマット確認画面が表示されたとき ➜106)
- VHSに録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜25)

上下左右([▲][▼][◀][▶])を押す
または
左右に回す

お知らせ

- 詳細設定画面で「予約を登録する」が選べないときは、設定が間違っています。もう一度設定を確認してください。
- HDDとDVDで合わせて32番組予約されているときは、録画先が「VHS」しか選べません。また、地上デジタル・BSデジタル・110度 CSデジタル放送は録画できません。
- VHSに16番組予約されているときは、録画先が「HDD」または「DVD」しか選べません。
- VHSの再生・録画中は、VHSへの予約録画はできません。
- 予約画面には、ディスクやテープの残量も表示されます。(選んでいる録画モードで計算されます)録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。(VHSカセットを入れた直後など、計算されていないときは表示されません)

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

番組表(Gガイド)を消すには

[番組表] を押す

予約録画を途中でやめるには(➜53)

予約一覧画面から予約の確認、取り消し、修正をするには(➜54)

暗証番号に関する表示が出たときは(➜51)

番組表(Gガイド)を使って予約録画する

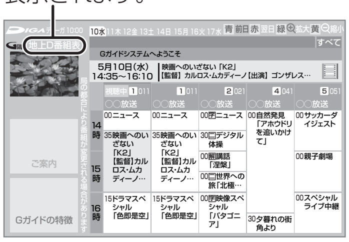
予約したい番組を、番組表(Gガイド)から選ぶだけで予約できます。また、毎週予約もワンタッチで設定することができます。

- 番組表予約では、HDDまたはDVDと、VHSで同じ番組を予約することはできません。

1 [番組表] を押す

- 操作先が「VHS」のときに[番組表]を押した場合は、画面がHDD/DVD/SD側に切り換わり、HDD/DVD/SD側で受信している放送の番組表(Gガイド)が表示されます。

現在選ばれている放送の番組表が表示されます。



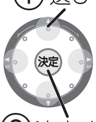
別の放送の番組表(Gガイド)を見るには

[放送/入力切換] を押す

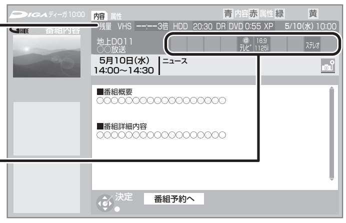
- 押すごとに、番組表(Gガイド)が切り換わります。

番組表(Gガイド)の見かた(➜31)

2 予約したい番組を選び、[決定] を押す



①選び
②決定する



残量
アイコン
(詳しくは➜136)

3 「番組予約へ」が選ばれている状態で、[決定] を押す

- 予約内容を確認してください。
- 「録画先」は自動的に「HDD」が選ばれます。
- 録画モードは、デジタル放送を録画するとき、**初期設定**「デジタル放送録画モードDR固定」(➜115)が「入」の場合、"DR"に固定されます。
初期設定「デジタル放送録画モードDR固定」が「切」の場合、または地上アナログ放送を録画する場合は、操作前に選ばれていた録画モードに設定されます。(ただし、"XP"に設定していたときは、残量不足による録画の失敗を防ぐために、自動で"FR"に設定されます。"XP"で録画する場合は、手順4で「詳細設定」を選び、録画モードを選び直してください)

「予約が重複しています。」画面が表示されたときは

- HDD/DVD側で、地上アナログ放送の番組、または地上デジタル放送の番組の予約時間が重なっています。
(➜右ページ"HDD/DVD側で予約番組が重なっているとき"へ)

4 項目を選び、[決定] を押す

①選び
②決定する

予約する: 予約を登録します。(録画先: **HDD**)

毎週予約する: 毎週予約(➜44)を登録します。(録画先: **HDD**)
- HDD以外の録画先に毎週予約を設定する場合は、「詳細設定」を選び、詳細設定画面上で設定します。**(➜右ページ"詳細設定画面")**

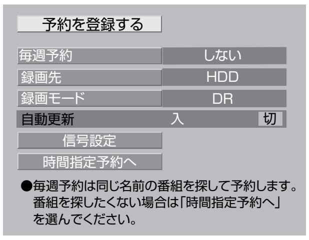
詳細設定: 詳細設定画面に移り、予約内容を変更します。**(➜右ページ"詳細設定画面")**

DVD、VHSに予約する場合は、「詳細設定」を選んでください。

- 番組表(Gガイド)上で、予約した番組に"予"が表示され、予約待機状態になります。**(本体表示窓の"◷"が点灯)**
(「詳細設定」から「時間指定予約へ」で登録した場合、"予"は表示されません)
- 続けて予約する場合は手順2へ戻ります。(予約待機状態でも予約できます)

詳細設定画面

左ページ手順4で「詳細設定」を選んだあと、

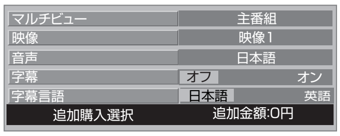


[▲][▼]で項目を選び、[◀][▶]で設定する
(➜右記へ)

設定が終了したら、

[▲][▼]で「予約を登録する」を選び、(決定)を押す

●予約修正の場合は「修正を反映する」を選び、[決定]を押してください。

毎週予約	[◀]または[▶]を押すごとに、以下のように変わります。 しない ⟷ 毎週同じ曜日 ⟷ 毎週(月)~(金) ⟷ 毎週(月)~(土) ⟷ 毎日 ⟷ しない 録画する曜日によって表示内容は変わります。 ●ペイ·パー·ビューの番組にはできません。
録画先	「HDD」、「DVD」または「VHS」を選びます。 ●デジタル放送の番組の場合は、「VHS」は選べません。
録画モード	デジタル放送をHDDに録画するとき、**初期設定**「デジタル放送録画モードDR固定」**(➜115)**が「入」の場合、“DR”に固定されます。“XP”~“EP”、“FR”で録画したい場合は「切」に設定してください。
自動更新 ●録画先がHDDで、毎日·毎週予約を設定したときのみ	毎日·毎週予約時に「入」に設定しておくと、次回から前回録画した番組を自動的に消去し、新たに録画しますので、HDD容量を効率よく使って録画することができます。
信号設定 (地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)	複数の音声や映像の信号があるときや、番組の追加購入が必要なときに設定します。 ① **[▲][▼]で選んだあと、[決定]を押す** ●信号設定画面が表示されます。 ② **[▲][▼]で変更する項目を選び、[◀][▶]で設定する**  ●録画モードを“XP”~“EP”、“FR”にして録画する場合、複数の映像や音声、字幕情報を含む番組は、録画したあと、再生中に映像·音声や字幕の入/切の切り換えを行うことはできません。録画する前に設定項目を選択してください。(番組によっては、設定が無効になる場合があります) ●番組の中に購入が必要な信号があるときに、「追加購入選択」で料金を払うと録画ができます。 ●選べる設定項目は番組によって変わります。1つしかない場合は、切り替えられません。 ●マルチビュー放送では、1つの放送の中に複数の映像があります。ただし、2006年3月現在、マルチビュー対応の放送は、行われておりません。 ●有料放送の番組を予約するときは、その放送会社と契約したB-CASカードを挿入してください。
時間指定予約へ	録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。 ① **[▲][▼]で選んだあと、[決定]を押す** ●確認画面が表示されます。 ② **[◀]で「はい」を選び、[決定]を押す** ●時間指定予約画面に移ります。**[➜51“時間指定予約画面”へ]** ●「時間指定予約へ」で登録した場合、番組追従**(➜44)**は行えません。また、詳細設定画面で設定した「信号設定」などの設定は反映されません。

HDD/DVD側で予約番組が重なっているとき
(左ページ手順3のあと)

(地上アナログ)(地上デジタル)

地上デジタル放送と地上アナログ放送で、同時間帯に同じ内容の番組が放送されている場合があります。デジタル放送の予約(録画モード“DR”で録画)とアナログ放送の予約は重複しても、2番組を同時に録画できるので**(➜36)**、他方の放送に切り換えて、同じ内容の番組を探すことが可能です。

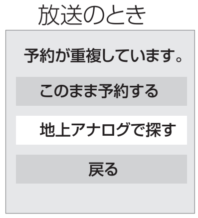
[▲][▼]で項目を選び、(決定)を押す

このまま予約する: 録画は、開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
(➜左ページ手順4へ)

地上アナログで探す: 地上アナログ放送の番組表(Gガイド)が表示されます。
(➜左ページ手順2へ)

地上デジタルで探す: 地上デジタル放送の番組表(Gガイド)が表示されます。
(➜左ページ手順2へ)

例)地上デジタル放送のとき



録る

予約録画する

予約録画する（つづき）

番組表（Gガイド）を使って予約録画する（つづき）

番組表（Gガイド）上で予約を取り消す・修正する

予約取り消し

1 番組表（Gガイド）上で、[▲][▼][◀][▶]で取り消したい番組（“予”が表示されている番組）を選び、決定を押す

2 [▶]で「予約取り消し」を選び、決定を押す

- “予”が消えます。

●HDDまたはDVDで予約録画中の番組は、取り消しできません。
●VHSが予約録画中のときは、VHSの予約の取り消しはできません。

予約修正

1 番組表（Gガイド）上で、[▲][▼][◀][▶]で予約内容の修正をしたい番組（“予”が表示されている番組）を選び、決定を押す

2 「予約修正」が選ばれている状態で、決定を押す
（➜47“詳細設定画面”へ）

番組表（Gガイド）の便利な機能

検索機能を使う

「ジャンル」や「キーワード」などから、録画したい番組を検索して予約録画をすることができます。

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、操作先（「HDD」または「DVD」）を選ぶ

- 本体のランプが点灯します。

例）HDD を選択

本体前面

2 停止中に、

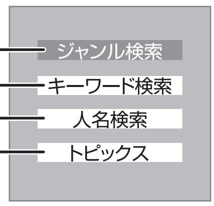
を押す

- 操作一覧画面が表示されます。

3 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

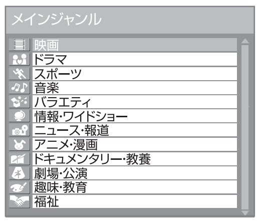
4 [▲][▼]で「番組表の検索」を選び、決定を押す

「ドラマ」「スポーツ」などのジャンルから番組を検索します。
「キーワード」から番組を検索します。
出演者から番組を検索します。
今夜の見どころなど、番組に関する情報を見ます。
トピックスから番組予約はできません。



5 [▲][▼]で検索方法を選び、決定を押す

例）ジャンル検索を選んだ場合の最初の画面



6 [▲][▼]で検索したい項目を選び、決定を押す

- この操作を繰り返し、検索項目を絞り込みます。

☞検索する放送を変更するには
[放送/入力切換]を押す

☞別の日の検索結果を表示するには
[赤]（翌日）または[青]（前日）を押す

7 [▲][▼]で予約したい番組を選び、決定を押す（➜46手順3へ）

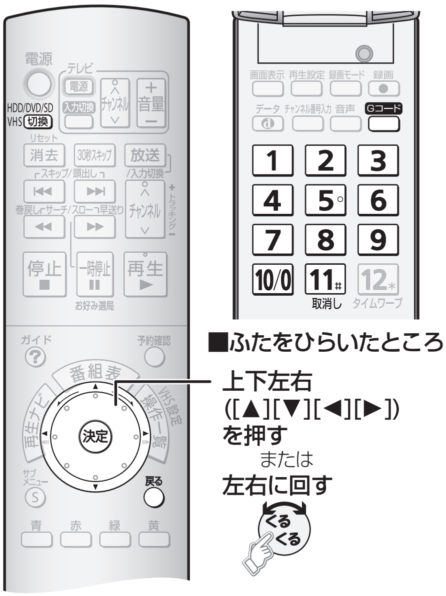
お知らせ

●検索結果は、各放送の番組表（Gガイド）データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R VHS

準備

- ●テレビに本機の画面を出す。(➜23)
- ●本機の時刻が正しいことを確かめる。(➜準備編 36"時刻合わせ")
- ●DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜25)(フォーマット確認画面が表示されたとき ➜106)
- ●VHSに録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜25)



お知らせ

- ●HDD/DVDの予約設定画面で「予約を登録する」が選べないときは、設定が間違っています。もう一度設定を確認してください。
- ● VHS テレビ画面に"予約内容にミスがあります"と表示されたときは、設定が間違っています。もう一度最初から予約し直してください。
- ●VHSの再生·録画中は、VHSへの予約録画はできません。
- ●予約画面には、ディスクやテープの残量も表示されます。(選んでいる録画モードで計算されます)録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。(VHS カセットを入れた直後など、計算されていないときは表示されません)

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

予約録画を途中でやめるには(➜53)

予約の確認、取り消し、修正をするには(➜54)

ガイドチャンネルを設定する

HDD/DVDの予約設定画面のときには

「CH」が選ばれている状態で、[◀][▶]で予約したいチャンネルに合わせる

VHSの予約設定画面のときには

"CH"が選ばれている状態で、[▲][▼]で予約したいチャンネルに合わせる

- ●予約を完了すると、ガイドチャンネルも設定されます。(➜準備編 43)

Gコード®入力を使って予約録画する 地上アナログ

Gコード® を入力するだけで地上アナログ放送の番組が予約できます。

予約を正しく行うために、別冊の取扱説明書 準備編をご覧になり、ガイドチャンネルを正しく設定してください。複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されていると、正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。

- ●Gコード予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、録画先を選ぶ

- ●本体のランプが点灯します。

例) HDD を選択

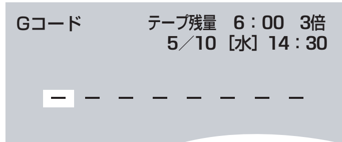
本体前面

2 Gコード (ふた内部)を押す

- ●Gコード入力画面が表示されます。

HDD/DVDの入力画面

VHSの入力画面



3 1 ～ 10/0 (ふた内部)でGコード番号を入力する

- ●HDD/DVDの場合は、[▲][▼]で数字を選び、[▶]を押しても入力できます。

7 8 8 6 4 – – – –

例)HDD/DVDの入力画面

Gコード番号を間違えたときは

[◀]または 11 取消し を押して、再度入力する

4 決定 を押す

HDD/DVDの予約設定画面

VHSの予約設定画面

- ●予約内容を確認してください。
- ●録画モードは操作前に選ばれていたモードに設定されます。

予約内容を変更するには

[➜51"時間指定予約画面(HDD/DVD)""タイマー予約画面(VHS)"]

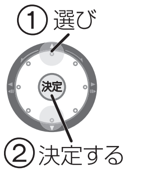
「CH」の項目が「G――」(VHSの場合:点滅)**になっているときは**

- ●ガイドチャンネルが正しく設定されていません。(➜左記"ガイドチャンネルを設定する"へ)

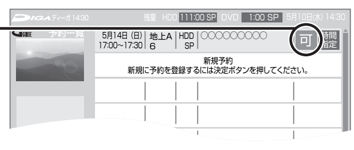
5 HDD/DVD側で録画する場合は:

「予約を登録する」を選び、決定 を押す

- ●予約一覧画面が表示され、予約待機状態になります。(本体表示窓の" ◷ "が点灯)



「不可」が表示されているときは、ディスクの残量などを確認してください。



予約一覧画面のアイコン表示について(➜137)

VHS側で録画する場合は:

決定 を押す

- ●予約一覧画面が表示され、予約待機状態になります。(本体表示窓の" ◷ "が点灯)

- ●続けて予約する場合は手順2へ戻ります。(予約待機状態でも予約できます)

予約録画する（つづき）

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R VHS

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜23)
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。（➜準備編 36“時刻合わせ”）
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜25)（フォーマット確認画面が表示されたとき ➜106）
- VHSに録画する場合は、「つめ」の折れていないカセットを入れる。(➜25)

■ふたをひらいたところ

上下左右
([▲][▼][◀][▶])
を押す
または
左右に回す

お知らせ
- HDD/DVDの予約設定画面で「予約を登録する」が選べないときは、設定が間違っています。もう一度設定を確認してください。
- VHS テレビ画面に“予約内容にミスがあります”と表示されたときは、設定が間違っています。もう一度最初から予約し直してください。
- VHSの再生・録画中は、VHSへの予約録画はできません。
- 予約画面には、ディスクやテープの残量も表示されます。（選んでいる録画モードで計算されます）録画する時間よりも、残量が多いか確かめてください。（VHS カセットを入れた直後など、計算されていないときは表示されません）

前の画面に戻るには
戻る を押す

画面を消すには
戻る を数回押す

予約録画を途中でやめるには(➜53)

予約の確認、取り消し、修正をするには(➜54)

録画時間を指定して予約録画する

予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、録画先を選ぶ

- 本体のランプが点灯します。

例）HDD を選択

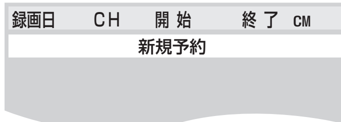
本体前面

2 予約確認 を押す

- 予約一覧画面が表示されます。

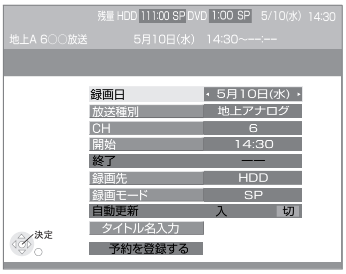
HDD/DVDの予約一覧画面

VHSの予約一覧画面



3 「新規予約」が選ばれている状態で、決定 を押す

HDD/DVDの予約設定画面



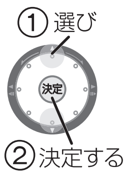
VHSの予約設定画面

4 予約内容を設定する

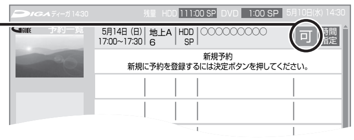
[➜右ページ“時間指定予約画面(HDD/DVD)”“タイマー予約画面(VHS)”へ]

5 HDD/DVD側で録画する場合は：「予約を登録する」を選び、決定 を押す

- 予約一覧画面が表示され、予約待機状態になります。（本体表示窓の“⌚”が点灯）



「不可」が表示されているときは、ディスクの残量などを確認してください。



暗証番号に関する表示が出たときは(➜右ページ)

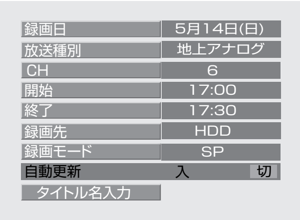
予約一覧画面のアイコン表示について(➜137)

VHS側で録画する場合は：
決定 を押す

- 予約一覧画面が表示され、予約待機状態になります。（本体表示窓の“⌚”が点灯）

- 続けて予約する場合は手順3へ戻ります。（予約待機状態でも予約できます）

時間指定予約画面
(HDD/DVD)



[▲][▼]で項目を選び、[◀][▶]で設定する
(➜右記へ)

設定が終了したら、
左ページ手順5へ

●予約修正の場合は「修正を反映する」を選び、[決定]を押してください。

録画日	[◀]または[▶]を押すごとに、以下のように変わります。 1ヵ月以内の日付を指定 ⟷ 毎日 ⟷ 毎週同じ曜日 毎日 ⟷ 毎週(月)～(土) ⟷ 毎週(月)～(金) ●「毎日」または「毎週」を選ぶと、毎日·毎週予約の設定ができます。(➜44)
放送種別	録画する放送を設定します。
CH	録画するチャンネルを設定します。 ●[1]～[10/0]でも選べます。
開始	録画の開始時刻を設定します。 ●[◀]または[▶]を押したままにすると15分単位で変更できます。 ●[決定]を押すと、[1]～[10/0]でも選べます。
終了	録画の終了時刻を設定します。 ●[◀]または[▶]を押したままにすると15分単位で変更できます。 ●[決定]を押すと、[1]～[10/0]でも選べます。
録画先	「HDD」または「DVD」を選びます。 ●「VHS」は選べません。ただし、番組表予約から「時間指定予約へ」を選んだ場合で、地上アナログ放送の番組を予約するときは「VHS」も選べます。
録画モード	デジタル放送をHDDに録画するとき、**初期設定**「デジタル放送録画モードDR固定」(➜115)が「入」の場合、"DR"に固定されます。"XP"～"EP"、"FR"で録画したい場合は「切」に設定してください。
自動更新 ●録画先がHDDで、毎日·毎週予約を設定したときのみ	毎日·毎週予約時に「入」に設定しておくと、次回から前回録画した番組を自動的に消去し、新たに録画しますので、HDD容量を効率よく使って録画することができます。
タイトル名入力	**[▲][▼]で選んだあと、[決定]を押し、文字入力します** ●文字入力について(➜109) ●入力しなくても、番組表(Gガイド)に放送内容がある番組を録画すると、録画後に自動的に番組名が付きます。 ●VHS VHSで録画する場合は、番組名は付きません。

タイマー予約画面
(VHS)

[◀][▶]で項目を選び、[▲][▼]で設定する
(➜右記へ)

設定が終了したら、
左ページ手順5へ

録画日	[▲]または[▼]を押すごとに、以下のように変わります。 1ヵ月以内の日付を指定 ⟷ 毎日 ⟷ 毎週同じ曜日 毎日 ⟷ 月～土 ⟷ 月～金 ●「毎日」または「毎週」を選ぶと、毎日·毎週予約の設定ができます。(➜44)
CH	録画するチャンネルを設定します。
開始	録画の開始時刻を設定します。 ●[▲]または[▼]を押したままにすると30分単位で変更できます。
終了	録画の終了時刻を設定します。 ●[▲]または[▼]を押したままにすると30分単位で変更できます。
CM	CMを飛ばして録画したいときに設定します。(**詳しくは➜43**)
録画モード	●[**録画モード**]でも選べます。

暗証番号に関する表示が出たとき

視聴制限のある番組を録画するには暗証番号の入力が必要です。視聴制限のない番組は入力の必要はありません。

番組の視聴制限(➜113)を登録していない場合には
暗証番号登録画面になります。画面の指示に従ってください。(登録すると「無制限」になります)
●暗証番号は視聴制限を変更するときに必要です。忘れないでください。

視聴可能年齢に制限をかけている場合には(➜113)
設定した暗証番号を入力しないと制限のある番組は録画できません。

予約録画する（つづき）

Ir（アイアール）システムを使って予約録画する

本機は、当社製CATV用セットトップボックスなどのIrシステム(➔140)に対応しています。Irシステムを使えば、接続機器側で受信している放送を本機で予約録画（連動予約またはタイマー予約）することができます。

- セットトップボックスなどのIrシステムを利用する場合は、本機で設定したリモコンモード(➔準備編 36)に、Irシステムのリモコン種別を合わせてください。詳しくは、セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。
- Irシステムの設置・設定・操作はセットトップボックスなどの説明書をご覧ください。

1 本機の外部入力端子(L1またはL2)とセットトップボックスなどの出力端子を接続し、Irシステムケーブルを接続する(➔準備編 17,18)

2 セットトップボックス側でIrシステムの設定を行う

HDDまたはDVDに予約録画するとき
リモコン種別を「DVDレコーダー（1、2…）」にする

VHSに予約録画するとき
リモコン種別を「ビデオ（1、2…）」にする

- その他の設定やリモコン種別の詳細については、セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。

3 セットトップボックス側で予約の設定を行う

4 予約方法に合わせて、本機の操作と確認を行う

連動予約のとき

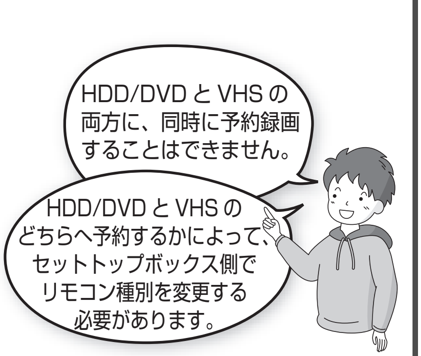
1. [HDD/DVD/SD VHS 切換] **で録画先（「HDD」、「DVD」、「VHS」）を設定する**(➔22)
2. [録画モード]（ふた内部）**で録画モードを設定する**(➔35)
3. [放送/入力切換] **で接続した外部入力端子(L1、L2)を選び、本機の電源を切る**

タイマー予約のとき
- 予約待機状態であることを確認する。(➔右ページ“本体表示窓の“⏲”表示について”)
- 録画先（HDD/DVD間）、録画モードの変更や、予約内容を確認するには(➔54)

予約時刻になると、録画が開始されます。

お知らせ

- セットトップボックスなどのIrシステムがDVDレコーダーまたはビデオに対応していることをご確認ください。
- Irシステムのリモコン種別「1、2…」は、本機のリモコンモード番号に合わせても機器が動作しない場合、動作する番号に合わせてください。
- 本機が動作中に予約登録を行うと、正しく登録されない場合があります。予約登録後は、予約内容を確認されることをおすすめします。
- Irシステムを使ったHDDまたはDVDへの連動予約実行中に、HDD/DVD側が本機で設定した予約録画開始時刻になると、本機の予約録画が実行され、連動予約は中断されます。（ただし、HDDに録画モード“DR”で録画する予約録画が実行された場合は、中断されません）
  連動予約を行うときは、本機で設定したHDD/DVDへの予約の待機状態をすべて解除しておくことをおすすめします。(➔右ページ)
- VHS側が本機で設定した予約録画の待機状態の場合、Irシステムを使ったVHSへの連動予約は働きません。
  連動予約を行うときは、本機で設定したVHSへの予約の待機状態を解除しておいてください。(➔右ページ)
- 連動予約の場合、セットトップボックスなどから連動予約の信号を受けて本機が起動するまでに時間がかかるため、番組の先頭部分が録画されない場合があります。セットトップボックス側で予約を設定する際に、録画開始時刻を多少早めに設定しておくことをおすすめします。



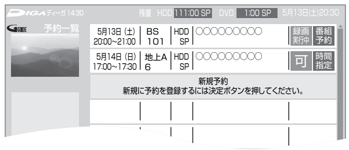
予約録画をやめる

予約の実行をやめる（一時解除）

●VHSの場合は、本体の電源が「切」の状態でも操作できます。

☞HDD/DVDの場合

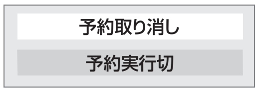
1 HDD/DVD/SD VHS［切換］を押して、操作先（「HDD」または「DVD」）を選ぶ



2 ［予約確認］を押す

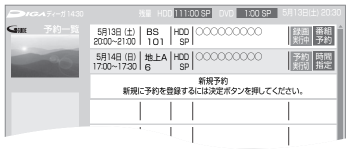
●予約一覧画面が表示されます。

3 [▲][▼]で予約番組を選び、［サブメニュー］を押す



4 [▲][▼]で「予約実行切」を選び、［決定］を押す

●予約内容に「予約実行切」アイコンが表示されます。
●もう一度[サブメニュー]を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。
●「予約実行入」にしておかないと、予約録画は実行されません。



○○お知らせ○○

●すべての予約を「予約実行切」にすると、本体表示窓の“HDD” “DVD”が消灯します。
（詳しくは➜下記“本体表示窓の“◴”表示について”）
●予約録画実行中の番組を選んで上記の操作行った場合、録画が停止します。予約時間内であれば、もう一度[サブメニュー]を押して「予約実行入」を選ぶと、予約録画が再開されます。（ただし、別番組として録画されます）

☞VHSの場合

●予約録画の待機中に、カセットの入れ替えや再生などをしたいときは、予約録画を解除する必要があります。

予約待機中に、本体の［タイマー切/入 VHS ◴］を押す

●本体表示窓の“VHS”が消えます。**（詳しくは ➜ 下記“本体表示窓の“◴”表示について”）**
●予約録画の待機状態にしておかないと、予約録画は実行されません。
●予約録画中に行うと、予約録画が止まります。

録画中の予約録画をやめる

●VHSの場合は、本体の電源が「切」の状態でも操作できます。

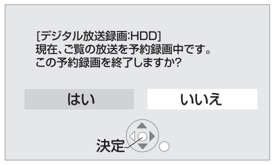
☞HDD/DVDの場合

1 HDD/DVD/SD VHS［切換］を押して、予約録画中の操作先を選ぶ

2 録画中の放送と異なる放送を見ていた場合は：
［放送/入力切換］を押して、録画中の放送を選ぶ

●本体表示窓で録画経過時間の表示が動いている放送が、現在録画中の放送です。
●画面に映っている映像が、録画をやめたい映像であるか確認してください。

3 ［停止 ■］を押す



4 [◀]で「はい」を選び、［決定］を押す

テレビ画面

○○お知らせ○○

●予約録画をやめると、予約一覧画面に「一部未実行」アイコンが表示されます。毎日·毎週予約を設定している場合は、次回からの予約を新たに追加登録します。
●予約登録がない場合やすべての予約が「予約実行切」になっている場合は、本体表示窓の“HDD” “DVD”が消灯します。**（詳しくは➜下記“本体表示窓の“◴”表示について”）**

☞VHSの場合

予約録画中に、本体の［タイマー切/入 VHS ◴］を押す

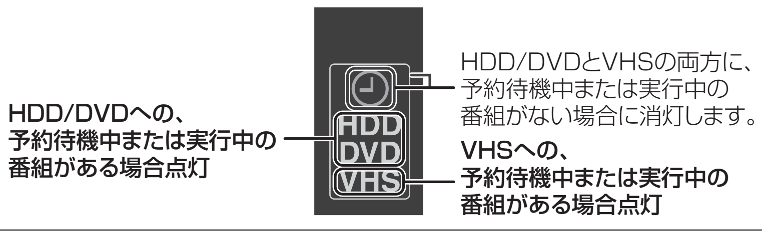
●本体表示窓の“VHS”が消えます。**（詳しくは ➜ 下記“本体表示窓の“◴”表示について”）**

○○お知らせ○○

●予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度本体の[**タイマー切/入VHS◴**]を押すと予約録画が再開されます。

本体表示窓の“◴”表示について

●HDD/DVDの場合：
予約一覧画面で、予約番組がないとき、または予約番組がすべて「予約実行切」になっているとき、本体表示窓の“HDD” “DVD”が消灯します。
●VHSの場合：
予約一覧画面で、予約番組がないとき、または予約待機が解除されているとき、本体表示窓の“VHS”が消灯します。



予約録画する（つづき）

予約内容を確認する・取り消す・修正する

予約内容を確認する・取り消す・

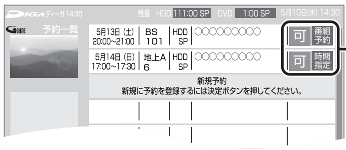
1 [HDD/DVD/SD VHS 切換] を押して、予約を設定している操作先を選ぶ

2 [予約確認] を押す

- 予約一覧画面が表示されます。
- 実行されなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。

HDD/DVDの予約一覧画面

テレビ画面



予約状況や実行されなかった予約のアイコンを表示（➜137）

VHSの予約一覧画面

録画日	CH	開始	終了	CM
14［日］	6	17：00	17：30	3倍
13［土］	4	20：00	21：30	3倍
新規予約				

3 [▲][▼]で予約番組を選ぶ

- VHS 本体表示窓にも予約一覧画面で選ばれている予約内容が表示されます。（➜右ページ"本体表示窓での予約内容表示について"）

4 [11♯ 取消し]（ふた内部）を押す

- 予約一覧から予約内容が消えます。
- HDD/DVDの予約一覧画面の場合、以下の方法でも取り消すことができます。
  - ・[消去/リセット]を押す
  - ・[決定]を押して[▶]で「取り消し」を選び、[決定]を押す
  - ・[サブメニュー]を押して「予約取り消し」を選び、[決定]を押す

予約内容を修正する

HDD/DVDの場合

1 [HDD/DVD/SD VHS 切換] を押して、操作先（「HDD」または「DVD」）を選ぶ

2 [予約確認] を押す

3 [▲][▼]で予約番組を選び、[決定]を押す

4 「修正」が選ばれている状態で、[決定]を押す

（番組予約の場合は➜47"詳細設定画面"へ）
（時間指定予約の場合は➜51"時間指定予約画面"へ）

- 時間指定予約の場合、予約録画実行中の番組でも、録画モードが"FR"以外なら予約終了時刻の変更ができます。

VHSの場合

1 [HDD/DVD/SD VHS 切換] を押して、「VHS」を選ぶ

2 [予約確認] を押す

3 [▲][▼]で予約番組を選び、[決定]を押す（➜51"タイマー予約画面"へ）

視聴制限を一時解除する（HDD/DVDのみ）

暗証番号（➜113）を入力して視聴制限を一時解除します。

1 [HDD/DVD/SD VHS 切換] を押して、操作先（「HDD」または「DVD」）を選ぶ

2 [予約確認] を押す

3 [▲][▼]で予約番組を選び、[サブメニュー S]を押す

4 「視聴制限一時解除」が選ばれている状態で、[決定]を押す

5 暗証番号を入力する

視聴制限一時解除
予約取り消し
予約実行切

履歴を削除する （HDD/DVDのみ）	「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。 **1 HDD/DVD/SD VHS［切換］を押して、操作先（「HDD」または「DVD」）を選ぶ** **2 予約確認 を押す** **3 [▲][▼]で予約番組を選び、決定 を押す** **4 「履歴削除」が選ばれている状態で、決定 を押す** ●上記手順**3**で、[サブメニュー]を押して「履歴削除」を選び、[決定]を押しても、履歴を削除することができます。
予約録画の終了時刻を延長する 予約延長 （VHSのみ）	**1 HDD/DVD/SD VHS［切換］を押して、「VHS」を選ぶ** **2 予約録画実行中に、本体の 録画 を押す** ●押すごとに延長される時間が変わります。 +15分→+30分→+45分→+1時間 └延長しない←+2時間←+1時間30分後←┘ お知らせ ●終了時刻を延長したために、別の番組予約が重なったときは、先に予約録画の始まった番組の予約が優先されます。 ●予約延長の操作中に現在時刻が終了時刻になっても、予約延長の操作をやめるまでは、そのまま録画を続けます。 ●予約録画の待機状態からは延長できません。

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

● VHS 約1分そのままにしたときは、[戻る]を押さなくても消えます。

VHS 本体表示窓での予約内容表示について

本体表示窓では、予約内容は右のように表示されます。
「新規予約」が選ばれているときは、チャンネル・日付・時刻が"ーー"で表示されます。

予約チャンネル・予約日・録画モード

予約開始時刻・録画モード

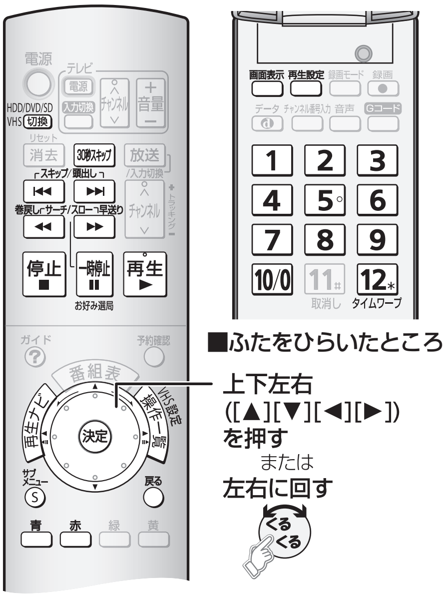
予約終了時刻・録画モード

HDD・ディスクを再生する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜23)
- DVDを再生する場合は、ディスクを入れる。(➜25)



お知らせ

- 録画中でも HDD RAM の再生はできます。
  また、[HDD/DVD/SD/VHS切換]で操作先を切り換えて再生することもできます。
  ただし、HDD/DVD側で2番組同時に録画しているとき(➜36)は、再生できません。
- 誤消去防止(プロテクト)(➜107)を設定しているカートリッジ付きディスクを入れると、自動的に再生が始まります。
- ディスクによっては、メニュー画面や映像・音声が出るまで時間がかかることがあります。
- 「ビデオDR」の番組の再生時、番組の切り換わり部分や、編集を行った部分、録画中に一時停止した部分などで、映像や音声が一瞬止まることがあります。
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは[停止■]を押して停止させてください。
- -R DL(VR) -R DL(V) は、層の変わり目で映像や音声が一瞬止まることがあります。
  (詳しくは ➜11)

SDカードのMPEG2動画の再生について

当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画を見るには、まずHDDなどにダビングしてください。(➜96)

- SDカードから直接再生することはできません。

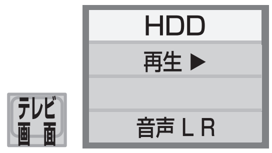
1 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ

- 本体のランプが点灯します。

例) HDD を選択

本体前面

2 再生▶ を押して、再生を始める



HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR):
最後に記録された番組から再生します。

DVD-V DVD-A VCD:
ディスクが指定した位置から再生します。

CD:
トラック1から再生します。

- ただし、続き再生メモリー機能(➜58"停止")が働いている場合は、停止した位置から再生します。

メニュー画面が表示されたとき

市販のDVDディスクなどを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

DVD-V DVD-A

[▲][▼][◀][▶]で項目を選び、決定を押す

- [1]～[10/0]で項目を選べるディスクもあります。(選びかた➜下記)

VCD

1 ～ 10/0 (ふた内部)で項目を選ぶ(2けた)

例) 5の場合…[10/0]→[5]
　　15の場合…[1]→[5]

再生の途中でメニュー画面を表示させるには

DVD-V:

再生ナビ を押す

([サブメニュー]を押して、「メニュー」を選んで表示させることもできます)

DVD-A:

再生ナビ を押す

VCD:

戻る を押す

映像が縦に引き伸ばされているとき

16:9映像を以下のように録画、ダビングした場合、4:3映像で記録されます。

- 初期設定「高速ダビング用録画」(➜115)を「入」にして(お買い上げ時の設定は「入」です)、地上アナログ放送や外部入力(DV入力含む)から録画した場合
- 初期設定「高速ダビング用録画」(➜115)を「入」にして(お買い上げ時の設定は「入」です)、ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビングした場合
- 初期設定「高速ダビング用録画」(➜115)を「入」にして(お買い上げ時の設定は「入」です)、VHS からダビングした場合
- -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R に記録した場合

初期設定「TVアスペクト」(➜117)を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

再生ナビから再生する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR)

録画した番組を、一覧表から簡単に選んで再生することができます。

1 HDD/DVD/SD VHS 切換 を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ

2 再生ナビ を押す

●録画した番組が一覧表示されます。

HDD 「ビデオDR」一覧を表示するには

青(ビデオDR)を押す

HDD RAM 「ビデオ」一覧を表示するには

HDD 赤(ビデオ)を押す　RAM 青(ビデオ)を押す

3 [▲][▼]で番組を選び、決定 を押す

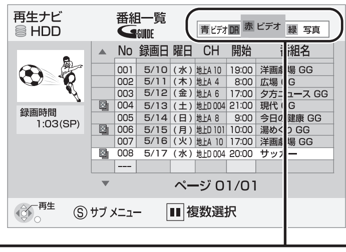
●選んだ番組の再生が始まります。
●再生ナビ画面をサムネイル表示(➜下記)にしている場合は、[▲][▼][◀][▶]で番組を選びます。

前後のページを表示するには

[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

●サムネイル表示の場合は、[▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

例) HDD (「ビデオ」一覧)



テレビ画面

番組や写真の切り換え表示

再生ナビ画面では、番組や写真を別々に管理しています。それぞれを再生するには、切り換えが必要です。

HDD　青 ビデオDR　赤 ビデオ　緑 写真

RAM　青 ビデオ　赤 写真

・**ビデオDR**(HDDのみ)：
録画モード"DR"で録画した番組
・**ビデオ**：
録画モード"XP"～"EP"、"FR"で録画した番組
・**写真**：
SDカードなどからダビングした写真
[➜63"写真(JPEG/TIFF)を再生する"]

再生ナビ画面を消すには

再生ナビ を押す

再生ナビ画面のアイコン表示については(➜136)

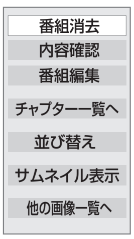
再生ナビ画面の便利な機能

再生ナビ画面では、サブメニューを使用して、番組の並び替えや他の画像への切り換えなどの操作を行うことができます。

再生ナビ画面上で、

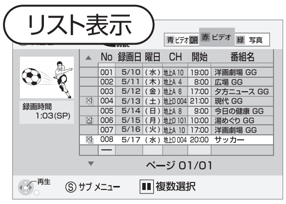
サブメニュー S を押す

例) HDD (「ビデオ」一覧)のサブメニュー



[▲][▼]で項目を選び、決定 を押す

(➜右記へ)

番組消去	番組を消去します。(➜75)
内容確認	番組の内容を確認できます。(➜75)
番組編集	番組の編集ができます。(➜75)
チャプター一覧へ	チャプターの作成・編集・再生ができます。(➜76) ●「ビデオDR」一覧では、チャプター一覧表示はできません。
サムネイル表示 **リスト表示**	**番組一覧の表示方法を変更します。** リスト表示  サムネイル表示 ●「ビデオDR」一覧では、サムネイル表示はできません。 ●設定は電源を切っても保持されます。
並び替え HDD ●リスト表示時のみ	番組の表示順を項目ごとに並び替えます。 たくさんの番組の中から再生したい番組を探すときなどに便利です。 **[▲][▼]で並び替えたい項目を選び、[決定]を押す** ●再生ナビ画面を消したり、他の画像の再生ナビ画面に切り換えると並び替えの情報は取り消されます。 ●「No」以外の項目で並び替えているときは ・選んだ番組の再生が終わると再生ナビ画面に戻ります。(連続再生はできません) ・スキップ(➜58)やタイムワープ(➜59)は、再生中の番組内でのみ働きます。
他の画像一覧へ HDD RAM	「ビデオDR」(HDDのみ)、「ビデオ」、「写真」一覧画面に切り換えることができます。 **[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押す**

HDD・ディスクを再生する（つづき）

再生中のいろいろな操作

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) CD VCD

停止

[停止■]を押す

続き再生メモリー機能
[停止■]を押すと、止めた位置を一時的に記憶します。
（停止された位置のみが記憶されます。番組単位で記憶はされません）
[再生▶]を押すと、止めた位置から再生します。

- 記憶した位置は、以下の場合解除されます。
  - ・数回[停止■]を押す。
  - ・トレイを開ける。（HDD を除く）
  - ・DVD-A CD VCD 電源を切る。
  - ・録画や予約録画を行った場合。
- [停止■]を押すと右のような画面が表示されることがあります。このあと、もう一度[停止■]を押すと、本機で受信しているテレビ放送を見ることができます。

テレビ画面

一時停止（静止画）

[一時停止 ❙❙ お好み選局]を押す

- もう一度押す、または[再生▶]を押すと、再生を再開します。

早送り・早戻し（サーチ）

[巻戻し ◀◀ サーチ/スロー]または[サーチ/スロー 早送り ▶▶]を押す

押すごとに、または押し続けると速度が速くなります（5段階）。

- マルチジョグの左回し/右回しでも動作します（CD、VCD では動作しません）。1クリック回すごとに速度が速くなります（5段階）。速度を遅くすることはできません。
- [再生▶]で通常再生に戻ります。
- 早送り1速時のみ音声が出ます。（「ビデオDR」の番組を除く）
  DVD-A（動画部以外）、CD（MP3含む）ではすべての速度で音声が出ます。
- ディスクによっては、速度が速くならないことがあります。

スキップ

再生中または一時停止中に、[スキップ/頭出し ⏮]または[スキップ/頭出し ⏭]を押す

押した回数だけ番組、場面や曲を飛び越して再生します。

ダイレクト再生

[1]～[10/0]（ふた内部）で番組や曲の番号を入力する

- 停止中（右の画面表示中）のみ働くディスクもあります。

HDD の番組、CD のMP3、写真（JPEG/TIFF）	**3けたで入力** 例）5の場合…[10/0]→[10/0]→[5] 15の場合…[10/0]→[1]→[5]
写真（JPEG/TIFF）が入っているディスク（CD は除く）	**4けたで入力** 例）5の場合…[10/0]→[10/0]→[10/0]→[5] 15の場合…[10/0]→[10/0]→[1]→[5]
DVD-A のグループ	**停止中（上の画面表示中）に1けたで入力** 例）5の場合…[5]
それ以外のディスク、DVD-A のトラック	**2けたで入力** 例）5の場合…[10/0]→[5]、15の場合…[1]→[5] ●プレイバックコントロール（➜140"PBC"）付き VCD では、停止中（上の画面表示中）にこの方法で項目を選ぶと、メニュー再生が解除されます。（本体表示窓の"ＰＢＣ"が消えます）

早見再生（1.3倍速）

HDD RAM

[再生▶]を約1秒以上押したままにする

通常の再生よりも速い速度で再生します。

- もう一度[再生▶]を押すと、通常の再生に戻ります。
- 早見再生中は、自動CM早送り（➜61）は働きません。
- 「ビデオDR」の番組では働きません。

スロー再生
- CD を除く
- DVD-A は動画部のみ

一時停止中に、[巻戻し←サーチ/スロー ◀◀] または [サーチ/スロー→早送り ▶▶] を押す

押すごとに速度が速くなります（5段階）。
- マルチジョグの左回し/右回しでも動作します（VCD では動作しません）。1クリック回すごとに速度が速くなります（5段階）。速度を遅くすることはできません。
- [再生▶]で通常再生に戻ります。
- VCD や、「ビデオDR」の番組は、送り方向[▶▶]にのみ働きます。
- スロー再生を約5分以上続けたときは、一時停止します。（DVD-V DVD-A VCD を除く）

コマ送り/コマ戻し
- CD を除く
- DVD-A は動画部のみ

一時停止中に、[◀❚❚]または[❚❚▶]を押す

押すごとに1コマずつ送り（戻し）ます。
- 押し続けると、連続してコマ送り（戻し）します。
- [再生▶]で通常再生に戻ります。
- VCD は送り方向[❚❚▶]にのみ働きます。
- 「ビデオDR」の番組でのコマ戻しは、10数コマ単位となります。

時間を指定して飛び越す
タイムワープ

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR)

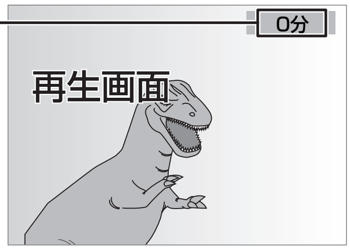
1 [12* タイムワープ]（ふた内部）を押す

2 飛び越し時間の表示中に、[▲][▼]で飛び越す時間を設定し、(決定)を押す

- 飛び越し時間表示が消えたときは、もう一度[タイムワープ/12*]を押してください。
- [▲][▼]を押すごとに1分ずつ（押し続けると10分ずつ）送り[▲]、戻し[▼]します。

飛び越し時間表示

約5秒たつと自動的に消えます。（飛び越し時間表示が消えると設定はできなくなります）



30秒先へスキップする
HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR)

[30秒スキップ]を押す

押すごとに、約30秒飛び越して再生します。
- 自動CM早送り（➜61）が働かないときなどに使うと便利です。

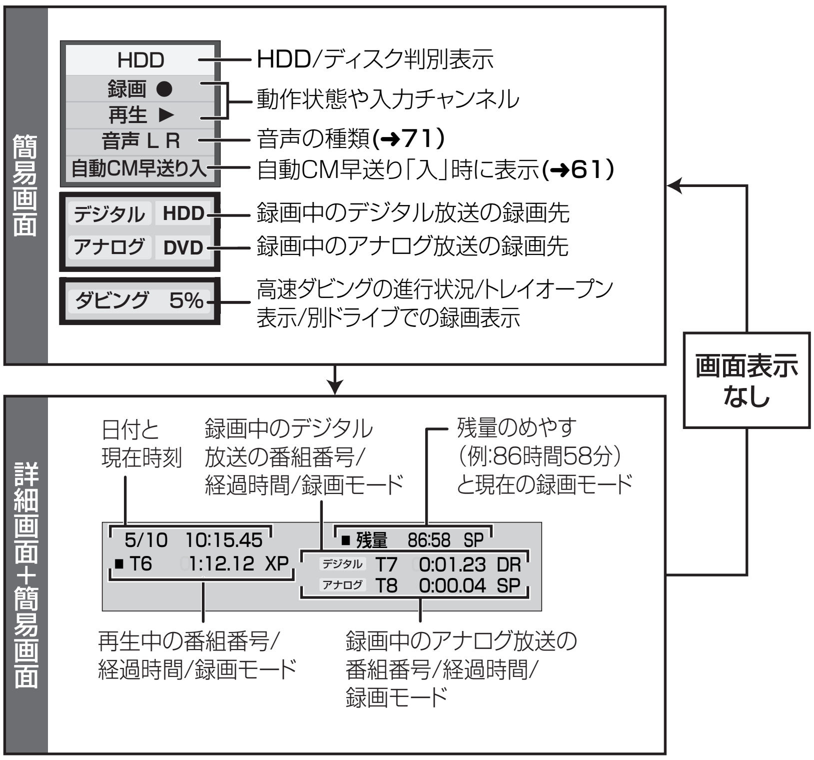
操作の状態を表示する
情報表示

本機を操作したとき、テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

[画面表示]（ふた内部）を押す

押すごとに切り換わります。
- 残量の数字は目安です。

例）HDD



HDD・ディスクを再生する(つづき)

MP3を再生する

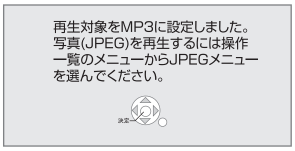
CD

- パソコンなどでMP3を記録したCD-R、CD-RWが再生できます。
- 静止画を含むMP3は、再生できないことがあります。

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜23)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、「DVD」を選ぶ。(➜22)
- MP3が記録されたディスクを入れる。(➜25)
- 必要に応じて、下記の操作を行う。

下記の画面が出たとき



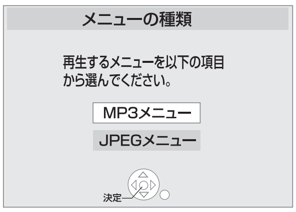
MP3と写真(JPEG/TIFF)が混在したディスクです。

[決定]を押してから、右記の操作を行ってください。

MP3を再生後、写真を再生したいときは

① 再生後、[操作一覧]を押す

② 「メニュー」が選ばれている状態で、[決定]を押す



③ [▲][▼]で「JPEGメニュー」を選び、[決定]を押す
(➜63手順2へ)

- 選択画面を消すには、[戻る]を押します。

停止するには

を押す

前の画面に戻るには

を押す

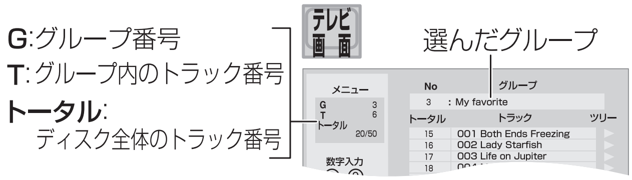
メニュー画面を消すには

を押す

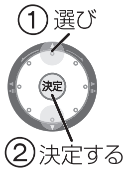
1

を押す

- フォルダやファイルに付けた名前(S-JIS第1水準)がそれぞれグループ名、トラック名として表示されます。



2 トラックを選び、(決定)を押す



- 選んだトラックの再生が始まります。
- [1]～[10/0]でもトラックを選べます。(3けたで入力)

例) 5の場合…[10/0]→[10/0]→[5]
15の場合…[10/0]→[1]→[5]

前後のページを表示するには

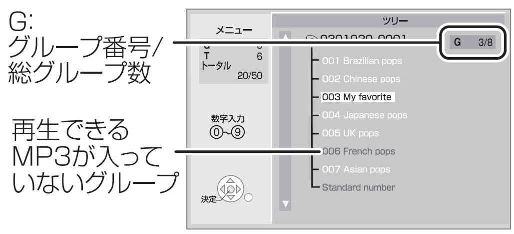
[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

別のグループを選ぶには

① [▶]を押す

② [▲][▼]でグループを選び、(決定)を押す

- 選ばれたグループのメニュー画面が表示されます。

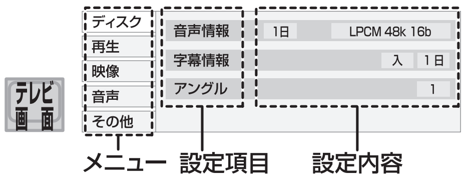


再生設定

設定の基本操作
●マルチジョグの左回し/右回しで選ぶことはできません。

1 [再生設定]（ふた内部）を押す
●再生設定画面が表示されます。
●ディスクにより設定項目は異なります。

例） DVD-V



2 [▲][▼]で設定したいメニューを選び、[▶]を押す

3 [▲][▼]で設定項目を選び、[▶]を押す

4 [▲][▼]で設定を変える
●[決定]を押して設定変更を実行するものもあります。

設定を終了するには
[再生設定]（ふた内部）を押す

ディスク独自の機能を設定する（ディスク）

音声情報※
● DVD-V DVD-A 音声や言語を選びます。
（➜下記"音声属性/言語"）
● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR)
音声属性表示のみ

信号切換
● HDD（「ビデオDR」の番組のみ）
映像や音声などを切り換えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。
・**マルチビュー**
・**映像**
・**音声**
・**二重音声**
・**字幕（オン/オフ）**
・**字幕言語（日本語/英語）**

字幕情報※
● DVD-V DVD-A
字幕表示の入/切や、言語を選びます。**（➜下記"言語"）**
● HDD（「ビデオ」の番組のみ）
RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR)
入/切のみ
[他機で録画したディスクなど、字幕の入/切 情報が記録されたディスクのみ切り換えられます。本機では、アナログ放送の字幕情報は記録されません。デジタル放送の字幕情報は、録画モード"DR"で HDDに録画する場合を除き、録画時の「字幕」の設定**（➜29,47）**のまま記録され、再生時に入/切を切り換えることはできません]

音声チャンネル
● HDD（「ビデオ」の番組のみ）
RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) VCD
音声（L/R）を切り換えます。

アングル※
● DVD-V DVD-A アングルを選びます。

静止画
● DVD-A 静止画の再生方法を選びます。
・**スライドショー**：決められた順番で再生
・**ページ**：静止画を選んで再生
- **ランダム**：順不同に再生
- **リターン**：決められた静止画を再生

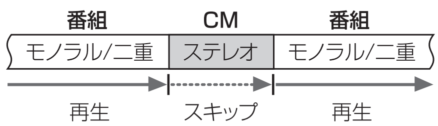
PBC（プレイバックコントロール）（➜140）
● VCD
PBC付きビデオCDでメニューの「入」、「切」が確認できます。（変更はできません）

※ディスクに収録されているメニュー画面**（➜56）**でのみ切り換えできるものもあります。
●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生方法を設定する（再生）

リピート（本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ）
●繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。
・**オール**：ディスク全体
・**番組**：番組全体
・**タイトル**：タイトル全体（DVDビデオなど）
・**チャプター**：チャプター
・**プレイリスト**：プレイリスト
・**グループ**：グループ全体
・**トラック**：トラック

自動CM早送り
● HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)（音声が下記の場合のみ）
CMを自動的に飛ばして再生します。
・録画内容によっては、正しく働かないことがあります。
例：下図のCM部分が5分以上の場合など



・以下の場合は働きません。
-「ビデオDR」の番組
- 外部入力から録画した番組
- 早見再生中**（➜58）**のとき
・設定した内容は電源を切っても保持されます。

〈音声属性〉
LPCM/PPCM/DDDigital/DTS/MPEG/AAC：信号タイプ
ch：チャンネル数　k：サンプリング周波数（kHz）　b：ビット数（bit）
〈言語〉

日：日本語	英：英語	仏：フランス語	独：ドイツ語
伊：イタリア語	西：スペイン語	蘭：オランダ語	中：中国語
露：ロシア語	韓：韓国語	＊：その他	

HDD・ディスクを再生する(つづき)

再生設定(つづき)

お好みの画質を設定する(映像)

画質選択

● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) VCD

映像ディスク再生時の画質を選びます。
「ビデオDR」の番組には、「シネマ」「3次元NR」の設定は効果がありません。

・**ノーマル** :標準
・**ソフト** :ざらつきの少ない柔らかな画質
・**ファイン** :輪郭の強調されたくっきりした画質
・**シネマ** :映画鑑賞向け
・**ユーザー** :さらに画質を調整

[◀][▶][▲][▼]で「詳細画質設定」を選び、[決定]を押す

- **コントラスト**(白黒の強弱)
- **ブライトネス**(画面全体の明るさ)
- **シャープネス**(鮮やかさ)
- **カラー**(色の濃さ)
- **ガンマ**(暗くて見えにくい映像の輪郭)
- **3次元NR**(画面全体のノイズを除去)

MPEG-DNR

● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) VCD

「入」を選ぶと、動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。

プログレッシブ(➜139)

プログレッシブ(525p)出力するかしないかを設定します。

●**初期設定**「D端子出力解像度」で「D2」~「D4」を選んでいる場合(➜117)
プログレッシブ(525p)出力を入/切 します。

●**初期設定**「HDMI映像優先モード」で「入」を選んでいる場合(➜117)
プログレッシブ(525p)出力は「入」固定になります。

●映像が左右に引き伸ばされるときは「切」にしてください。

変換モード[「プログレッシブ」(➜上記)が「入」の場合のみ]

●プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

・**Auto1**(標準) :フィルム素材とビデオ素材を自動で認識し、適切に変換します。
・**Auto2** :Auto1に加えて、フレーム数の異なるフィルム素材も自動で認識し、適切に変換します。
・**Video** :Auto1またはAuto2でぶれが生じるとき

外部入力NR(外部入力「L1」「L2」を選んでいるとき、または本機のVHS側からダビングを行っているときのみ)

●テープからのダビング前に設定しておけば、ノイズを減らして高画質で記録します。(ソフトによって映像にぶれが生じることがあります)

・**自動**(標準):テープからの入力かどうかを自動判別して映像処理を行うとき
・**入** :テープ以外も含む外部入力に対して常に映像処理を行うとき
・**切** :映像処理を行わず、入力信号のまま記録するとき

お好みの音声効果を設定する(音声)

サラウンド(アドバンスドサラウンド)

● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR)

(ドルビーデジタル2チャンネル以上の音声のみ)
フロントスピーカー(L/R)だけで音の臨場感を出します。

・音声がひずむ場合、「切」にしてください。
・接続した機器のサラウンド機能は「切」にしてください。
・本機で録音した二重音声には働きません。

シネマボイス

● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR)

(ドルビーデジタルでセンターチャンネルを含むディスクのみ)
セリフを聞き取りやすくします。

画面表示の位置を設定する(その他)

表示位置

●1(標準位置)~5:
設定値が大きいほど、画面が下に移動します。

写真(JPEG/TIFF)を再生する

HDD RAM CD SD

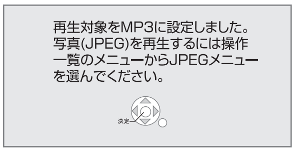
- 本機では、8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜13)
- CD パソコンなどで写真(JPEG/TIFF)を記録したCD-R、CD-RWが再生できます。
- 録画中やダビング中は写真の再生はできません。

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜23)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選ぶ。(➜22)
- ディスクまたはSDカードを入れる。(➜25)
- 必要に応じて、下記の操作を行う。

下記の画面が出たとき

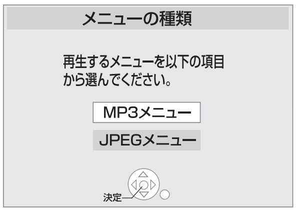
CD



MP3と写真(JPEG/TIFF)が混在したディスクです。[決定]を押して画面を消し、下記の手順で「JPEGメニュー」を選んでから、右記の操作を行ってください。

① [操作一覧]を押す

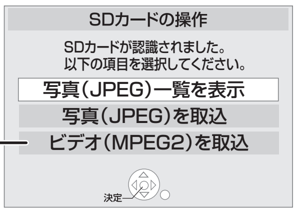
② 「メニュー」が選ばれている状態で、[決定]を押す



③ [▲][▼]で「JPEGメニュー」を選び、[決定]を押す

写真の再生後、MP3を再生したいときは
上記の手順①～②を行い、手順③で「MP3メニュー」を選んだあと、60ページ手順 2から操作する

SD

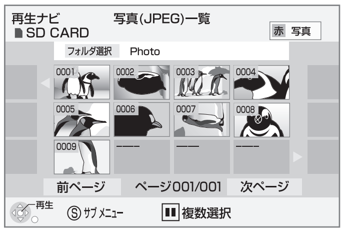


SDカードにMPEG2動画があるとき表示

「写真(JPEG)一覧を表示」が選ばれている状態で[決定]を押すと、右記の手順2に進むことができます。

1 [再生ナビ] を押す

例) SD



- 「写真(JPEG)一覧」が表示されます。
- 写真の表示順は、写真が作成された日時の順に表示されます。

テレビ画面

HDD RAM 「番組一覧」が表示されたとき
HDD の場合は 緑 (写真)を、RAM の場合は 赤 (写真)を押して、「写真(JPEG)一覧」に切り換える

- [サブメニュー]を使って切り換えることもできます。(➜57"他の画像一覧へ")

2 写真を選び、(決定)を押す

① 選び
② 決定する

- 選んだ写真が表示されます。
- [1]～[10/0]でも写真を選べます。
  HDD RAM SD (4けたで入力)、CD (3けたで入力)
  (番号の入力方法 ➜58"ダイレクト再生")

前後のページを表示するには
[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

- [▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

別のフォルダを選ぶには(➜64"別のフォルダを選ぶ")

再生をやめるには

[停止 ■] を押す

- 再生をやめた写真の位置を一時的に記憶しますが、以下の場合解除されます。
  - CD SD 電源を切る、またはディスクやカードを取り出す。
  - RAM ディスクを取り出す。

再生ナビ/メニュー画面を消すには

[再生ナビ] を押す

再生ナビ画面のアイコン表示については(➜136)

写真(JPEG/TIFF)を再生する(つづき)

写真再生のいろいろな機能

別のフォルダを選ぶ

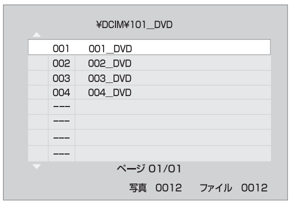
●本機で表示されるフォルダ構造例については(➜139)

1 「写真(JPEG)一覧」画面で、[▲]で「フォルダ選択」を選び、(決定)を押す

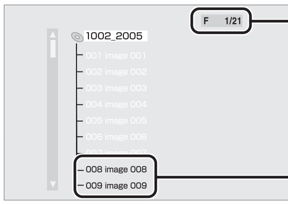
●フォルダ選択画面が表示されます。
●フォルダの表示順は、作成された順に表示します。

テレビ画面

HDD RAM SD



CD



F：フォルダ番号／総フォルダ数

再生できる写真(JPEG/TIFF)が入っていないフォルダ

2 [▲][▼]でフォルダを選び、(決定)を押す

●選ばれたフォルダのメニュー画面が表示されます。

RAM SD 上位フォルダを切り換えるには(上位フォルダに異なる対応フォルダがある場合のみ)

①フォルダ選択画面上で、[サブメニュー]を押す
②[▲][▼]で「上位フォルダ選択」を選び、[決定]を押す
③[◀][▶]でフォルダを選び、[決定]を押す

フォルダ選択画面からメニュー画面に戻るには

[戻る]を押す

写真を連続して再生する

スライドショー

1 「写真(JPEG)一覧」画面で、[▲]で「フォルダ選択」を選び、(サブメニュー S)を押す

2 「スライドショー開始」が選ばれている状態で、(決定)を押す

スライドショーの表示間隔を変えるには

① 「写真(JPEG)一覧」画面で、[▲]で「フォルダ選択」を選び、[サブメニュー]を押す
② [▲][▼]で「スライドショーの表示間隔」を選び、[決定]を押す
③ [◀][▶]で表示間隔(0秒～30秒)を設定し、[決定]を押す

画像を回転、拡大する

1 写真を再生中に、(サブメニュー S)を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、(決定)を押す

画素数の小さい写真のみ表示されます

回転した写真を元に戻すには

[サブメニュー]を押して逆方向への回転を選び、[決定]を押す

拡大した写真を元に戻すには

[サブメニュー]を押して「元のサイズで表示」を選び、[決定]を押す

お知らせ

●回転、拡大の情報は保持されません。
●拡大すると写真の一部が欠けることがあります。

写真の情報を見る

情報表示

写真を再生中に、(画面表示)(ふた内部)を2回押す

例) SD

5/10 10:15.50			
フォルダ-写真No.		100-0001	
作成日	2006/ 5/ 9	枚数	1/10

撮影日：情報がない場合「----/--/--」と表示されます。

情報表示を消すには

[画面表示](ふた内部)を押す

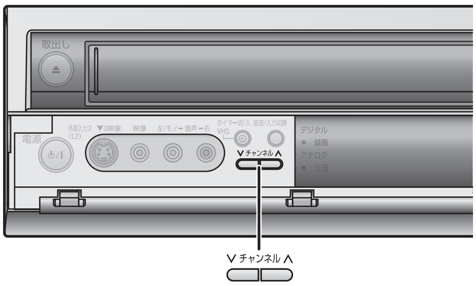
再生中に前後の写真を見る

[◀][▶]を押す

VHSを再生する

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜23)
- 録画済みのカセットを入れる。(➜25)

■ふたをひらいたところ



1 HDD/DVD/SD VHS [切換] を押して、「VHS」を選ぶ

- 本体のランプが点灯します。

本体前面

2 [再生▶] を押して、再生を始める

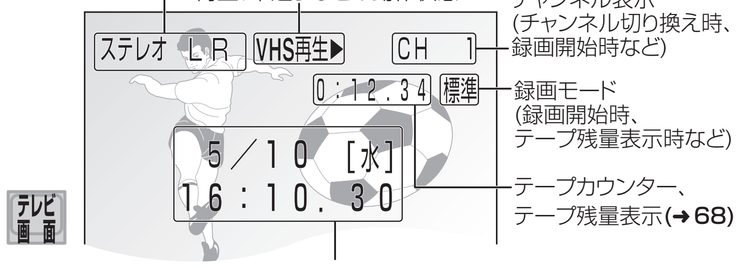
SQPB(S-VHS 簡易再生)機能

（SQPB= S-VHS（エスブイエッチエス） Quasi（クワジ） Playback（プレイバック））

- S-VHS方式で録画されたS-VHSカセットも再生することができます。
  ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。
- デジタル(D-VHS)方式で録画されたD-VHSカセットは再生できません。

画面表示について(オンスクリーン)

再生などの操作をしたときに、テレビ画面に操作内容や本機の動作状態などを約５秒間表示します。



画面表示の一例

- 次のようなときは、オンスクリーン表示は出ません。
  - ・静止画、スロー再生中
  - ・VHS設定「オンスクリーン」(➜118)を「切」にしているとき
- テレビによっては、オンスクリーン表示が横ゆれしたり、乱れたりすることがあります。また、本機の動作が切り換わるときにも乱れることがあります。

お知らせ

- 誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが“OFF”になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。(停止中、またはHDD/DVDに録画中)ただし、操作一覧画面などが表示されているときは、自動的に再生しない場合があります。
- カセットが入っているときは、電源が切れていても、[再生▶]を押すだけで再生を始めます。（電源を切る前に、操作先に「VHS」を選んでいたときのみ）
- 5倍モードで録画されたカセットの再生時は、トラッキングが自動調整されるまでに多少時間がかかることがあります。
  また、カセットによっては自動調整できないこともあります。
  このときは、手動でトラッキングを調整してください。(➜70)

停止するには

[停止■] を押す

VHSを再生する（つづき）

再生のいろいろな操作

早送り／巻き戻し	停止中に、 巻戻し┌サーチ/スロー [◀◀] または サーチ/スロー┐早送り [▶▶] を押す	●テープの終わりまで早送りすると、自動的に停止します。 ●早送り（巻き戻し）は高速で行うため、動作音が大きくなります。 また、[停止■]を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。
高速リターン	テープ終端で停止中に、 巻戻し┌サーチ/スロー [◀◀] を押す	高速で巻き戻しします。 ●テープカウンター表示は出ません。 ●高速で巻き戻すため、動作音が大きくなります。 また、[停止■]を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。 ●カセットや使用環境によっては速度が多少変わります。 ●始端まで巻き戻すと、テープカウンターは"0:00.00"になります。 ●途中で停止しても、テープカウンターの値は正しく表示されません。
早送り／ 巻き戻し再生	巻戻し┌サーチ/スロー [◀◀] または サーチ/スロー┐早送り [▶▶] を短く押す （または押し続ける）	短く押すごとに速度が切り換わります。 標準のとき　　：約9倍速←→約13倍速 3倍・5倍のとき：約27倍速←→約43倍速 ●マルチジョグの左回し／右回しでも動作します。1クリック回すごとに速度が速くなります（3段階）。速度を遅くすることはできません。再生速度は、録画モード（➜35）によって異なります。 ●[再生▶]で通常再生に戻ります。 ●[巻戻し◀◀][早送り▶▶]を押し続けるときは、指を離すと通常再生に戻ります。 お知らせ ●音声は出ません。 ●13倍速（43倍速）にすると映像が乱れることがあります。 ●5倍モードで録画された部分は、43倍速にするとブルーバック画面になり、映像を見ることはできません。 ●テープ位置によっては、速度が多少変わることがあります。 ●約10分以上続けたときは、テープとヘッド保護のため、通常再生に戻ります。
一時停止（静止画）	[一時停止 ❚❚ お好み選局] を短く押す	●もう一度押すと、再生を再開します。 ●音声は出ません。 ●5倍モードで録画された部分では画面が乱れます。 ●静止画再生を約5分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。
スロー再生	[一時停止 ❚❚ お好み選局] を約2秒以上押し続ける	●一時停止中に、マルチジョグの左回し／右回しでも動作します。1クリック回すごとに速度が速くなります。速度を遅くすることはできません。 ・右回し：スロー再生（3段階） ・左回し：逆再生（逆スロー再生はできません） ●[再生▶]で通常再生に戻ります。 ●音声は出ません。 ●5倍モードで録画された部分では画面が乱れます。 ●スロー再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。

自動巻戻し再生

[再生▶]を約5秒以上押し続ける

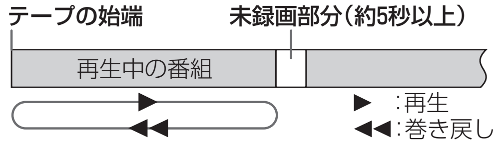
[テレビ画面]

同じ番組を繰り返し再生します。

- もう一度[**再生▶**]を押すと通常再生に戻ります。
- 停止、早送り、巻き戻し、一時停止などの操作をしても解除されます。
- この機能は解除するまで働き続けます。

お知らせ

- 番組の終わりに未録画部分が約5秒以上あるときに、正しく働きます。（未録画部分がない、または短かすぎると、次の番組まで再生されてしまいます）



- 再生中の番組よりも前の部分に、約5秒以上の未録画部分があるときは、テープの始端からその部分までを繰り返して再生します。
- テープの始端に未録画部分が約5秒以上あるときは、録画部分まで早送り再生し、そのあと再生します。

自動CM早送り再生

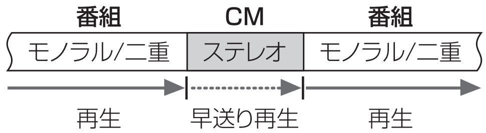
再生前または再生中に、[30秒スキップ]を押す

CMを自動的に早送りして再生します。

- “自動CM早送り 入”を表示させます。
- CM中に押したときは、そのCMの間は正しく働きません。
- 解除するには[**30秒スキップ**]を押し、“自動CM早送り 切”を表示させます。
- 電源を切っても解除されます。

お知らせ

- 番組がモノラル放送または二重放送（2カ国語放送など）で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。（CMの前後が少し切れた状態で再生されます）



- 次のようなときは正しく働きません。
  - ・番組がステレオ放送のとき（CMも通常どおり再生されます）
  - ・CMがモノラル放送または二重放送のとき
  - ・CM以外でも、音声がモノラルや二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
  - ・本機、または当社製の同機能付きビデオで録画していないカセットを再生するとき
  - ・外部入力録画したカセットを再生するとき

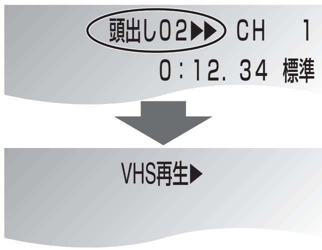
頭出し

[スキップ/頭出し ⏮]または[スキップ/頭出し ⏭]を押す

本機でカセットに録画すると、録画の開始点で自動的に頭出し信号が記録されます。これを使って録画を始めたところを頭出しすることができます。

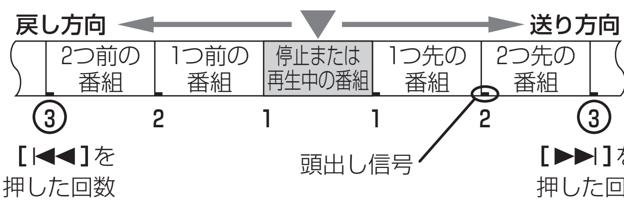
早送り（巻き戻し）を始め、押した回数だけ先の（前の）番組を再生します。

早送り方向…[▶▶|]
巻戻し方向…[|◀◀]



お知らせ

- 最大20番組先（前）までの番組が指定できます。
- ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押してください。
- 以下のときに、頭出し信号が記録されます。
  - ・[**録画●**]を押して録画を始めたとき。（録画の一時停止を解除して録画を再開したときは記録されません）
  - ・予約録画が始まったとき。
  - ・録画中に、リモコンの[**録画●**]を押したとき。
- 次のときは、正しく探せないことがあります。
  - ・頭出し信号どうしの間隔が短いとき。録画は約15分（5倍モード時は約25分）以上行ってください。



VHSを再生する(つづき)

再生のいろいろな操作(つづき)

時刻、テープカウンター、テープ残量を確認する

合わせて本体表示窓の表示も変わります。

画面表示(ふた内部)を押す

押すごとに、下図のように表示が切り換わります。
●ボタンを押して5秒以上たつと自動的に消えます。

テレビ画面

日付/現在時刻表示

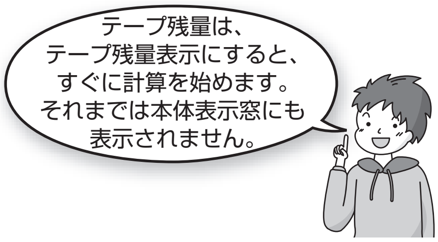
●自動時刻合わせ機能(➜準備編 37)が働いているときは、秒まで表示されます。

テープカウンター表示

●テープカウンター表示になっているときに[リセット/消去]を押すと、値が"0：00．00"になります。

テープ残量表示

●テープ残量の表示は目安です。
●カセットを入れた直後などは表示されません。テープ残量表示にすると、すぐに計算を始めます。多少時間がかかることがあります。
●次のときは、正しい表示になりません。
・VHS設定「テープ長さ」(➜118)を正しく合わせていないとき
・品質の悪いカセットを使ったとき



プログレッシブ対応テレビで高画質に楽しむ

VHSの再生時も、DVDのプログレッシブ回路をとおして、本機背面のD端子(D4まで)またはHDMI映像･音声出力端子からVHSの再生映像を出力し、プログレッシブ対応テレビで高画質の映像をお楽しみいただけます。**(プログレッシブ ➜139)**
HDD/DVD/SD動作中は、VHSの再生映像をDVDのプログレッシブ回路をとおして見ることはできません。

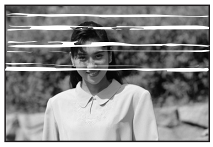
D端子(D4まで)と接続したとき	**1 本機とテレビをD端子ケーブル(別売)、またはD端子ピンケーブル(別売)を使って接続する**(➜準備編 11) **2** HDD/DVD/SD VHS 切換 **を押して、「HDD」、「DVD」または「SD」を選ぶ** **3** VHS設定 操作一覧 **を押して「その他の機能へ」を選び、初期設定画面を表示させる** **4 初期設定「D端子出力解像度」で「D2」、「D3」または「D4」を選ぶ**(➜準備編 28) ●「D3」または「D4」に設定した場合でも、VHSの再生映像は「D2」で出力されます。 **5** HDD/DVD/SD VHS 切換 **を押して「VHS」を選び、VHSの再生操作を行う** ●テレビの入力は、「色差ビデオ」に切り換えておいてください。**(➜23手順1)**
HDMI映像･音声出力端子と接続したとき	**1 本機とテレビをHDMIケーブル(別売)を使って接続する**(➜準備編 12) **2** HDD/DVD/SD VHS 切換 **を押して、「HDD」、「DVD」または「SD」を選ぶ** **3** VHS設定 操作一覧 **を押して「その他の機能へ」を選び、初期設定画面を表示させる** **4 初期設定「HDMI映像優先モード」で「入」を選ぶ**(➜準備編 30) **5 初期設定「HDMI音声出力」で「入」を選ぶ**(➜準備編 30) **6** HDD/DVD/SD VHS 切換 **を押して「VHS」を選び、VHSの再生操作を行う** ●テレビの入力は、「HDMI」に切り換えておいてください。**(➜23手順1)**

VHSを再生する(つづき)

きれいに再生できないとき

再生画面にノイズが出るときは、次の３つの要素が考えられます。

① **トラッキングがずれている**
(白い帯状のノイズが出るときなど)



② **ビデオヘッドが汚れている**
(画面全体にノイズが出るときなど)

③ **テープがいたんでいる**
ビデオヘッドが汚れるだけでなく、故障の原因となる恐れがあります。テープがいたんでいるカセットは使わないでください。

① トラッキングを調整する

再生中に、
チャンネル(トラッキング)([∧]または[∨])を押し続ける

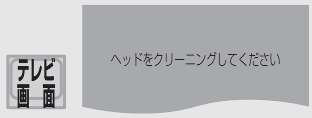
- ノイズが消えるまで押し続けてください。
- **チャンネル**[∧]と[∨]を同時に押すと、自動調整に戻ります。
- 通常は自動調整されていますので、操作の必要はありませんが、別の機器で録画されたカセットを再生するとずれやすくなります。

お知らせ

- 調整しすぎると、ハイファイ音声がノーマル音声に変わることがあります。
- テープによっては、調整しきれないことがあります。
- 静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、一度スロー再生にして、その状態でトラッキング調整を行ってください。
- 本体の**チャンネル**[∨][∧]でも調整できます。

② ビデオヘッドをクリーニングする

再生中、本体表示窓に"U11"が表示されたときは、ビデオヘッドの汚れが考えられます。またこのとき、テレビ画面には右図のような表示が出ます。



乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)(➜準備編 47)**を入れ、**
録画(ふた内部)を押して約10秒間録画する

- 約10秒後に[**停止■**]を押してください。
- このあと、録画済みのカセットを入れて再生してみてください。
- ３回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。

静止画面が上下にゆれるとき

静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。

静止画再生中に、
チャンネル(トラッキング)([∧]または[∨])を押し続ける

- ゆれが止まるまで押し続けてください。
- **チャンネル**[∧]と[∨]を同時に押すと、元の状態に戻ります。

お知らせ

- 本体の**チャンネル**[∨][∧]でも調整できます。
- テレビの垂直同期も調整してみてください。(テレビの説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください)

音声を切り換える

HDD **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** **DVD-V** **DVD-A** **-RW(VR)** **VCD** **VHS**

テレビ番組の受信、または再生中の音声を切り換えることができます。

- デジタル放送で切り換えることのできる音声の種類と数は、番組により異なります。
- ステレオ放送のときは「ステレオ音声」が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。（2カ国語オート再生）
- 電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。

2カ国語オート再生機能について

- 次のようなときは、2カ国語オート再生機能は働きません。
  - ・**[音声]**を押して、音声を選んだあと（選んだ音声を本機が記憶しているためです。一度電源を切ると、この機能は働くようになります）
  - ・**HDD** **RAM** **-R(VR)** 外部入力から録画または本機でVHSからダビングしたディスクを再生中
  - ・**VHS** 外部入力から録画、または本機でHDD/DVDからダビングしたカセットを再生中
  - ・本機または当社製の同機能付きビデオで録画していない番組を再生中
  - ・番組の途中から再生を始めたとき
    この機能が、記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。このときは**[音声]**で音声を選んでください。

放送受信時

[音声]（ふた内部）を押す

押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

例）二重放送

二重L(主) → 二重R(副) → 二重LR(主+副) →（二重L(主)に戻る）

例）マルチ音声放送

ステレオLR 日本語 → ステレオL 日本語 → ステレオ R 日本語 → ステレオLR 英語 → ステレオL 英語 → ステレオ R 英語 →（ステレオLR 日本語に戻る）

○○ お知らせ ○○

- HDD/DVD側は、**初期設定**「高速ダビング用録画」**(➜115)**が「切」になっていないと、アナログ放送の音声を切り換えることができません。（お買い上げ時の設定は「入」です）
- **HDD** **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** **VHS**
  録画・ダビング中に**[音声]**を押しても、記録される音声に影響はありません。
- **VHS** 選んだ音声だけを録音することはできません。
- 外部入力から録音する場合、入力した音声（L/R）のまま出力されます。
- 次のときはHDD/DVDの音声を選ぶことができません。
  - ・「DVD」選択中、ディスクトレイに **-R(V)** **-R DL(V)** **-RW(V)** **+R** が入っているときのアナログ放送の音声
  - ・録画モードが“XP”で、**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」**(➜116)**が「LPCM」になっているとき
- 音響機器と光デジタルケーブルのみで接続した場合、**初期設定**「Dolby Digital」が「Bitstream」になっていると、HDD/DVD側で二重音声などを切り換えできません。
  以下のどちらかの方法で切り換えできるようになります。
  - ・「Dolby Digital」を「PCM」にする。**(➜116)**
  - ・音声コード（別売）も音響機器に接続し、音響機器側で入力を切り換える。
    （接続方法は、別冊の取扱説明書 準備編をご覧ください）

再生時

[音声]（ふた内部）を押す

- **HDD** **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** **DVD-V** **DVD-A** **-RW(VR)** **VCD**：
  押すごとに、収録されている内容によって切り換わります。

HDD **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** **-RW(VR)** **VCD**

例） 音声L → 音声R → 音声LR →（音声Lに戻る）

DVD-V **DVD-A**

音声情報　1日　DD Digital 2/0ch

（➜61“言語”）

- **VHS**：録画したテレビ番組の音声が切り換わります。

ステレオの番組：

ステレオ音声(音声LR) → 音声L → 音声R → ノーマル音声(L+R)

二重放送：

主音声+副音声 → 主音声 → 副音声 → ノーマル音声(主音声)

モノラルの番組：

音声L＋音声R → 音声L → 音声R → ノーマル音声(モノラル)

- **HDD** **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** **VHS**
  二重放送の主、副両音声を録画・ダビングした場合は、主音声が“L”、副音声が“R”に記録されています。押すごとに切り換わります。

○○ お知らせ ○○

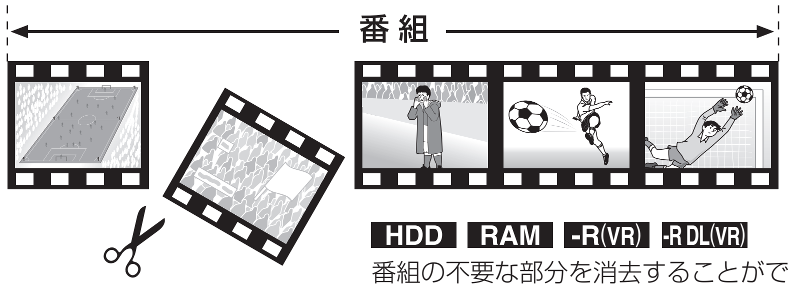
- モノラル放送の音声を再生する場合、切り換えにかかわらずすべてモノラルとなります。
- **DVD-V** **DVD-A** ディスクに複数の言語が収録されていない場合や、ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

番組の編集について

本機では、HDDやディスクに記録した番組を必要に応じて編集することができます。

録画した番組の編集ができます

➔74 録画した番組を編集する



HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)

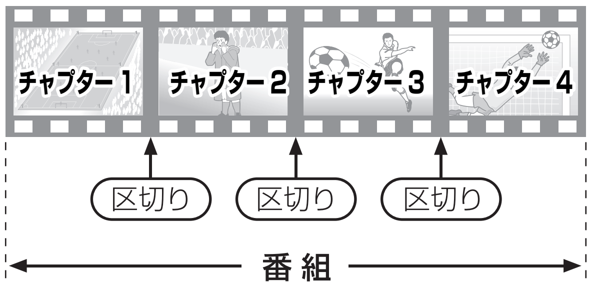
番組の不要な部分を消去することができます。

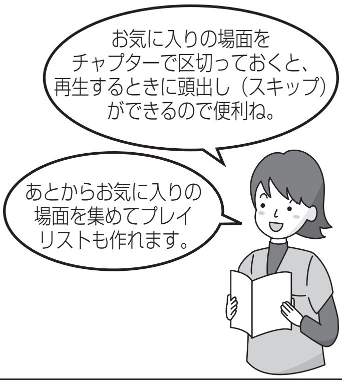
好みの位置で区切りを付けられます

チャプター

➔76 チャプターの作成・再生・編集

区切りから区切りの間をチャプターと呼びます。

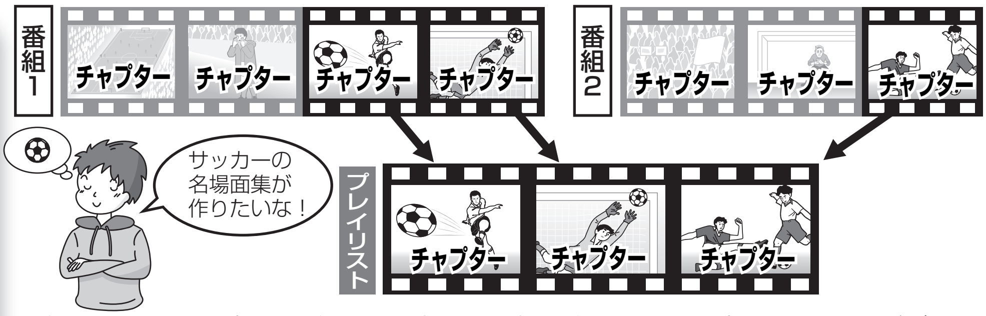




お気に入りの場面のみを集めることができます

プレイリスト

➔77 プレイリストの作成・再生・編集



お気に入りのチャプターを集めて再生したい順に並べたものをプレイリストと呼びます。
（複数の番組からチャプターを集めて作成することもできます）

本機でできること		HDD「ビデオDR」	HDD「ビデオ」	RAM	-R(VR)	-R(V)	-R DL(VR)	-R DL(V)	-RW(V)	+R
番組の編集（➔74）	番組消去	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	内容確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	番組名入力	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	プロテクト設定	○	○	○	○	×	○	×	×	×
	部分消去	○	○	○	○	×	○	×	×	×
	サムネイル変更	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	番組分割	○	○	○	○	×	○	×	×	×
チャプターの作成・編集（➔76）		×	○	○	○	×	○	×	×	×
プレイリストの作成・編集（➔77）		×	○	○	○	×	○	×	×	×

番組や写真を消去する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R SD
（ファイナライズしたディスクではできません）

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜23)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、消去したい映像が入っている操作先（「HDD」、「DVD」または「SD」）を選ぶ。(➜22)
- ディスクやカートリッジの誤消去防止設定（プロテクト）を解除しておく。(➜107)

番組や写真を消去すると記録内容が消え、元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。
録画中やダビング中は消去できません。

消去後のディスク、カードの残量について

- HDD RAM：
  記録した番組または写真を消去すると、消去した分、ディスク残量が増えます。

どれを消去しても残量が増えます				
番組または写真1	番組または写真2	･･･	最後に記録した番組または最後に記録した写真	残量

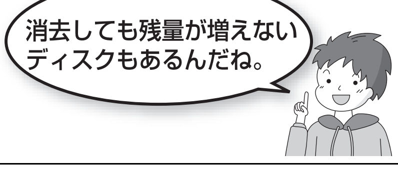
- -RW(V)：
  最後に記録した番組を消去したときのみ、ディスク残量が増えます。

消去しても残量は増えません			消去すると残量が増えます	
番組 1	番組 2	･･･	最後に記録した番組	残量

- SD：
  記録した写真を消去すると、消去した分、カード残量が増えます。

どれを消去しても残量が増えます				
写真 1	写真 2	･･･	最後に記録した写真	残量

- -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) +R：
  消去しても残量は増えません。



消去ナビ画面上（右記手順3）では[サブメニュー]を使って、内容確認やプロテクト解除などの操作が行えます。
サブメニュー操作について
- 「番組一覧」(➜74手順2)
- 「写真(JPEG)一覧」(➜80手順2)

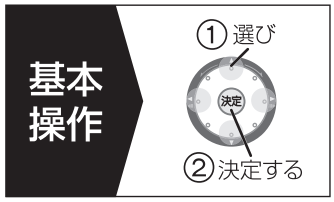
前の画面に戻るには
[戻る]を押す

画面を消す
[戻る]を数回押す

音声ガイドをやめるには
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜114)

消去ナビを使って消去する

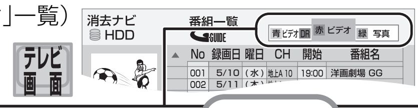
不要になった番組や写真を一覧画面から簡単に選んで消去することができます。



1 停止中に、[VHS設定 操作一覧]を押す
- 操作一覧画面が表示されます。

2 「消去する」を選び、[決定]を押す
- 消去ナビ画面が表示されます。

例）HDD（「ビデオ」一覧）



・**ビデオDR**（HDDのみ）：
録画モード“DR”で録画した番組
・**ビデオ**：
録画モード“XP”～“EP”、“FR”で録画した番組
・**写真**：SDカードなどからダビングした写真

HDD 「ビデオDR」一覧を表示するには
[青]（ビデオDR）を押す

HDD RAM 「ビデオ」一覧を表示するには
HDD [赤]（ビデオ）を押す　RAM [青]（ビデオ）を押す

HDD RAM 「写真(JPEG)」一覧を表示するには
HDD [緑]（写真）を押す　RAM [赤]（写真）を押す

3 消去する番組または写真を選び、[決定]を押す

前後のページを表示するには
[|◀◀]（前ページ）または[▶▶|]（次ページ）を押す
- サムネイル表示の場合は、[▲][▼][◀][▶]で“前ページ”または“次ページ”を選び、[決定]を押してもページの切り換えができます。

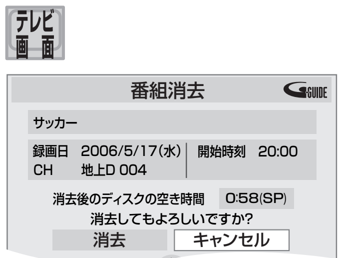
複数の番組または写真をまとめて消去するには
[▲][▼]([◀][▶])で番組などを選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す
- ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

[写真(JPEG)一覧のみ] 別フォルダの写真を選ぶには(➜64)

4 「消去」を選び、[決定]を押す
- 番組または写真が消去されます。

番組または写真を再生中に消去する

1 番組または写真を再生中に、[リセット 消去]を押す
- チャプター再生中は働きません。チャプターを消去するには、「チャプター消去」で消去してください。(➜76)



例）HDD 番組を消去する

2 [◀]で「消去」を選び、[決定]を押す
- 番組または写真が消去されます。

録画した番組を編集する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR)
（ファイナライズしたディスクでは編集できません。ただし、-R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)は、ファイナライズ後でも「内容確認」のみできます）

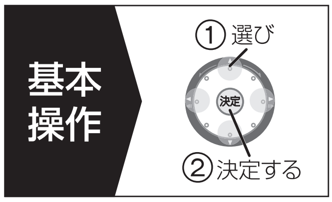
準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜23)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、編集したい映像が入っている操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。(➜22)
- ディスクやカートリッジの誤消去防止設定（プロテクト）を解除しておく。(➜107)

- ディスクの内容を直接編集します。消去などを行った場合には、元に戻すことはできません。お気をつけください。
- 録画中やダビング中などは編集できません。
- VHS側でカセットに録画された番組は表示されません。

-R(VR) -R DL(VR)
編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。編集はHDD上で行い、そのあと -R(VR) -R DL(VR) にダビングすることをおすすめします。

前の画面に戻るには
[戻る] を押す

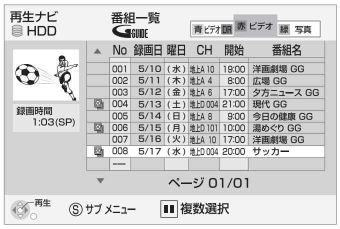
画面を消すには
[再生ナビ] を押す



1 再生中または停止中に、[再生ナビ]を押す

- 番組一覧が表示されます。

例) HDD (「ビデオ」一覧)



HDD 「ビデオDR」一覧を表示するには

[青](ビデオDR)を押す

HDD RAM 「ビデオ」一覧を表示するには

HDD [赤](ビデオ)を押す　RAM [青](ビデオ)を押す

2 編集する番組を選び、[サブメニュー Ⓢ]を押す

前後のページを表示するには

[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

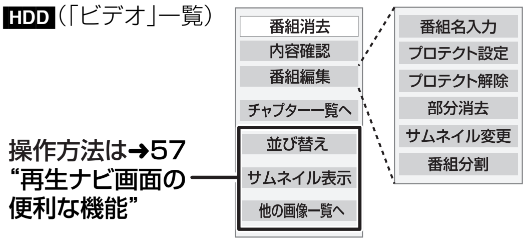
- サムネイル表示の場合は、[▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押してもページの切り換えができます。

複数の番組をまとめて編集するには

[▲][▼]([◀][▶])で番組を選び、[一時停止❚❚] を押す操作を繰り返す

- ☑ が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

例) HDD (「ビデオ」一覧)



3 編集する項目を選び、[決定]を押す(➜右ページへ)

- 「番組編集」を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押します。

「チャプター一覧へ」を選んだときは

チャプター一覧画面に切り換わります。(➜76手順4へ)

番組を消す

番組消去

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

消去すると録画内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀]で「消去」を選び、決定を押す

- -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) +R 消去してもディスク残量は増えません。
- -RW(V) 最後に録画した番組を消去したときのみ、ディスク残量が増えます。

内容を確認する

内容確認

番組名、録画日、チャンネルなどの確認ができます。

画面を消すには

[決定]を押す

番組名を付ける

番組名入力

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

文字入力については(➜109)

誤消去防止の設定/解除

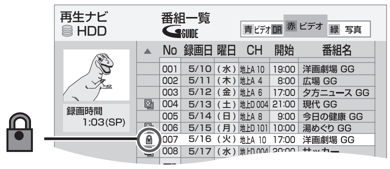
プロテクト設定/解除

HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)

大切な録画内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定または解除ができます。

[◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

- プロテクト設定すると"🔒"が表示されます。解除すると消えます。



番組の不要な部分を消す

部分消去

HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)

録画した番組の消したい部分を指定して消去します。

1 消去する部分の開始点(イン点)で、決定を押す※

2 消去する部分の終了点(アウト点)で、決定を押す

3 [▲][▼]で「終了」を選び、決定を押す

続けて別の不要な部分を消去するには

「次へ」を選んで[決定]を押す
(手順4を行ったあと、手順1へ)

4 [◀]で「消去」を選び、決定を押す

番組一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する

サムネイル変更

HDD(「ビデオDR」ではできません)
RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

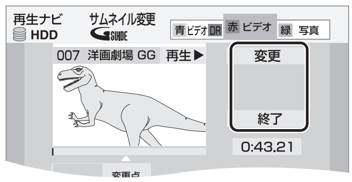
1 再生▶を押して、再生を始める

2 お好みの場面で、決定を押す※

場面を選び直すには

① [▲][▼]で「変更」を選び、[再生▶]を押して再生を始める
② お好みの場面で、[決定]を押す

3 「終了」が選ばれている状態で、決定を押す



番組を2つに分割する

番組分割

HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)

分割すると元に戻すことができません。分割をしてよいか確認してから行ってください。

1 分割する場面で、決定を押す※

分割する場面を確認するには

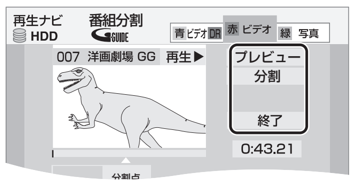
「プレビュー」が選ばれている状態で、[決定]を押す
- 分割する場面の前後10秒間が再生されます。

分割する場面を選び直すとき

① [▲][▼]で「分割」を選び、[再生▶]を押して再生を始める
② 分割する場面で、[決定]を押す

2 [▲][▼]で「終了」を選び、決定を押す

3 [◀]で「分割」を選び、決定を押す



- 分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。「プレビュー」(➜上記)で確認のうえ、実行してください。
- 番組名(➜上記)や録画禁止などの情報は、分割した番組の両方に反映されます。サムネイル(➜上記)は、元のサムネイルがある番組のほうに反映され、もう一方の番組のサムネイルは、番組の先頭になります。

※編集中の便利な機能(編集したい場面を探すのに便利です)
- 早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜58、59)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
- スキップ(➜58)を使うと、チャプターを飛び越すことができます。

チャプターの作成・再生・編集

HDD（「ビデオ」の番組のみ）
RAM
-R(VR) **-R DL(VR)**（ファイナライズ後は再生のみ）
-RW(VR)（再生のみ）

チャプターとは（➔72“番組の編集について”）

チャプターの最大記録数
HDD（1番組あたり）約1000
RAM **-R(VR)** **-R DL(VR)** 約1000
（記録状態によって変化します）

お知らせ

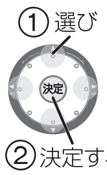
- 「ビデオDR」の番組では、チャプターの作成、再生、編集はできません。
- 二重放送の番組を録画した場合、CM部分などで自動的に複数のチャプターが作成される場合があります。ただし、録画モード“DR”で録画した場合や、外部入力から録画した場合は、作成されません。

-R(VR) **-R DL(VR)**

編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。編集はHDD上で行い、そのあと **-R(VR)** **-R DL(VR)** にダビングすることをおすすめします。

74ページ手順3で「チャプター一覧へ」を選んだあとに操作します。

基本操作



4

チャプターを再生する場合は：

チャプターを選び、（決定）を押す

- 選んだチャプターの再生が始まります。

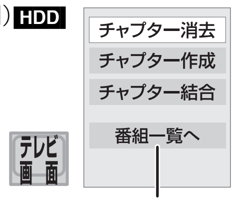
チャプターを編集する場合は：

チャプターを選び、（サブメニュー S）を押す

（➔ 手順5へ）

- “チャプター作成”するときは、チャプターを選ばずにそのまま[**サブメニュー**]を押してください。

例）**HDD**



番組一覧に戻る

前後のページを表示するには
[**|◀◀**]（前ページ）または[**▶▶|**]（次ページ）を押す
- [▲][▼][◀][▶]で“前ページ”または“次ページ”を選び、[**決定**]を押してもページの切り換えができます。

複数のチャプターをまとめて編集するには
[▲][▼][◀][▶]でチャプターを選び、[**一時停止❚❚**]を押す操作を繰り返す
- ☑が表示されます。もう一度[**一時停止❚❚**]を押すと解除されます。

5

編集する項目を選び、（決定）を押す

（➔右記へ）

前の画面に戻るには
（戻る）を押す

画面を消すには
（戻る）を数回押す

チャプター部分を消す（部分消去）
チャプター消去

指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。

実行すると元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀]で「消去」を選び、（決定）を押す

- チャプターをすべて消去すると、その番組自身も消去されます。
- チャプターの区切りのみ消去したい場合は、「チャプター結合」を行ってください。（**➔下記**）（録画内容は消去されません）

チャプターを作成する
チャプター作成

映像を見ながら区切りたい部分を指定します。

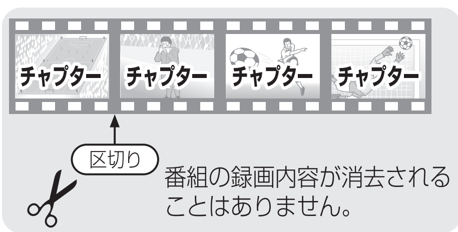
1 チャプターを区切る位置で、（決定）を押す

- 早送りやスロー再生、タイムワープなど（**➔58、59**）を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
- 繰り返して複数の位置を指定できます。

2 [▲][▼]で「終了」を選び、（決定）を押す

区切りをなくしてチャプターをつなぐ
チャプター結合

選択中のチャプターと次のチャプターの区切りをなくし、1つにつなぎます。



番組の録画内容が消去されることはありません。

[◀]で「結合」を選び、（決定）を押す

プレイリストのチャプターを作成・再生・編集する場合は
（➔78）

プレイリストの作成・再生・編集

準備

- テレビに本機の画面を出す。**(➜23)**
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、編集したい映像が入っている操作先(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。**(➜22)**
- ディスクやカートリッジの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。**(➜107)**

プレイリストとは
(➜72"番組の編集について")

- プレイリストは再生順を登録するだけなので、ディスク容量はほとんど使いません。ただし、-R(VR) -R DL(VR) でプレイリスト編集を行う場合は、残量の減少にお気をつけください。**(➜下記)**
- プレイリストやプレイリストのチャプターは、消したり新たに作成しても元の番組やチャプターには影響しません。
- 録画中やダビング中は、プレイリストの作成、編集はできません。
- ダビング**(➜91,94)**すると、ダビング先では番組になります。(8時間を超えるプレイリストはダビングできません)
- **「ビデオDR」の番組では、プレイリストを作成、再生、編集はできません。**

HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)
最大記録数
プレイリスト:99
プレイリストのチャプター:約1000
(記録状態によって変化します)

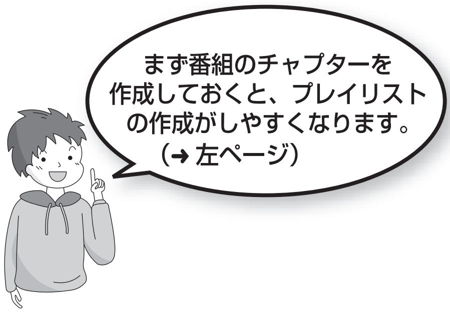
-R(VR) -R DL(VR)
編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。編集はHDD上で行い、そのあと -R(VR) -R DL(VR) にダビングすることをおすすめします。

前の画面に戻るには
[戻る] を押す

画面を消すには
[戻る] を数回押す

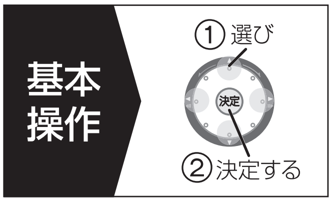
プレイリスト一覧/新規作成画面の前後のページを表示するには
[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

- プレイリスト一覧画面の場合は、[▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押してもページの切り換えができます。



プレイリストを作成する

HDD (「ビデオ」の番組のみ) RAM
-R(VR) -R DL(VR) (ファイナライズしたディスクではできません)



1 **停止中に、[VHS設定 操作一覧] を押す**

- 操作一覧画面が表示されます。

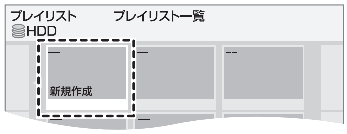
2 **「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す**

3 **「プレイリスト」を選び、[決定] を押す**

4 **「新規作成」を選び、[決定] を押す**

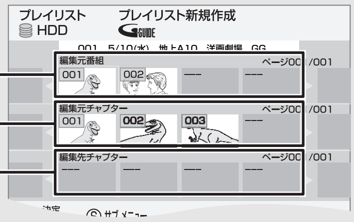
- はじめてプレイリストを作成するときは、そのまま[決定]を押してください。

テレビ画面



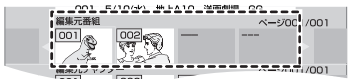
- **プレイリスト新規作成画面が表示されます。**
  1行目、2行目は、「ビデオ」の番組とその番組に含まれるチャプターの一覧です。これらをお好みの順番で3行目に登録し、プレイリストを作成します。

(1行目)**編集元**番組
(2行目)**編集元**チャプター
(3行目)**編集先**チャプター



5 **プレイリストに加えたいチャプターの入っている編集元番組を選び、[▼]を押す**

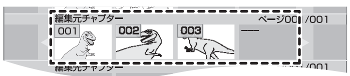
(1行目)



編集元番組内のチャプターをすべて選ぶには
編集元番組を選び、[決定]を押す(➜手順7へ)

6 **プレイリストに加えたい編集元チャプターを選び、[決定] を押す**

(2行目)



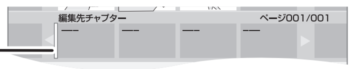
編集元チャプターを選び直すには
[▲]を押す

別の編集元番組を選ぶには
[▲]を数回押して編集元番組の行を選び、手順5に戻る

編集元番組のチャプターを新たに作成するには
① 編集元番組や編集元チャプターを選び、[サブメニュー]を押す
② 「チャプター作成」を選び、[決定]を押す
(操作方法は ➜ 左ページ"チャプターを作成する")

7 **選んだ編集元チャプターの挿入位置を選び、[決定] を押す**

(3行目)
カーソルが移動します



続けて編集元チャプターを追加するには
手順6～7を繰り返す

8 **[戻る] を押して、作成を終了する**

- 選んだシーンの集まりがプレイリストとなります。

プレイリストの作成・再生・編集（つづき）

HDD（「ビデオ」の番組のみ）
RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)
（-RW(VR)、ファイナライズした -R(VR) -R DL(VR) では、再生と「内容確認」のみできます）

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜23)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、編集したい映像が入っている操作先（「HDD」または「DVD」）を選ぶ。(➜22)
- ディスクやカートリッジの誤消去防止設定（プロテクト）を解除(➜107)し、プレイリスト作成(➜77)済みのディスクを入れる。

- プレイリストのチャプターを編集しても、元の番組やチャプターには影響しません。

☞前の画面に戻るには

［戻る］を押す

☞画面を消すには

［戻る］を数回押す

☞プレイリスト一覧、チャプター一覧の前後のページを表示するには

[|◀◀]（前ページ）または[▶▶|]（次ページ）を押す

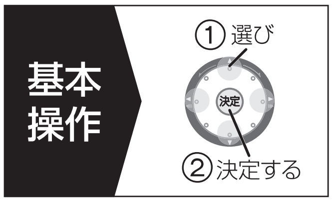
- [▲][▼][◀][▶]で"前ページ"または"次ページ"を選び、[決定]を押してもページの切り換えができます。

☞複数のプレイリストやチャプターをまとめて編集するには

[▲][▼][◀][▶]でプレイリストやチャプターを選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す

- ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

プレイリストを再生・編集する



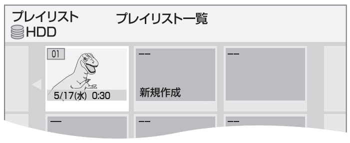
1 停止中に、［VHS設定 操作一覧］を押す

- 操作一覧画面が表示されます。

2 「その他の機能へ」を選び、［決定］を押す

3 「プレイリスト」を選び、［決定］を押す

テレビ画面



4 プレイリストを再生する場合は：

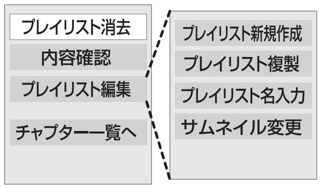
プレイリストを選び、［決定］を押す

- 選んだプレイリストの再生が始まります。

プレイリストを編集する場合は：

プレイリストを選び、［サブメニュー S］を押す（➜手順5へ）

- "プレイリスト新規作成"するときは、プレイリストを選ばずにそのまま[サブメニュー]を押してください。



5 編集する項目を選び、［決定］を押す（➜右ページへ）

- 「プレイリスト編集」を選んだときは、さらに[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押します。

☞「チャプター一覧へ」を選んだときは

チャプター一覧画面に切り換わります。（➜手順6へ）

6 チャプターを再生する場合は：

チャプターを選び、［決定］を押す

- 選んだチャプターの再生が始まります。

チャプターを編集する場合は：

チャプターを選び、［サブメニュー S］を押す（➜手順7へ）

- "チャプター作成"するときは、チャプターを選ばずにそのまま[サブメニュー]を押してください。

例）HDD

プレイリスト一覧に戻る

7 編集する項目を選び、［決定］を押す（➜右ページへ）

プレイリストを消す
プレイリスト消去

消去すると、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀]で「消去」を選び、(決定)を押す

内容を確認する
内容確認

作成日などの確認ができます。

画面を消すには
[決定]を押す

プレイリストを新しく作る
プレイリスト新規作成

（操作方法は➜77 “プレイリストを作成する” 手順5～7）

プレイリストを複製する
プレイリスト複製

[◀]で「複製」を選び、(決定)を押す

●複製されたプレイリストは、最も新しいプレイリストとして登録されます。

プレイリスト名を付ける
プレイリスト名入力

文字入力については（➜109）

プレイリスト一覧で表示される画像（サムネイル）を変更する
サムネイル変更

1 [再生▶]を押して、再生を始める

2 お好みの場面で、(決定)を押す※

場面を選び直すには
① [▲][▼]で「変更」を選び、[再生▶]を押して再生を始める
② お好みの場面で、[決定]を押す

3 「終了」が選ばれている状態で、(決定)を押す

チャプターを追加する
チャプター追加

（操作方法は➜77 “プレイリストを作成する” 手順5～7）

チャプターの順番を変える
チャプター移動

[▲][▼][◀][▶]で移動先を選び、(決定)を押す

カーソルが移動します

チャプターを作成する
チャプター作成

映像を見ながら区切りたい部分を指定します。

1 チャプターを区切る位置で、(決定)を押す※

●繰り返して複数の位置を指定できます。

2 [▲][▼]で「終了」を選び、(決定)を押す

区切りをなくしてチャプターをつなぐ
チャプター結合

選択中のチャプターと次のチャプターの区切りをなくし、1つにつなぎます。

[◀]で「結合」を選び、(決定)を押す

チャプター部分を消す（部分消去）
チャプター消去

[◀]で「消去」を選び、(決定)を押す

●チャプターをすべて消去すると、そのプレイリスト自身も消去されます。

※編集中の便利な機能（編集したい場面を探すのに便利です）
●早送りやスロー再生、タイムワープなど（➜58、59）を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
●スキップ（➜58）を使うと、チャプターを飛び越すことができます。

写真を編集する

HDD RAM SD

- 写真単位、またはフォルダ単位で編集することができます。
- 本機では、8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜13)
- CD-RやCD-RWに記録された写真は編集できません。

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜23)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、編集したい写真が入っている操作先(「HDD」、「DVD」または「SD」)を選ぶ。(➜22)
- ディスク、カートリッジ、カードの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜107)

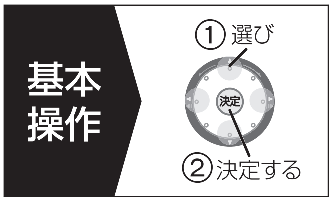
☞前の画面に戻るには

戻る を押す

☞画面を消すには

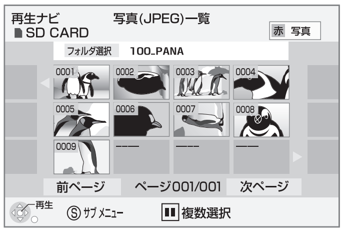
再生ナビ を押す

1 再生中または停止中に、再生ナビ を押す



- 写真(JPEG)一覧が表示されます。

例) SD



☞ HDD RAM 「番組一覧」が表示されたとき

HDD の場合は 緑 (写真)を、RAM の場合は 赤 (写真)を押して、「写真(JPEG)一覧」に切り換える

2 写真を編集する場合は:
編集する写真を選び、サブメニュー S を押す

例) SD

☞別フォルダの写真を選ぶには

① [▲]で「フォルダ選択」を選び、[決定]を押す
- フォルダ選択画面が表示されます。

② [▲][▼]でフォルダを選び、[決定]を押す
- 選ばれたフォルダのメニュー画面が表示されます。

フォルダごと編集する場合は:

1 「フォルダ選択」を選び、決定 を押す

2 編集するフォルダを選び、サブメニュー S を押す

例) SD

RAM SD
上位フォルダに異なる対応フォルダがある場合のみ表示されます。

☞上位フォルダを切り換えるには

① [▲][▼]で「上位フォルダ選択」を選び、[決定]を押す
② [◀][▶]でフォルダを選び、[決定]を押す

☞前後のページを表示するには

[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

- [▲][▼][◀][▶]で“前ページ”または“次ページ”を選び、[決定]を押してもページの切り換えができます。

☞複数の写真やフォルダをまとめて編集するには

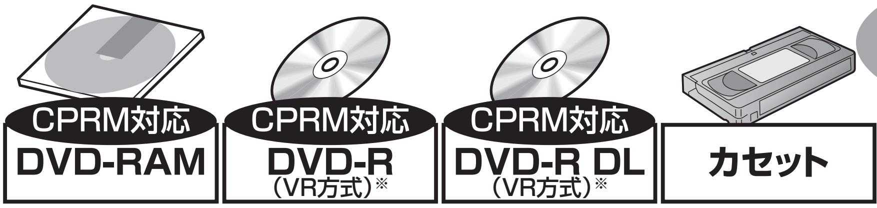
[▲][▼][◀][▶]で写真やフォルダを選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す

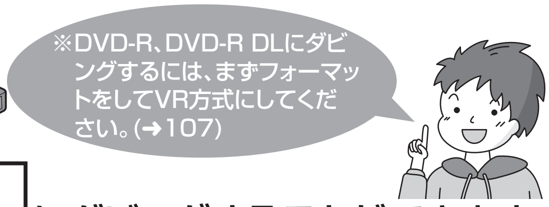
- ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

3 編集する項目を選び、決定 を押す (➜右ページへ)

消去する 写真の消去 フォルダごと消去	消去すると記録内容が消え、元に戻すことはできません。消去してよいか確認してから行ってください。 **[◀]で「消去」を選び、決定 を押す** ●フォルダを消去する場合は、フォルダ内の写真以外のファイルも消去されます。(フォルダ内の下位フォルダは除く)
フォルダ名を付ける フォルダ名入力	**文字入力については**(➜109) ●本機で入力したフォルダ名は、他の機器では表示されないことがあります。
誤消去防止の設定/解除 写真のプロテクト設定/解除 フォルダのプロテクト設定/解除	**[◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定 を押す** ●プロテクトを設定すると" "が表示されます。解除すると消えます。 ●本機でフォルダにプロテクトを設定していても、他の機器では解除されることがあります。
プリンターや写真店でプリントする枚数を設定する 写真のDPOF設定 フォルダ内のDPOF設定 SD	**[◀][▶]で枚数(0枚～9枚)を選び、決定 を押す** ●DPOFマークが表示されます。 (「フォルダ内のDPOF設定」では設定したフォルダの中の写真に表示されます) **設定を解除するには** 「0枚」に設定する ●本機での設定は他の機器で見られない場合があります。 ●本機で設定すると、他の機器で行った設定は解除されます。 ●写真やフォルダがDCF規格(➜13)でない場合や、カードに残量がない場合は設定できません。

デジタル放送の番組のダビングについて





にダビングすることができます。

● 8 cmのDVD-RAMには記録できません。

HDDからディスクへダビングするときは

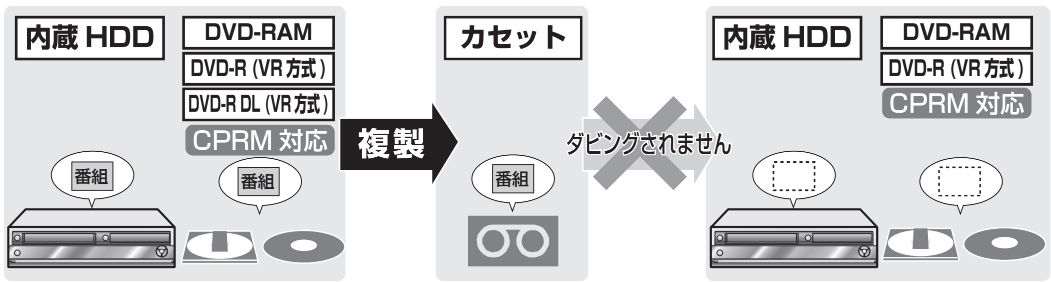
「1回だけ録画可能」の番組は、HDDからCPRM対応のDVD-RAM、DVD-R(VR方式)、DVD-R DL(VR方式)へ移動できます。(HDDからは消去されます) 複製はできません。

● DVD-RAM、DVD-R(VR方式)、DVD-R DL(VR方式)からHDD、また他のディスクへの複製・移動はできません。
● DVD-R(VR方式)にダビング(移動)する場合は、当社製のDVD-R(CPRM対応)のご使用をおすすめします。

ダビングできません
- プロテクト (➜75) を設定した番組
- 「1回だけ録画可能」の番組から作ったプレイリスト

カセットへダビングするときは

「1回だけ録画可能」の番組をカセットへダビングする場合、コピー制御信号が合わせて記録されます。再度、HDDやディスクへダビング(複製)するときは、コピー制御信号が記録された部分はダビング(複製)されません。
● カセットにダビングする場合、マクロビジョン(著作権保護技術)信号により正常にダビングできないことがあります。



ハイビジョン画質で録画した番組(ビデオDR)のダビングについて

Q ハイビジョン画質やサラウンド音声をそのままダビングできるの?

いいえ。

画質や音声をそのままダビングすることはできません。以下のようにダビングされます。

「ビデオDR」の番組		ダビング後
ハイビジョン画質	ハイビジョン画質の映像は?	通常の画質に変換されてダビング
サラウンド番組	サラウンド番組の音声は?	ステレオ音声でダビング
複数の音声をすべて記録	複数の音声が含まれている番組は?	音声は1つだけダビング
複数の映像をすべて記録	複数の映像が含まれている番組は?	映像は1つだけダビング
字幕情報	字幕情報が含まれた番組は?	再生時、字幕情報の入/切はできない

Q ダビング速度は?

1倍速(➜86)のダビングになります。
高速でダビングすることはできません。

Q (複数の映像や音声、字幕情報が含まれている番組の場合)
映像や音声などを選んでダビングするにはどうしたらいいの?

ワンタッチダビングでダビングを行ってください。(➜92)
おまかせダビング・詳細ダビングだと、ダビングしたい映像や音声が選ばれずにダビングされる場合があります。

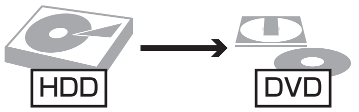
ダビングを始める前に

本機では以下の３種類のダビングがあります。

おまかせダビング

ダビングの操作手順を音声ガイドが案内してくれます。音声ガイドに従って操作するだけなので、難しい設定なしに、HDDにある番組をDVDへ簡単にダビングできます。

ダビングできる方向

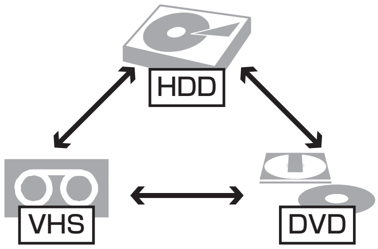


※ -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R にダビングする場合、ダビングを終了したあと自動的に、ファイナライズまで行います。

ワンタッチダビング

本体のワンタッチダビングボタンを使って、ワンタッチ操作で簡単にダビングすることができます。

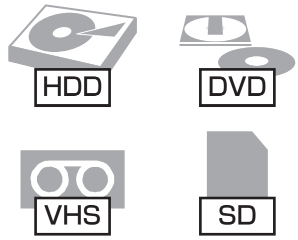
ダビングできる方向



詳細ダビング

お好みの設定で番組やプレイリスト、写真などのダビングを行うことができます。

ダビングできる種類



もっと詳しく！ **84、85 ページを参考にすると、ダビングの目的に合ったおすすめのダビング方法がわかります。**

こういうときはどのダビングで行えばいいの？

Q ダビング先のディスク残量が気になるときは?

詳細ダビングです。
録画モードを変更してダビングすれば、ダビング先の容量に合わせてダビングできます。
録画モードを**「FR」にしてダビングすると、**ディスク残量ぴったりに画質を自動で調節して記録します。
ただし、何番組かをまとめてダビングする場合、ディスク残量ぴったりにならないことがあります。

Q 複数の映像や音声を含んだ「ビデオDR」の番組をダビングするときは?

ワンタッチダビングをおすすめします。
DVDまたはVHSには、映像や音声を1つしかダビングできません。
「ワンタッチダビング」だと、ダビングしたい映像や音声を選んだ状態でダビングできます。

Q カセットの未記録部分を飛ばしてダビングしたいときは?

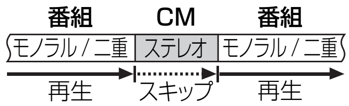
詳細ダビングです。
「時間設定」を「切」にしてダビングしてください。**(➜98「ダビング時間」)**
さらに、時間設定を「切」、録画モードを「FR」に設定してダビングすると、ディスク残量ぴったりになるように、画質を調整しながら、カセットに録画されている部分のみ記録できます。
(詳しくは➜99“録画モード「FR」について”)

Q 番組のCMを飛ばしてダビングしたいときは?

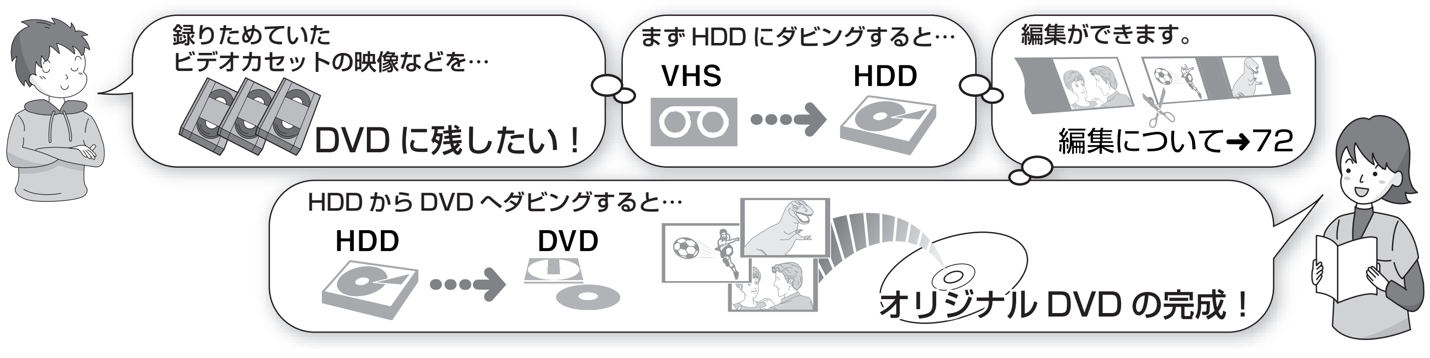
詳細ダビングです。
録画モードを「高速」以外に設定したときに実行できます。
[「ビデオDR」の番組をダビングするとき、またはカセット、ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）からダビングするときはできません]

- 5分以上のCMやプレイリスト内のCMには働きません。
- 番組の一部をCMとまちがえて、ダビングされない場合があります。
  デジタル放送などの移動される番組**(➜左ページ)**では、元の番組が消されてしまうため、元に戻すことができません。
  CMを「部分消去」**(➜75)**で消してから、「切」**(➜94「詳細設定」)**でダビングすることをおすすめします。

自動 CM 早送り
音声が右記の場合のみ働きます。



録画内容によっては正しく働かない場合があります。



ダビングを始める前に（つづき）

番組をダビングする

何から何へダビングするの?		どんなダビングがしたい?	おすすめのダビング方法は…
HDD	DVD-RAM / DVD-R / DVD-R DL / DVD-RW / +R	★番組を1つだけダビングする ★プレイリストを1つだけダビングする ★デジタル放送の番組で、ダビングする映像や音声、字幕情報の入/切などの内容を選んでダビングする	ワンタッチダビング ➔92 高速OK ファイナライズ選択
		★いくつかの番組を組み合わせてダビングする	おまかせダビング ➔90 高速OK ファイナライズ自動 リストを作ってダビング ➔94
		★いくつかのプレイリストを組み合わせてダビングする ★録画モードを自分で設定してダビングする	リストを作ってダビング ➔94 高速OK ファイナライズ選択 CM早送り
	VHS	★番組を1つだけダビングする ★プレイリストを1つだけダビングする ★デジタル放送の番組で、ダビングする映像や音声、字幕情報の入/切などの内容を選んでダビングする	ワンタッチダビング ➔92 1倍速
		★いくつかの番組を組み合わせてダビングする ★いくつかのプレイリストを組み合わせてダビングする	リストを作ってダビング ➔94 1倍速 CM早送り
VHS	HDD	★テープの停止位置から終端までダビングする	ワンタッチダビング ➔92 1倍速
		★指定した時間だけダビングする ★4.7 GBのディスクにぴったり収まるようにダビングする	時間を指定してダビング ➔98 1倍速
	DVD-RAM / DVD-R / DVD-RW / +R	★テープの停止位置から終端までダビングする	ワンタッチダビング ➔92 1倍速 ファイナライズ選択
		★指定した時間だけダビングする ★ディスクの残量に合わせてぴったりダビングする	時間を指定してダビング ➔98 1倍速 ファイナライズ選択

マークの見かた

ダビング速度

- 高速OK　高速でダビングすることができます。（高速でダビングできない場合➔86）
- 1倍速　番組の記録時間またはそれ以上の時間がかかります。

自動CM早送り

- CM早送り　録画モードが「高速」以外のときに番組のCMを飛ばしてダビングすることができます。

ファイナライズの実行

-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R にダビングするとき

- ファイナライズ自動　ダビングのあと自動でファイナライズします。
- ファイナライズ選択　ダビングのあとファイナライズを行うか選択できます。

「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」は選べません。背景の色や再生方法を設定したい場合は、ダビングする前に、DVD管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更してください。（➔108）

ファイナライズとは

記録したディスクを他の DVD 機器でも再生できるように、再生専用ディスクに処理することです。

-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R
ダビング後、ファイナライズを行うと、他のＤＶＤ機器でも再生できます。※

※再生する機器が、ファイナライズしたディスクの再生に対応している必要があります。

- ファイナライズしたディスクにダビングすることはできません。
- 再生時間が8時間を超えるプレイリストはダビングできません。また、ダビング先では番組となります。
- ファイナライズ（➔108,138）されていない -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R を HDD へダビングすることはできません。
- 録画禁止処理がされているディスクやビデオソフトはダビングすることはできません。多くのディスク･ビデオソフトは、違法な複製ができないように録画禁止処理されており、ダビングできないようになっています。

何から何へダビングするの?		どんなダビングがしたい?	おすすめのダビング方法は…
RAM / -R(VR) / -R DL(VR) / -RW(VR)	HDD	★番組やプレイリストをすべてダビングする	ワンタッチダビング ➜93 高速OK
		★いくつかの番組を組み合わせてダビングする ★いくつかのプレイリストを組み合わせてダビングする	リストを作ってダビング ➜94 高速OK
	VHS	★番組をすべてダビングする ★選んだ番組の先頭からディスクの最後までをダビングする ★選んだプレイリストの先頭から最後のプレイリストまでをダビングする	ワンタッチダビング ➜93 1倍速
		★いくつかの番組を組み合わせてダビングする ★いくつかのプレイリストを組み合わせてダビングする	リストを作ってダビング ➜94 1倍速 CM早送り
ファイナライズ前の -R(V) / -R DL(V) / -RW(V) / +R	HDD	ダビングできません	
	VHS	★番組をすべてダビングする ★選んだ番組の先頭からディスクの最後までをダビングする	ワンタッチダビング ➜93 1倍速
DVD-V ファイナライズ後の -R(V) / -R DL(V) / -RW(V) / +R / +RW、+R DL	HDD	ワンタッチダビングはできません	
		★ディスクの内容をすべてダビングする ★指定した時間だけダビングする	時間を指定してダビング ➜98 1倍速
	VHS	ワンタッチダビングはできません	
		★ディスクの内容をすべてダビングする ★指定した時間だけダビングする	時間を指定してダビング ➜98 1倍速
SD	HDD RAM / -R(VR) / -R DL(VR)	★MPEG2動画をダビングする ※DVD-R、DVD-R DLにVR方式で記録するには、録画前にフォーマットが必要です。(➜107)	リストを作ってダビング ➜96 高速OK

写真をダビングする

SD → HDD / RAM

★カードの写真をHDD、またはDVD-RAMにすべてダビングする➜101
★いくつかの写真を組み合わせてダビングする➜102

ダビングを始める前に（つづき）

高速ダビングと1倍速ダビングの違いは？

高速ダビングは…

ダビングする番組の記録時間よりも短い時間でダビングします。画質（録画モード）を変えずに、すばやくダビングすることができます。（HDD、DVD間のダビングのみ）

1倍速ダビングは…

ダビングする番組の記録時間と同じ時間、またはそれ以上の時間をかけてダビングします。録画モードを選んでダビングすることができます。

- ●ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。（劣化防止にはなります）

	高速ダビング	1倍速ダビング
チャプター（番組内の区切り）の保持	○	×※1※2
「サムネイル変更」（➜75）の保持	○※3	×

※1 RAM -R(VR) -R DL(VR) -R DL(V) 1番組1チャプターとなります。-R(V) -RW(V) +R ダビング後にファイナライズすると、自動的に約5分ごとのチャプターを作成します。

※2 VHS から HDD RAM -R(VR) へ、「時間設定」を「入」にしてダビングする場合のみ、チャプター（番組内の区切り）は保持されます。[この場合、番組は分割されません（➜88“番組の分割”）]

※3 プレイリストをダビングする場合、サムネイルの変更位置が反映されないことがあります。

- **●ダビング中にできる録画や再生などの操作も、高速ダビングと1倍速ダビングで違いがあります。（詳しくは➜右ページ）**

高速でダビングできないのはどんな場合？

- **●「ビデオDR」の番組をダビングする場合**
  「ビデオDR」の番組は、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画しても、高速でダビングできません。
- **● -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R に下記のようにダビングする場合**
  - ・**初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」にして、HDDに録画した番組を含むダビング
  - ・部分消去を繰り返した番組
  - ・SDカードのMPEG2動画をHDDにダビングした番組
  - ・録画モードが異なる番組や“FR”の複数の番組から作ったプレイリスト
  - ・音声が混在するプレイリスト（Dolby DigitalとLPCMなど）
- **●詳細ダビングで「録画モード」を「高速」以外にした場合**
- **● VHS を含んだダビングをする場合**
  HDD/DVDからVHSへ、またVHSからHDD/DVDへのダビング時は、高速でダビングできません。

上記の場合、1倍速でのダビングになります。

高速でのダビング所要時間のめやす（最高速時/JEITA測定基準によるダビング時間と倍速表示値を示す）

HDD 録画モード	HDD 録画時間	5X高速記録対応 DVD-RAM 所要時間	5X高速記録対応 DVD-RAM 倍速	16X高速記録対応 DVD-R※4 所要時間	16X高速記録対応 DVD-R※4 倍速	4X高速記録対応 DVD-R DL(片面2層) 所要時間	4X高速記録対応 DVD-R DL(片面2層) 倍速	4X高速記録対応 DVD-RW※5 所要時間	4X高速記録対応 DVD-RW※5 倍速	8X高速記録対応 +R※6 所要時間	8X高速記録対応 +R※6 倍速
XP	1時間	約12分	約5倍	約5分46秒	約10倍	約15分	約4倍	約15分	約4倍	約8分34秒	約7倍
SP	1時間	約6分	約10倍	約2分30秒	約24倍	約7分30秒	約8倍	約7分30秒	約8倍	約4分	約15倍
LP	1時間	約3分	約20倍	約1分17秒	約47倍	約3分45秒	約16倍	約3分45秒	約16倍	約2分	約30倍
EP(6H)	1時間	約2分	約30倍	約55秒	約66倍	約2分30秒	約24倍	約2分30秒	約24倍	約1分20秒	約45倍
EP(8H)	1時間	約1分30秒	約40倍	約45秒	約80倍	約1分53秒	約32倍	約1分53秒	約32倍	約1分5秒	約55倍

1時間の番組をHDDに録画し、表に記入した高速記録対応ディスクに高速ダビングした場合のダビング速度の最速値です。ディスク上の書き込み位置やディスクの特性などの条件により時間や速度が変わります。

※4 本機では16X高速記録対応DVD-Rを使用しても、最大12Xの速度でダビングします。
※5 本機では6X高速記録対応DVD-RWを使用しても、最大4X高速記録対応DVD-RWの速度でダビングします。
※6 本機では16X高速記録対応＋Rを使用しても、最大8X高速記録対応＋Rの速度でダビングします。

- ●ダビング中にHDDの録画や再生をすると、最高速度にならないことがあります。

高速記録対応ディスク（RAM 5X、-R(VR) -R(V) +R 8X以上など）に高速ダビングする場合

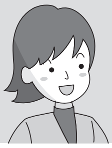
動作音が気になるときは、**初期設定**「DVDの高速ダビング速度」（➜115）を「静音モード」にしてください。ただし、ダビングにかかる所要時間は長くなります。

DVD-R DL（片面2層）へのダビング　（DVD-R DLへは、HDDからのダビングのみ可能です）

- ●VHSからDVD-R DLにダビングしたいとき
  まずHDDにダビングし、HDDからDVD-R DLへのダビングを行ってください。

- ●HDDから -R DL(VR) にダビングするとき
  1倍速でダビングする場合、ダビングが開始されるまでに最大約30秒かかる場合があります。
- ●HDDから -R DL(V) にダビングするとき
  高速モード以外でダビングする場合、1倍速で番組をHDDに一時的に複製したあと、ディスクに高速でダビングします。ダビング後、一時的に複製したHDDの番組は消去されます。以下の場合、-R DL(V) にダビングすることはできません。
  - ・HDDの残量が少ない場合（新品のディスク1枚全部にダビングする場合、HDDの残量がSPモードで最大4時間必要になります）
  - ・HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が500を超える場合

2層にまたがって記録された番組は、再生時に層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。（➜11）



ダビング中に録画や再生はできる?

ダビングの種類、ダビング方向、ダビング速度などによって、ダビング中にできる操作に以下のような違いがあります。

	おまかせダビング		ワンタッチダビング			
ダビング方向	HDD → DVD		HDD → DVD DVD → HDD	HDD → DVD	HDD → VHS DVD → VHS	VHS → HDD VHS → DVD
ダビング速度	高速ダビング	1倍速ダビング	高速ダビング	1倍速ダビング		
HDDの録画	×	×	○※7	×	×	×
HDDの再生	×	×	○※7	×	×	○※7※8
VHSの録画・再生※9	○※10	○※10※11	○※10	○※10※11	×	×
[音声]によるVHS音声の切り換え※9	—	—	—	—	○※12	○※13
[リセット/消去]によるVHSテープカウンターリセット※9(➜68)	—	—	—	—	○	○
チャンネル[∧][∨]によるVHSトラッキング調整※9(➜70)	—	—	—	—	×	○

	ダビングリストを作成してダビング			録画時間を指定してダビング		
ダビング方向	HDD → DVD DVD → HDD	HDD → DVD	HDD → VHS DVD → VHS	DVD → HDD	DVD → VHS	VHS → HDD VHS → DVD
ダビング速度	高速ダビング	1倍速ダビング		1倍速ダビング		
HDDの録画	○※7	×	×	×	×	×
HDDの再生	○※7	×	×	×	×	○※7※8
VHSの録画・再生※9	○※10	○※10※11	×	○	×	×
[音声]によるVHS音声の切り換え※9	—	—	○※12	—	○※12	○※13
[リセット/消去]によるVHSテープカウンターリセット※9(➜68)	—	—	○	—	○	○
チャンネル[∧][∨]によるVHSトラッキング調整※9(➜70)	—	—	×	—	×	○

※7　ファイナライズを含むダビング中や、SDカードのMPEG2動画をダビング中(「ダビングリストを作成してダビング」の場合)はできません。
・編集などはできません。VHS から HDD のダビング中のみ、追っかけ再生できます。
・デジタル放送などの「移動される番組」(➜82)を含むダビング中は、プレイリストは再生できません。
・写真の再生はできません。

※8　HDDの再生中は、操作先を「VHS」に切り換えることはできません。

※9　操作先が「VHS」のとき。

※10 ファイナライズを含むダビング中はできません。

※11 DVD-R DLへのダビング中はできません。
ファイナライズを含まないダビング中は、操作先を「VHS」に切り換えることができますが、ダビングが終了するまでVHS側の映像を見ることはできません。([停止■]を押して、ダビング前からVHS側で実行していた録画をやめることはできます)

※ 12 記録には影響ありません。

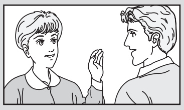
※ 13 切り換えた音声で記録されます。音声の種類は、[音声]を押したときに本体表示窓で確認できます。

ダビングを始める前に(つづき)

ダビングにかかる制限について

本機では、HDDまたはディスクにワイド放送や二重放送の番組をダビングするとき、使用するディスクや設定によって、以下のような制限がかかります。

16:9映像の番組のダビング



横縦比16:9映像

- -R(V) -R DL(V) +R -RW(V) にダビングする場合
- **初期設定**「高速ダビング用録画」(**➜115**)を「入」にして、ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビングする場合
- **初期設定**「高速ダビング用録画」(**➜115**)を「入」にして、VHSからダビングする場合

4:3映像で記録されます

横縦比4:3映像

主・副両音声を記録した番組のダビング

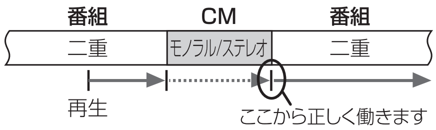
- -R(V) -R DL(V) +R -RW(V) にダビングする場合
- **初期設定**「高速ダビング用録画」(**➜115**)を「入」にして、ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビングする場合
- **初期設定**「高速ダビング用録画」(**➜115**)を「入」にして、VHSからダビングする場合
- **初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」(**➜116**)を「LPCM」にし、XPモードで、1倍速でダビングする場合

どちらか一方のみ記録されます※

ダビング前に**初期設定**「二重放送音声記録」で記録したい音声を選んでください。(**➜116**)

※次のようなときはダビング時に記録する音声を選ぶことはできません。そのままでダビングすると、主、副両音声が記録され、再生時、音声が混ざって聞こえます。
- ・本機、または当社製の自動CM早送り機能付きビデオで録画していないカセットをダビングするとき
- ・他のビデオや各種チューナーなどの外部機器から録画された番組をダビングするとき

- **二重放送の番組の途中からダビングを始めた場合**
  二重放送の番組の途中からダビングを始めたときは、その二重放送の間は正しく働きません。CMがモノラル放送またはステレオ放送で、次の音声が二重放送に切り換わったときに正しく働きます。



頭出し信号の書き込み/番組分割について

頭出し信号の書き込み(HDD/DVDからVHS へのダビング時)

1つの番組ごとに頭出し信号が自動的に書き込まれます。ダビング後は、番組を頭出し(**➜67**)して探すことができます。

頭出し信号の書き込みは、以下のダビング時に可能になります。
- ワンタッチダビング(**➜92,93**)
- 詳細ダビング(**➜94"ダビングリストを作成してダビングする"**)

番組の分割(VHSからHDD/DVDへのダビング時)

テープの頭出し信号を検出するごとに、番組を分割して記録します。ダビング後は、再生ナビ画面(**➜57**)から番組を探すことができます。

番組分割は、以下のダビング時に可能になります。
- ワンタッチダビング(**➜92**)
- 詳細ダビングで「時間設定」が「切」のとき(**➜98「ダビング時間」**)

お知らせ

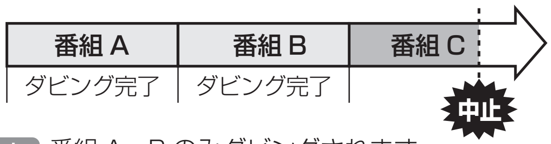
- 約15分(5倍モード時は約25分)以内の録画番組の場合は、正しく分割されない場合があります。
- 頭出し信号の数によっては、記録時間が実際よりも多少長くなる場合があります。
- 分割動作をする際、テープの巻き戻し画面になる場合があります。
- **番組分割しないでダビングしたいときは、詳細ダビングで「時間設定」を「入」にしてダビングしてください。(➜98「ダビング時間」)**
  (ただし HDD RAM -R(VR) へダビングすると、番組は分割されませんが、チャプターが作成されます)

VHSからダビングするときは、次のことにお気をつけください

- HDDへダビングするとき
  HDDへダビングした番組を、あとでHDDから -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R に高速モードでダビングしたい場合は、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にしておく必要があります。(お買い上げ時の設定は「入」です)
- 5倍モード(**➜35**)で録画された番組をダビングするとき
  ダビングすると、5倍モードで録画された部分にノイズが入る場合があります。

Q ダビング実行中にダビングを中止するとどうなる?

例）番組A·B·Cの順にダビングして番組Cの途中で中止した場合



高速 番組 A・B のみダビングされます。
ただし、ワンタッチダビングの場合は、番組はまったくダビングされません。

1 倍速 番組 A・B と番組 C の途中までがダビングされます。
ただし

- HDD から DVD へのダビングで、番組Cが「1 回だけ録画可能」の番組の場合
  - ・番組 C はダビング（移動）されず、HDD に残ります。
- **-R DL(V)** にダビングの場合
  - ・（HDD に複製中のとき）番組 A・B・C はダビングされません。
  - ・（ディスクに高速ダビング中のとき）番組 C はダビングされません。

-R(VR) **-R(V)** **-R DL(VR)** **-R DL(V)** **+R** にダビングの場合
番組 C がダビングされない場合でも、番組Cの中止したところまでがディスクに書き込まれるため、ディスク残量は減少します。

Q ダビング中に予約録画の開始時刻になるとどうなる?

- **HDD←→DVD でダビング中に HDD/DVD の予約録画の開始時刻になった場合**
  （VHS への予約録画はダビング中でも実行されます）

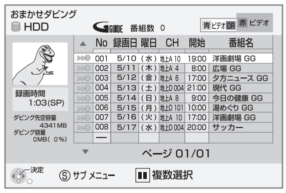
高速 録画先が「HDD」または「DVD」に設定されている予約録画は、録画先の設定に関わらず HDD に録画されます。（ただし、ファイナライズを含むダビング中は実行されません）

1 倍速 予約録画は実行されません。

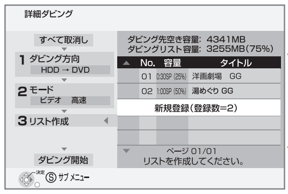
ダビング中のため予約録画が実行されなかった場合、ダビング終了後の時間から、予約録画は開始されます。

- **VHS を含んだダビングの場合**
  VHS 側が予約録画の待機中または動作中のときは、ダビング操作を実行することができません。
  予約録画の待機状態を解除 (→53)、または動作を停止させてください。

Q HDDまたはDVDへ複数の番組をダビングする場合、ダビングされる順番はどうなる?



おまかせダビング
画面の上から順にダビングされます。
（登録した順にダビングはされません）



詳細ダビング
画面の上から順にダビングされます。

- お好みの順にダビングしたい場合は、「詳細ダビング」で 1 つずつ番組を登録してください。

HDD/DVD へダビングしたあとに

- 再生するときは、**[再生ナビ]** を押して番組を選んで再生してください。(→57)

番組をダビングする

おまかせダビング

HDDに録画された複数の番組を組み合わせて、ディスクにダビングすることができます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。（➜23）

ダビング先(DVD):
- 録画可能なディスクを入れる。（➜25）
（フォーマット確認画面が表示されたとき ➜106）
- ディスクに十分な残量があることを確認しておく。

おまかせダビング時の速度と録画モードについて

おまかせダビング時のダビング速度は下記のように設定されます。

「ビデオDR」の番組をダビングする場合
1倍速（録画モードは“FR”）

「ビデオ」の番組をダビングする場合
HDD ➜ RAM -R(VR) -R DL(VR)：高速
HDD ➜ -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R：
下表参照

高速ダビング用録画(➜115)	ダビング速度
「入」で録画した番組のみの場合	高速
「切」で録画した番組のみの場合	1倍速（録画モードは“FR”でダビングされます）
「入」と「切」で録画した番組をまとめてダビングする場合	1倍速（録画モードは“FR”でダビングされます）

高速モードでダビング先のディスク容量を超える場合は、1倍速（録画モードは“FR”）になります。

お知らせ
- **ダビング容量について**
（ダビング先に記録される容量）
管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

前の画面に戻るには
[戻る] を押す

ダビングを途中でやめるには
[戻る] を3秒以上押したままにする
- ファイナライズ中は中止できません。
- ダビングを途中でやめた場合は、ファイナライズも実行されません。

音声ガイドをやめるには
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする（➜114）

この方法では、ダビング元➜ダビング先に以下の方向が選べます：

HDD ➜ RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

- -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R にダビングする場合、**自動的にファイナライズ（➜138）**を行い、再生専用ディスクを作成します。他のDVD機器でも再生できるようになりますが、あとから記録や編集をすることができなくなります。

基本操作
①選び
②決定する

1 停止中に、[操作一覧] を押す
- 操作一覧画面が表示されます。

2 「ダビングする」を選び、[決定] を押す
- おまかせダビング設定画面が表示されます。

・ビデオDR：
録画モード“DR”で録画した番組
・ビデオ：
録画モード“XP”～“EP”、“FR”で録画した番組

番組一覧を切り換えるには
「ビデオDR」[青] を押す　「ビデオ」[赤] を押す

アイコン表示について（➜136）

3 ダビングしたい番組を選び、[決定] を押す

前後のページを表示するには
[|◀◀]（前ページ）または [▶▶|]（次ページ）を押す

複数の番組をまとめて登録するには
[▲][▼]で番組を選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す
- ☑ が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

番組の内容を確認する/並び替えをする/画像を切り換えるには
① [▲][▼]で番組を選び、[サブメニュー] を押す
② [▲][▼]で項目を選び、[決定] を押す

内容確認：	選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどが表示されます。
並び替え：	番組の表示順を変更します。表示順は録画日やチャンネルなどが選べます。（番組に ☑ が付いている場合はできません）表示順は、おまかせダビングの画面を消すと、取り消されます。
他の画像一覧へ：	「ビデオDR」一覧と「ビデオ」一覧を切り換えます。（番組に ☑ が付いている場合はできません）

4
-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R
ダビングを開始すると自動的にファイナライズを行います。ディスクは再生専用となり、あとから記録や編集をすることはできなくなります。

「ダビング開始」を選び、[決定] を押す
- ダビングが開始されます。

ワンタッチダビング

本体のワンタッチダビングボタンを使って、ワンタッチ操作で簡単にダビングすることができます。

準備

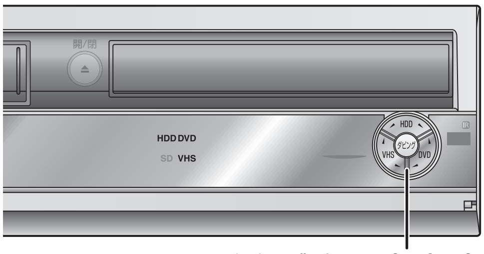
- テレビに本機の画面を出す。(➜23)

ダビング先：

- DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜25)(フォーマット確認画面が表示されたとき ➜106)
- VHSにダビングするときは、録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
- 十分な残量があることを確認しておく。
- 以下の場合は、録画モードを選んでおく。(➜39)
  - ・HDD/DVDからVHSへダビングするとき
  - ・VHSからHDD/DVDへダビングするとき
  [地上アナログ放送に切り換えて(➜26)、録画モードを選んでください]

ダビング元：

- ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。
- ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れ、ダビング開始点を探しておく。



ワンタッチダビングボタン（➜右記）

ワンタッチダビング時の速度と録画モードについて

ワンタッチダビング時のダビング速度は下記のように設定されます。

HDD←→DVDのダビング時

「ビデオDR」の番組をダビングする場合

1倍速（録画モードは"FR"）

「ビデオ」の番組をダビングする場合

HDD ➜ RAM -R(VR) -R DL(VR)：高速

RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) ➜ HDD：高速

HDD ➜ -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R：下表参照

高速ダビング用録画(➜115)	ダビング速度
「入」で録画した番組の場合	高速
「切」で録画した番組の場合	元と同じモード [XP ～ EP、FR]（プレイリストは"FR"でダビングされます）

高速モードでダビング先のディスク容量を超える場合は、"FR"になります。

VHSとのダビング時（方向にかかわらず）

1倍速のみ（録画モードはダビング前にVHSで選んでいたモードになります）

この方法では、ダビング元➜ダビング先に以下の方向が選べます：

HDD ➜ RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R VHS

[「ビデオDR」の「1回だけ録画可能」の番組は、CPRM対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) にダビング（移動）できます。また、VHS にダビング（複製）することもできます]

再生中の番組またはプレイリストを1つだけ自動的にダビングします。再生位置にかかわらず、再生中の番組やプレイリストの先頭からダビングされます。

VHS ➜ HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

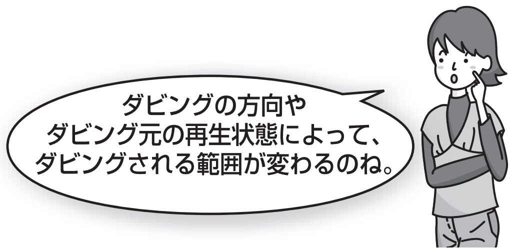
ダビング開始時のテープの停止位置から自動的にダビングします。

RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) ➜ HDD

1枚のディスクに録画されている番組全部、またはプレイリスト全部をHDDに自動的にダビングします。

RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR) ➜ VHS

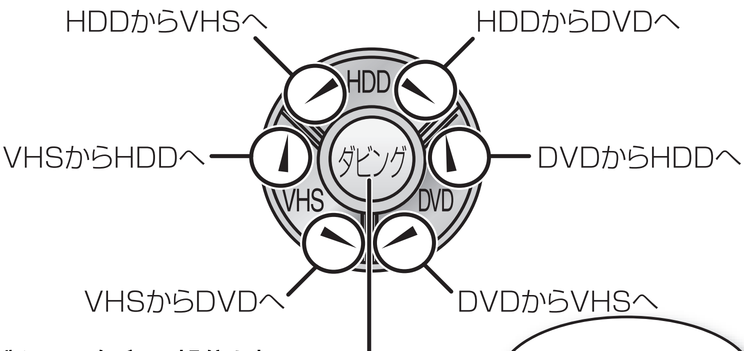
1枚のディスクに録画されている番組全部や、選んだ番組の先頭からディスクの最後まで、または選んだプレイリストの先頭から最後のプレイリストまでをカセットに自動的にダビングします。



プレイリストをダビングするとき

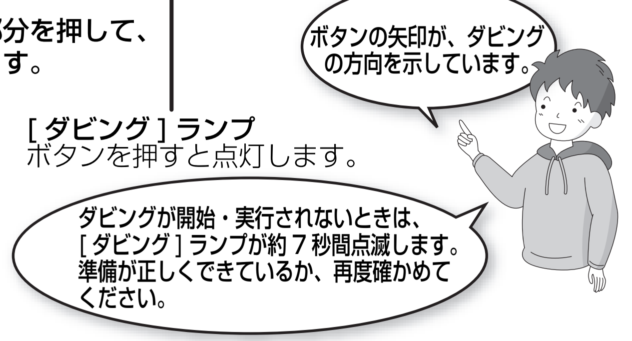
- 8時間を超えるプレイリストはダビングできません。（複数のプレイリストをダビングする場合、8時間を超えたプレイリストはとばしてダビングされます）

本体のワンタッチダビングボタン



ボタンの矢印の部分を押して、ダビングを始めます。

[ダビング] ランプ
ボタンを押すと点灯します。



お知らせ

- 録画禁止処理がされているディスクやカセットを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- ダビング元（再生側）の再生が終わるか、またはダビング先（録画側）の残量がなくなったとき、自動的にダビングを終了します。（メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます）

番組をダビングする(つづき)

ワンタッチダビング(つづき)

HDDから DVD、VHSへ ダビングする

●HDD再生時の音声は、ステレオ(L R)が出力されます。

1 ダビングしたい番組を再生する、またはプレイリストを再生する(➜56,78)

●[一時停止❚❚]を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。

☞**「ビデオDR」の番組をダビングするとき**

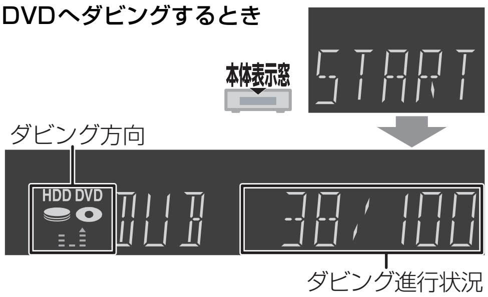
再生設定「信号切換」(➜61)で、ダビングしたい内容を選ぶ

●複数の映像・音声や字幕情報が含まれていても、再生されている内容のみがダビングされます。ダビング後は、映像・音声の切り換えや字幕の入 / 切はできなくなります。

2 [HDD] を約3秒以上押し続ける

●ダビング方向に合った矢印(▶)の部分を押してください。
●本体の[ダビング]ランプが点灯します。
●本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。
● -R DL(VR) へ1倍速でダビングする場合、テレビ画面に"○○モード(VR方式)でダビングを開始します。…"と表示されたまま、ダビングが開始されるまでに最大約30秒かかる場合があります。

DVDへダビングするとき

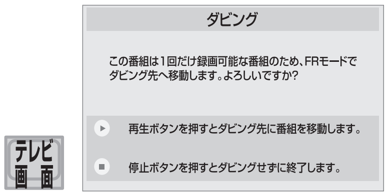


[例：DUB(ダビング)が約38%まで終了※]

※1倍速でダビングしている場合は、残りのダビング時間が表示されます。

☞**番組移動の確認画面が表示されたとき**

(「1回だけ録画可能」の番組を、HDD から RAM -R(VR) -R DL(VR) へダビングする場合)



ダビングを続けて実行するか、またはダビングせずに終了するかを選ぶ

●[再生▶]を押すと、ダビングを実行します。ダビングした番組はHDDから消去されます。(➜82)
●[停止■]を押すと、画面が消え、ダビングせずに操作を終了します。

VHSへダビングするとき

☞**ファイナライズ確認画面が表示されたとき**(➜下記)

VHSから HDD/DVDへ ダビングする

VHS・HDD/DVDともに停止状態で、

[VHS] を約3秒以上押し続ける

●ダビング方向に合った矢印(▶)の部分を押してください。
●本体の[ダビング]ランプが点灯します。
●本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。

☞**ファイナライズ確認画面が表示されたとき**(➜下記)

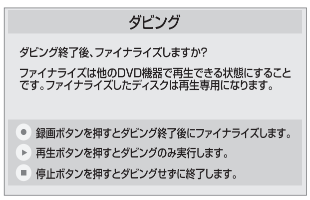
HDDへダビングするとき

DVDへダビングするとき

ファイナライズ確認画面が表示されたとき(-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R へダビングする場合)

ダビングとファイナライズを続けて実行するか、またはダビングのみ実行するかを選ぶ

●[録画●]を押すと、ダビング終了後、引き続きファイナライズ(➜138)を行い、再生専用ディスクを作成します。他のDVD機器でも再生できるようになります。ただし、あとから録画や編集はできなくなります。
●[再生▶]を押すと、ダビングのみ行います。ダビング終了後に他の機器で再生するには、DVD管理でファイナライズを行ってください。(➜108)
●[停止■]を押すと、画面が消え、ダビングせずに操作を終了します。



DVDからHDDへダビングする

●DVD再生時の音声は、ステレオ（L R）が出力されます。

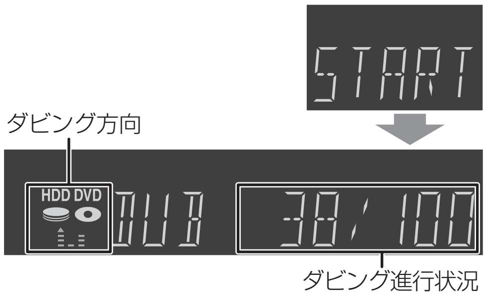
1 プレイリストをダビングする場合のみ、プレイリストを再生する（➜78）

●[**一時停止❚❚**] を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。
●再生位置にかかわらず、先頭のプレイリストから最後のプレイリストまですべてダビングされます。

2

を約３秒以上押し続ける

●ダビング方向矢印（▶）の部分を押してください。
●本体の[ダビング]ランプが点灯します。
●本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。



[例：DUB（ダビング）が約38％まで終了]

DVDからVHSへダビングする

●DVD再生時の音声は、ステレオ（L R）が出力されます。

1 ☞ **1枚のディスクに録画されている番組全部をダビングするとき**

DVDが停止状態であることを確認する

●DVD側で**続き再生メモリー機能**（➜58）が働いているときは、再生開始位置が含まれる番組の先頭からディスクの最後までのダビングが実行されます。
「DVD」選択中に[**停止■**]を押して、続き再生メモリーを解除してください。（**確認するには➜下記**）

☞ **選んだ番組の先頭からディスクの最後までをダビングするとき**

ダビングしたい番組を再生する（➜56）

●[**一時停止❚❚**] を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。

☞ **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** **-RW(VR)**
選んだプレイリストの先頭から最後のプレイリストまでをダビングするとき

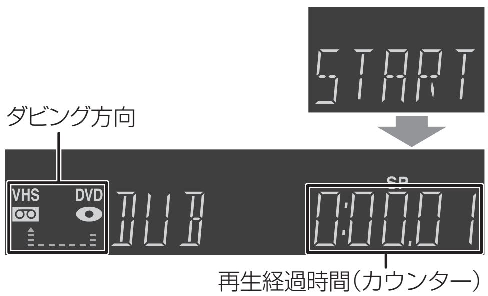
ダビングしたいプレイリストを再生する（➜78）

●[**一時停止❚❚**] を押して、再生を一時停止させた状態でもダビングできます。

2

を約３秒以上押し続ける

●ダビング方向矢印（▶）の部分を押してください。
●本体の[ダビング]ランプが点灯します。
●本体表示窓でダビングの方向と、ダビングが始まるのを確認してください。



☞ダビング中にHDDの録画や再生をするには

（高速で、ファイナライズを含まないダビング時のみ）

(決定)を押して確認画面を消したあと、録画・再生の操作をする

●[**画面表示**] を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

☞ダビングを途中でやめるには

（高速の場合） **(戻る)を３秒以上押したままにする**

（１倍速の場合） **[停止■]を押す、または(戻る)を３秒以上押したままにする**

●ファイナライズ中は中止できません。
●ファイナライズ確認画面でダビングとファイナライズを実行するように設定していても、ダビングを途中でやめた場合はファイナライズも実行されません。

続き再生メモリー機能の状態を確認するには
続き再生メモリー機能が働いているかどうかを確認するには、[**HDD/DVD/SD/VHS切換**] で操作先を選択し、[**画面表示**] を数回押してください。本体表示窓にカウンターが表示される場合は、続き再生メモリー機能が働いています。

番組をダビングする（つづき）

ダビングリストを作成してダビングする

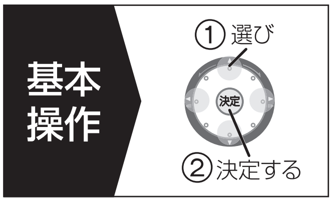
この方法では、ダビング元➡ダビング先に以下の方向が選べます：

HDD ➡ **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-R DL(VR)** **-R DL(V)** **-RW(V)** **+R** **VHS**
RAM **-R(VR)** **-R DL(VR)** **-RW(VR)** ➡ **HDD** **VHS**

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜23)

ダビング先：
- DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜25)（フォーマット確認画面が表示されたとき ➜106）
- VHSにダビングするときは、録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
- 十分な残量があることを確認しておく。

ダビング元：
- DVDの映像をダビングするときは、ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。



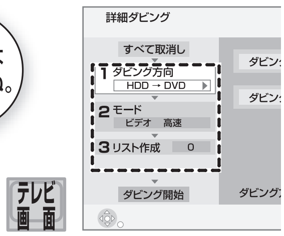
1 停止中に、 を押す

- 操作一覧画面が表示されます。

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す
- ダビング設定画面が表示されます。

4 設定したい項目を選び、[▶]を押す（➜右記へ）
- 各項目を設定してください。必要に応じてこの手順を繰り返します。

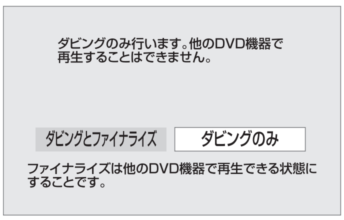


1 ダビング方向　HDD → DVD
2 モード　ビデオ　高速
3 リスト作成　0
4 詳細設定

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す
- 確認画面が表示されます。

6 「はい」を選び、決定 を押す
- ダビングが開始されます。

☞ファイナライズ確認画面が表示されたとき
（**HDD** ➡ **-R(V)** **-R DL(V)** **-RW(V)** **+R** の場合）
「ダビングとファイナライズ」または「ダビングのみ」を選び、決定 を押す
- 「ダビングのみ」を選ぶと、ダビングのみ行います。ダビング終了後に他の機器で再生するには、DVD管理でファイナライズを行ってください。(➜108)



- 「ダビングとファイナライズ」を選ぶと、ダビング終了後、引き続きファイナライズ(➜138)を行い、再生専用ディスクを作成します。他のDVD機器でも再生できるようになりますが、あとから記録や編集をすることはできなくなります。

☞前の画面に戻るには
戻る を押す

☞ダビング中にHDDの録画や再生をするには
（高速で、ファイナライズを含まないダビング時のみ）
決定 を押して確認画面を消したあと、録画・再生の操作をする
- [画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

☞音声ガイドをやめるには
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜114)

☞ダビングを途中でやめるには
戻る を3秒以上押したままにする
- ファイナライズ中は中止できません。
- ファイナライズ確認画面で「ダビングとファイナライズ」を選んでも、ダビングを途中でやめた場合はファイナライズも実行されません。

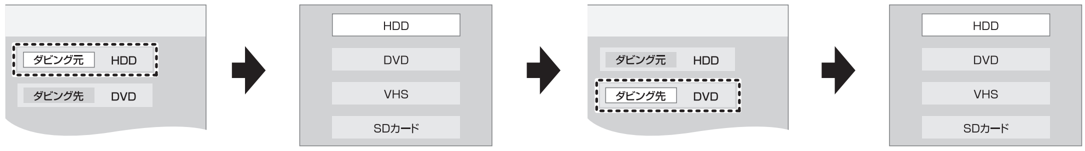
何から何にダビング？
1　ダビング方向

ダビング素材・録画モードを設定する
2　モード
- 録画モードについて(➜35)

ダビングする番組などを選ぶ
3　リスト作成
- 右ページの手順を繰り返し、複数の番組やプレイリストをダビングリストに登録できます。

CMを飛ばしてダビングする
4　詳細設定
- ダビング素材に「ビデオ」、録画モードに「高速」以外を選んだときのみ、設定できます。

画面表示の例)ダビング元に「HDD」、ダビング先に「DVD」を選んだとき



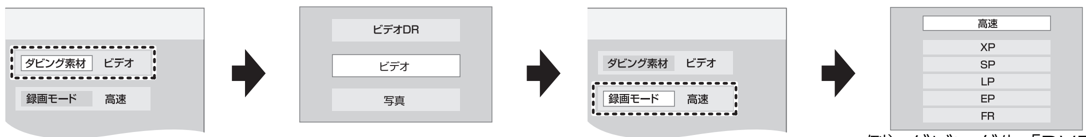
「ダビング元」が選ばれている状態で、決定を押す

「HDD」または「DVD」を選び、決定を押す

「ダビング先」を選び、決定を押す

「HDD」、「DVD」または「VHS」を選び、決定を押す

- ダビング元とダビング先に、同じ操作先を選んだとき、またはダビング先に「SD」を選んだときは、写真のダビングになります。(➜102)
- ダビング元に「DVD」、ダビング先に「VHS」を設定したあとにディスクトレイの開閉をすると、ダビング先が「HDD」になります。再度ダビング先を設定してください。



例）ダビング先「DVD」

「ダビング素材」が選ばれている状態で、決定を押す

「ビデオDR」(HDDのみ)または「ビデオ」を選び、決定を押す

間違わないでね！

「録画モード」を選び、決定を押す

録画するモードを選び、決定を押す

- ダビング素材に「写真」を選んだときは、写真のダビングになります。(➜102)
- ダビング元に「DVD」、ダビング先に「HDD」を選んだときは、録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。
- 「ビデオDR」の番組をDVDにダビングする場合は、「高速」は選べません。

ダビングリスト容量について(➜下記)

「新規登録(登録数=0)」が選ばれている状態で、決定を押す

(「ダビング素材」で「ビデオ」を選んだ場合)
青(ビデオ)または赤(プレイリスト)を押す

- 番組を登録するときは「ビデオ」を選び、プレイリストを登録するときは「プレイリスト」を選びます。

ダビングする番組やプレイリストを選び、決定を押す

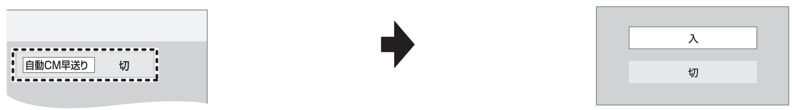
- 高速モードで -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R にダビングする場合、高速ダビング表示のあるもののみ登録できます。

☞**前後のページを表示するには**
[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

☞**詳細ダビングの便利な機能**(➜97)

☞**アイコン表示について**(➜136)

☞**複数の番組やプレイリストをまとめて登録するには**
[▲][▼]([◀][▶])で番組やプレイリストを選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す
- ☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。
- ダビングリストには、番号の小さい順から登録されます。お好みの順番で登録したい場合は、1つずつ登録してください。
- ビデオとプレイリスト一覧を切り換えると、☑が消えます。



「自動CM早送り」が選ばれている状態で、決定を押す

「入」または「切」を選び、決定を押す

- ダビング元に「DVD」、ダビング先に「HDD」を選んだときは、「自動CM早送り」はできません。

「高速」以外を選ぶと1倍速でのダビングになります。

[◀]を押す
(➜左ページ手順4へ戻る)

番組をダビングする（つづき）

ダビング

お知らせ

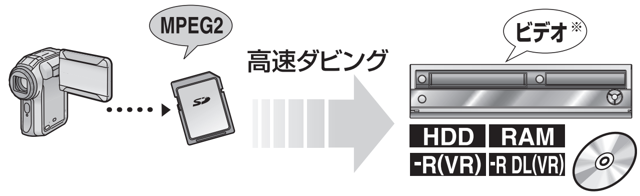
- **ダビングリスト容量について**(ダビング先に記録される容量)
  - ・1倍速の場合は、録画モードによって変化します。
  - ・管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。
- 再生時間が8時間を超えるプレイリストはダビングできません。また、ダビング先では番組となります。
- デジタル放送などの「移動」される番組(➜82)を登録したダビングリストには、プレイリストは登録できません。
- 録画禁止処理がされているディスクを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。
- 当社製DVDビデオカメラで撮影した映像をDVD-RAMからHDDにダビングすると、撮影した日付単位で1番組になります。

番組をダビングする(つづき)

SDカードのMPEG2動画をダビングする

詳細ダビング

当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画を、SDカードからHDDやDVD-RAM、DVD-R(VR方式)、DVD-R DL(VR方式)に保存できます。ダビングをすると、ダビング先では撮影した日付単位で1番組(ビデオ)として扱われます。



※通常の録画番組

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜23)

ダビング先:

- DVDにダビングするときは、DVD-RAMまたはDVD-R(VR方式)、DVD-R DL(VR方式)を入れる。(➜25)(フォーマット確認画面が表示されたとき ➜106)

ダビング元:

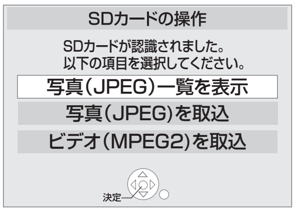
- SDカードを入れる。(➜25)

SD

停止中にSDカードをスロットに入れると、下図のような画面が自動的に表示されます。

[▲][▼]で「ビデオ(MPEG2)を取込」を選び、[決定]を押すと、右記手順5の操作に進むことができます。

(画面上で設定項目を確認し、必要に応じて手順4で設定を変更してください)



SDカードの操作

SDカードが認識されました。
以下の項目を選択してください。

写真(JPEG)一覧を表示
写真(JPEG)を取込
ビデオ(MPEG2)を取込

決定

- カード内にあるMPEG2動画は自動的にダビングリストへ登録されます。
- カード内にMPEG2動画がない場合、「ビデオ(MPEG2)を取込」は表示されません。

お知らせ

- SDカードにあるMPEG2動画をそのまま本機で再生することはできません。
  まずHDDやDVD-RAM、DVD-R(VR方式)、DVD-R DL(VR方式)にダビングしてください。
- MPEG2動画をダビング中は、録画や再生はできません。
- 写真とMPEG2動画を同じリストに登録することはできません。

前の画面に戻るには

戻る を押す

ダビングを途中でやめるには

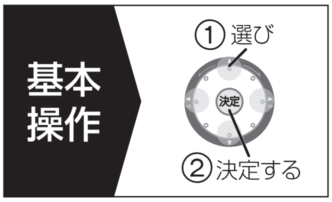
戻る を3秒以上押したままにする

音声ガイドをやめるには

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜114)

この方法では、ダビング元➜ダビング先に以下の方向が選べます:

SD(MPEG2)➜ HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)



1 停止中に、操作一覧 を押す

- 操作一覧画面が表示されます。

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

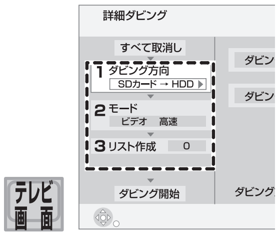
3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

- ダビング設定画面が表示されます。

4 設定したい項目を選び、[▶]を押す

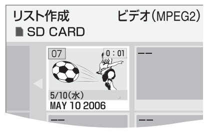
- 操作方法は"ダビングリストを作成してダビングする"(➜94)をご覧ください。

  設定項目は、以下のように設定してください。
  ・「ダビング方向」:「ダビング元」➜「SD カード」
  ・「モード」　:「ダビング素材」➜「ビデオ」
  ・録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。



例)ダビング先「HDD」

- リスト作成画面では、撮影した日付単位で静止画が表示されます。



リスト作成画面

動画ファイルごとの記録内容を確認するには
(➜右ページ"チャプターの確認をする")

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

- 確認画面が表示されます。

6 「はい」を選び、決定 を押す

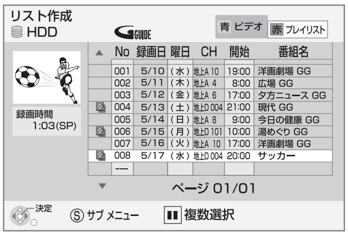
- ダビングが開始されます。

詳細ダビングの便利な機能

番組のダビング時

リスト作成画面が表示されているとき
(94ページ“ダビングリストを作成してダビングする”の「リスト作成」時)
●ダビング素材が「ビデオ」のときのみ

テレビ画面



1 番組などを選び、サブメニューⓈを押す

例) HDD

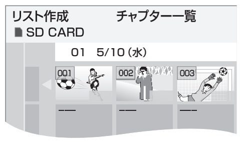
- 内容確認
- 並び替え
- サムネイル表示
- 他の画像一覧へ

☞**前後のページを表示するには**

[|◀◀] (前ページ)または
[▶▶|] (次ページ)を押す

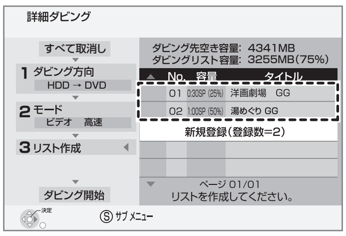
●サムネイル表示時には、[▲][▼][◀][▶]で“前ページ”または“次ページ”を選び、[決定]を押しても、ページの切り換えができます。

2 項目を選び、決定を押す

番組などの内容を確認する 内容確認	●選んだ番組などの番組名、録画日、チャンネルなどを確認できます。
並び替えをする 並び替え ● HDD リスト表示時のみ	●番組の表示順を変更します。表示順はNo、録画日、曜日、CH、開始時刻、番組名が選べます。 (番組に ☑ が付いている場合はできません) 表示順は、リスト登録画面の「リスト作成」に戻るか、ダビングの画面を消すと、取り消されます。
表示方法を変更する リスト表示 サムネイル表示	●リスト作成画面の表示方法を変更します。 (プレイリスト、MPEG2動画はサムネイル表示のみ可能) (番組に ☑ が付いている場合はできません)
他の画像一覧に切り換える 他の画像一覧へ HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	●「ビデオ」または「プレイリスト」一覧画面に切り換えます。
チャプターの確認をする チャプター一覧へ ● SD MPEG2動画のみ	●SDカードのMPEG2動画の記録内容(チャプター)を確認できます。 ●記録内容は、リスト作成画面に静止画で表示されます。 

番組、写真のダビング時

リスト登録画面が表示されているとき
(94、102ページ“ダビングリストを作成してダビングする”の「リスト作成」時)



1 番組などを選び、サブメニューⓈを押す

- リスト全消去
- 追加
- 消去
- 移動

☞**まとめて登録/消去するには**

[▲][▼]で選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す

● ☑ が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

2 項目を選び、決定を押す

リストの項目を入れ替える	① **[▲][▼]で不要な項目を選び、[決定]を押す** ② **[▲][▼]([◀][▶])で新しく登録したい番組やプレイリスト、写真、フォルダなどを選び、[決定]を押す** ●項目が入れ替わります。
登録されたリストや設定を一度に取り消す すべて取消し	① **[▲]で「すべて取消し」を選び、[決定]を押す** ② **[◀]で「はい」を選び、[決定]を押す** ●設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。 ・ダビング元で番組や写真の記録、消去などをした場合 ・ディスクトレイを開ける、電源を切る、カードを取り出す、ダビング方向を変える、ダビング素材を変えるなどを行った場合
リストに登録された項目を変更する リスト全消去 追加 消去 移動	**リスト全消去:** リストに登録されている項目をすべて消去します。 **追加:** 選んだ項目の上に新しい項目を追加します。 「追加」を選んだときは、さらに[▲][▼][◀][▶]で追加する番組やプレイリスト、写真、フォルダなどを選び、[決定]を押してください。 **消去:** 選んだ項目を消去します。まとめて消去することもできます。(➜上記「リスト全消去」) 「消去」を選んだときは、さらに[◀]で「はい」を選び、[決定]を押してください。 **移動:** 選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。 「移動」を選んだときは、さらに[▲][▼]で移動先を選び、[決定]を押してください。 (ダビング素材が「写真」のときはできません)

番組をダビングする（つづき）

録画時間を指定してダビングする ［カセット、ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）をダビングする］

カセットやディスクを再生しながら、再生している内容をダビングします。設定した時間に合わせてダビングすることができます。

この方法では、ダビング元➡ダビング先に以下の方向が選べます：

VHS ➡ HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R
ダビング開始時のテープの停止位置からダビングします。
●録画モードを「FR」に設定し、時間設定を「切」にした場合は、テープの始端から終端まで全部をダビングできます。（詳しくは➜右ページ“録画モード「FR」について”）

DVD-V（ファイナライズ後の -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R）➡ HDD VHS
（ファイナライズ後の＋RW、＋R DLからもダビングできます）
●ファイナライズ（➜108,138）された -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R の番組をHDDにダビングすると、番組を再編集できます。

準備
●テレビに本機の画面を出す。（➜23）

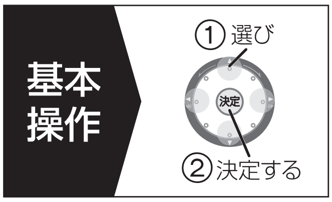
ダビング先：
●DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。（➜25）
（フォーマット確認画面が表示されたとき➜106）
●VHSにダビングするときは、録画可能なカセットを入れ、録画開始点を探しておく。
●十分な残量があることを確認しておく。

ダビング元
●DVDの映像をダビングするときは、ダビングしたい番組が録画されたディスクを入れる。
●VHSの映像をダビングするときは、ダビングしたい番組が録画されたカセットを入れ、ダビング開始点を探しておく。

1 停止中に、

を押す

●操作一覧画面が表示されます。



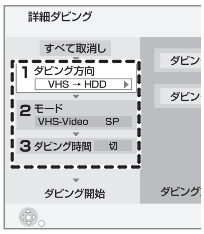
2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

●ダビング設定画面が表示されます。

4 設定したい項目を選び、[▶]を押す（➜右記へ）

●各項目を設定してください。必要に応じてこの手順を繰り返します。



1 ダビング方向　VHS → HDD

2 モード　VHS-Video　SP

3 ダビング時間　切

（➜100ページにつづく）

前の画面に戻るには
戻る を押す

お知らせ

トップメニュー画面の操作もそのまま記録されます。

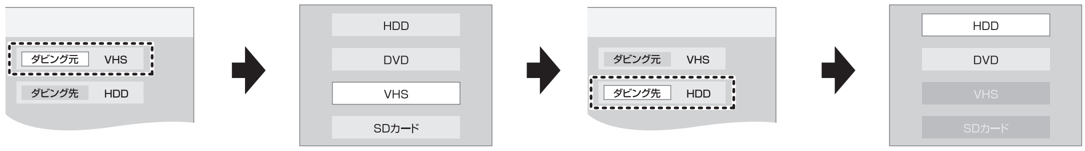
●DVD-V（ファイナライズ後のディスクを含む）をダビングする場合、ダビング中に行った操作や画面表示をそのまま記録します。ただし、HDD へダビングするときは、早送り・早戻し、コマ送り・コマ戻し、一時停止をすると、その部分の映像は記録されません。（VHS へのダビングでは記録されます）
●ファイナライズした -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) の番組をダビングしたい場合は、ダビングリストを作成してダビングしてください。（➜94）
●高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
●**DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CDなどはダビングできません。**
●**市販のDVDビデオやビデオソフトのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングすることはできません。録画禁止処理がされているディスクやカセットなどを入れてダビングしようとすると、テレビ画面にメッセージが表示され、その場で録画が停止します。**

何から何にダビング？
1　ダビング方向

録画モードを設定する
2　モード
●録画モードについて（➜35）

ダビング時間を設定する
3　ダビング時間

画面表示の例)ダビング元に「VHS」、ダビング先に「HDD」を選んだとき



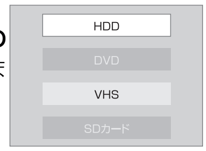
「ダビング元」が選ばれている状態で、決定を押す

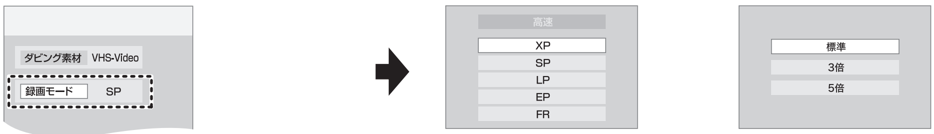
「DVD」または「VHS」を選び、決定を押す

「ダビング先」を選び、決定を押す

「HDD」、「DVD」または「VHS」を選び、決定をを押す

- ダビング元とダビング先に同じ操作先を選ぶことはできません。
- ダビング元に「VHS」を選んだときは、ダビング先に「HDD」と「DVD」のみが**(右上の図)**、ダビング元に「DVD」を選んだときは、ダビング先に「HDD」と「VHS」のみが選べます**(右図)**。



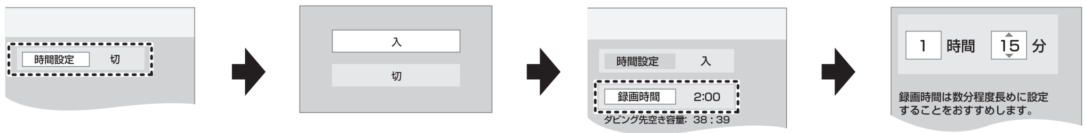


例)ダビング先「HDD」　例)ダビング先「VHS」

「録画モード」が選ばれている状態で、決定を押す

録画するモードを選び、決定を押す

- ダビング素材は自動的に「VHS-Video」または「DVD-Video」になり、変更はできません。
- カセットをダビングするときは、「高速」は選べません。
- ファイナライズされたDVDディスクをダビングするときは、「高速」と「FR」は選べません。**(右図)**



「時間設定」が選ばれている状態で、決定を押す

「入」または「切」を選び、決定を押す

左記で「入」を選んだときは、「録画時間」を選び、決定を押す

"時間"または"分"を選んで[▲][▼]で設定し、決定を押す

- 時間を設定するときは、[1]～[10/0]も使えます。
- 25時間を超えて設定することはできません。
- ファイナライズされたDVDディスクをダビングするときは、再生を始めるまでの操作時間もダビング時間に含むため、ダビングしたい番組より数分長めに設定してください。
- 録画モードを「FR」に設定している場合、「時間設定」の切/入によって下記(録画モード「FR」について)のような違いがあります。(カセットをダビングする場合のみ)

☞「時間設定」を「切」にしたとき

- 録画モードを「FR」以外に設定している場合、テープの終端になるか、HDDまたはディスクの容量がなくなるまでダビングを続けます。

[◀]を押す
(➜左ページ手順4へ戻る)

録画モード「FR」について

ディスクの空き容量を計算して、ディスクに収まるように録画モードを自動的に設定します。

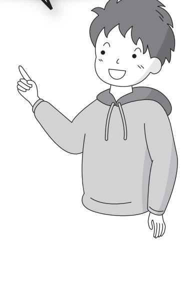
●録画モード「FR」で「時間設定」を「切」に設定した場合は

・カセットに録画されている部分(未記録部分は録画しません)だけすべてをダビングします。
・HDDでは、4.7 GBのディスクにぴったりダビングできるように画質を調整します。
・ダビングを開始すると、ダビングが開始される前に、自動的にテープを終端まで早送りしてから始端まで巻き戻します。ダビングが開始されるまでに、時間がかかることがあります。ディスクの残量が足りなかった場合は、ダビングが中断されます。
・テープの頭出し信号を検出するごとに、番組を分割して録画します。

●録画モード「FR」で「時間設定」を「入」に設定した場合は

・カセットのダビング開始点から、設定した録画時間分だけを(未記録部分も録画します)ダビングします。
・HDDでは、設定した録画時間で4.7 GBのディスクにぴったりダビングできるように画質を調整します。
・番組分割はしません。HDD RAM -R(VR)のみ、チャプターが作成されます。

このダビングで「FR」が選べるのは、カセットからのダビングのみです。

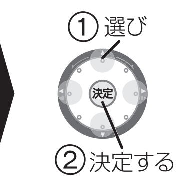


録画時間を指定してダビングする

[カセット、ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビングする](つづき)

詳細ダビング

基本操作



5 「ダビング開始」を選び、決定を押す

●確認画面が表示されます。

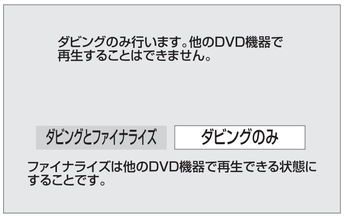
6 「はい」を選び、決定を押す

●ダビングが開始されます。
●ダビングしたい番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。
ただし、テープの終端になるか、HDDまたはディスクの残量がなくなったとき、自動的にダビングを終了します。(メッセージがテレビ画面に表示され、数秒後に消えます)

VHS ➡ HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R の場合

ファイナライズ確認画面が表示されたとき
(VHS ➡ -R(V) -RW(V) +R の場合)

「ダビングとファイナライズ」または「ダビングのみ」を選び、決定を押す



●「ダビングのみ」を選ぶと、ダビングのみ行います。ダビング終了後に他の機器で再生するには、DVD管理でファイナライズを行ってください。(➜108)
●「ダビングとファイナライズ」を選ぶと、ダビング終了後、引き続きファイナライズ(➜138)を行い、再生専用ディスクを作成します。他のDVD機器でも再生できるようになりますが、あとから記録や編集をすることはできなくなります。

DVD-V ➡ HDD VHS の場合

●「ファーストプレイ選択」(➜108)で「タイトル1」に設定したディスクは、自動的に再生が始まります。
●最初に右の画面がダビングされます。

●ダビングの開始から終了までが1番組として記録されます。(ただしHDDへダビングする場合、8時間を超える番組は8時間ごとに分割されます)

トップメニューが表示されたとき

[▲][▼][◀][▶]でダビングを始めたい番組を選び、決定を押す

●選んだ番組から順に再生し、設定した時間まで録画します。
●ディスクの最後の番組の再生が終わったあとは、設定時間までトップメニューを録画します。

好みの番組を再生するには

① 再生ナビ を押す

② [▲][▼][◀][▶]でダビングを始めたい番組を選び、決定を押す

ディスクの再生が始まらないとき

① 再生▶ を押す

② (トップメニューが表示されたら)
[▲][▼][◀][▶]でダビングを始めたい番組を選び、決定を押す

ダビングを途中でやめるには

戻る を3秒以上押したままにする

●ファイナライズ中は中止できません。
●ファイナライズ確認画面で「ダビングとファイナライズ」を選んでも、ダビングを途中でやめた場合はファイナライズも実行されません。

ダビングを途中でやめるには

戻る を3秒以上押したままにする、または 停止■ を押す

前の画面に戻るには

戻る を押す

音声ガイドをやめるには

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜114)

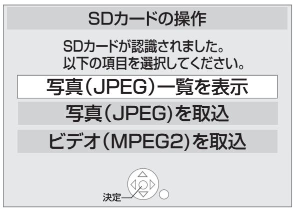
SDカードなどの写真をダビングする

HDD **RAM** **SD**

- 本機では、8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜13)
- CD-RやCD-RWに記録された写真はダビングできません。
- カセットにはダビングできません。

SD

停止中にSDカードをスロットに入れると、下図のような画面が自動的に表示されます。
[▲][▼]で「写真(JPEG)を取込」を選び、[決定]を押すと、右記手順4の操作に進むことができます。



写真を組み合わせてダビングしたいときは、[戻る]を押し(画面が消えます)、102ページ手順1に進んでください。

写真のダビングについて

- フォルダ単位でダビングする場合や「写真(JPEG)一括取込」の場合は、フォルダ内の写真以外のファイルもダビングされます(フォルダ内の下位フォルダは除く)。
- ダビング先のフォルダにすでに写真がある場合、続けて記録されます。
- ダビング先の容量や、ファイルやフォルダの数(➜13)がいっぱいになった場合は、途中でダビングを中止します。
- ダビング元のフォルダ名が入力されていない場合は、ダビング先ではフォルダ名の番号が変わることがあります。ダビング前にフォルダ名を入力することをおすすめします。(➜81"フォルダ名入力")
- プリント枚数の設定(DPOF)はダビングされません。
- ダビング後の写真の表示順は、写真が作成された日時の順になります。
- ダビングリストへの登録順は、ダビング先に反映されないことがあります。

☞前の画面に戻るには

[戻る] を押す

☞ダビングを途中でやめるには

[戻る] を3秒以上押したままにする

カードの写真を一度にHDDやDVD-RAMにダビングする

写真(JPEG)一括取込

この方法では、ダビング元➜ダビング先に以下の方向が選べます:

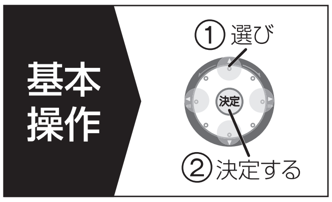
SD ➜ **HDD** **RAM**

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜23)
- [HDD/DVD/SD/VHS 切換]を押して「SD」を選ぶ。(➜22)
- SDカードを入れる。(➜25)
- DVDにダビングするときは、DVD-RAMを入れる。(➜25)
(フォーマット確認画面が表示されたとき➜106)

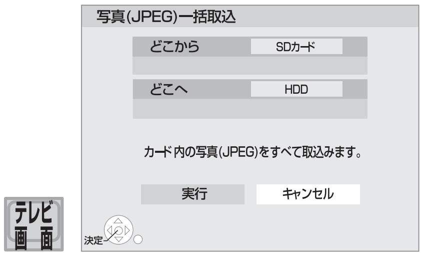
1 **停止中に、[VHS設定 操作一覧] を押す**

- 操作一覧画面が表示されます。



2 **「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す**

3 **「写真(JPEG)一括取込」を選び、[決定] を押す**



4 **「どこへ」を選び、[◀][▶]でダビング先を設定する**

5 **「実行」を選び、[決定] を押す**

- ダビングが開始されます。

SDカードなどの写真をダビングする(つづき)

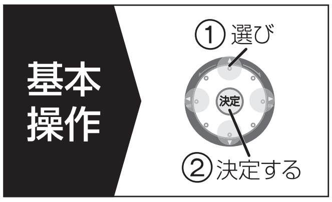
ダビングリストを作成してダビングする

この方法では、ダビング元➡ダビング先に以下の方向が選べます:
HDD RAM SD ➡ HDD RAM SD

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜23)
- DVD-RAMまたはSDカード入れる。(➜25)
  (フォーマット確認画面が表示されたとき➜106、
  SDカードの操作画面が表示されたとき➜101)

1 停止中に、 を押す

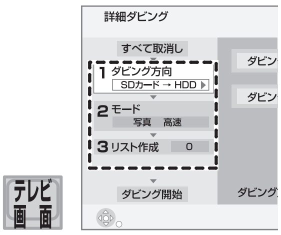
- 操作一覧画面が表示されます。



2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す
- ダビング設定画面が表示されます。

4 設定したい項目を選び、[▶]を押す(➜右記へ)
- 各項目を設定してください。必要に応じてこの手順を繰り返します。

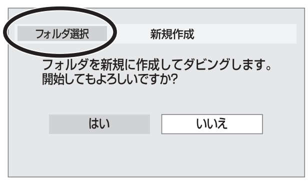


1 ダビング方向
SDカード → HDD

2 モード
写真 高速

3 リスト作成 0

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す
- 確認画面が表示されます。
- 写真単位のダビングの場合は、別のフォルダをダビング先に指定できます。(➜右ページ)



6 「はい」を選び、決定 を押す
- ダビングが開始されます。

何から何にダビング?
1 ダビング方向

ダビング素材を設定する
2 モード
- 写真のダビングでは、録画モードは自動的に「高速」になり、変更できません。

ダビングする写真やフォルダを選ぶ
3 リスト作成
- 右ページ手順を繰り返し、複数の写真またはフォルダをダビングリストに登録できます。
- 写真とフォルダや、別々のフォルダの写真を同じリストに登録することはできません。

	写真単位で登録する
	フォルダ単位で登録する

☞**写真のダビングについて**(➜101)

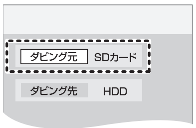
☞**詳細ダビングの便利な機能**(➜97)

☞**前の画面に戻るには**
戻る を押す

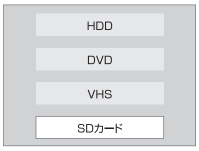
☞**音声ガイドをやめるには**
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜114)

☞**ダビングを途中でやめる**
戻る を3秒以上押したままにする

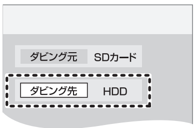
画面表示の例)ダビング元に「SDカード」、ダビング先に「HDD」を選び、写真をダビングするとき



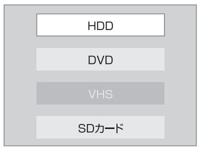
「ダビング元」が選ばれている状態で、(決定)を押す



「SDカード」などを選び、(決定)を押す

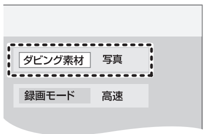


「ダビング先」を選び、(決定)を押す

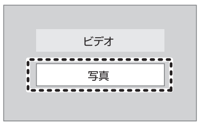


「HDD」などを選び、(決定)を押す

●ダビング元とダビング先に同じ操作先が選べます。

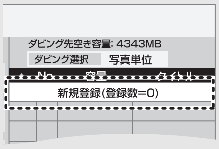


「ダビング素材」が選ばれている状態で、(決定)を押す

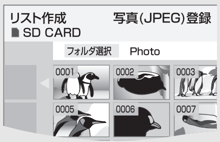


「写真」を選び、(決定)を押す

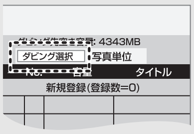
●「ビデオDR」(HDDのみ)または「ビデオ」を選んだ場合
・ダビング元が「SD」のときは、MPEG2 動画のダビングになります。(➜96)
・ダビング元が「HDD」、「DVD」のときは番組やプレイリストのダビングになります。(➜94)



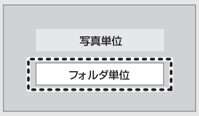
「新規登録(登録数=0)」が選ばれている状態で、(決定)を押す



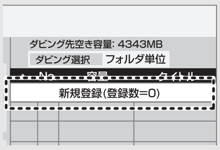
ダビングする写真を選び、(決定)を押す



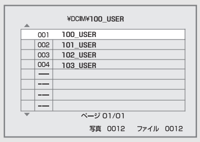
「ダビング選択」を選び、(決定)を押す



「フォルダ単位」を選び、(決定)を押す



「新規登録(登録数=0)」を選び、(決定)を押す



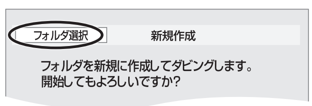
ダビングするフォルダを選び、(決定)を押す

別のフォルダの写真を選ぶ/上位フォルダを切り換えるは(➜下記)

前後のページを表示するには
[|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

複数の写真、フォルダをまとめて登録するには
[▲][▼][◀][▶]で写真またはフォルダを選び、[一時停止❚❚]を押す操作を繰り返す
●☑が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。
●ダビングリストには、番号の小さい順から登録されます。

[◀]を押す
(➜左ページ手順4へ戻る)

別のフォルダの写真を選ぶ	① 「フォルダ選択」を選び、[決定]を押す ●上位フォルダを切り換えるには(➜下記) ② フォルダを選び、[決定]を押す
別のフォルダをダビング先に指定する (写真単位のダビングの場合のみ)	① 「フォルダ選択」を選び、[決定]を押す ② フォルダを選び、[決定]を押す 
上位フォルダを切り換える (本機で認識できる上位フォルダがある場合のみ)	① [サブメニュー]を押す ② 「上位フォルダ選択」を選び、[決定]を押す ③ [◀][▶]でフォルダを選び、[決定]を押す ●上位フォルダの異なるフォルダを同じリストに登録することはできません。

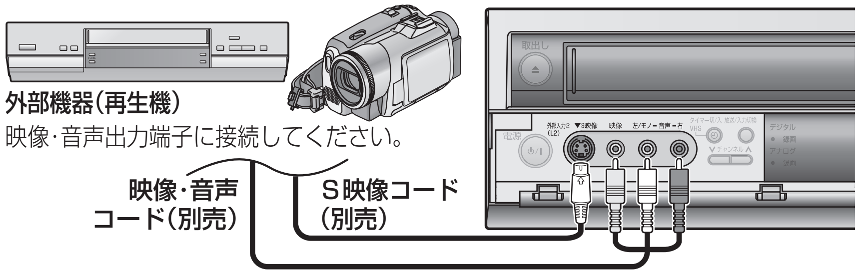
他のビデオやビデオカメラからダビングする

接続

接続時には、本機と他のビデオやビデオカメラなどの電源を切ってください。

外部入力に接続する場合

例）外部入力 2（L2）端子に接続する



- S映像コードからの入力は、S1/S2規格（➜140）に対応しています。VHS側は、S映像コードからの入力はできますが、S-VHS 方式では録画できません。（VHS方式で録画されます）

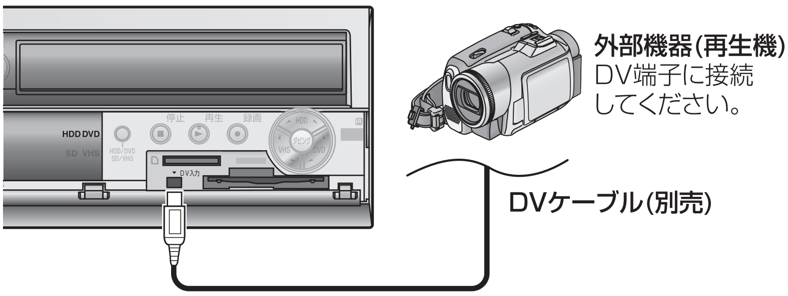
外部入力 1（L1）端子に接続するには
別冊の取扱説明書 準備編 14ページ "ビデオと接続する場合" をご覧ください。

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R 二重放送の音声を入力する場合
38ページ "音声多重放送の録画について" をご覧ください。

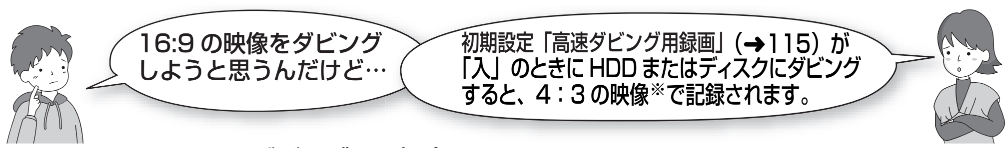
外部機器の音声出力端子がモノラルの場合
- 本機前面の外部入力2（L2）端子に接続するときは、映像端子（黄またはS映像）と左/モノ音声端子（白）のみに接続してください。再生時に音声が左右両方から出力されるように記録されます。
- 本機背面の外部入力 1（L1）端子に接続するときは、ステレオ⟷モノラルの映像・音声コード（別売）をお使いください。

DV入力に接続する場合

DVケーブル1本で、ビデオカメラなどの映像や音声をダビングすることができます。（対応機種のみ）



- 記録する音声の種類を**初期設定**「DV入力時の音声の設定」（➜116）で選べます。
- 接続した機器から本機を操作することはできません。
- 本機のDV入力はDV機器専用です。
- DV入力経由で本機に接続できるDV機器（ビデオカメラなど）は、1台のみです。



- **HDD RAM -R(VR) にダビングする場合**
  初期設定「高速ダビング用録画」を「切」にすると、**16：9の映像で記録**することができます。
- **-R(V) -RW(V) +R にダビングする場合**
  初期設定「高速ダビング用録画」の設定にかかわらず、**4：3の映像※で記録**します。

※**初期設定**「TVアスペクト」（➜117）を「16:9 フル」に設定すれば、16:9 映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

お知らせ
- HDD/DVD側で以下のときは、HDD/DVDの予約録画の開始時刻になると、予約録画が実行され、HDD/DVDへのダビングは中止されます。
  - ・DV入力からダビング中の場合
  - ・外部入力（L1、L2）からダビング中に、アナログ放送の予約録画、または録画モード "DR" 以外で予約したデジタル放送の予約録画が開始された場合
- 日付や時刻情報は記録されません。
- DV機器によっては、映像や音声が正しくダビングされない場合があります。
- 接続した機器をテレビに近づけると、黒い帯状のノイズが録画されてしまうことがあります。このときは、できるだけ離してください。

接続した機器を再生してダビングする
HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R VHS

- -R DL(VR) -R DL(V) にはできません。

DVおまかせ取込機能を使ってダビングする
DV おまかせ取込
（DV入力端子に接続したときのみ）
HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

- -R DL(VR) -R DL(V) VHS にはできません。

準備
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して録画先(「HDD」、「DVD」または「VHS」)を選ぶ。(➜22)
- DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜25)
- VHSにダビングするときは、録画可能なカセットを入れ(➜25)、録画開始点を探しておく。
- [録画モード]を押して、録画モード(➜35)を選ぶ。

1 [放送/入力切換]を押して、外部機器を接続した端子(外部入力チャンネル:L1、L2、DV)を選ぶ

- VHS 「DV」は選べません。

2 接続した機器で、再生を始める

3 録画を始めたい場面で、[録画 ●](ふた内部)を押す

- 録画が開始されます。

☞録画を一時停止するには

[一時停止 ॥ お好み選局]を押す

- もう一度押すと、録画を再開します。

☞録画をやめるには

[停止 ■]を押す

- 接続した機器の再生も停止させてください。

☞ディスクの残量に合わせて録画する
(HDD/DVDに録画する場合)

ぴったり録画(➜42)

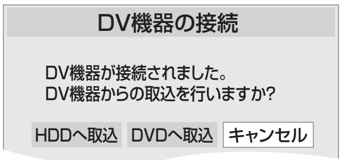
お知らせ
- 本機を再生機として使うときは、テレビ画面にオンスクリーン表示を出さない設定(➜116,118)にすると、不要な文字や表示が出なくなります。

HDD RAM -R(VR) ダビングされると同時に、映像の切れ目をチャプターの区切りとして、プレイリスト(➜77)が自動作成されるので、ダビング後の編集に便利です。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(➜23)
- DVDにダビングするときは、録画可能なディスクを入れる。(➜25)
- [HDD/DVD/SD/VHS切換]で録画先(「HDD」または「DVD」)を選び(➜22)、録画モード(➜35)を選ぶ。

1 接続した機器の電源を入れ、機器側でダビング開始点を探し、一時停止しておく

- 「DV機器の接続」画面が表示されます。



テレビ画面

☞「DV機器の接続」画面が表示されないとき

手順1のあと
① 本機の停止中に、[操作一覧]を押す
② [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す
③ [▲][▼]で「DVおまかせ取込」を選び、[決定]を押す(➜下記手順3へ)

2 [◀][▶]でダビング先(「HDDへ取込」または「DVDへ取込」)を選び、[決定]を押す

3 [◀]で「録画開始」を選び、[決定]を押す

- DV機器のモデル名は、正しく表示されない場合があります。

☞前の画面に戻るには

[戻る]を押す

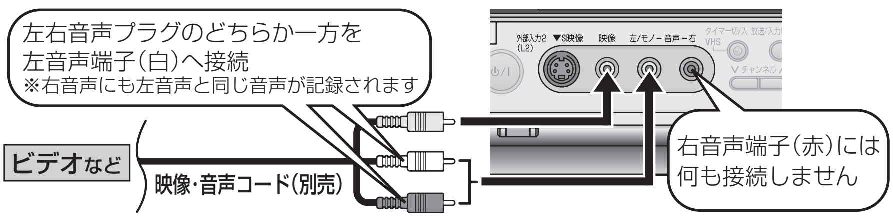
☞録画をやめるには

[停止 ■]を押す

お知らせ
- DVおまかせ取込中は、追っかけ再生や同時録画再生はできません。
- DV入力から録画中に、他の番組をHDD/DVDへ録画することはできません。
- 「DVおまかせ取込」がうまく働かない場合は、接続とDV機器側の設定を確かめ、電源を入れ直してください。それでも働かない場合は、"接続した機器を再生してダビングする"(➜上記)を行ってください。
DV機器との互換性については、当社ホームページ(http://panasonic.jp/support/dvd/)をご覧ください。

外部機器側で音声を選べない場合

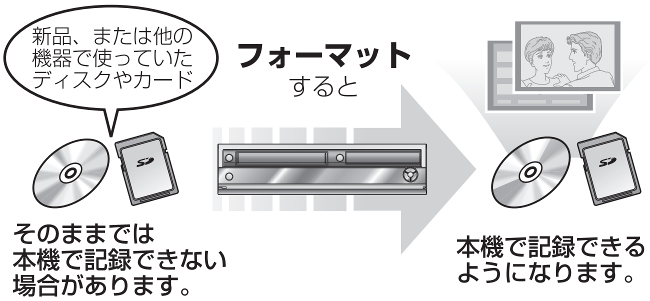
録画前に、ビデオなどからの映像・音声コードを本機前面のL2端子に接続し直す
- 左右の音声プラグからそれぞれ主または副音声が出力されます。接続後、両方のスピーカーから記録したい音声が出るか確認してください。
- L2端子以外の端子で右記の接続を行うと、再生時、片方のスピーカーからしか音声が出ません。



フォーマット/ディスク名入力/ディスクプロテクト/全番組消去

HDD　RAM　-R(VR)　-R(V)　-R DL(VR)　-R DL(V)　-RW(V)　-RW(VR)　+R　SD

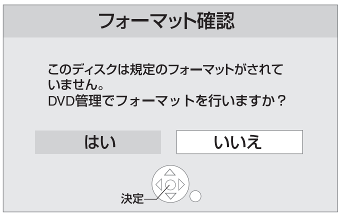
フォーマットとは



フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。
（番組やフォルダ、ディスクやカードにプロテクトを設定していても消去されます）

フォーマット確認画面が表示されたとき

例）RAM



DVD-RAM、DVD-RWを入れたとき

●ディスクが本機で記録できる状態になっていないときに表示されます。

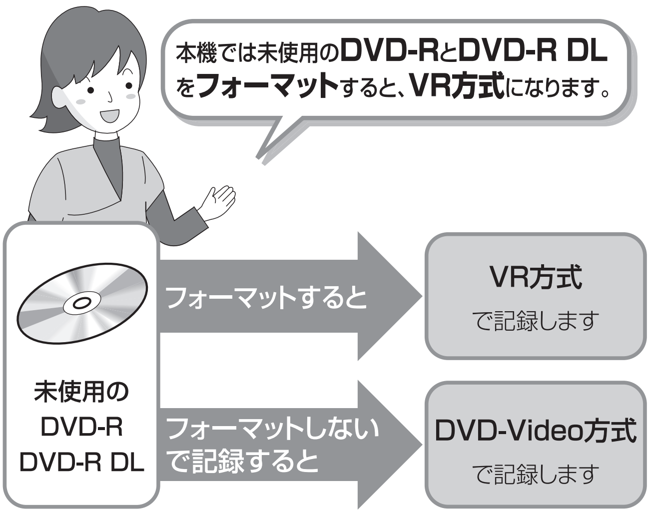
CPRM対応のDVD-R、DVD-R DLを入れたとき

●ディスクに記録する方式が未定のときに表示されます。

ご使用になる場合は、画面に従ってディスクをフォーマットしてください。ただし記録していた内容はすべて消去されます。

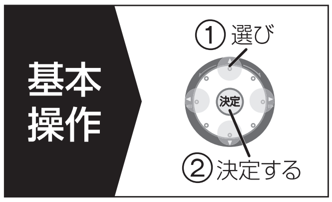
[◀]で「はい」を選び、[決定]を押す

●引き続き操作が必要です。
（➜右ページ"ディスクやカードを初期化する"手順1へ）



●いったん記録またはフォーマットすると、あとで記録方式を変えることはできません。（記録方式について➜9）

準備
●テレビに本機の画面を出す。（➜23）
●[HDD/DVD/SD/VHS切換]を押して、操作先（「HDD」、「DVD」または「SD」）を選ぶ。（➜22）
●ディスクやカードを編集する場合は、ディスクやカードを入れる。（➜25）
●ディスクやカートリッジ、カードの誤消去防止設定（プロテクト）を解除しておく。（➜右ページ）



1 停止中に、[操作一覧 VHS設定]を押す

●操作一覧画面が表示されます。

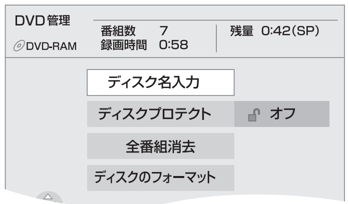
2 「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 「HDD管理」、「DVD管理」または「カード管理」を選び、[決定]を押す

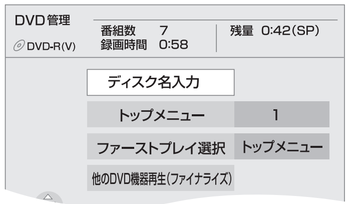
操作先によって、それぞれ以下のメニューを選んでください。

●操作先が「HDD」の場合：「HDD管理」
●操作先が「DVD」の場合：「DVD管理」
●操作先が「SD」の場合　：「カード管理」

例）RAM



例）-R(V)



4 整理したい項目を選び、[決定]を押す

（➜右ページへ）

前の画面に戻るには

[戻る]を押す

画面を消すには

[戻る]を数回押す

音声ガイドをやめるには

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする（➜114）

左ページ手順1～4のあとに操作します。

ディスクに名前を付ける

ディスク名入力

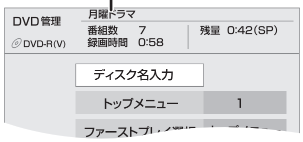
RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

（ファイナライズしたディスクにはできません）

☞文字入力については（➜109）

●未使用のDVD-R、DVD-R DLにディスク名を入力すると、DVD-Video方式になります。VR方式で記録したい場合は、先にフォーマットしてください。（➜下記）

入力したディスク名は、「DVD管理」画面に表示されます。



-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R
ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

誤消去防止の設定/解除

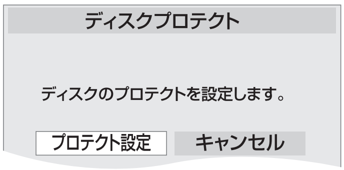
ディスクプロテクト

RAM -R(VR) -R DL(VR)

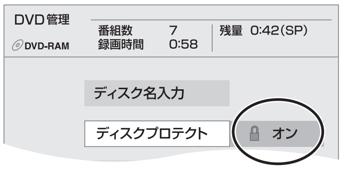
（ファイナライズしたディスクにはできません）

ディスクの内容を誤って消去しないように設定できます。

[◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定 を押す



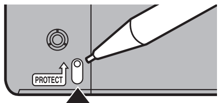
●プロテクト設定すると“🔒 オン”が表示されます。



☞カートリッジ付きDVD-RAMやカードの場合

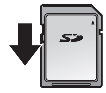
本機で左記の設定をしなくても、ディスクやカードで誤消去防止設定ができます。

カートリッジ付きディスク



設定すると、本機に入れたとき自動的に再生します。

SDカードなど



スイッチを「LOCK」側にする。

番組をすべて消去する

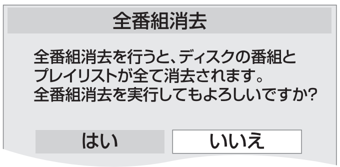
全番組消去

HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)

（ファイナライズしたディスクではできません）

実行すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

1 [◀]で「はい」を選び、決定 を押す



2 [◀]で「実行」を選び、決定 を押す

お知らせ

●全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
●プロテクトを設定した番組がある場合は、働きません。
● HDD RAM 写真は消去されません。
● -R(VR) -R DL(VR) 消去しても残量は増えません。

ディスクやカードを初期化する

HDD のフォーマット

HDD

ディスクのフォーマット

RAM -RW(V) -RW(VR)

フォーマット(VR方式)

-R(V) -R DL(V)

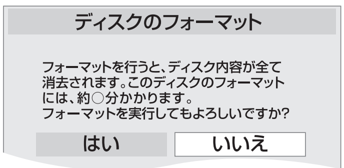
（未使用のディスクのみ）

カードのフォーマット

SD

1 [◀]で「はい」選び、決定 を押す

例）RAM



2 [◀]で「実行」を選び、決定 を押す

●フォーマットが始まります。通常は数分（RAM 最大約70分）かかります。

☞フォーマットを中止するには

戻る を押す

● RAM フォーマットが2分以上かかる場合のみ中止できます。ただし、再度フォーマットを行わないと使えません。

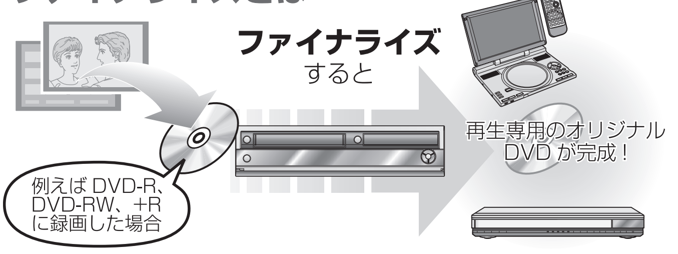
お知らせ

●本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
●CD-R/RW、録画済みのDVD-R、DVD-R DLはフォーマットできません。
● -RW(V) -RW(VR) 本機でフォーマットすると、DVD-Video方式になります。VR方式にフォーマットすることはできません。
●本機では未使用のDVD-R、DVD-R DLをフォーマットすると、VR方式になります。
（フォーマットすると、DVD-Video方式では記録できなくなります）

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。

他の機器で再生できるようにする(ファイナライズ)

ファイナライズとは



そのままでは
他の DVD 機器で
再生できません。

他の DVD 機器で再生
できるようになります。
ただし録画や編集は
できなくなります。

-R(VR) -R DL(VR) はファイナライズしても、-R(VR) -R DL(VR) の再生に対応した機器でしか再生できません。

- 他のDVD機器で再生するには、それぞれの機器がファイナライズしたディスク(記録方式)の再生に対応している必要があります。
- 本機でファイナライズしたディスクでも、録画状態により他の機器で再生できない場合があります。

ファイナライズの前に

必要に応じて

ディスク名入力 ディスクに名前を付けます
[➜107“ディスクに名前を付ける”]

▼

トップメニュー ディスクのメニュー画面の背景を決めます。

▼

ファーストプレイ選択 再生したときの始まりかたを決めます。
まずトップメニューを表示させる？　すぐ番組を再生させる？

▼

ファイナライズ 「他の DVD 機器再生（ファイナライズ)」を実行する。

これで再生専用のオリジナル DVD が完成です。

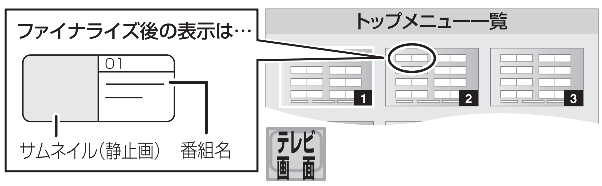
106ページ手順1～4のあとに操作します。

メニュー画面の背景を設定する
トップメニュー
-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

[▲][▼][◀][▶]でお好みの背景を選び、決定を押す

- トップメニュー内に表示される画像(サムネイル)は変更できます。(➜75「サムネイル変更」)

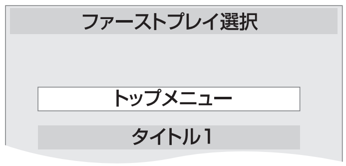


再生の始まりかたを設定する
ファーストプレイ選択
-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R

ファイナライズ後のディスクの再生の始まりかたを設定できます。

[▲][▼]で「トップメニュー」または「タイトル１」を選び、決定を押す

トップメニュー：再生時、メニュー画面を表示する
タイトル１　　：再生時、ディスクの先頭(タイトル１)から再生する

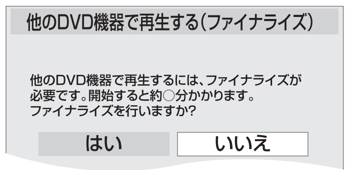


他のDVD機器で再生できるようにする
他のDVD機器再生(ファイナライズ)
-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

1 [◀]で「はい」を選び、決定を押す

2 [◀]で「実行」を選び、決定を押す

- ファイナライズが始まります。実行中は中止できません。
- ファイナライズは、数分から最大約15分(-R DL(VR) -R DL(V) 最大60分)かかります。
- 高速記録対応ディスクの場合、確認画面に表示される時間より長くかかることがあります。(最大で約4倍)



ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

前の画面に戻るには
戻る を押す

画面を消すには
戻る を数回押す

ファイナライズすると…

- **-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) +R 再生専用となり、記録や編集はできなくなります。**
- -RW(V) 再生専用となりますが、フォーマット(➜107)すると、繰り返してダビングや編集ができます。ただし録画していた番組などはすべて消去されます。
- -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R
  - ・高速モードでダビングした番組では、ダビング時に複製されたチャプターがファイナライズ後も保持されます。
  - ・直接録画した番組や高速モード以外でダビングした番組では、約5分ごとのチャプターが自動的に作成されます。(-R DL(V) は作成されません)実際に作成されるチャプターの長さは、録画状態や録画モードによって大きく変化します。
  - ・番組やチャプターのつなぎ目が数秒間静止するようになります。
  - ・**チャプターの最大記録数：** -R(V) -R DL(V) -RW(V) 約1000、+R 約250(記録状態によって変化します)

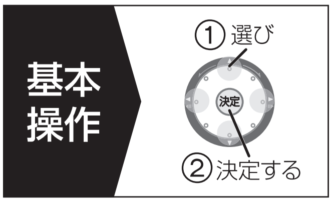
お知らせ

- 本機以外の機器で録画したディスクはファイナライズできないことがあります。
- 再生互換などのDVD関連情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)

文字入力

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R SD

録画した番組などに名前を付けることができます。

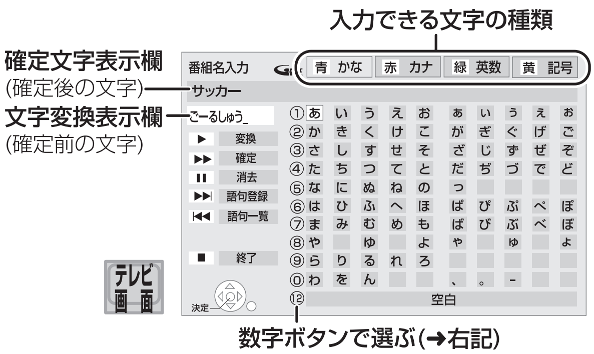


1 入力画面を表示する

- 予約番組に番組名を付ける(➜51「タイトル名入力」)
- 録画した番組に番組名を付ける(➜75「番組名入力」)
- プレイリスト名を付ける(➜79「プレイリスト名入力」)
- ディスク名を付ける(➜107「ディスク名入力」)
- 写真のフォルダ名を付ける(➜81「フォルダ名入力」)

2 青(かな)、赤(カナ)、緑(英数)、黄(記号)で文字の種類を選び、決定を押す

- [▲][▼][◀][▶]で文字の種類を選んで、[決定]を押しても、文字の種類が選べます。
- 漢字を入力するときは、まず「かな」を選びます。



3 入力する文字を選び、決定を押す

☞**ひらがなを入力するには**
[早送り ▶▶](確定)を押す

☞**ひらがなを漢字変換するには**
① [再生▶](変換)を押す
- 変換候補選択画面が表示されます。

② [▲][▼]で変換したい漢字の候補を選び、[決定]を押す
- [|◀◀]または[▶▶|]を押すと、前ページまたは次ページの文字候補選択画面が表示されます。
- [戻る]を押すと、入力画面に戻ります。

☞**よく使う語句を登録したり、登録した語句を呼び出すには(➜右記)**

☞**消去するには**
[一時停止❚❚](消去)を押す

- 確定文字表示欄では"＿"の部分に文字が挿入されます。
- この手順を繰り返し、複数の文字を入力します。

4 入力が終わったら、停止■(終了)を押す

- "書き込み中です…"と表示されたあと、番組一覧などのそれぞれの画面に戻ります。

☞**前の画面に戻るには**
戻る を押す

☞**途中で終わるには**
戻る を数回押す
(入力した文字は保存されません)

よく使う語句を登録する

登録できる語句数:20個まで
登録できる文字数(1個あたり):
半角英数　先頭から20文字
その他　先頭から10文字

1 登録したい語句を入力後、スキップ/頭出し▶▶|(語句登録)を押す

2 [◀]で「登録」を選び、決定を押す

☞**登録を中止するには**
戻る を押す

登録した語句を呼び出す

1 スキップ/頭出し|◀◀(語句一覧)を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で呼び出す語句を選び、決定を押す
- 確定文字表示欄に選んだ語句が入力されます。

登録した語句を消去する

1 スキップ/頭出し|◀◀(語句一覧)を押す

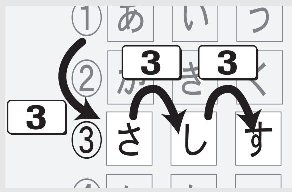
2 [▲][▼][◀][▶]で消去する語句を選び、サブメニューSを押す

3 「語句消去」が選ばれている状態で、決定を押す

4 [◀]で「消去」を選び、決定を押す

数字ボタン[1]～[10/0]、[12*]でも文字を入力できます。
例:ひらがな「す」を選ぶ場合
1 [3]を押す
- 「さ」行に移動します。

2 [3]を2回押し、[決定]を押す
- 「す」が文字変換表示欄に表示されます。



入力できる文字数について

	種類	半角英数	その他
HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)	番組名※	64	32
	プレイリスト名	64	32
	フォルダ名(-R(VR) -R DL(VR)を除く)	36	18
	ディスク名(HDDを除く)	64	32
-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R	番組名	44	22
	ディスク名	40	20
SD	フォルダ名	36	18

※予約録画時　半角英数:44文字　その他:22文字

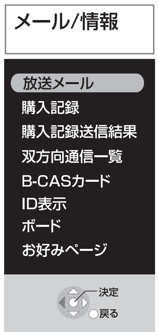
○○(お知らせ)○○
- 予約録画時の番組名など、入力したすべての文字が表示されない画面もあります。

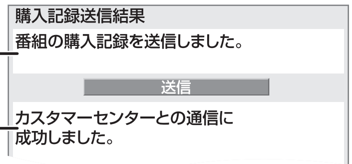
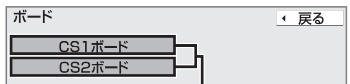
いろいろな情報を見る（メール/情報）

放送局から届くメールや、その他本機が送受信する情報などを確認します。

メール/情報の基本操作	
1 HDD/DVD/SD VHS［切換］**を押して、「HDD」、「DVD」または「SD」を選ぶ** **2** ［VHS設定 操作一覧］**を押す** **3 ［▲］［▼］で「その他の機能へ」を選び、［決定］を押す** **4 ［▲］［▼］で「メール / 情報」を選び、［決定］を押す** **5 ［▲］［▼］で確認する項目を選び、［決定］を押す**	**前の画面に戻るには** ［戻る］を押す **画面を消すには** ［戻る］を数回押す

テレビ画面



放送メール	放送メールには、放送局からのお知らせ（最大31通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の1通のみ保存）などがあります。 **［▲］［▼］で確認したいメールを選び、［決定］を押す** ●本機の機能向上のためのダウンロード情報が届いた場合、メールの内容画面の下部にダウンロード予約ボタンが表示されます。ダウンロードの予約を「する」または「しない」を選んでください。 「する」を選んだ場合、メールに記載されているダウンロード開始時刻の約5分前には、電源を切っておいてください。 ※ダウンロード方法を「自動」にしている場合は、ダウンロード予約ボタンは表示されず、自動的にダウンロードが行なわれます。 **ダウンロード予約の設定については**（➜準備編 38） ●メールが最大保存数を超えると、未読/既読に関係なく、日付の古い順に消去されます。また、最大保存数を超えていなくても、受信から14日経過したメールは消去されます。 ●メールはお客様自身で消去することはできません。 ●メールの送信や返信はできません。	
購入記録	購入した有料番組を確認できます。 ●価格改定などにより請求金額は異なる場合があります。	**累計金額をリセット（0円に戻す）には** ① ［取消し/11 ♯］を押して、リセット画面を表示させる ② ［◀］［▶］で「はい」を選び、［決定］を押す ●リセットした項目は、うすい文字で表示されます。
購入記録送信結果	有料放送の購入情報が正しく送信されているかどうか確認します。 ●前回の送信結果として、送信失敗のために再送信をうながす旨が表示される場合があります。その場合は「送信」を選び、［決定］を押すと再送信できます。	最新の送信記録を表示 前回の送信結果を表示 
双方向通信一覧	データ放送で電話回線を利用した履歴などを確認します。	
B-CASカード	契約されている各委託放送事業者のカスタマーセンターへの問い合わせのときなど、B-CASカードの番号が必要なときに使用します。	
ID表示	当社の「お客様ご相談センター」への問い合わせのときなど、本機の情報を調べたいときに使用します。	**その他の情報を見るには** ●［青］を押すと、本機のソフト情報を表示。 ●［赤］を押すと、データ放送時のルート証明書情報を表示。
ボード	110度CSデジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。 ① **［▲］［▼］で「CS1ボード」または「CS2ボード」を選び、［決定］を押す** ② **［▲］［▼］で確認したい情報を選び、［決定］を押す**	 CS1ボード:「CS1」からの情報 CS2ボード:「CS2」からの情報
お好みページ	データ放送の画面上で、「お好みページ」の登録操作を行ったときに登録されます。今後、このようなデータ放送が徐々に増えてくる予定です。（2006年3月現在） ただし、ページによっては本機で登録や表示ができないものがあります。 **［▲］［▼］で実行したいタイトルを選び、［決定］を押す** ●登録されている内容に従った動作が行われます。 例えば、指定されたテレビ放送のチャンネルに切り換わったりします。	**お好みページを削除したり自動で消去するには** ① **［サブメニュー］を押す** ② **削除する場合は「削除」を選び、［決定］を押す** ●データ放送からの指示により自動で消去してもよい場合は、「消去許可設定」で「許可」を選んだ後、「更新」を選び、［決定］を押す。

放送設定を変える（放送設定一覧）

放送設定一覧（**➜下記～113**）をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

放送設定の基本操作

1 HDD/DVD/SD VHS［切換］**を押して、「HDD」、「DVD」または「SD」を選ぶ**

2 ［VHS設定 操作一覧］**を押す**

3 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、（決定）**を押す**

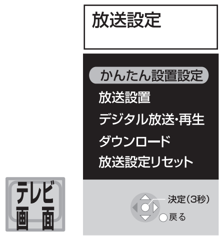
4 [▲][▼]で「放送設定」を選び、（決定）**を押す**

5 [▲][▼]でメニューを選び、（決定）**を押す**

6 [▲][▼]で設定項目を選び、（決定）**を押す**

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

7 [◀][▶]で設定内容を変更する



前の画面に戻るには

（戻る）を押す

画面を消すには

（戻る）を数回押す

お知らせ

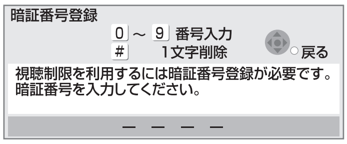
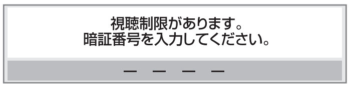
●操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。

●**[決定]**を押すときは、周囲の回転部をいっしょに押さないようにお気をつけください。

メニュー	設定項目	**設定内容**（下線部はお買い上げ時の設定です）
かんたん設置設定	かんたん設置設定（➜準備編 23）	→**[決定]**を３秒以上押して、さらに設定します。
放送設置	→**[決定]**を3秒以上押して、さらに設定します。	
	チャンネル設定（➜準備編 42～46）	→**[決定]**を押して、さらに設定します。
	●地上アナログ	
	●地上デジタル	
	●BS	
	●CS1	
	●CS2	
	●スキップ設定	▶<u>視聴する</u> ▶スキップする：**[放送/入力切換]**を押しても選択できなくなります。
	番組表設定（➜準備編 33）	→**[決定]**を押して、さらに設定します。
	●Gガイド地域設定	▶札幌～沖縄：（「かんたん設置設定」の実行で自動的に設定）
	●番組表受信設定	BS908：（放送局からの案内がない限り、変更しないでください）
	●Gガイド受信確認	Gガイド受信スケジュールを確認できます。
	地域設定（➜準備編 38）	→**[決定]**を押して、さらに設定します。
	●県域設定	▶東北海道～沖縄県
	●郵便番号	――― - ――――（郵便番号）
	●地域設定消去	▶はい　▶<u>いいえ</u>
	アンテナ設定（➜準備編 34）	→**[決定]**を押して、さらに設定します。
	●地上デジタル　－　アッテネーター	▶<u>オフ</u>　▶オン
	●衛星　－　アンテナ電源	▶<u>オン</u>　▶オフ

放送設定を変える（放送設定一覧）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
放送設置	電話設定（➜準備編 40）	→［決定］を押して、さらに設定します。
	●回線設定	▶自動　▶プッシュ　▶ダイヤル 20　▶ダイヤル 10
	●トーン検出 「回線設定」（➜上記）が「自動」以外のときに設定できます。	▶する　▶しない
	●内線設定	ーーーーーーーー（内線番号）
	●電話テスト	ーー
	●発信者番号通知	▶指定なし　▶通知する　▶通知しない
	●電話会社設定	ーーーーーーーー（電話会社番号）
	●マイラインプラス 「電話会社設定」（➜上記）を設定した時のみ設定できます。	▶解除する　▶解除しない
	B-CASカードテスト（➜準備編 38）	ーー
	受信設定	→［決定］を押して、さらに設定します。
	●地上デジタル 物理チャンネル（➜準備編 53）を指定してアンテナレベルを確認します。	▶物理チャンネル選択　ーー CH
	●衛星 衛星周波数などを変えます。（放送局からの案内がない限り、変更しないでください）	▶トランスポンダ選択　BS-1～BS-15、CS-2～CS-24 ▶衛星周波数　ーー.ーーーー GHz
デジタル放送・再生	字幕の設定 デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。 HDD RAM -R(VR) 録画モード“XP”～“EP”、“FR”で録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時にはその設定内容で再生されます。	→［決定］を押して、さらに設定します。 ●「字幕」/「文字スーパー」が「オン」でも、字幕/文字スーパーのない番組や設定した言語の字幕/文字スーパーがない場合、字幕/文字スーパーは表示されません。 ●強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。 ●地上アナログ放送の文字放送（字幕）は見られません。
	●字幕	▶オン　▶オフ
	●字幕言語	▶日本語　▶英語
	●文字スーパー	▶オン　▶オフ
	●文字スーパー言語	▶日本語　▶英語

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
デジタル放送・再生	**視聴制限設定** ●年齢や購入金額の上限を設定できます。 ●上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。入力すると番組を見ることができます。 ●年齢制限を超える番組は、番組表(Gガイド)などで「･･･」と表示されます。	→**[決定]**を押して、さらに設定します。  **画面の指示に従って[1]～[10/0]を押して暗証番号(4けた)を入力する** ●10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。 ●初めて入力するときは番号を2回入力し、登録します。暗証番号は、忘れないようにメモをしておいてください。 お知らせ ●**4けたの暗証番号は自由にお決めいただけます。もし忘れた場合は、契約されている各委託放送事業者にお問い合わせください。** ●暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。
	●視聴可能年齢	▶ <u>無制限</u> ▶**4才～19才(1才刻み)**
	●一番組限度額	▶ <u>無制限</u> ▶**100円** ▶**500円** ▶**1000円** ▶**1500円** ▶**2000円** ▶**2500円** ▶**3000円**
	●暗証番号変更	●「視聴可能年齢」と「一番組限度額」の設定は残ります。
	●暗証番号取消し	●「視聴可能年齢」と「一番組限度額」の設定は「無制限」に戻ります。
	設定した年齢や購入金額を超える番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。  	●暗証番号を入力すると、番組が映ります。 ●「視聴可能年齢」の場合は、一度暗証番号を入力すると、電源を「切」にするまで見ることができます。
	選局対象 デジタル放送で**チャンネル[∧][∨]**を押して順送りできるチャンネルを選びます。	▶**お好み**:リモコンの[1]～[12＊]に設定されているチャンネルとデジタル放送で設定した13～36までのチャンネル ▶**テレビ**:テレビ放送(映像＋音声)のチャンネルのみ ▶**ラジオ**:ラジオ放送(音声)のチャンネルのみ ▶**データ**:データ放送のチャンネルのみ ▶**<u>すべて</u>**:受信できるすべてのチャンネル
ダウンロード	**ダウンロード予約(➜準備編 38)** デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。	▶**<u>自動</u>**:電源「切」時に、自動的にダウンロードします。 ▶**手動**:情報が届いた場合、メールで知らせます。 **(➜110「放送メール」)**
放送設定リセット	→**[決定]**を3秒以上押して、さらに設定します。	
	設定項目リセット **放送設定**「アンテナ設定」**(➜111)**(アッテネーターは除く)、**放送設定**「電話設定」**(➜112)**をお買い上げ時の設定に戻します。	▶**はい** ▶**<u>いいえ</u>**
	個人情報リセット **初期設定**項目**(➜114～117)**[時刻(年/月/日/時/分)は除く]、**放送設定**項目**(➜111～113)**(受信設定は除く)をお買い上げ時の設定に戻します。 また、本機に記録されているお客様の操作に関する個人情報(メールや購入記録、データ放送のポイントなど)や、HDD/DVD側の予約一覧画面**(➜54)**の内容も消去されます。 廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。	▶**はい** ▶**<u>いいえ</u>** お知らせ ●双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。

本機の設定を変える（初期設定一覧）

初期設定一覧(➜下記～117)をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

初期設定の基本操作

1 HDD/DVD/SD VHS［切換］を押して、「HDD」、「DVD」または「SD」を選ぶ

2 ［VHS設定 操作一覧］を押す

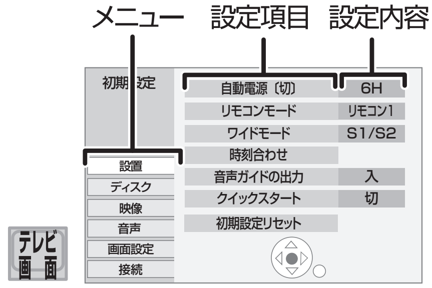
3 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、［決定］を押す

4 [▲][▼]で「初期設定」を選び、［決定］を押す

5 [▲][▼]でメニューを選び、[▶]を押す

6 [▲][▼]で設定項目を選び、［決定］を押す

7 [▲][▼]で設定内容を選び、［決定］を押す



前の画面に戻るには

［戻る］を押す

画面を消すには

［戻る］を数回押す

お知らせ

●操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
設置	**自動電源〔切〕** 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	▶2H　▶6H　▶切 時間を設定すると、本機の動作(録画やダビングなど)が終了してから2時間後または6時間後に、電源が切れます。
	リモコンモード(➜準備編 36)	▶リモコン1　▶リモコン2　▶リモコン3
	ワイドモード テレビのS映像入力に合わせて出力を設定します。 (➜準備編 28) (➜140“S映像出力”)	▶S1　:テレビの端子が「S1」のとき。 ▶S1/S2 :テレビの端子が「S1」または「S2」のとき。 ▶切　:テレビの端子が「S」、またはテレビ側で、自動的にワイドテレビの画面設定に切り換える機能を作動させたくないとき。
	時刻合わせ(➜準備編 36)	▶(年/月/日/時/分)　▶自動時刻チャンネル
	音声ガイドの出力 「かんたん設置設定」などの実行時に、音声で操作ガイダンスを行います。	▶入:本書の［ディーガがしゃべる!］マーク部分で働きます。(詳しくは➜7) ▶切
	クイックスタート 「入」に設定すると、電源「切」状態から以下の操作がすばやく行えるようになります。(映像またはS映像コード接続時) ●[番組表]を押して約1.9秒後※に、番組表(Gガイド)を表示します。(➜30) ●[電源]を押して約1.9秒後※に、テレビ番組を見ることができます。 ※D端子ケーブルやHDMIケーブルで接続している場合は、さらに数秒かかります。 ●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。 ●そのほかの操作は、電源を入れてから数十秒かかります。	▶入　▶切 「入」に設定すると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。 ●待機時消費電力が増えます。 ●本機の動作を安定させるため、1日1回(午前4時ごろ)、本機全体を再起動します。このときは、電源ボタンを含むすべてのボタン操作が数分間できません。また内部から動作音がしますが、故障ではありません。(午前4時に電源が入っていた場合や午前4時を含む予約録画がある場合を除く) ●内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが定期的に低速で回ります。
	初期設定リセット 設定をお買い上げ時の設定に戻します。 (時刻と視聴制限は除く)	▶する　▶しない 初期設定リセットを行うと、本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定(リモコン1)に戻ります。リモコンが働かなくなった場合は(本体表示窓に“U30 REMOTE”と表示)、リモコンモードを変更してください。 (➜準備編 37“本体表示窓に“U30 REMOTE”と表示されたとき”)

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
ディスク	**再生設定**	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●**視聴制限** DVDビデオの視聴制限ができます。 ・暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10/0]で暗証番号(4けた)を入力してください。 ・**暗証番号は忘れないでください。**	▶**レベル8 すべて視聴可**　:すべてのディスクが視聴可。 ▶**レベル7～1**　:制限レベルの記録されているディスク(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可。 ▶**レベル0 すべて視聴不可**　:すべてのディスクが視聴不可。 ▶**ロック解除**　▶**暗証番号変更**　▶**レベル変更**　▶**一時解除**
	●**DVD-AudioのVideoモード再生** DVDオーディオに収録されたDVDビデオ映像を再生します。	▶**入**(電源「切」または本体の[**開/閉▲**]で「切」に戻ります) ▶**切**
	●**音声言語** DVDビデオ再生時の音声を選びます。	▶**日本語**　▶**英語** ▶**オリジナル**(ディスクの最優先言語で再生) ▶**その他＊＊＊＊** **＊には[1]～[10/0]で言語番号(➜117)を入力** [選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面(**➜56**)でのみ切り換えるものもあります]
	●**字幕言語** DVDビデオ再生時の字幕言語を選びます。	▶**オート**: 「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ▶**日本語**　▶**英語**　▶**その他＊＊＊＊**
	●**メニュー言語** テレビ画面に表示される言語を選びます。	▶**日本語**　▶**英語**　▶**その他＊＊＊＊**
	記録設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●**EP時の記録時間** 録画モードがEP時の最大記録時間を選びます。 **(録画モード➜35)**	▶EP(6H):4.7 GBディスクに6時間記録 ▶EP(8H):4.7 GBディスクに8時間記録
	●**高速ダビング用録画** -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R HDDに録画した番組を、高速ダビングできるようになります。 ただし録画される番組は画面サイズなどが制限されます。**(➜右記)** 「切」に設定していると、右記の制限はかかりませんが、-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R への高速ダビングはできなくなります。 ・この設定は、アナログ放送や外部入力(DV入力含む)から録画するとき、ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビングするとき、VHS からダビングするときに有効です。	▶**入**:高速ダビング対応にする 　→[**決定**]を押して、さらに「はい」を選びます。 ・記録される番組には以下の制限がかかります。 - 画面サイズは 4:3 になります。 - 二重放送の音声は「二重放送音声記録」(**➜116**)で選んだほうの音声のみ記録されます。 ・放送受信中の音声を切り換えることはできなくなります。 - 二重放送の音声は、「二重放送音声記録」(**➜116**)で選ばれているほうが出力されます。 ▶**切**
	●**DVDの高速ダビング速度** 高速モードでのダビング速度を設定します。 (RAM 5X、-R(VR) -R(V) +R 8X以上の高速記録対応ディスクの場合など)	▶**最高速モード** ▶**静音モード**: ダビング時の動作音が小さくなります。 ただし、ダビングの所要時間は長くなります。
	●**デジタル放送録画モードDR固定** デジタル放送をHDDに録画する場合の録画モードを設定します。	▶**入**:録画モードは"DR"に固定されます。 ▶**切**:録画モードは"DR"、"XP"～"EP"、"FR"が選べます。
映像	**スチルモード** 一時停止時の画像の表示方法が選べます。 **(➜139"フレーム/フィールド")**	▶**オート** ▶**フィールド**:動きのある映像や"オート"時にぶれが生じるとき ▶**フレーム**　:"オート"時に細かい絵柄などが見えにくいとき
	シームレス再生 番組と番組のつなぎ目や部分消去した部分などの再生する状態が選べます。 (「ビデオDR」の番組には、この設定は無効です)	▶**入**:なめらかに再生(早見再生中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります) ▶**切**:精度よく再生(つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります)
	HDノイズフィルター ざらつきが少なく柔らかい画像にします。	▶**入**:「D端子出力解像度」(**➜117**)が「D3」「D4」のときのみ有効 ▶**切**

本機の設定を変える（初期設定一覧）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
音声	**音声のダイナミックレンジ圧縮** DVD-V 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	▶**入**（ドルビーデジタルの音声にのみ働きます） ▶**切**
	二重放送音声記録 HDDまたはディスクに記録する二重放送の音声を選びます。 他のビデオからのダビングなど、外部入力から録画する場合は、本機では選べません。接続した機器側で選んでください。	▶**主音声**　▶**副音声** 以下の場合、選択された音声が記録されます。 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R に録画/ダビングする場合 ●「高速ダビング用録画」(➔115)を「入」にして、アナログ放送の番組を録画する場合 ●「高速ダビング用録画」(➔115)を「入」にして、ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）をダビングする場合 ●「高速ダビング用録画」(➔115)を「入」にして、VHS からダビングする場合 ●「記録音声モードの設定〔XP時〕」(➔下記)を「LPCM」にして録画する場合
	デジタル出力	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●**PCMダウンサンプリング変換** サンプリング周波数96 kHzまたは88.2 kHzで収録された音声を48 kHzまたは44.1 kHzに変換する（「入」）かしない（「切」）かを選びます。	▶**入**：96 kHzまたは88.2 kHzに対応していない機器と接続したとき。 ▶**切**：96 kHzまたは88.2 kHzに対応した機器と接続したとき。 176.4 kHz以上の信号や著作権保護処理がされているディスクの出力は、設定にかかわりなく48 kHzまたは44.1 kHz に変換されます。
	●**Dolby Digital**※ ドルビーデジタルの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM(2ch)”に処理して出力するかを設定します。	▶**Bitstream**：ドルビーデジタルロゴのある機器に接続したとき。 ▶**PCM**：ドルビーデジタルロゴのない機器に接続したとき。 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。 **ドルビーデジタル**　DOLBY DIGITAL **DTSデジタルサラウンド**　DIGITAL dts SURROUND
	●**DTS**※ DTSの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM(2ch)”に処理して出力するかを設定します。	▶**Bitstream**：DTSデジタルサラウンドロゴのある機器に接続したとき。 ▶**PCM**：DTSデジタルサラウンドロゴのない機器に接続したとき。
	●**AAC**※ AACの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM(2ch)”に処理して出力するかを設定します。	▶**Bitstream**：AACをデコードできる機器に接続するとき。 ▶**PCM**：AACをデコードできない機器に接続するとき。
	記録音声モードの設定〔XP時〕 録画モードがXP時に、記録する音声の種類が選べます。（XPでの録画時やダビング時に働きます）	▶**Dolby Digital**(➔139) ▶**LPCM**(➔140)： ・画質は少し下がります。 ・XP以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 ・二重放送の音声は「二重放送音声記録」(➔上記)であらかじめ選んでください。
	DV入力時の音声の設定 DV入力端子(➔104)から録音する音声の種類が選べます。	▶**ステレオ 1**：DV録画時の音声(L1、R1)を録音するとき。 ▶**ステレオ 2**：編集などであとから追加した音声(L2、R2：ナレーションなど)を録音するとき。 ▶**MIX**：ステレオ1とステレオ2の音声を録音するとき。 二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」(➔上記)で音声をあらかじめ選んでください。
画面設定	**オンスクリーン表示〔オート〕** 操作時の表示をテレビ画面に自動で表示します。 [VHS側は、**VHS設定**「オンスクリーン」で設定します(➔118)]	▶**入** ▶**切**（表示しない）
	UVブルーバック 地上アナログ放送の受信信号が弱いときに画面背景を表示しないようにできます。 [VHS側は、**VHS設定**「オンスクリーン」で設定します(➔118)]	▶**入** ▶**切**（表示しない）
	FLディマー 本体表示窓の明るさを調節します。 「常時 明」に設定したときは、本機が動作状態になると、本体のSDカードスロットの横にあるランプが青く点灯します。	▶**常時 明** ▶**常時 暗** ▶**オート**：再生中は暗くなり、電源「切」時はすべて消灯します。 ・ボタン操作時に一時的に明るくなります。電源「切」時の消費電力の節電になります。**(電源「切」時の消費電力➔準備編 20)**

※HDMI映像･音声出力端子から音声出力時に接続機器が対応していない項目が選ばれていると、接続機器の性能により設定どおりに出力されない場合があります。

メニュー	設定項目		設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
接続	**TVアスペクト** 接続したテレビに合わせて設定します。 **(➜準備編 27)**		▶4:3　:4:3 標準テレビに接続しているとき ▶16:9　:ワイドテレビに接続しているとき ▶16:9フル :ワイドテレビに接続していて、サイドパネル(左右に黒い帯がある状態)をなくして表示したいとき
	HDMI接続		→[決定]を押して、さらに設定します。
	●HDMI映像優先モード(➜準備編 30)		▶入 ▶切 :アンプなどの機器とHDMIケーブルで接続し、テレビとD端子ケーブルで接続するとき(アンプと接続する前に設定してください)
	●HDMI出力解像度 接続した機器が対応している項目には、画面上に"＊"が表示されます。"＊"のついていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、本体の**[停止■]**と**[VHS▶DVD](ダビング)**を5秒以上押したままにしてください。 写真は設定にかかわらず、「525p」相当の解像度で再生します。		▶**オート**:1125i、525pの順で接続した機器に適した解像度を自動で選択します。 ▶**525p (プログレッシブ)** ▶**1125i (インターレース)** ▶**750p (プログレッシブ)**:750p(720p)の映像以外は、1125i(1080i)で出力されます。 アンプと接続する場合、接続するアンプが設定した解像度に対応していないときは、正しく出力できません。その場合は、本機とテレビをHDMIケーブルで接続し、本機とアンプはHDMI以外のケーブルで接続してください。**(➜準備編 15)**
	●HDMI RGB出力レンジ RGB入力のみに対応した機器(DVI機器など)に接続したとき有効になります。		▶**スタンダード** ▶**エンハンス**:映像の黒白が鮮明でないとき
	●HDMI音声出力(➜準備編 30)		▶入 ▶切 :テレビと本機をHDMIケーブルで接続し、HDMI非対応のアンプなどと光デジタルケーブルで接続するとき
	●HDMI接続スピーカー設定 スピーカーの出力設定により、理想的な音空間をつくります。		▶**オート** :接続した機器のスピーカー設定に合わせるとき ▶**マルチチャンネル** :スピーカーを3本以上接続して、接続した機器側でスピーカー設定ができないとき ▶**2チャンネル** :スピーカーを2本接続
	●マルチチャンネル設定 「HDMI接続スピーカー設定」で「マルチチャンネル」を選んだときのみ表示されます。		スピーカーの有無とサイズ、音声出力の遅延効果の設定をしてください。**(➜準備編 30)**
	●HDMI機器制御 VIERA Link(HDAVI Control)に対応した機器とHDMIケーブルで接続したときに、連動操作の設定をします。		▶入 ▶切 :VIERA Link(HDAVI Control)の機能を使わないとき
	D端子出力解像度(➜準備編 28)		▶D1　▶D2　▶D3　▶D4 設定を変更して映像が乱れた場合は、本体の**[停止■]**と**[VHS▶DVD](ダビング)**を5秒以上押したままにしてください。"D1"に設定されます。
	TVアスペクト(4:3)設定 (4:3テレビに接続時) 16:9映像の映しかたを選びます。	●DVD-Video	▶**パン&スキャン** :左右の切れた映像で再生するとき。 パン&スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。 ▶**レターボックス** :上下に帯のある映像で再生するとき。
		●DVD-RAM	▶**スルー** :録画された映像の横縦比で再生するとき。 ▶**パン&スキャン** :左右の切れた映像で再生するとき。 ▶**レターボックス** :上下に帯のある映像で再生するとき。

言語番号一覧

アイスランド	7383	オーリヤ	7982	シンド	8368	トルコ	8482	ベトナム	8673
アイマラ	6589	オランダ	7876	シンハラ	8373	トンガ	8479	ベロルシア(白ロシア)	6669
アイルランド	7165	カザフ	7575	スウェーデン	8386	ドイツ	6869	ベンガル(バングラ)	6678
アゼルバイジャン	6590	カシミール	7583	スロバキア	8375	ナウル	7865	ペルシャ	7065
アッサム	6583	カタロニア	6765	スロベニア	8376	日本語	7465	ポーランド	8076
アファル	6565	ガリチア	7176	スワヒリ	8387	ネパール	7869	ポルトガル	8084
アフリカーンス	6570	韓国(朝鮮)語	7579	スンダ	8385	ノルウェー	7879	マオリ	7773
アブハジア	6566	カンナダ	7578	スペイン	6983	ハウサ	7265	マケドニア	7775
アムハラ	6577	カンボジア	7577	ズールー	9085	ハンガリー	7285	マライ(マレー)	7783
アラビア	6582	キルギス	7589	セルビア	8382	バシキール	6665	マラッタ	7782
アルバニア	8381	ギリシャ	6976	セルボクロアチア	8372	バスク	6985	マラヤーラム	7776
アルメニア	7289	クルド	7585	ソマリ	8379	パシュト	8083	マルタ	7784
イタリア	7384	クロアチア	7282	タイ	8472	パンジャブ	8065	マダガスカル	7771
イディッシュ	7473	グアラニー	7178	タタール	8484	ヒンディー	7273	モルダビア	7779
インターリングア	7365	グジャラト	7185	タミル	8465	ビハール	6672	モンゴル	7778
インドネシア	7378	グリーンランド	7576	タガログ	8476	ビルマ	7789	ヨルバ	8979
ウェールズ	6789	グルジア	7565	タジク	8471	フィジー	7074	ラオ	7679
ウォロフ	8779	ケチュア	8185	チェコ	6783	フィンランド	7073	ラテン	7665
ヴォラピュック	8679	ゲール(スコットランド)	7168	中国語	9072	フェロー	7079	ラトビア(レット)	7686
ウクライナ	8575	コーサ	8872	チベット	6679	フランス	7082	リトアニア	7684
ウズベク	8590	コルシカ	6779	ティグリニア	8473	フリジア	7089	リンガラ	7678
ウルドゥー	8582	サモア	8377	テルグ	8469	ブータン	6890	ルーマニア	8279
英語	6978	サンスクリット	8365	デンマーク	6865	ブルガリア	6671	レトロマンス	8277
エストニア	6984	ジャワ	7487	トウイ	8487	ブルターニュ	6682	ロシア	8285
エスペラント	6979	ショナ	8378	トルクメン	8475	ヘブライ	7387		

VHSの設定を変える（VHS設定）

使う条件に合わせて、いろいろな項目を変えることができます。

VHS設定の基本操作

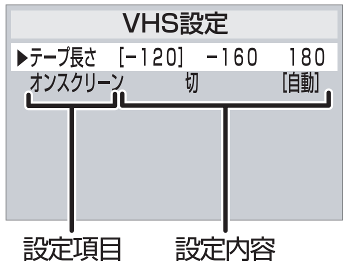
1 HDD/DVD/SD VHS（切換）**を押して、「VHS」を選ぶ**

2 （VHS設定 操作一覧）**を押す**

3 [▲][▼]で設定項目を選ぶ

4 [◀][▶]で設定内容を変える

テレビ画面



画面を消すには

（戻る）を押す

メニュー	設定項目	**設定内容**（下線部はお買い上げ時の設定です）
VHS設定	テープ長さ	▶ −120：T120（120分）、TC20（VHS-C・20分）カセットや、それより短いものを使うとき。 ▶ −160：T140（140分）、T160（160分）、TC30（VHS-C・30分）カセットを使うとき。 ▶180：T180（180分）カセットや、それより長いものを使うとき。 ●D-VHSカセットのときは、どの位置に設定してもテープ残量が正しく表示されません。
	オンスクリーン（➜65）	▶切：テレビ画面に表示を出さないようにするとき。 ▶自動：操作をしたときなどに、約5秒間だけテレビ画面に表示を出したり、また地上アナログ放送の受信信号が弱いときに画面背景を表示しないようにするとき。

Q＆A（よくあるご質問）

本機の操作で疑問に思われることがあれば、以下の項目を参考にしてください。

	Q（質問）	A（回答）	ページ
BSアナログ放送	BSアナログ放送を見ることはできるか？	●本機だけではBSアナログ放送を見ることはできませんが、BSアナログ放送の番組と同じ内容の番組が、BSデジタル放送でも放送されている場合があります。BSデジタル放送であれば、本機だけでご覧いただけます。	―
BSアナログ放送	BSアナログのハイビジョン放送は録画できるか？	●M-Nコンバーター内蔵の機器を本機の外部入力（L1またはL2）に接続し、**[放送/入力切換]**で接続した外部入力チャンネル（L1またはL2）を選ぶと録画できます。ただし、ハイビジョン画質では録画できません。	―
ディスク	両面のDVD-RAMは使えるか？	●使用できますが、両面にまたがった使いかたはできません。（自動で裏返すことはできません）	25
ディスク	CD-RやCD-RWは使えるか？	●CD-DA、ビデオCD、MP3や写真（JPEG/TIFF）のフォーマットで記録されたCD-RやCD-RWが再生できます。 ●本機はCD-RやCD-RWには記録できません。	12,13 ―
ディスク	海外で買ったDVDビデオやDVDオーディオ、ビデオCDは再生できるか？	●映像方式がNTSCであれば再生できます。 ●DVD-A 映像方式がPAL の場合は、音声のみ再生できます。 ●DVD-V リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいなければ再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	― ― 12
ディスク	リージョン番号がないDVDビデオは再生できるか？	●リージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。リージョン番号がない（規格を満たしていない）場合は再生できません。	―
カセット	S-VHSまたはD-VHSカセットを使って、録画・再生できるか？	●できます。ただし、S-VHS、D-VHSカセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。 ●S-VHS方式で録画されたカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。 デジタル（D-VHS）方式で録画されたD-VHSカセットは再生できません。	― 65
カセット	S-VHS-CまたはVHS-Cカセットを使って、録画・再生できるか？	●カセットアダプター（別売）を使えばできます。ただし、S-VHS-C カセットを使っても、VHS方式でしか録画できません。 ●S-VHS方式で録画された S-VHS-C カセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。	― ―
カセット	海外で録画したカセットを再生できるか？	●同じNTSC方式のSP（標準）、またはEP（3倍）で録画されたものならできます。	―
カセット	本機の5倍モードで録画したカセットを他のビデオで再生できるか？	●できません。	35
HDD／DVD録画・ダビングや録音	市販のビデオやDVDから録画できるか？	●市販されているほとんどのDVDやビデオタイトルは、録画禁止処理がされています。その場合は録画できません。	―
HDD／DVD録画・ダビングや録音	本機で録画したディスクは他の機器で再生できるか？	●RAM 当社製DVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーでは再生できます。（2006年3月現在） ●-R(VR) 2005年7月以降に発売された当社製DVDレコーダーで再生できます。（2006年3月現在） ●-R(V) -RW(V) +R ファイナライズすると、DVDプレーヤーなどの対応機器で再生できます（ただし、すべての機器で再生保証するものではありません）。また、記録状態によって再生できない場合があります。 ●-R DL(VR) DVD-R DL（VR方式）に対応した機器を使用してください。 ●-R DL(V) DVD-R DL（DVD-Video方式）に対応した機器を使用してください。	― ― 108 ― ―
HDD／DVD録画・ダビングや録音	本機で、外部入力からのデジタル信号を録音できるか？	●できません。本機のデジタル音声端子は出力のみです。	―
HDD／DVD録画・ダビングや録音	本機からデジタル信号のままMDなどに録音できるか？	●できます（PCM）。DVDの音声を録音する場合、**初期設定**「デジタル出力」を以下のように設定してください。 「PCMダウンサンプリング変換」:「入」 「Dolby Digital」 :「PCM」 「DTS」 :「PCM」 「AAC」 :「PCM」 （ただし、ディスクがデジタル信号での録音を許可していることと、録音側の機器がサンプリング周波数48 kHzに対応していることが必要です） ●MP3信号は録音できません。	116 ―

Q&A(よくあるご質問)(つづき)

	Q(質問)	A(回答)	ページ
HDD/DVD録画・ダビングや録音(つづき)	ディスクに高速でダビングしたいときは?	●デジタル放送は、録画モード"XP"～"EP"、"FR"でHDDに録画すると、CPRM対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) に高速ダビングすることができます。録画モードを変更するには、**初期設定**「デジタル放送録画モードDR固定」を「切」にする必要があります。 ●アナログ放送は、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画すると、高速ダビングができます。(お買い上げ時の設定は「入」です)	115 115
	MPEG4は録画できるか?	●できません。本機はMPEG4に対応していません。	—
	録画中、音声多重放送の音声を切り換えて聞くことはできるか?	●[音声]を押して切り換えることができます。 ただし録画モードが"XP"で、**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」を「LPCM」にして録画している場合は、音声を切り換えることができません。 ●以下の場合、地上アナログ放送は音声の切り換えができません。(**初期設定**「二重放送音声記録」で選ばれている音声が聞こえます) ・**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画している場合(お買い上げ時の設定は「入」です) ・ -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R に録画している場合 ●デジタル放送の、マルチ音声の切り換え(「信号切換」の「音声」による切り換え)はできません。	71 116 115 — 29
VHS録画・録音	録画中に、ステレオ放送の左または右音声のみ(二重放送の主または副音声のみ)に切り換えて聞くことはできるか?	●できます。[音声]で聞きたい音声を選んでください。	71
	ステレオ放送の左または右音声のみ(二重放送の主または副音声のみ)を録音できるか?	●できません。	—
	VHF/UHF放送の録画中に、テレビでBS放送を見ることはできるか?	●BSチューナー内蔵テレビであれば、見ることができます。 またBSデジタル放送は、HDD/DVD側に切り換えて見ることもできます。	—
予約録画	予約録画は予約した順番に行われるのか?	●予約内容の日付・時刻順に行われます。	—
	予約録画の待機中に、他のディスクやカセットを見ることができるか? またはディスクやカセットを入れ替えることができるか?	●ディスクやカセットを他のものに入れ替えて再生するときなど、予約録画の待機状態を解除しないとできない場合があります。 ●HDD/DVDの予約待機中でもHDD/DVDの録画・再生、VHSの録画または再生ができます。 ●VHSの予約待機中でもHDD/DVDの録画・再生ができます。	53 — —
	予約録画開始時、テレビの電源は入れていなくてもいいのか?	●本機だけで予約録画する場合は、入れなくてもかまいません。	—

こんな表示が出たら

	表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
本体表示窓	DL 1/5 （数字の1は例です）	●ダウンロード実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。 （1/5はダウンロードの進み具合を表します）	準備編 38
	HARD ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	142
	NO HDMI AUD	●CPPM非対応機器とHDMIケーブルで接続した状態で、CPPMで著作権保護されたDVD-Aを再生しています。HDMI映像・音声出力端子からは、音声が出力されません。この場合は、光デジタルケーブルまたは音声コード（赤、白）を使って接続してください。	準備編 15
	NO READ	●ディスクに汚れや傷が付いているため、録画や再生、編集できません。 ●レンズクリーナー（別売）（➜準備編 47）での作業が終了したときにも、左記のメッセージが表示されることがあります。[開/閉 ▲]を押してクリーナーを取り出してください。	15 —
	PLEASE WAIT	●終了処理中です。"BYE"が表示されたあと、電源が切れます。 ●停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。	— —
	PROG FULL	●HDD/DVD側で32件の予約、およびVHS側で16件の予約がすでに登録されています。不要な予約を消してください。	54
	R35:50 （数字は例です）	●HDDまたはディスク、テープの残量です。（異常ではありません） 「R」は「Remain（残量）」を、「35:50」は「35時間50分」を意味します。	39,68
	U11 ※	●ビデオヘッドが汚れています。クリーニングしてください。	70
	U30 REMOTE 1 ※ 1～3のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 U30 REMOTE 1 ― 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を2秒以上押したままにしてください。	準備編 36
	U50 ※	●アンテナ電源の異常です。アンテナケーブル線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。	—
	U59 ※	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	準備編 57
	U61	●（ディスクトレイにディスクが入っていないとき）録画や再生、ダビング中に、異常が確認された場合に表示されます。本体動作を正常に戻すため、復旧動作中であることを示します。故障ではありません。表示が消えると使えます。	—
	U71 HDMI	●接続機器がHDMIに対応していません。	—
	U72 HDMI ※ U73 HDMI ※	●HDMI接続時に異常が発生しました。 ・接続機器がHDMIに対応していません。 ・HDMIケーブルが破損しています。 ・HDMIロゴの付いたケーブルをお使いください。	—
	U88	●（ディスクトレイにディスクが入っているとき）録画や再生、ダビング中に、ディスクに異常が確認された場合に表示されます。本体動作を正常に戻すため、復旧動作中であることを示します。故障ではありません。表示が消えると使えます。	127
	F99 ※	●本体が正常に動作しません。本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	UNFORMAT	●フォーマット（初期化）されていない RAM -RW(V) -RW(VR)、または他の機器で記録された -RW(V) が入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。	107
	UNSUPPORT	●本機で録画や再生できないディスクが入っています。	10～12

※これらの表示をサービス番号と呼びます。上記に紹介している操作をしてもサービス番号が消えない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口（➜143）へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などとお知らせください。

こんな表示が出たら（つづき）

	表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
テレビ画面	読み込みできません。 ディスクを確認してください。	●ディスクが裏返しになっていませんか。	25
	(対応)カードが入っていません。	●本機に対応したカードが入っていません。対応したカードを入れたのに表示された場合は、本体の電源を切り、カードを入れ直してください。 ●カードのフォーマットが異なっています。	13,25 13
	記録できないディスクが入っています。 このディスクは規定のフォーマットがされていません。	●本機で記録できないディスクが入っていませんか。 ● -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R ファイナライズ後のディスクが入っていませんか。 ● RAM -RW(V) -RW(VR) フォーマットを行ってください。	10 — 107
	(ディスクなどが)いっぱいで記録できません。	● HDD RAM -RW(V) SD 不要な番組や写真を消去してください。	73
	番組数がいっぱいで記録できません。 ダビング先の容量が足りません。	●新しいディスクやカードを使ってください。	—
	録画を正常に終了できませんでした。	●録画禁止の番組のため、録画できません。 ●ディスクの残量がなくなっていませんか。 ●最大番組数を超えていませんか。	— — 34
	ディスクへの書き込みができません。 フォーマットできません。	●ディスクに傷や汚れがありませんか。	15
	番組データは未取得のため、番組情報を表示できません。 本機では、地上アナログ番組データをBSデジタル放送から取得しています。BSデジタル放送が受信できない場合は番組情報を表示できません。	●地上アナログ放送の番組表(Gガイド)でのみ表示されます。番組表(Gガイド)の受信の条件を確認してください。	準備編 32
	番組データがありません。決定ボタンで取得します。	●地上デジタル放送の番組表(Gガイド)のみで表示されます。番組表(Gガイド)で取得したい番組を選んで[決定]を押すと、受信可能なチャンネルであれば数分で受信します。	—
	購入できません。電話の接続・設定を確認のうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	●B-CASカードの記録容量を超えている場合など、購入記録が送信できないときに表示されます。電話回線の接続や設定を確認してください。	準備編 21,40
	現在、受信できません。	●受信するための送信データが異常の場合に表示されます。	—
	視聴できません。視聴するには決定ボタンを押してください。	●有料放送の購入をしていません。 [決定]で、再度購入操作が行えます。	—
	データを送信します。よろしいですか？	●データ放送の指示により、データをサービスセンターに送信します。	—
	降雨対応放送に切り替わりました。	●雨の影響により、衛星電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り替えました。画質、音質が少し悪くなり、番組情報が表示できない場合もあります。	—
	緊急警報放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	●緊急警報放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。	—
	B-CASカードを正しく挿入してください。	●B-CASカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。B-CASカードを正しく挿入してください。	準備編 19
	アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。	●アンテナ電源の異常です。アンテナケーブル線内で芯線と編組線が接触(タッチ)していないか確認してください。	—
	チャンネルを設定してください。	●ガイドチャンネルが正しく設定されていないため、Gコード®予約ができません。	準備編 42
	著作権保護のため音声はHDMIから出力できません。	●CPPM非対応機器とHDMIケーブルで接続すると、CPPMで著作権保護されたDVDオーディオの音声はHDMI映像・音声出力端子からは出力できません。この場合、光デジタルケーブルまたは音声コード(赤、白)を使って接続してください。	準備編 15
	⊘	●ディスクがその操作を禁止しています。 ●本機がその操作を禁止しています。ディスクが入っていない状態でDVDを再生しようとしていないかなど、操作をご確認ください。	— —
	再生できません。	●非対応のディスク(映像方式が異なるディスクなど)が入っています。	12

	表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
テレビ画面	本機では再生できません。	●非対応の画像を再生しようとしています。 ●本体表示窓の“SD”が点滅していないことを確認して、カードを入れ直してください。	13 25
	フォルダがありません。	●本機で対応したフォルダがありません。	13,139
	データを取得中です	●デジタル放送からデータを取得中です。	—
	受信できません。 アンテナの設定や調整を確認してください。	●アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。	準備編 34
	現在、このチャンネルは放送を休止しています。	●放送を休止しているチャンネルを選んでいます。	—
	受信できません。アンテナ設定、もしくは、このチャンネルの契約をご確認ください。	●正しく受信できない番組を録画した場合、または購入されていない有料放送の番組を録画した場合に表示されます。 ●アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局している場合は正しく受信できません。 ●有料放送の場合は、購入してから録画してください。	32 準備編 34 32
	コピー禁止信号を検出したため、ダビングを中断しました。	●コピー禁止処理がされたカセットをダビングしようとしています。	92,98
	コピー禁止信号が設定されています。ダビングできません。	●コピー禁止処理がされたディスクをダビングしようとしています。	98
	1回だけ録画可能な番組はダビングできません。	●「1回だけ録画可能」な番組をダビングできないディスクへダビング（移動）しようとしています。「1回だけ録画可能」な番組は、HDD からCPRM対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) へ移動できます。（HDDからは消去されます）	82
	HDDの空き容量が足りません。最大4時間（SPモード）の空き容量が必要です。1倍速でのダビングは、HDDに番組を一時的に録画してから実行します。	● -R DL(V) HDDの残量が少ないときや、HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が500を超える場合、ダビングすることはできません。HDDの不要な番組を消去してください。	73
	HDDの番組数がいっぱいです。HDDの番組数をご確認の上、不要な番組を消去してください。1倍速でのダビングは、HDDに番組を一時的に録画してから実行します。		

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜143)にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

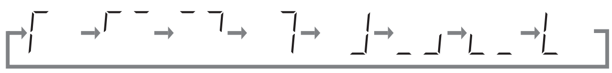
- ●周期的なディスクの回転音がする。
  (ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります)
- ●電源切/入およびHDDの休止時に音がする。休止中の反応が遅い。
- ●早送り/早戻し(VHS 巻き戻し再生)すると映像が乱れる。
- ●気象条件が悪いため、受信映像が乱れる。
- ●BS/CS放送の一時的な休止による受信障害。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	**電源が入らない**	●電源プラグがコンセントから外れている。 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」の場合、本機の動作を安定させるため、午前4時ごろに、本機全体を再起動します。(再起動中は、電源ボタンを含むすべてのボタン操作が数分間できません。また、内部から動作音がしますが、故障ではありません)	準備編 20 114
電源	**自動的に電源が切れた**	●節電機能が設定されている。(**初期設定**「自動電源〔切〕」が「2H」または「6H」になっている) ●各種安全装置が働いていることがあります。本体の**[電源⏻/I]**を押し、電源を入れてください。 ●VIERA Link(HDAVI Control)対応のテレビとHDMIケーブルで接続した場合、テレビの電源が切れると本機の電源も自動的に切れます。VIERA Link(HDAVI Control)を使用しない場合は、**初期設定**「HDMI機器制御」を「切」にしてください。	114 — 117
電源	**自動的に電源が入る**	●VIERA Link(HDAVI Control)対応のテレビとHDMIケーブルで接続した場合、テレビの番組表から予約が登録されると、本機の電源が自動的に入ります。VIERA Link(HDAVI Control)を使用しない場合は、**初期設定**「HDMI機器制御」を「切」にしてください。	117
テレビ画面や映像	**本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった**	●分配器で、テレビと本機に電波を分配したためです。ブースター(市販品)などを使うと改善されることがあります。(効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください) ●アンテナ線が劣化している。販売店にご相談ください。 ●「衛星アンテナ設定」が「個別」または「おまかせ」に設定されているときは、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。	— — 準備編 25
テレビ画面や映像	**映像が出ない** **映像が乱れる**	●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。 ●プログレッシブ映像に対応していないテレビとD端子ケーブルで接続し、プログレッシブ映像を出力する設定をしている。本体の**[停止■]**と**[VHS▶DVD](ダビング)**を同時に5秒以上押し、設定を解除してください。 ●プログレッシブ映像に対応していないテレビとD端子ケーブルで接続し、HDMIケーブルでアンプなどの機器と接続している。HDMIケーブルで接続した機器の電源を切り、**初期設定**「HDMI映像優先モード」を「切」にしてください。 ●HDMIケーブルで接続した機器から映像を出力する場合は、**初期設定**「HDMI映像優先モード」を「入」にしてください。 ●テレビのハイビジョン方式(MUSE)の端子に接続すると、音声が乱れたり、映らないことがあります。 ●お使いのテレビによっては、再生、停止などの操作時に画面にノイズが出る場合があります。 ●HDMI接続で4台以上つなぐと映像が映らなくなることがあります。接続台数を減らしてください。	準備編6~22 — 117 117 — — —
テレビ画面や映像	**横縦比4:3の画像が左右に引き伸ばされる** **画面サイズがおかしい**	●**初期設定**「TVアスペクト」をお使いのテレビに合わせて設定してください。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。 ●**初期設定**「ワイドモード」や「TVアスペクト(4:3)設定」の「DVD-Video」や「DVD-RAM」の設定を確認してください。 ●D端子ケーブルを接続している場合、**再生設定**「映像」メニューの「プログレッシブ」を「切」にしてください。 効果がない場合や「切」にできない場合は、**初期設定**「D端子出力解像度」を「D1」に、または「HDMI映像優先モード」を「切」に設定してください。	117 114,117 62 117

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
テレビ画面や映像(つづき)	録画した番組の映像が縦に引き伸ばされる	●地上アナログ放送や、外部入力からの映像を以下のように録画した場合、16:9映像は 4:3映像で記録されます。 ・HDD RAM -R(VR) **初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画した場合(お買い上げ時は「入」に設定されています) 16:9映像のまま記録したいときは、「高速ダビング用録画」を「切」にしてください。 ・-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R に記録した場合 **初期設定**「TVアスペクト」を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。	115 — 117
	テレビの左右に黒帯(サイドパネル)が表示される	●**初期設定**「TVアスペクト」を「16:9フル」にしてください。ただし、画像が左右に伸びる場合があります。	117
	映像の左右の端が切れる または色が薄い	●表示領域の広いテレビでは、左右の映像が切れたり、色が薄くなったりします。	—
	再生時の映像に残像が多い	●**再生設定**「映像」メニューの「MPEG-DNR」を「切」にしてください。	62
	プログレッシブ出力でDVDビデオを再生時、映像の一部が二重にぶれて見える	●映像そのものの編集方法や素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。**初期設定**「D端子出力解像度」を「D1」にしてください。525i(インタレース)で出力されます。 HDMI映像･音声出力端子から映像出力時は、以下の手順で設定してください。 ① **HDMI映像･音声出力端子以外の映像端子で接続する** ② **初期設定「HDMI映像優先モード」を「切」にする** ③ **初期設定「D端子出力解像度」を「D1」にする**	117 117
	画質を調整しても映像が変わらない	●映像によっては効果が得られない場合があります。	—
	テレビにVHS側の画面が出ない	●本機のDVD優先出力端子をお使いの場合、HDD/DVD/SD動作中は、VHSの映像が映りません。テレビ側で入力を切り換えてください。	準備編 8~13
	画面メッセージが出ない	●**初期設定**「オンスクリーン表示〔オート〕」を「切」にしている。	116
	ブルーバック(青い画面)にならない	●**初期設定**「UVブルーバック」を「切」にしている。	116
	ハウリング(ピー)音が出る	●モニター出力付きテレビに接続してディスクを再生するときは、本機の入力をモニター出力が接続されている外部入力以外に切り換えてください。	—
	VHSの画面メッセージが出ない	●**VHS設定**「オンスクリーン」を「切」にしている。	118
	VHSの再生画面がブルーバックになる	●テープの未記録部分、または記録状態の悪い部分を再生している。 ●汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	— —
デジタル放送	デジタル放送が受信できない	●アンテナが正しく接続されていない。背面の端子の接続が間違っていないか確かめてください。 ●アンテナ線やアンテナプラグが劣化している。 ●B-CASカードを正しく挿入していない。	準備編 6 — 準備編 19
	BS･110度CSデジタル放送が受信できない 映像や音声が出ない、または映りが悪くなった	●BS･110度CSデジタル放送対応アンテナを使用していない。BSデジタル放送のみを受信する場合でも、従来のBSアンテナでは受信できない場合があります。 ●アンテナ線やアンテナプラグが劣化またはショートしている。 ●BS･110度CSデジタル放送に対応したアンテナケーブルや分配器、分波器、ブースターなどを使用していない。 ●**放送設定**「アンテナ設定」が正しく設定されていない。アンテナレベルを調整してください。 ●風や振動により、アンテナの向きが変わっている。アンテナを調整し、**放送設定**「アンテナ設定」でアンテナレベルが最大になる角度にしてください。 ●着雪(アンテナ)、雨、雷雲などによる電波の減衰が考えられます。BS･110度CSデジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。天候の回復をお待ちください。 ●降雨対応放送になっている。雨の影響により、衛星からの電波が弱くなると、放送によっては電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換わることがあります。降雨対応放送は画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。 ●衛星アンテナ設定で、アンテナレベルの表示が白色で映らないときは、位相雑音の多いことが考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。 ●放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。	— — — 準備編 34 準備編 34 — — — —

故障かな!?(つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
デジタル放送(つづき)	地上デジタル放送が受信できない	●お住まいの場所が、地上デジタル放送の放送エリアになっていない。 地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるために、当初は非常に小さい出力電波で開始されるため受信エリアが限られます。また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合もあります。 ●地上デジタル放送に対応したUHFアンテナ、ブースターなどを使用していない。 現在の地上アナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースターおよび混合器などが必要になる場合があります。 ●UHFアンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていない。現在の地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。お買い上げの販売店にご相談ください。 ●風や振動により、アンテナの向きが変わっている。アンテナを調整し、**放送設定**「アンテナ設定」でアンテナレベルが最大になる角度にしてください。 ●**放送設定**「アンテナ設定」のアンテナレベルを確認し、レベルが低い場合は、「アッテネーター」の設定を変更すると、受信できる場合があります。 ●ご使用の共聴システムが、地上デジタル放送に対応(パススルー方式)していない。 CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問合せください。	— — — 準備編 34 準備編 34 —
	字幕や文字スーパーが出ない	●**放送設定**「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」になっている。 ●字幕や文字スーパーのない番組を選局している。字幕のある番組は、番組内容画面に「字幕」のアイコンが表示されています。	112 136
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	●有料放送の視聴には、放送局ごとに機器と受信契約が必要です。視聴契約手続きをしてください。 ●電話回線を正しく接続していない。 ●**放送設定**「電話設定」を正しく行っていない。	32 準備編 21 準備編 40
ボタン操作	テレビが操作できない リモコンが働かない	●メーカー番号が合っていない。電池を交換すると、メーカー番号を合わせ直す必要がある場合があります。 ●電池が消耗している。 ●本体のリモコン受信部に向けて操作していない。 ●リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色つきガラスも含む)などがある。 ●受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たっていると、操作できない場合があります。 ●本体とリモコンモードが合っていない。 電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。 U30 REMOTE 1 — 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[**決定**]を2秒以上押したままにしてください。	準備編 36 — 準備編 5 準備編 5 準備編 5 準備編 36
	操作できない	●ディスクや再生状態(停止中など)によっては、一部操作ができない場合があります。 ●[**HDD/DVD/SD/VHS切換**]で間違った操作先を選んでいる。 ●操作先が「VHS」のときに[**番組表**]を押した場合は、操作先がHDD/DVD/SD側に切り換わります。VHSの操作をしたい場合は、[**番組表**]を押して番組表(Gガイド)の表示を消したあと、[**HDD/DVD/SD/VHS切換**]を押して、「VHS」を選んでください。 ●本体表示窓に"U59"点灯時は本体内部温度が高くなっています。"U59"が消えるまで待ってください。 ●ダウンロードの実行中になっている(本体表示窓に"DL"が表示)。 ダウンロードが終了するまでお待ちください。 ●各種安全装置が働いていることがあります。 **HDD/DVD部の操作ができない場合:** **①本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切る** ●電源が切れない場合は、約10秒間押し続けると強制的に切れます。(または、電源プラグをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む) **② 本体の[電源 ⏻/I]を押し、電源を入れる** 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	— 22 22 121 121 —
本体	ディスク・カセットが入らない	●電源プラグがコンセントから外れている。 ●正しく入れていない。	— 25
	ディスク・カセットが取り出せない	●予約録画の待機中、または実行中になっている。 ●録画中になっている。 ●上記のいずれでもない場合、ディスクトレイは電源「切」状態で本体の[**停止■**]と**チャンネル**[**∧**]を同時に約5秒以上押したままにすると開きます。ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。	53 40 —

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
本体(つづき)	DVD-RAMの読み込み時間が長い	●本機ではじめて使用するディスクや、長時間使用しなかったディスクは、読み込み時間が長くなることがあります。**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていても同様です。	—
	起動が遅い **電源「入」時に、映像や音声の出力に時間がかかる**	●HDDが休止状態になっている。 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていない。 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていても、以下のような場合は起動に時間がかかります。 ・RAM以外のディスクが入っている場合 ・時計が設定されていない場合や、停電直後または電源コードを差した直後 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていても、D端子ケーブルやHDMIケーブルで接続している場合は、映像や音声の出力に時間がかかります。	14 114 — —
表示	時刻表示が“0：00”で点滅している	●時刻が合っていない。	準備編 36
	表示が出ない	●**初期設定**「FLディマー」が「オート」になっている。「オート」の場合は、電源「切」時は本体表示窓の表示が消灯しています。	116
	表示が暗い	●**初期設定**「FLディマー」で明るさを変えてください。	116
	録画や再生時の時間表示が実際よりも少なく表示される	●録画や再生時の時間表示は、映像信号を基準に1秒を0.999秒(29.97フレーム)としており、実際の録画時間より若干短くなりますが、実際の録画には影響ありません。(例：1時間番組は約59分56秒と表示)	—
	電源「切」時に、本体表示窓に“DATA”が表示される	●番組データを受信中など自動的に放送情報を受信するために、表示する場合があります。	—
	電源「切」時に、本体表示窓に“TEL”が表示される	●購入記録の送信など電話回線使用中です。	—
	残量表示が使用した量に比べて少なくなったり多くなったりする MP3の再生時間が実際と違う	●残量表示は実際より増減することがあります。録画モード“DR”で録画した場合はとくにばらつきが大きくなります。 ●-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) +R 記録や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。 ●早送り/早戻し中は、時間表示が正しく表示されないことがあります。	— — —
	本体表示窓に“U88”が表示され、ディスクが取り出せない	●以下の操作でディスクを取り出してください。 ① **本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切る**(電源が切れない場合は、本体の[**電源⏻/I**]を約10秒以上押したままにすると強制的に切れます) ② **本機の電源が「切」の状態で、本体の[停止■]とチャンネル[∧]を同時に約5秒以上押したままにする**(ディスクトレイが開きます)	—
	VHSのテープカウンターの値が動かない	●テープの未記録部分では、値は動かずに秒表示の部分が下記のようになります。  汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、上図のような表示になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
HDD/DVD録画・ダビング	録画した番組の一部、またはすべてが消えた	●録画、ダビングや編集中に停電になったり電源コードを抜いたりした場合、番組が消失したり、ディスクが使えなくなる場合があります。 フォーマット(HDD RAM -RW(V))するか、新しいディスクを使ってください。(当社では、消えた番組や使えなくなったディスクは補償できません) ●HDD 自動更新(オートリニューアル)を「入」にして予約録画すると、前回録画した番組を自動的に消去し、録画します。 ●「1回だけ録画可能」な番組をDVDにダビングすると、HDDの番組は消去されます。	107 44 82
	録画モードが“DR”以外選べない	●**初期設定**「デジタル放送録画モードDR固定」が「入」になっている。「切」にすると録画モードが選べます。	115
	[停止■]を押しても、録画が終わらない	●録画中の操作先を選んでいない。[**HDD/DVD/SD/VHS切換**]で選んでください。 ●録画中の放送を選んでいない。[**放送/入力切換**]で選んでください。	40 40
	デジアナどっちも録りができない(2番組を同時に録画できない)	●デジタル放送(地上デジタル･BS･CS1･CS2)を録画モード“XP”～“EP”、“FR”のいずれかで録画しているときは、HDD/DVDに地上アナログ放送または外部入力から録画することはできません。 ●DVDには2番組同時に録画できません。 ●高速ダビング中は、HDD/DVDに1番組のみ録画可能です。	36 — —

故障かな!?(つづき)

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
HDD/DVD録画・ダビング(つづき)	録画できない ダビングできない	●ディスクが入っていない。 ●録画やダビングできないディスクが入っている。 ●フォーマットされていない RAM -RW(VR) -RW(V) やファイナライズ後のディスクが入っている。DVD-RWはフォーマットすると、繰り返し録画できます。 ●ディスクやカートリッジに誤消去防止(プロテクト)が設定されている。 ●以下のような録画に制限のある番組を録画しようとした。 ・「1回だけ録画可能」な番組 「1回だけ録画可能」な番組は、HDD またはCPRM対応の RAM、-R(VR) に録画できます。-R DL(VR) の場合は、HDD からダビングすると記録できます。 ・録画禁止の番組 ・録画購入の必要がある番組 ●ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は録画できません。(不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください) ● -R DL(VR) -R DL(V) 本機では、直接録画することはできません。HDDからダビングしてください。 ● -R DL(V) 以下の場合ダビングできません。HDDの不要な番組を消去してダビングしてください。 ・HDDの残量が少ない場合(新品のディスク1枚全部にダビングする場合、HDDの残量がSPモードで最大4時間必要になります) ・HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が500を超える場合 ● -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R ディスクの出し入れや電源の切/入を約50回以上繰り返すと、記録や編集ができなくなることがあります。 ●本機で録画したディスクは、他の当社製DVDレコーダーで追記できない場合があります。 ●市販されているDVDソフト(レンタルDVDも含む)の多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。コピー禁止処理された映像は正しく録画・録音できません。 ●操作一覧画面、予約一覧画面などが表示されているときは、ダビングできません。	— 10 107 107 — 73 — 73 — — — —
	デジタル放送の録画やダビングができない	●デジタル放送には「1回だけ録画可能」という著作権保護のしくみで守られた番組があります。「1回だけ録画可能」な番組をディスクに録画やダビングするためには、CPRM対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) が必要です。 ● -R(VR) -R DL(VR) CPRM対応の場合でも、録画やダビングする前にデジタル放送が記録できるようにフォーマットする必要があります。未使用のディスクを入れ、画面の指示に従ってフォーマットしてください。 ● -R DL(VR) CPRM対応の場合でも、本機で直接録画はできません。HDDからダビングすると記録できます。 ●デジタル放送のラジオ番組や、データ放送の番組は録画できません。	— 107 — —
	高速モードでダビングできない	● -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R HDDへの録画前に**初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」に設定している。(お買い上げ時の設定は「入」です) ●「ビデオDR」の番組は、高速ダビングできません。	115 —
	高速モードでのダビングに時間がかかる	●高速記録に対応していないディスクを使っている。 高速記録対応ディスクでも、ディスクの状態によっては最高速にならない場合があります。 ●番組数が多い場合は時間がかかります。	— —
	録画やダビングしたディスクが他のDVD機器で再生できない	● -R(V) -RW(V) +R ファイナライズするとDVDプレーヤーなどの対応機器で再生できます。 ● RAM -R(VR) -R DL(VR) -R DL(V) 再生するには、それぞれのディスク(記録方式)の再生に対応している必要があります。	108 —
VHS録画・ダビング	録画できない ダビングできない	●カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている。 ●カセットの誤消去防止用つまみが"OFF"になっている。 ●市販されているビデオソフト(レンタルビデオも含む)の多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。コピー禁止処理された映像は正しく録画・録音できません。 ●「1回だけ録画可能」な番組がダビングされたカセットの場合は、再度、HDD やCPRM対応の RAM -R(VR) にダビングするとき、「1回だけ録画可能」な番組の部分はダビングされません。 ●VHS設定画面などが表示されているときは、ダビングできません。	34 34 — 82 —
	テレビ番組が録画できない	●録画したい番組のチャンネルを選んでいない。	39
	編集後の音声レベルがHDD/DVD側とVHS側で合っていない	●ディスクによっては音声レベルが合わない場合があります。会話など、ある特定部分の音声レベルが小さく、または大きく設定されている場合は、カセットに録画したときには音が大きく、または小さく記録されるといった現象が起こることがあります。	—

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
予約録画	予約録画が正しくできない Gコード® 予約ができない	●予約内容が間違っている、または予約録画の時間帯が重なっている。 ●HDD/DVDへの予約録画の場合、予約の実行が「切」になっている。予約一覧画面で“予約実行切”が表示されているときは、「予約実行入」にしてください。 ●VHSへの予約録画の場合、予約録画の待機状態になっていない場合は、本体の **[タイマー切/入VHS◷]** を押して、本体表示窓に“VHS”を点灯させてください。 ●1倍速でダビング中やファイナライズを含むダビング中は、HDD/DVDへの予約録画は実行されません。 ●ガイドチャンネルが正しく設定されていない。 ●同じガイドチャンネルが複数設定されている。不要な方を削除してください。 ●時刻が合っていない。 ●フォーマット中、ダウンロード実行中など中断できない操作の実行中はHDD/DVDへの予約録画は実行されません。	54 53 53 — 準備編 42 準備編 42 準備編 36 —
	[停止■]を押しても、予約録画が終わらない	●HDD/DVDの場合、録画中の操作先を選んでいない。**[HDD/DVD/SD/VHS切換]** で選んでください。 また、録画中の放送を選んでいない。**[放送/入力切換]** で選んでください。 ●VHSの場合、予約録画実行中は本体の **[タイマー切/入VHS◷]** を押してください。(本体表示窓の“VHS”消灯)	53 53
	予約録画が終わっても、予約内容が消えない	●毎日·毎週予約のときは消えません。 ●HDD/DVDの場合、予約が正しく終了しなかった場合は「一部未実行」などのアイコンが表示されます。予約を取り消す操作をしてください。(翌々日の午前4時を過ぎると自動的に消えます)	44 55
	予約録画中の映像が映らない	●予約録画は電源の切/入にかかわらず実行されます。予約録画中の映像を確認するには、電源を「入」にしてください。	—
	番組追従機能が働かない	●Gコード予約や時間指定予約では働きません。 ●毎週予約をした場合、放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の変更があった番組には働きません。 ●毎週予約をした場合、番組表データの更新によって、番組名が予約時から変わった場合など、番組によっては、正しく働かない場合があります。 ●アナログ放送の場合、予約登録後に放送時間が変更になると正しく働きません。	— — — —
番組表(Gガイド)	番組表(Gガイド)が表示されない 8日分表示されない	●本機をはじめてご使用のときや、約1週間以上本機の電源コードを抜いて使用していなかった場合は、番組表(Gガイド)が表示できません。 本機はデジタル放送の「アンテナ設定」を正しく設定したうえ、電源「切」の状態で、番組表(Gガイド)データを自動受信します。(1日程度かかる場合があります)本機をご使用にならないときは、電源を「切」にしてください。 ●本機は、地上アナログ放送の番組表(Gガイド)であっても、衛星アンテナを接続し、BSデジタル放送が受信できる必要があります。 ●地上アナログ放送の場合、**放送設定**「チャンネル設定」の放送局名が正しく設定されている必要があります。 ●地上デジタル放送の番組表(Gガイド)は、表示させたい局を選んで、**[決定]** を押すと表示できます。 ●**放送設定**「番組表設定」を確認してください。 ·「Gガイド受信確認」で、番組表(Gガイド)の受信スケジュールなどを確認してください。 ·「番組表受信設定」で「BS908」が設定されている必要があります。(2006年3月現在) ●お住まいの地域の受信状態に問題がある場合(電波状態が弱い場合など)は、番組表(Gガイド)データを取得できないことがあります。ブースターを使用することで改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。	— — 準備編 43 — 準備編 33 —
	地上アナログ放送で、映像が受信できるのに番組表(Gガイド)に表示されない放送局がある	●放送局名が正しく設定されていない場合は、番組表(Gガイド)に正しく表示されません。正しい放送局名を表示させてください。 ●**放送設定**「Gガイド地域設定」で設定した地域に登録されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、番組表(Gガイド)に放送内容は表示されません。	準備編 43 準備編 33
	番組表(Gガイド)に同じ放送局が2つ表示されている	●番組表(Gガイド)を表示する前に見ていた放送局は一番左に追加表示されるため、画面内に同じ放送局が2つ表示される場合があります。どちらを選んでも問題はありません。	—
	番組表(Gガイド)に“予”が表示されない	●Gコード予約や時間指定予約の場合は表示されません。	—
	録画した番組と番組名が合っていない	●番組表で予約設定後に番組内容が変更されると、変更された番組名で録画されます。 ●番組表で毎週予約設定後に番組内容が変更され、番組追従でも同じ名前の番組名を見つけられなかった場合は、予約時の番組名で録画されます。	— —

故障かな!?(つづき)

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
音声	音が出ない 聞きたい音声が聞こえない 音が小さい、おかしい	●接続や**初期設定**「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。 ●正しい音声を選んでいない。 ・**[音声]**を押して、正しい音声を選んでください。 ・(デジタル放送のマルチ音声のみ)「信号切換」の「音声」で、正しい音声を選んでください。 ●デジタル放送はアナログ放送に比べ、音量が小さいときがあります。 ●カラオケディスクなど、サラウンド効果が出ないディスクの場合や二重放送の番組を再生する場合は、**再生設定**「音声」メニューで「サラウンド」を「切」にしてください。 ●ディスク側で音声の出力方法が制限されている。 ダウンミックスが禁止されたマルチチャンネルディスクは、HDMIケーブルで、CPPMに対応したHDMI Ver1.1規格以降のアンプと接続する場合を除き、本機では正常に再生できません。ディスクのジャケットなどを確認してください。DVD-A ●デジタル音声出力(光)端子またはHDMI映像・音声端子から音声出力時は、音声効果が Bitstream信号には働きません。 ●HDMI接続で4台以上の機器をつなぐと音声が止まることがあります。接続台数を減らしてください。 ●テレビと本機をHDMIケーブルで接続し、音声をデジタル音声出力(光)端子から出力する場合は、**初期設定**「HDMI音声出力」を「切」にしてください。 ●HDMIケーブルで接続した機器から音声を出力する場合は、**初期設定**「HDMI音声出力」を「入」にしてください。 ●HDMIケーブルでアンプと接続時に音声が乱れる場合は、**初期設定**「HDMI接続スピーカー設定」で、本機とアンプのスピーカーの有無とサイズをスピーカーが接続されている状態に合わせて設定してください。 ●HDMIケーブルで接続している場合、お使いの機器によっては異音が生じる場合があります。 ●番組、放送によっては音が小さい場合があります。	116 71 29,61 — 62 — — — 117 117 準備編 30 — —
	音声が切り換えられない	●以下のような場合は、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画またはダビングすると、主/副音声のどちらか一方のみが記録されます。再生時に切り換えることはできません。(お買い上げ時の設定は「入」です) ・地上アナログ放送の番組や外部入力から録画する ・ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビングする ・VHS からダビングする ●デジタル放送を録画モード"XP"～"EP"、"FR"で録画した場合、マルチ音声は、録画前に「信号切換」(または「信号設定」)の「音声」で選ばれていたほうのみ記録されます。再生時に切り換えることはできません。 ●録画モードが"XP"で、**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」が「LPCM」の場合、音声を切り換えることはできません。 ●以下の場合、地上アナログ放送は音声の切り換えができません。 ・**初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」の場合(お買い上げ時の設定は「入」です) ・操作先に「DVD」を選択中、ディスクトレイに -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R が入っている場合 ●光デジタルケーブルまたはHDMIケーブルでアンプと接続しているとき、**初期設定**「Dolby Digital」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定するか音声コードで接続してください。 ●ディスク制作者の意図により音声が切り換えられないディスクもあります。	115 29,47 116 115 — 116 —
	VHS再生時にステレオ音声がブツブツと聞こえる	●トラッキングがずれている。 ●再生中のテープに傷などが付いている。	70 15
HDD/DVD再生	再生が始まらない、またはすぐに停止する	●ディスクを正しく入れていない(裏表が逆になっているなど)。またはディスクが汚れている。 ●本機で使えないディスク、未記録のディスクが入っている。 ●他のDVDレコーダーやパソコンなどで録画した「1回だけ録画可能」の番組は、本機のHDDへダビングできる場合がありますが、著作権保護のため再生できません。 ●RAM EP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーで再生できないことがあります。この場合は、EP(6H)モードで録画してください。	15,25 12 — 115
	再生の映像が乱れたり、正しく再生されない	●天候などにより電波状態の悪い状態で録画した番組を再生している。 ●録画モードの異なる番組やプレイリストのチャプターのつなぎ目、アスペクト比(映像の横縦比)、解像度(525i、525p、750p、1125iなど)の異なるつなぎ目では、一瞬映像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。	— —

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
HDD／DVD再生(つづき)	映像や音声が一瞬止まる	●プレイリストのチャプターのつなぎ目で起きます。 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R 高速モードでダビングして、ファイナライズをした場合、部分消去をした部分やチャプターのつなぎ目で起きることがあります。 ●シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。 ● -R DL(VR) -R DL(V) 2層にまたがって記録されている番組を再生すると、層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。	― ― ― 11
	録画した番組が再生ナビ画面に表示されない	● HDD 他の画像一覧を表示している。 録画モード“DR”で録画した番組は「ビデオDR」一覧に、録画モード“XP”～“EP”、“FR”で録画した番組は「ビデオ」一覧にあります。 ● RAM 他の画像一覧を表示している。「ビデオ」一覧に切り換えてください。	57 57
	DVDビデオを再生できない	●視聴制限が設定されている。**初期設定**「視聴制限」を変更してください。	115
	音声言語や字幕言語が切り換えられない	●ディスクに複数の言語が収録されていない。 ●**再生設定**「音声情報」、「字幕情報」ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。	― 56
	市販ディスクの字幕が出ない	●字幕の入/切情報が記録されたディスクのみ字幕の入/切が切り換えられます。**再生設定**「ディスク」メニューの「字幕情報」を「入」にしてください。	61
	録画した番組の字幕が出ない	●「ビデオDR」の番組の場合、ディスクに字幕が記録されています。**再生設定**「ディスク」メニューの「信号切換」の「字幕」を「オン」にしてください。 ●録画モード“XP”～“EP”、“FR”のいずれかで録画する場合は、録画時に「字幕」を「オン」に設定して、字幕を記録してください。 録画時の設定のまま記録されるため、再生時に字幕の入/切を切り換えることはできません。	61 29,47
	アングルを切り換えられない	●ディスクに複数のアングルが収録された場所以外では切り換わりません。	61
	DVDビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい	●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。 操作先に「DVD」を選び、**[開/閉▲]**を押してトレイが開いている状態で、本体の**[録画●]**と**[再生▶]**を同時に5秒以上押すと戻ります。(本体表示窓に“INIT”が表示)	―
	早見再生ができない	●音声がドルビーデジタル以外の場合は働きません。 ●録画モードが“XP”または“FR”で RAM への録画中は働きません。 ●「ビデオDR」の番組には働きません。	― ― ―
	自動CM早送りが働かない	●録画内容により、正しく働かないことがあります。 ●以下の場合は働きません。 ・「ビデオDR」の番組 ・外部入力から録画した番組 ・早見再生中(**➜58**)のとき ●最大49回働きます。(HDD :1番組あたり49回/ RAM -R(VR) -R DL(VR) :ディスク1枚あたり49回)それを超えた場合は働きません。	― ― ―
	続き再生メモリー機能が働かない	●記憶した位置は、以下の場合解除されます。 ・数回**[停止■]**を押す。 ・録画や予約録画を行った場合 ・トレイを開ける(HDD を除く) ・ DVD-A CD VCD SD 電源を切る	―
	SDカードのMPEG2動画が再生できない	●SDカードから直接再生できません。HDDなどにダビングしてから再生してください。	96
	再生した番組の先頭が見れない	●(VIERA Link対応のテレビとHDMIケーブルで接続した場合) テレビの電源が「切」のときに、本機のリモコンの**[再生▶]**を押して再生を始めた場合、テレビの電源が自動的に「入」になり、テレビ画面が表示されるまで、再生した番組の先頭部分が見れない場合があります。その場合は、**[|◀◀]**を押して番組の先頭に戻ってください。	―
VHS再生	再生できない	●他のテレビ方式(PAL(パル)、SECAM(セカム)など)で録画されたカセットは再生できません。	―
	再生画面がチラチラする	●ビデオヘッドが汚れている。 ●テープが古い、またはいたんでいる。	70 15
	再生画面にノイズが出る	●本機以外の機器で3倍/5倍モードを使って録画されたテープを再生した場合は、テープによっては画面にノイズが出る場合があります。 保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。	―

故障かな!?(つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
HDD／DVD編集・整理	番組を消去しても残量が増えない	●-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) +R 消去しても残量は増えません。 ●-RW(V) 最後に録画した番組を消去したときのみ残量が増えます。途中の番組を消去しても残量は増えません。	― ―
	編集できない	●HDD 空き容量がないと、編集ができなくなることがあります。不要な番組を消去して空き容量を増やしてください。 ●ファイナライズ済みの -R(VR) -R DL(VR) を使っている。	73 ―
	フォーマットできない	●ディスクが汚れている。 ●本機で使えないディスクを使っている。	15 12
	チャプターが作成できない 部分消去のイン点やアウト点が設定できない	●作成したチャプター情報は、電源を切るときまたはディスクを取り出すときなどにディスクに書き込まれるため、停電などが発生すると記録されません。 ●イン点とアウト点の間が短い場合や、イン点がアウト点の後ろにある場合は設定できません。 ●静止画部分では作成できません。	― ― ―
	チャプターが消去できない	●チャプターの範囲が小さくて消去できない場合は、「チャプター結合」でチャプター範囲を大きくすると消去できます。	76
	プレイリストが作成できない	●番組が静止画を含む場合は、プレイリストの編集元としてすべてのチャプターを一度に選ぶことはできません。個々のチャプターは選べます。 ●「ビデオDR」の番組では作成できません。	77 ―
写真	再生ナビ画面を表示できない	●HDD/DVD側でデジアナどっちも録り中や1倍速でダビング中はできません。	―
	編集やフォーマットができない	●カードのプロテクトを解除してください。(カードによっては、プロテクトを設定していても、画面に「書き込み禁止設定オフ」と表示される場合があります)	107
	カードの内容を読めない	●本機で対応していないフォーマットのカードを入れている(カードの内容が壊れている場合もあります)。他の機器ではFAT12またはFAT16で、または本機でフォーマットしてください。 ●本機で対応していないフォルダ階層や拡張子になっている。 ●本機の電源を入れ直してください。 ●本機では8 MB～2 GBまでのSDメモリーカードが使用できます。	13 13,139 ― 13
	ダビングや消去、プロテクトに時間がかかる	●ファイル数やフォルダの数が多い場合、数時間かかることがあります。 ●ダビングや消去を繰り返していると、時間がかかる場合があります。カードやディスクをフォーマットしてください。	― 107
外部入力	黒い帯状のノイズが録画された	●接続した機器がテレビに近いために、テレビからの妨害を受けている。接続した機器をテレビから離してください。	104
	DVおまかせ取込ができない	●録画できない場合や中断する場合は、接続と接続機器の設定などを確かめてください。 ●録画先に「HDD」または「DVD」を選んでいない。 ●DV機器からの映像がテレビ画面に表示されない場合は、録画できません。 ●DV機器側が、再生の一時停止状態になっていない。 ●テープ上でタイムコードが連続していない場合や、接続した機器によっては、正しく働かない場合があります。	104 ― ― 105 ―
	外部機器から録画・録音できない	●正しく接続していない。 ●再生機を接続した外部入力チャンネル"L1"、"L2"または"DV"を選んでいない。	104 105
その他	電話機にノイズ(雑音)が入る 電話回線につないでいるときに電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る	●モジュラー分配器を使用すると、一部の電話機やファクシミリでこの症状が出る場合がありますが、市販の自動転換器(パソコン対応用も含む)または電話回線用ノイズフィルター(雑音防止器)で改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどのメーカーにご相談ください。	―
	ダウンロードができない	●ダウンロードは、本機の電源を「切」にした状態で行われます。	準備編 38
	ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買い上げ時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。	準備編 38
	VIERA Link(HDAVI Control)が働かない	●本体表示窓に"HDMI"が表示されていない。接続を確認してください。 ●**初期設定**「HDMI機器制御」が「入」になっていない。 ●接続した機器側のVIERA Link(HDAVI Control)の設定を確認してください。 ●HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにVIERA Link(HDAVI Control)が動作しなくなる場合があります。その場合は、以下の操作をしてください。 ① **HDMIケーブルで接続したすべての機器の電源を入れた状態で、テレビ(VIERA)の電源を入れ直す** ② **テレビ(VIERA)の「HDMI機器制御」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定する(詳しくはVIERAの取扱説明書をご覧ください)** ③ **VIERAの入力を、本機を接続したHDMI入力に切り換えて、本機の画面を表示したあとに、VIERA Link(HDAVI Control)が動作するか確認する**	準備編 12,16 117 ― ―

「故障かな!?」に従ってご確認のあと修理が必要になったときは、裏面の「修理診断カルテ」にご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

修理診断カルテ

ご記入日：　　　　年　　月　　日

修理をご依頼される場合は、円滑な対応をさせていただくために、下記内容をご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむを得ず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。
このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

＜商品に関して＞

機種名		製造番号 （保証書または本体後面に記載）	
お買い上げ日	年　　月　　日	保証書添付	□ 有り　□ 無し

＜確認事項＞

修理代金の見積り （有償修理時のみ）	□ 不要　□ ＿＿＿＿ 万円以上必要　□ 必要
修理ご依頼時の添付品	（本体以外の添付品をご記入ください） □ 電源コード　□ リモコン　□ ディスク　□ その他 ＿＿＿＿＿＿＿＿

設定項目の初期化	修理の際に、初期設定、録画予約などを出荷状態に戻さなければならない場合があります。 あらかじめご了承ください。		
HDDの初期化 （録画内容の消去）	修理の際に、HDDを出荷状態に戻さなければならない場合があります。（記録内容はすべて失われます） HDDの初期化に同意されますか。 □ 同意する □ 同意しない（初期化しないと修理ができない場合があります）	ご署名	印

＜不具合症状について＞

不具合症状	（発生症状をなるべく詳しく、具体的にご記入ください）　例：HDDからDVD-Rへ高速モードでダビング時、途中で止まった。	
発生条件	＜発生条件＞ 1. □ HDD　□ DVD　□ VHS （下欄※に詳細をご記入ください） 2. □ 録画時　□ 再生時　□ ダビング時 └□ 本機のチューナーからの録画 └□ 外部入力からの録画（他のビデオからのダビングや外部チューナーからの録画など）	＜エラー表示＞ □ 有り └□ テレビ画面 表示内容：＿＿＿＿＿＿＿ └□ 本体表示窓 表示内容：＿＿＿＿＿＿＿ □ 無し
発生頻度	□ 常時　□ 時々　□ ＿＿＿＿ 回に ＿＿＿＿ 回位	

＜※DVDディスクに関して＞

正確な診断を行うために、できるだけ症状の発生したディスクの添付をお願いします。

発生ディスク	□ DVD-RAM	メーカー名：	品番：
	□ DVD-R	メーカー名：	品番：
	□ DVD-R DL	メーカー名：	品番：
	□ DVD-RW	メーカー名：	品番：
	□ ＋R	メーカー名：	品番：
	□ DVDビデオ	タイトル：	ディスクNo.：
	□ その他		
発生箇所	□ 最初から再生できない	□ ＿＿ 分 ＿＿ 秒位の部分から症状が発生	□ タイトルNo.： チャプターNo.：

＜接続テレビに関して＞

接続テレビ	テレビメーカー名：　　　　機種名： 接続端子：□ ピン端子　□ S端子　□ D端子　□ HDMI端子　□ その他

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

きりとり線

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　源	AC 100 V、50/60 Hz	
消費電力	動作時：約58 W	待機時（クイックスタート「切」）：約 3.9 W※1（時刻表示点灯時・約4.3 W 、時刻表示消灯時・約2.2 W） 待機時（クイックスタート「入」）：約 19.8 W※1（時刻表示点灯時・約20.0 W 、時刻表示消灯時・約19.0 W）

※1 VTRの省エネ法に定める計算式による待機時消費電力値を示す。

本体

本体外形寸法	約幅430 mm×高さ105 mm×奥行386 mm
本体質量	約7.7 kg
許容周囲温度	5 ℃～40 ℃
許容相対湿度	35 %～80 %RH（結露なきこと）
時計部	クォーツ制御、24時間、デジタル表示
プログラム数	●HDD/DVD　1カ月　32プログラム ●VHS　1カ月　16プログラム
停電保証期間	約5年

テレビジョン方式

映像方式	NTSC方式、525本、60フィールド
アンテナ受信入力	●地上アナログ入力 VHF：　1～12 CH　75 Ω UHF：　13～62 CH　75 Ω CATV：　C13～C63 CH　75 Ω ●地上デジタル入力（DVD専用） 90 MHz ～ 770 MHz　75 Ω （VHF：1～12 CH、UHF：13～62 CH、CATV：C13～C63 CH） ●BS・110度CSデジタル入力（DVD専用） 1032 MHz～2071 MHz （IF入力周波数）　75 Ω 電源供給（右旋円偏波時：DC 15 V、最大4 W/ 左旋円偏波時：DC 11 V、最大3 W）

映像

記録圧縮方式	MPEG2（Hybrid VBR）（HDD/DVDのみ）
映像入力（ピンジャック）	入力端子：　2系統 入力レベル：　1.0 Vp-p　75 Ω
S映像入力	入力端子：　2系統 Y入力レベル：　1.0 Vp-p　75 Ω C入力レベル：　0.286 Vp-p　75 Ω
映像出力（ピンジャック）	出力端子：　2系統（内DVD優先1系統） 出力レベル：　1.0 Vp-p　75 Ω
S映像出力	出力端子：　1系統（DVD優先） Y出力レベル：　1.0 Vp-p　75 Ω C出力レベル：　0.286 Vp-p　75 Ω
D端子映像出力	出力端子：　1系統（DVD優先） ●D1/D2/D3/D4端子（525i/525p/1125i/750p） Y出力レベル：　1.0 Vp-p　75 Ω CB/PB出力レベル：0.7 Vp-p　75 Ω CR/PR出力レベル：0.7 Vp-p　75 Ω
HDMI映像・音声出力（19ピン typeA端子）	出力端子：　1系統（DVD優先） HDMI Ver.1.2a（EDID Ver.1.3）

音声

記録・再生圧縮方式	Dolby Digital：2ch記録 リニアPCM（XPモードのみ切り換え可）：2ch記録 MPEG2 AAC（DRモード・デジタル放送記録時）
アナログ入力（ピンジャック）	入力端子：　2系統 基準入力：　309 mVrms 入力レベル（HDD/DVDのみ）：FS 2 Vrms（1 kHz、0 dB） 入力インピーダンス：　22 kΩ
アナログ出力（ピンジャック）	出力端子：　2系統（内DVD優先1系統） 基準出力：　309 mVrms 出力レベル（HDD/DVDのみ）：FS 2 Vrms（1 kHz、0 dB） 出力インピーダンス：　1 kΩ 負荷インピーダンス：　10 kΩ
チャンネル数・トラック数	●HDD/DVD　記録：2チャンネル、再生：2チャンネル ●VHS　ハイファイ：2トラック、ノーマル：1トラック
デジタル出力	出力端子：1系統、光コネクター（DVD優先） （PCM、ドルビーデジタル、DTS、MPEG2 AAC対応）

その他の端子

DV入力端子	4ピン：　1系統（IEEE1394準拠）
電話回線（モジュラー）端子	1系統 [V.22bis（2400 bps、着呼機能なし）]

HDD/DVD部

内蔵HDD容量	250 GB
記録可能なディスク	●DVD-RAM： Ver.2.0 Ver.2.1/3X-SPEED DVD-RAM Revision 1.0 Ver.2.2/5X-SPEED DVD-RAM Revision 2.0 ●DVD-R： for General Ver.2.0 for General Ver.2.0/4X-SPEED DVD-R Revision 1.0 for General Ver.2.x/8X-SPEED DVD-R Revision 3.0 for General Ver.2.x/16X-SPEED DVD-R Revision 6.0 for DL Ver.3.0 for DL Ver.3.x/4X-SPEED DVD-R for DL Revision 1.0 ●DVD-RW： Ver.1.1 Ver.1.x/2X-SPEED DVD-RW Revision 1.0 Ver.1.x/4X-SPEED DVD-RW Revision 2.0 Ver.1.x/6X-SPEED DVD-RW Revision 3.0 ●+R： Ver.1.0　Ver.1.1　Ver.1.2　Ver.1.3
記録方式	●DVD-RAM：DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-R　：DVDビデオ規格準拠 DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-R DL（片面 2 層）：DVDビデオ規格準拠 DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-RW　：DVDビデオ規格準拠 ●+R
再生可能なディスク	●DVD-RAM　●DVD-R　●DVD-R DL（片面2層） ●DVD-RW　●+RW　●+R ●+R DL（片面2層）：ファイナライズ済のみ ●DVD-Video　●DVD-Audio ●CD-Audio（CD-DA）　●VCD ●CD-R/CD-RW（CD-DA、VCD、MP3、JPEG フォーマット記録のディスク）

VHS部

録画方式	VHS規格
テープ速度	標準：33.35 mm/秒　3倍：11.12 mm/秒
使用カセット	VHSビデオカセット
録画時間	最大9時間（T-180使用、3倍モード）
早送り・巻き戻し時間	約60秒（T-120使用時） 高速リターン時：　約43秒（T-120使用時）

SD部/静止画（JPEG、TIFF）

スロット	SDメモリーカード
対応カード	SDメモリーカード※2、マルチメディアカード
対応フォーマット	FAT12、FAT16
画像ファイル形式	●JPEGベースライン方式 [DCF（Design rule for Camera File system）準拠] ●TIFF（非圧縮RGB、点順次）対応、DPOF対応
画素数	34×34～6144×4096 サブサンプリング：4：2：2、4：2：0
解凍時間※3	約3秒（600万画素、JPEG）

SD部/動画（MPEG2）

スロット	SDメモリーカード
対応カード	SDメモリーカード※2
ファイル形式	SD VIDEO規格準拠 ●SD（SD VIDEO規格）からHDD/DVD-RAM/DVD-R（ビデオレコーディング規格）/DVD-R DL（ビデオレコーディング規格）への変換転送後に再生可能

※2 miniSD™カードを含む。（miniSD™アダプター装着時）
※3 解凍時間は使用環境（ファイル数・圧縮率など）によって多少長くなることがあります。

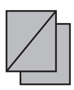
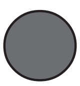
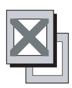
アイコン一覧

●本機はアイコン(機能表示のシンボルマーク)によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

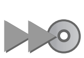
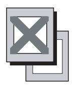
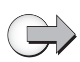
番組内容画面

テレビ	テレビ放送(映像+音声)の番組
データ	データ放送の番組
+d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
+d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
●●● 信号	映像や音声、データのいずれかを信号切り換えできる番組
モノラル	モノラル音声の番組
ステレオ	ステレオ放送の番組
サラウンド	5.1チャンネルなどのサラウンド放送の番組
デジタル XCOPY	著作権が保護されているため「録画禁止」の番組
デジタル 1COPY	「1回だけ録画可能」な番組(➜37) (録画後、ダビングできません)
アナログ XCOPY	アナログの著作権が保護されているためアナログでの「録画禁止」の番組
デジタル X出力	デジタル出力端子からデジタル信号を出力しない番組
アナログ X出力	アナログ(DVD/VHS共用出力、DVD優先出力、D1/D2/D3/D4映像出力)出力しない番組(音声も出力されません)
ラジオ	ラジオ放送の番組
d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組
d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組
16:9 1125i	番組の映像信号情報 上:画面の横縦比(16:9、4:3) 下:信号方式 (デジタルハイビジョン放送− 1125i、750p) (デジタル標準テレビ放送− 525p、525i)
主+副	二重音声信号で、「主+副」の音声の番組
有料	有料のデータを含むペイ・パー・ビュー番組
字幕	番組の中に字幕(日本語/英語)の情報が含まれている番組
20 才~	視聴年齢制限がある番組 (表示される年齢は4~20才まであります)

再生ナビ画面

	番組や写真に書き込み禁止(プロテクト)を設定
	録画禁止信号により録画できなかった番組 (デジタル放送など)
	HDDにダビング中の番組やデータが壊れているなど、再生できない番組
	録画中の番組
	HDDにリリーフ(代替)録画された番組(➜44)
	本機で録画した「1回だけ録画可能」な番組(➜37)
P	PAL方式で録画された番組 (このマークの番組は再生できません)
DPOF	プリント枚数(DPOF)が設定された写真(➜81)

おまかせダビング・詳細ダビング画面

	DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL(DVD-Video方式)、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速でダビングできるもの
	静止画を含むもの (HDD/DVDへは静止画部分はダビングされません)
	本機で録画した「1回だけ録画可能」な番組(➜37)
	「1回だけ録画可能」なため「移動」されるもの (➜82)

予約一覧画面

可	全編の録画が可能な番組
変更可	予約登録後に放送時間が変更になった番組で、全編の録画が可能な番組
重複	予約時間が重なっている番組
録画実行中	現在実行中の録画番組
FULL中断	ディスクがいっぱいで録画が中断された番組
代替	予約時にディスクが未挿入などで、HDDにリリーフ(代替)録画(➔44)される番組
購入失敗	番組購入できずに予約録画に失敗したペイ･パー･ビュー番組
未実行	予約録画が実行されなかった番組
不可	HDDの残量が不足していて録画できない番組
月/日迄	毎日･毎週予約のときに、表示された日付(最大1カ月先)まで録画予約されます。(他の番組が録画や消去された場合など、ディスクの残量によって、日付が変更される場合があります)
検索中	時間変更追従を実行中(時間確認中)
時間指定	Gコード予約(➔49)または時間指定予約(➔50)で予約した番組
番組予約	番組表(Gガイド)を使って予約した番組(➔46)
番組PPV	番組表(Gガイド)を使って予約したペイ･パー･ビュー番組
コピー×中断	録画禁止信号により録画が中断された番組(デジタル放送など)
一部未実行	予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組
選局失敗	追加購入できずに予約録画に失敗したペイ･パー･ビュー番組
予約実行切	予約の実行が｢切｣になっている番組
お知らせ	番組表(Gガイド)を使って毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合に表示
自動更新	毎日･毎週予約のときに自動更新(➔44)をする場合、表示されます。(前回録画した内容を上書きして録画します)

番組ジャンル

番組をジャンル別に検索するときに選びます。(➔48)

映画	音楽	ニュース･報道	劇場･公演
ドラマ	バラエティー	アニメ･漫画	趣味･教育
スポーツ	情報･ワイドショー	ドキュメンタリー･教養	福祉

他にも、ジャンル名をイラスト化して表示しているアイコンがあります。

その他の画面

4才~	視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組 暗証番号を入力すると視聴可(➔113)
有料	1番組限度額の設定より高い金額の番組 暗証番号を入力すると視聴可(➔113)
(未読メールアイコン)	メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール(未読メール)
(既読メールアイコン)	メール一覧画面で、お客様がすでに読まれたメール(既読メール)
予	番組表(G ガイド)を使って予約された番組

用語解説

ア

アンテナレベル
アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質(信号と雑音の比率)を表します。受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、アンテナを接続したケーブルの長さなどによって影響を受けます。

カ

(株)B-CAS(ビーキャス)
BSデジタル放送の限定受信システム(CAS)を管理するために設立された(株)ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CASカードの発行･管理をしています。地上デジタル放送や110度CSデジタル放送も同システムを使用しています。

サ

サムネイル
複数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。(本機では、番組一覧などに番組内の1場面が表示されます)

サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。
1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

字幕放送
字幕情報を表示させることができる放送です。放送中に番組からのお知らせを表示する「文字スーパー」という機能もあります。

スプリッター
電話回線のネットワーク用の信号と電話用の信号を分ける機器です。

双方向サービス
視聴者が自宅にいながら、クイズ番組に参加したり、買い物をすることができます。
電話回線の接続が必要です。

タ

ダイナミックレンジ
機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくできます。

ダウンミックス
ディスクに収録されたマルチチャンネル(サラウンド)の音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。
DVDオーディオには、ダウンミックスが禁止されたディスクがあります。ダウンミックスが禁止された曲は、HDMIケーブルで、CPPMに対応したHDMI Ver1.1規格以降のアンプと接続している場合を除き、本機では正常に再生できません。

データ放送
お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができる放送です。例えば、お客様のお住まいの地域の天気予報を、表示させることができます。また、テレビ放送やラジオ放送に連動したデータ放送もあります。その他に、電話回線を使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスなどが行われます。

デコーダー
DVDなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

デジタルハイビジョン
デジタル放送には、デジタル標準テレビ放送(SD)とデジタルハイビジョン放送(HD)があります。ハイビジョンの走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125 本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

ドライブ
本機では、ハードディスク(HDD)、ディスク(DVD)、SDメモリーカード(SD)、カセット(VHS)のことをいいます。
データの読み書きを行います。

ハ

パン＆スキャン/レターボックス
DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面(画面の横縦比が16:9)を前提に制作されているため、従来のサイズ(横縦比が4:3)のテレビに映し出そうとすると、16:9の映像が4:3に収まらなくなります。
4:3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

- **●パン＆スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。

- **●レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を映し出します。

ファイナライズ
録音･録画されたCD-R、CD-RWやDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理すること。
本機ではDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rのファイナライズが可能です。DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rをファイナライズすると再生専用ディスクとなり、記録や編集ができなくなります。
DVD-RWは、フォーマットすると繰り返し録画できます。

フィルム/ビデオ素材
一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

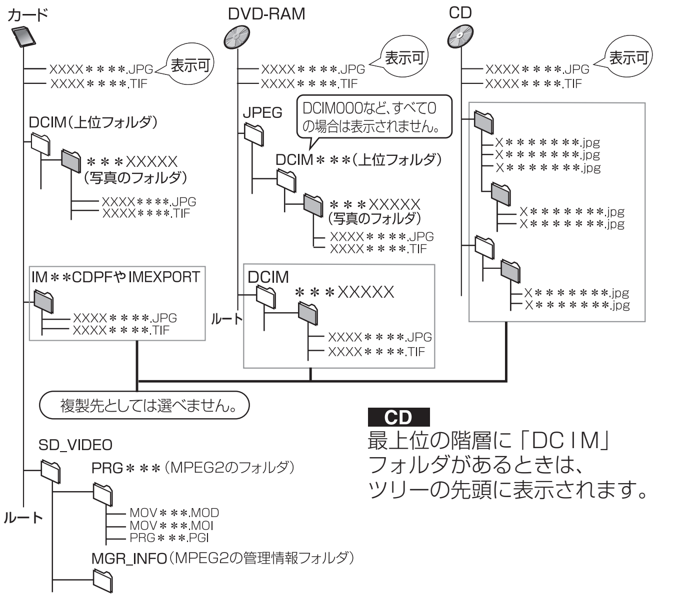
- **●フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。(映画の映像などで使われています)
- **●ビデオ素材**
  映像情報が30フレーム/秒、60フィールド/秒で記録されているもの。(テレビドラマやテレビアニメの映像などで使われています)

フォーマット
録画前のDVD-RAMなどを録画機器で録画できるように処理することです。初期化ともいいます。
本機ではHDD、DVD-RAM、DVD-RW、SDメモリーカード、未使用のDVD-R、DVD-R DLのフォーマットができます。
フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。未使用のDVD-R、DVD-R DLをフォーマットすると、VR方式で記録できるようになります。

フォルダ
ハードディスクやSDメモリーカードなどで、データをまとめて保管するための場所のことです。本機では、写真（JPEG/TIFF）やMPEG2の保管場所を表します。

本機で表示されるフォルダ構造例

：表示されるフォルダ　＊：数字　x：半角文字



CD
最上位の階層に「DCIM」フォルダがあるときは、ツリーの先頭に表示されます。

- **RAM** **SD** ルート上のファイルは「上位フォルダ選択」で選ぶことができます。（➜64）
- フォルダ名やファイル名を本機以外で入力した場合は、正しく表示されなかったり、再生や編集ができなくなることがあります。

フレーム/フィールド
フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

フレーム　＝　フィールド　＋　フィールド

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

プログレッシブ/インターレース
従来の映像信号（NTSC）は525i（480i）（i：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、その525i（480i）信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p（480p）（p：プログレッシブ＝順次走査）といいます。プログレッシブでは、DVDソフト本来の高精細映像を再現できます。また、本機のD1/D2/D3/D4映像出力端子やHDMI映像・音声出力端子はハイビジョン映像出力［750p（720p）、1125i（1080i）］にも対応しています。
プログレッシブ映像、ハイビジョン映像を楽しむには、それぞれ対応テレビが必要です。

プロテクト
記録した内容を誤って消してしまわないように、書き込みや消去の禁止を設定することです。

マ

マルチビュー放送
1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

ヤ

有料放送
チャンネル単位で購入する場合と、番組単位で購入する場合（ペイ・パー・ビュー）があり、それぞれ放送事業者との契約が必要です。ペイ・パー・ビューでは、テレビ画面上で購入操作を行います。
ペイ・パー・ビューをご覧になるためには電話回線の接続が必要です。

A

エーエーシー　アドヴァンスド　オーディオ　コーディング
AAC（Advanced Audio Coding）
衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング」の略で、CD並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

エーディーエスエル　アシンメトリック　デジタル　サブスクライバー　ライン
ADSL（Asymmetric Digital Subscriber Line）
電話回線を使ったブロードバンド接続方式の一種です。回線業者、プロバイダーとの契約が必要です。

B

ビットストリーム
Bitstream
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1チャンネルなどのマルチチャンネル音声信号に戻されます。

C

シーピーピーエム
CPPM
コンテント　プロテクション　フォー　プリレコーディッド　メディア
（Content Protection for Prerecorded Media）
DVDオーディオのファイルコピーを防止する著作権保護技術です。本機はCPPMに対応しています。CPPMで著作権保護されたDVDオーディオの音声をHDMIで楽しむには、CPPM対応機器と接続してください。

シーピーアールエム
CPRM
コンテント　プロテクション　フォー　レコーダブル　メディア
（Content Protection for Recordable Media）
デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術のことです。「1回だけ録画可能」な番組は、CPRMに対応した機器とディスクに録画できます。

D

D映像端子
コンポーネント（色差）ビデオ信号と制御信号を1つにまとめた端子で、デジタル放送やDVDプレーヤーなどに対応しています。色信号の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の3つの信号に分け、それぞれの専用回路で信号処理し、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像がお楽しみいただけます。

ドルビー　デジタル
Dolby Digital
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2チャンネル）はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ディーポフ　デジタル　プリント　オーダー　フォーマット
DPOF（Digital Print Order Format）
デジタルカメラなどで撮影した静止画を、写真店や家庭用プリンターでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

用語解説（つづき）

DTS（Digital Theater Systems）
映画館で多く採用されているマルチチャンネルシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

Ⓔ EPG（Electronic Program Guide）
テレビやパソコン、携帯電話の画面上に番組表を表示するシステムのことです。テレビ電波やインターネットを利用してデータを送信します。本機はテレビ電波を利用した方式に対応しており、番組表（Gガイド）を使って予約録画などができます。

Ⓗ HDD（ハードディスクドライブ）
パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置のひとつです。表面に磁気体を塗った円盤（ディスク）を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）
HDMIとは、デジタル機器向けの次世代インターフェイスです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

Ⓘ ID3 タグ
MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる文字情報を保存する領域があります。ここにタイトルやアーティスト名など、曲についての情報を保存しておくことができます。この情報は、ID3タグ対応のプレーヤーで再生時に画面上に表示させることができますが、本機はID3タグに対応していないため、表示させることができません。

Ir システム
セットトップボックスなどから予約録画などの信号を、録画機器のリモコン受信部に送ることで、連動操作をする機能です。当社製のCATV用セットトップボックスなどのIrシステムがDVDレコーダーまたはビデオに対応している場合、Irシステムを使って本機を操作できます。セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。

Ⓙ JPEG（Joint Photographic Experts Group）
カラー静止画を圧縮、展開する規格のひとつです。
デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

Ⓛ LPCM（リニア PCM）
圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた信号です。CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されているのに対し、DVDでは48 kHz/16 bit～96 kHz/24 bitで記録されていますので、CDよりも高音質での再生が可能です。本機では、デジタル音声出力（光）端子からのリニアPCM音声は 2チャンネルで出力されます。録画モード“XP”で録画する場合、LPCMで録画することができます。

Ⓜ MP3（MPEG Audio Layer 3）
元の音質をあまり損なうことなく、情報量を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンなどでCD-RやCD-RWに記録したMP3方式の音声を再生できます。

MPEG2（Moving Picture Experts Group）
カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格のひとつです。
MPEG2はDVDやデジタル放送などに使われる圧縮方式で、本機では番組をMPEG2で録画します。また、当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画をSDカードからHDDやDVD-RAM、DVD-R（VR方式）、DVD-R DL（VR方式）にダビングすることができます。

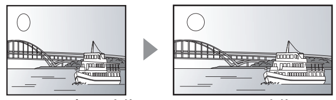
Ⓟ PAL（Phase Alternating Line）
水平走査線が625本、フレーム周波数が25 Hzのインターレース方式を使用したアナログカラーテレビ放送の規格です。フランス以外の西ヨーロッパなどで採用されています。

PBC（Playback Control）
ビデオCDの再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。
（本機は、バージョン2.0および1.1に対応しています）

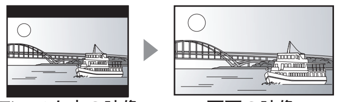
PCM（Pulse Code Modulation）
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式のひとつです。「パルス・コード・モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

Ⓢ S映像出力
映像信号をC（色信号）とY（輝度信号）に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応していますので、テレビのS映像入力端子の種類に合わせて信号が出力できます。

●S1映像信号
映像の横縦比が4：3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16：9のサイズに戻して映します。


ディスク内の映像　画面の映像

●S2映像信号
S1の機能に加え、レターボックス（上下に黒帯が入っている映像）のソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。


ディスク内の映像　画面の映像

SQPB（S-VHS Quasi Playback）
S-VHS方式で録画されたS-VHSカセットを簡易的に再生する機能です。ただし、S-VHS本来の高画質にはなりません。

S-VHS ET（Super VHS Expansion Technology）
VHSカセットにS-VHS方式で録画する機能です。
本機にはこの機能はありません。

Ⓣ TIFF（Tag Image File Format）
カラー静止画を圧縮、展開する規格のひとつです。デジタルカメラなどでは、高画質の画像を記録するために多く用いられています。

Ⓥ VBR（Variable Bit Rate）
（ブイビーアール　ヴァリアブル　ビット　レート）

映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

❶ 1125i(1080i)

デジタルハイビジョン映像のひとつで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

❺ 525i(480i)

1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。

● 525p(480p)

1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、ちらつきが少なくなります。

❼ 750p(720p)

デジタルハイビジョン映像のひとつで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、ちらつきが少なくなります。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このDVDレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

「故障かな!?」(➜124〜132)に従ってご確認のあと、直らないときは、本体表示窓に「サービス番号」(➜121)が表示されている場合その番号を控えておき、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	DVDレコーダー
品　　番	DMR-EX250V
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号) 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時〜20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365 (パナは 365日)

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎(050)5519-6348
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市駿河区有東2丁目3-22	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0106

さくいん

さくいん(つづき)

た 行 (つづき) ページ

な 行 ページ

は 行 ページ

ま 行 ページ

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

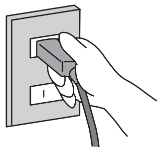
電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

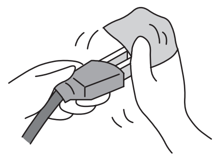
電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

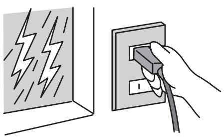


プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

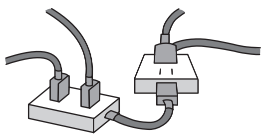
雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止



感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

- 誤って飲み込むと身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

本機のイラスト（姿図）は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない

- 取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

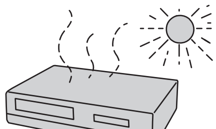
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

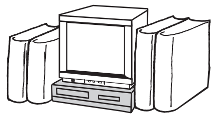
異常に温度が高くなるところに置かない



外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

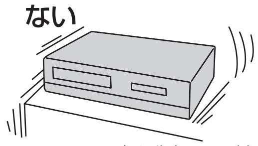
- 後面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない



倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

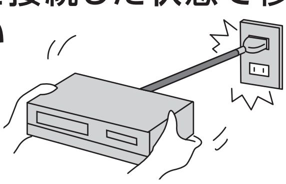
倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやカセットは、保護のため取り出しておいてください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ディスクトレイ・カセット挿入口に指をはさまれないように注意する

指に注意

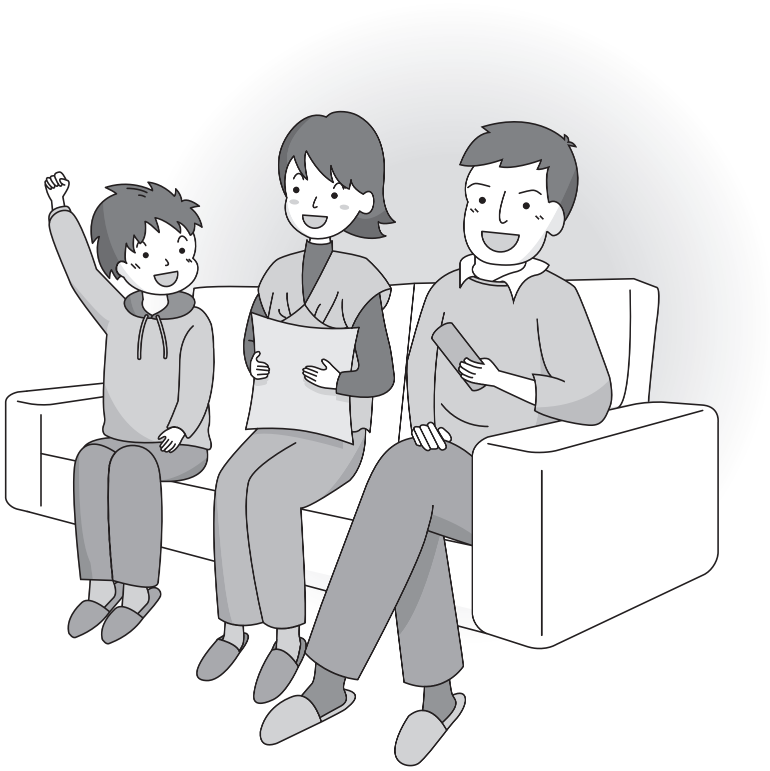
けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。
  この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用はマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することも禁じられています。
- Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。
  Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
  米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 電子番組表の表示機能にGガイドを採用していますが、当社がGガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- Gコード、G-CODE、およびGコードロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社の日本国内における登録商標です。
  Gコードシステムは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 「DTS」および「DTS 2.0+Digital Out」はDTS社の商標です。
- SDロゴは商標です。
- miniSD™はSDアソシエーションの商標です。
- Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア(株)のモバイルWnnを使用しています。"Mobile Wnn" © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[操作一覧]ボタンを押し、"その他の機能へ"→"メール／情報"→"ID表示"→"ソフト情報表示"をご参照ください。
- メールや購入記録、データ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利確保のため権利者に支払われることが定められています。
  私的録画補償金の問い合わせ先
  〒107-0052
  東京都港区赤坂5丁目4番6号赤坂三辻ビル2F
  社団法人 私的録画補償金管理協会
  TEL 03-3560-3107(代)
  FAX 03-5570-2560

なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。



本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　長年ご使用のDVDレコーダーの点検を！

こんな症状はありませんか		このような症状のときは
	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● テープやディスクをいためた ● その他の異常や故障がある	▶ このような症状のときは使用を中止し、故障や事故防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DMR-EX250V
販売店名	☎（　　）　－	お客様ご相談窓口 ☎（　　）　－	
B-CASカード番号	B-CASカード番号を記入してください。 お問い合わせのときに必要な場合があります。		

PRINTED WITH SOYINK™
この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町１番15号

RQT8536-S
F0306Mr0